NEC

取扱説明書

UNIVERGE

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も必要なときにすぐに見られるよう大切に保管してください。

重要なお知らせ

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品の故障や誤動作、停電あるいは天災などにより装置としての正常性を保てなくなった場合、それに付随的に生じる純粋経済損失(機会損失、情報漏えい及びその他の損失など)に対しては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
6. 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。また、本製品は、輸出貿易管理別表第 1 項に定める輸出規制品に該当する可能性があります。
   従って、本製品は、その時点での日本国政府の輸出許可等必要な手続きをとらずに、日本国外へ持ち出すことはできません。
7. 本製品を改造しないでください。マニュアルに記載されていない改造・回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。
8. 本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
9. この装置は、技術基準適合認証品です。
   - IP8D-3KSU-B1 使用時の技術基準等適合認定番号:ACDE18-0088001
   - IP8D-6KSU-A1 使用時の技術基準等適合認定番号:ACDE18-0099001
   - IP カメラドアホン(IP3D-IPCDH)の技術基準等適合認定番号:DE12-0194001
   - IP8D-RTU-A1 使用時の技術基準等適合認定番号:D18-0100001, M18-0004
   - IP8D-IPTU-A1 使用時の技術基準等適合認定番号:DE16-0328001, M16-0028
10. JIS C 61000-3-2 適合品
    本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

NTT の電話機などをレンタルで利用している方へ

本システムを導入されたことにより、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT 東日本または NTT 西日本にご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって**「機器使用料」が不要**となります。詳しくは、**局番なしの 116 番(無料)**にお問い合わせください。

登録商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Google Chrome、Google Chrome ロゴは Google Inc.の登録商標です。
UNIVERGE は、日本電気株式会社の登録商標です。Aspire は、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。
その他、記載されている会社、製品名は、各社の商標および登録商標です。
なお、本書では ™、©、®マークは明記しておりません。
© 2018-2019 NEC Corporation
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびは、「Aspire WX」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「Aspire WX」は、オフィスで使用する電話機とパソコンなどの通信とを一体化し、インターネットやブロードバンド、モバイル通信などに即応できるシステムです。
操作面での向上だけでなく、環境に配慮した無駄の少ない拡張性を追求し、設置面でのコンパクト化を実現しました。
この取扱説明書では、次の電話機や機能について説明しています。

- 多機能電話機(DT500 シリーズデジタル多機能電話機および DT900 シリーズ IP 多機能電話機)
- 一般電話機
- ダイレクト通話料金管理
- ユーザープログラミング

また、オプション機器を利用した操作も記載していますので、必要に応じてご覧ください。
その他、オプション機器に説明書が添付されている場合には、その説明書も併せてご覧ください。
「Aspire WX」は、用途と規模に応じて次のようなシステム商品構成になっています。詳しくは『システムについて』(⇒P.5-2)を参照してください。

システム商品構成	制御ユニット	おもな機能と制限事項
基本 CPU	IP8D-CCPU-A1	• 制御容量は初期で、外線 12 ポート、内線 34 ポート(PHS を含む場合) • ボイスメール/VRS 機能内蔵(24 チャネル、録音時間:40 時間) • ライセンスの追加により、外線最大 400 ポート、内線最大 960 ポートまで拡張可能 • 通常の電話機能および料金管理機能が利用可能 • IP 電話機能(IP 内線・IP トランク・IP カメラドアホン)、AX リンク機能、ネットワーキング機能、CCIS 機能、ACD 機能などを利用する場合は、ライセンスが必要 • 増設架(基本モジュール+拡張モジュール)を 3 架まで収容可能 (注)初期の制御容量の場合、内線+外線のうち PHS を含まないときの多機能電話機、一般電話機、SIP 電話機などの合計は最大 26 台です。

商品構成	主装置	最大数	おもな機能
基本モジュール	IP8D-3KSU-B1	4	• ユニバーサルスロット:3 スロット – インタフェースユニットを 3 枚収容可能 – 基本架として利用する場合は、スロット 1 に CCPU を実装 • 電源ユニット(PSU-A1)を内蔵 • 拡張モジュール(3KSU-E1)を連結可能 • 設置には別売りの主装置縦置き自立足(STD UNIT)または壁掛けブラケット(WALL MOUNT BRACKET)が必要
拡張モジュール	IP8D-3KSU-E1	4	• ユニバーサルスロット:3 スロット – インタフェースユニットを 3 枚収容可能 • 基本モジュールに連結可能

商品構成	主装置	最大数	おもな機能
19 インチモジュール	IP8D-6KSU-A1	4	• ユニバーサルスロット：6 スロット – インタフェースユニットを 6 枚収容可能 – 基本架として利用する場合は、スロット 1 に CPU を実装 • 電源モジュールを内蔵 • 内蔵バッテリを収容可能 • 冷却ファン付き（約 4 年ごとに交換が必要）

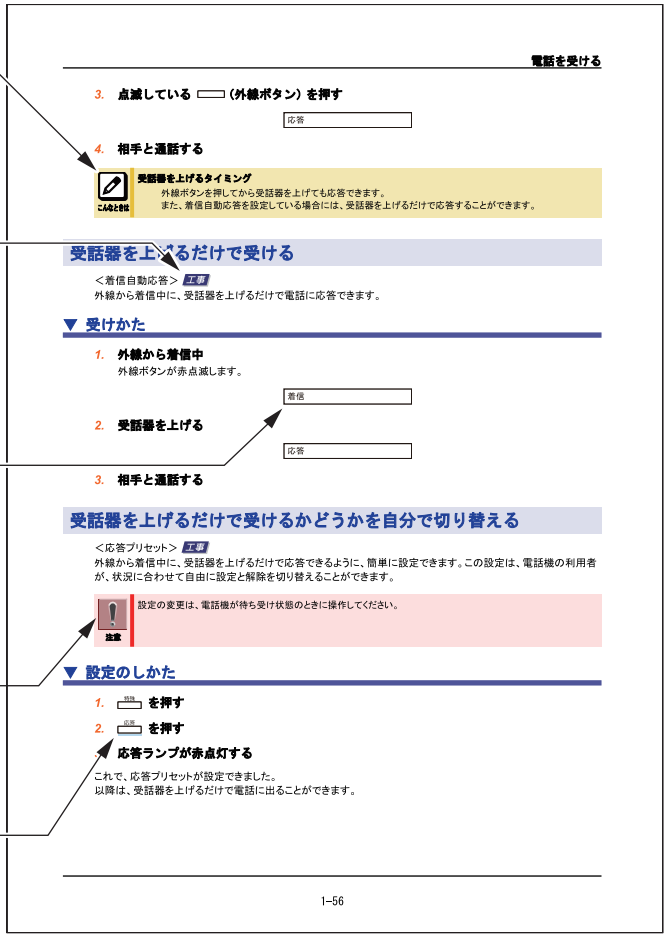
こんなときは

各種機能を利用するには

機器の追加や工事設定が必要な場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、次のマークを使って操作のしかたや注意事項、アドバイスなどを説明しています。



マーク

こんなときは

操作についてのアドバイスや、ほかに知っておくと便利な情報を記載しています。

工事 マーク

操作をするために、工事段階の設定やオプション機器などが必要な内容について記載しています。
また、あらかじめシステム管理者の方の設定が必要な内容について記載しています。この場合は、本書の『システム管理者の方へ』を参照して、設定を行ってください。

表示器（表示例）

本文では、操作中の電話機に表示される内容のうち、特に確認が必要な場合だけ、表示を記載しています。
通常の表示については『表示器の見かた』を参照してください。

マーク

注意

操作をするときに、注意していただきたい事項を記載しています。

ボタン

電話機のボタンをイラストで記載しています。手順の中に、イラストで記載されているボタンは、そのボタンを押すことを表しています。

ご使用の前に

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様へのお願い

ご使用の前に必ずお読みください。また、お読みになった後も大切にご保管ください。

このたびは、弊社Aspire WX（以下「本製品」といいます。）をお求めいただき、まことにありがとうございます。弊社では、本製品に内蔵されているソフトウェア（関連するマニュアル等の資料を含めて、以下「許諾プログラム」といいます。）のお客様によるご使用について、下記の「ソフトウェアのご使用条件」を設けさせていただいております。本使用条件を充分にお読みください。本製品または添付品をご使用になった場合には、本使用条件にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社（以下「弊社」といいます。）は、本使用条件とともにご提供する許諾プログラムを日本国内において使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待される効果を得るための許諾プログラムの選択、導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

許諾プログラムのいくつかは30日間ご試用いただけますが、ご試用期間を過ぎてお使いになるためには、ライセンス証をお求めいただき（有償）、ライセンス証に記載されたソフトウェアキーコードを使用し、弊社Webサイトを経由して入手したライセンスファイルまたは認証コードを本製品に適用していただく必要があります。ご試用にあたってもお客様は下記条項にご同意いただくものとします。

また、許諾プログラムには、オープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれているものがあり、これらのOSSには下記条項は適用されず、OSSの使用許諾条件が適用されるものとします。OSSの使用許諾条件の詳細およびGNU General Public Licenseのソースコード入手方法については、下記URLをご参照ください。

Aspire WXの主装置に適用されるOSS：
http://www.necplatforms.co.jp/cygnus/oss.html
Aspire WXのIP多機能電話機に適用されるOSS：
http://www.bcom.nec.co.jp/soft-license/DT900_OSS_jp.html

1. **期　間**
   (1) 本使用条件は、お客様が許諾プログラムの使用を開始された日に発効します。
   (2) お客様は、１カ月以上事前に、弊社宛て（弊社の宛先は本書の末尾に記載されたものとします。）書面により通知することによりいつにても本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
   (3) 弊社は、お客様が本使用条項に違反されたときはいつにても許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
   (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
   (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後直ちに本製品の使用を終了するものとします。

2. **使用権**
   お客様は、日本国内において許諾プログラムを本製品においてのみ使用することができます。

3. **許諾プログラムの複製、改変および結合**
   (1) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き、許諾プログラムの使用、複製、改変、結合その他の処分を行ってはなりません。
   (2) 本使用条件の他の規定にかかわらず、お客様はいかなる場合であってもマニュアル等の関連資料を複製することはできません。
   (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. **許諾プログラムの移転等**
   お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、および許諾プログラムが内蔵された本製品を全て引き渡すことを条件にお客様は許諾プログラムの使用権を第三者に移転することができます。

5. **逆コンパイル等**
   お客様は、許諾プログラムを逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. **保証の制限**
   弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。ただし、弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正し、本製品の全てのお客様に対し当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量によりなした場合には、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下、これらのプログラムを「修正プログラム」といいます。）またはかかる修正に関する情報を弊社Webサイトを経由するなどしてお客様に提供するものとします。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムとみなします。

7. **責任の制限**
   弊社は、いかなる場合も、お客様の損失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求にもとづく損害について一切責任を負いません。また、弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任は、その法律上の構成の如何を問わず、お客様が実際にお支払になった許諾プログラムの代金相当額をもってその上限とします。

8. **その他**
   (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムを日本国から輸出してはなりません。
   (2) 本契約にかかわる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。
   (3) 本使用条件は、本ソフトウェア製品の使用許諾についての証明ですので、お客様はこれを大切にご保管ください。
   (4) The “Kyodaku-Program” is a “commercial item” as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, NEC provides the “Kyodaku-Program” to U.S. Government End Users only pursuant to the terms and conditions therein.

ご連絡先

NECキーテレフォンインフォメーションセンター
E-mail：info@kts.jp.nec.com

安全に正しくお使いいただくために

本マニュアルには、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

安全に関わる表示

本マニュアルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。
それぞれの用語は以下の意味を持つものとして定義しています。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険に対する注意、表示の具体的な内容は、「行為の禁止」、「行為の強制」、および「注意の喚起」の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は以下のような意味を持つものとして定義しています。

行為の禁止：行為の禁止は「してはいけないこと」を示しています。

	一般的な禁止を示します。
	外部の火気によって発火する可能性がある場合に示しています。
	機器の特定の場所に触れることによって、傷害が起こる可能性がある場合に示しています。
	風呂、シャワー室で使用すると漏電によって感電や発火が発生する可能性がある場合に示しています。

行為の強制：行為の強制は「必ずしなければならないこと」を示しています。

	特定しない一般的な使用者への行為を指示する場合に示します。
	使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示する場合に示します。
	使用者に必ずアース線を接続するように指示する場合に示します。

注意の喚起：注意の喚起は「指示を守らないと、危険が発生するおそれがあること」を示しています。

	特定しない一般的な注意の場合に示します。

	発火の可能性を注意する場合に示します。
	破裂の可能性を注意する場合に示します。
	感電の可能性を注意する場合に示します。
	高温になる可能性を注意する場合に示します。
	ドアなどに指が挟まる可能性を注意する場合に示します。
	レーザ放射に露光する可能性を避けるための注意をする場合に示します。

- この装置は、技術基準適合認証品です。
  IP8D-3KSU-B1 使用時の技術基準等適合認定番号:ACDE18-0088001
  IP8D-6KSU-A1 使用時の技術基準等適合認定番号:ACDE18-0099001
  IP カメラドアホン(IP3D-IPCDH)の技術基準等適合認定番号:DE12-0194001
  IP8D-RTU-A1 の技術基準等適合認定番号:D18-0100001, M18-0004
  IP8D-IPTU-A1 の技術基準等適合認定番号:DE16-0328001, M16-0028
- JIS C 61000-3-2 適合品
  本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解いただき、本製品を安全にご利用ください。記号の説明については『安全に関わる表示』(⇒P.v)を参照してください。

購入、設置、据付時

警 告	
	本体装置および周辺機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。 火災・感電・故障の原因となります。
	日光が直接または長時間あたる場所、粉塵の多い場所、暖房器具などの発熱物の近くなどには、設置しないでください。 故障・感電・火災の原因となります。

警 告	
	湿度が異常に高い場所や水を扱う場所では、使用しないでください。 故障・感電・火災の原因となります。
	引火性のガスや発火性の物質がある場所では、絶対に使用しないでください。 火災・爆発の原因となります。
	あらかじめ設置時に指定する電源以外は、絶対に使用しないでください。また、指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	指定または付属の AC アダプタ/充電器/充電台以外を使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	本体装置および周辺機器には、必ず添付している電源コードを使用してください。また、本体装置および周辺機器に添付している電源コードを他の装置に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	指定または付属の電源プラグ/AC アダプタ/充電器/充電台/電池パックは取扱説明書に指定の電源コンセントに接続してください。 それ以外のコンセントに接続すると、火災・感電・故障の原因となります。
	電源プラグはシステムの電源容量を満たす専用コンセントへ直接接続してください。
	電源の延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

警 告	
	タコ足配線はしないでください。 火災・過熱の原因となります。
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、ゆるみがないこと、電源プラグの金具および金具の周囲にほこりが付着していないことを確認してください。 ほこりが付着している場合、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
	モジュラーローゼットやモジュラーコードは床に配置せず、水や洗剤などに濡れない場所に固定してください。 水に濡れたりした場合、火災の原因となることがあります。
	開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	濡れた手で機器を触ったり、電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・故障の原因となることがあります。
	AC アダプタや、電源コードおよび各装置までの配線の上に物を置いたり、傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、キャスター付きのイスを移動する場合などは、踏んだり、巻き込んだりしないように、ご注意ください。 重いものをのせたり、加熱されたり、引っぱったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。
	AC アダプタや充電器は、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。 感電の原因となります。

注 意	
	壁掛け使用時は落下にご注意ください。 けがの原因となることがあります。
	壁掛け用に取り付ける場合は、機器の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。 けがの原因となることがあります。

注 意	
	重量のある本体装置や周辺機器を持つ場合は、腰を痛めないため、また、落下事故防止のために移動および運搬は 2 人以上で行ってください。また、これらを運搬するときは適切な箇所を持ってください。 他の部分を持つと、手がすべってけがをしたり、機器の一部を破損する恐れがあります。
	電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。 指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
	本体装置および周辺機器には取扱説明書/工事マニュアルに従って指定のネジをご使用ください。 火災・感電・事故の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所には置かないでください。 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。また、本体装置および周辺機器の上に物を置いたり、乗ったりしないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	振動・衝撃の多い場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	電源コードおよび各装置までの配線を熱器具に近付けないでください。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを無理に折ったり、引っ張ったりしないでください。また、AC アダプタの抜き差しは、途中の電源コードを持たないで、プラグを持って行ってください。 電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
	感電防止または、安全のため、アース端子は必ず接続してください。ガス管などへの接続は危険ですので、絶対に行わないでください。また、アース端子をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。 漏電時、感電の原因となります。

注 意	
	移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	周辺機器の接続、取り外しなどを行う場合は、周辺機器の電源を OFF にし、電源プラグを外してから行ってください。 故障・感電・火災の原因となることがあります。
	本体装置および周辺機器の移動、転倒により人身事故防止のため、耐震工事の施工が必要です。また、モーターや自動扉など常時振動が発生している場所に設置しますと、接触不良を起こして故障する原因となります。地震対策として、本体装置の設置には、アンカーボルトを使用することが望まれます。
	カード/パッケージの取り付け、取り外しの際に、基板のハンダ面や端子に直接手を触れないでください。 感電・けがの原因となります。また、装置の金属部による指などのけがにもご注意ください。

使用方法、用途以外の使用

警 告	
	お客様が用意された機器を本体装置および周辺機器に接続して使用される場合は、あらかじめ販売店または保守会社に確認してください。確認していない場合は、絶対に接続しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	AC アダプタは、周辺機器および指定の電池パックの専用品です。他の製品、用途では絶対に使用しないでください。 故障の原因となります。
	本体装置および周辺機器に使用している電池やメモリーカードを取り外した場合は、小さなお子様があやまって飲み込むことがないように、幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	本体装置および周辺機器の上や近くに水などの入った容器(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等)または小さな金属物を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

警 告	
	モジュラーコードに液体が付着しないようにしてください。また、モジュラーコードに洗剤などが付着したときには直ちに拭き取ってください。床や壁などの清掃時に洗剤や飲食物がモジュラーコードを伝いモジュラーローゼットに浸入すると、発煙・発火事故の原因になることがあります。
	ディスプレイ(LCD)部を有する装置は、ディスプレイ(LCD)部を傷つけたり破損しないようご注意ください。破損した場合は、内溶液がこぼれ、人体に悪影響を及ぼしたり、装置の故障の原因となります。万一、内溶液が口に入ってしまったときは、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄してください。
	電源コードおよび各装置までの配線を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、AC アダプタに電源コードをきつく巻きつけるなどして、根本部分に負担をかけないでください。根本部分に負担をかけたまま、あるいは傷んだまま使用すると、芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となります。
	本体装置および周辺機器の内部に触れたり、分解・改造しないでください。無線機器の場合、改造は電波法違反にもなります。分解、改造された機器は、修理に応じられない場合があります。 火災・感電・故障の原因となります。
	充電端子、サービスコンセント、コネクタなどを金属でショートさせないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	充電端子、サービスコンセント、コネクタなどに水や液体をかけたり、水滴のついたまま充電、または使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	本体装置および周辺機器を濡らさないでください。 水やペットの尿などの液体が入ると発熱・感電・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
	近隣で落雷が発生している場合は、非常に危険ですので、機器から離れ、機器や電源コードに触れないでください。雷が収まってから機器を点検し、異常があれば販売店または保守会社にご相談ください。 落雷などによる停電があった場合は、販売店または保守会社にご相談されることをお奨めします。
	本体装置および周辺機器は、航空宇宙用、公共の幹線通信用、原子力制御用、運送用(列車、自動車等)、生命の維持に関わる医療用等、極めて高度な信頼性・安全性・耐久性が求められる用途への使用を想定していません。これらの用途には使用しないでください。

警 告	
	本体装置および周辺機器を、防災防犯用、各種通報用、生命の維持に関わらない医療用など、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる機器への連動装置として使用する場合、運用を含むシステム機器全般として、故障・誤動作等を想定した冗長、信頼性設計を施してください。 また、本体装置および周辺機器の信頼性・安全性を維持するため、定期保守点検や定期交換部品および消耗品の交換を適切に行ってください。

注 意	
	突起部に身体（頭、足、腕等）をぶつけないようにご注意ください。 けがの原因になります。
	本体装置および周辺機器にもたれかかったりしないでください。 転倒し、けがの原因になります。
	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・保管・放置しないでください。 機器の変形・故障や、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・性能や寿命の低下の原因となります。 また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
	電池は極性表示（プラスとマイナスの向き）を確認してから機器内に挿入してください。 間違えた場合、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
	機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

保守・点検

警 告	
	お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、鉛蓄電池の接続や交換などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、鉛蓄電池の接続や交換などを行うときは、販売店にご依頼ください。

警 告	
	販売店または保守会社以外による電源の修理・移動は危険ですので絶対におやめください。電源の修理・移動を行うときは、販売店または保守会社にご相談ください。
	主装置のカバーを開けないでください。内部の点検、調整、清掃、修理は販売店にご依頼ください。感電の原因となることがあります。
	万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。また、電源プラグがコンセントにしっかりささっているかかご確認ください。 また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。なお、点検に関しては販売店にご相談ください。 電源プラグにほこりが溜まっていたりすると、火災の原因となります。
	一次電池、および二次電池の取り外しを行う場合は、取扱説明書/工事マニュアルに従って必ず手順通りに行ってください。 決まった手順通りに行わないと、火災・感電・故障の原因となります。

注 意	
	火災、水害、地震などの対策や操作員などに対する安全を十分考慮するとともに、装置設置室は常に清掃することが必要です。また、ネズミの侵入（ケーブル類に対する被害など）、害虫の発生を防ぐために薬剤の散布をするときは、装置類に影響のないようご注意ください。

異常時の処置

警 告	
	主装置の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用しないでください。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。 電源コードおよび配線などが傷んだ状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

警 告	
	万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または保守会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	万一異物が本体装置および周辺機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または保守会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	万一、次のような異常状態を発見したら、すぐに主装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認し、販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 • 主装置から異常音がする • 主装置本体のキャビネットが熱くなっている • 煙が出ている • へんな臭いがする – そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	万一、本体装置および周辺機器を落としたり、倒したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または保守会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災、感電・故障の原因となります。
	万一、アラームが発生した場合には、扉を開けずに販売店または保守会社にご連絡ください。
	万一、本体装置および周辺機器の内部のヒューズ切れなどにより使用不能となった場合は、販売店または保守会社にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。 火災・感電の原因となることがあります。

注 意	
	火災発生時は電気火災用消火器（炭酸ガス消火器またはハロンガス消火器）をご使用ください。また、自動火災報知設備の設置が望まれます。 万一、発煙や火災が発生した場合には、本体装置の主電源およびバックアップ用蓄電池の電源を切ってください。 つぎに、電気火災用消火器（炭酸ガス消火器またはハロンガス消火器）により消火してください。なお、消火の際には極力煙を吸い込まないようにご注意ください。

保管時の禁止事項

注 意	
	保管の際は、ほこりや水、金属などの異物が入らないように注意してください。 異物が入ったまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

廃棄

注 意	
	使用済みの電池/電池の入った製品は火中に投げ入れないでください。 爆発して火災・やけどの原因となることがあります。

鉛蓄電池について

警 告	
	鉛蓄電池は、電解液の比重や液量の管理が必要であった従来のものから、寿命まで電解液の管理が不要なメンテナンス・フリーといわれる小型鉛シール蓄電池に切り変わりつつありますが、以下の点にご注意ください。 1. 鉛蓄電池の電解液は、人体に有害です。万一、鉛蓄電池の電解液が人体に付着したときは、多量の水で洗い流したあと、直ちに医師の治療を受けてください。 2. 鉛蓄電池をショートさせたり、火気に近付けたり火の中に入れたりすることや破損（分解、落下、衝撃等）することのないように、お取り扱いに十分ご注意ください。 3. 電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しないでください。 4. 金属工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。 • 鉛蓄電池の損傷により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。 5. メンテナンス・フリーと呼ばれる鉛蓄電池でも寿命はあります。寿命は、周囲温度により大きく左右されますが、小型シール蓄電池でも 3 年、屋外や温度の高い環境に設置しますと 1 年程度に短くなります。寿命を過ぎた鉛蓄電池を接続したままにしておくと、停電時の電源バックアップができず周辺装置の正常動作が保証できないばかりか、鉛蓄電池の液漏れ事故により発煙・焼損事故になることがありますので、定期交換を必ず行ってください。なお、鉛蓄電池は定期交換部品ですのでお客様の費用負担となります。定期交換を確実にするために、販売店または保守会社との間で定期保守契約を結ばれることをお勧めします。
	鉛蓄電池を分解・改造したり、電池に貼ってあるビニールをはがさないでください。 鉛蓄電池の点検・調整・清掃・修理は販売店にご依頼ください。 鉛蓄電池の液もれ、発熱、破壊等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

警 告	
	鉛蓄電池は火気の近くや、密閉区間には設置しないでください。 爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。
	機器で指定されていない鉛蓄電池は使用しないでください。また、新しい鉛蓄電池と古い鉛蓄電池を混ぜて使用しないでください。 鉛蓄電池の破裂、液漏れにより、火災、火傷、けがや周囲を汚染する要因となることがあります。
	鉛蓄電池を単体では充電しないでください。 鉛蓄電池の液もれ、発熱、破壊等により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。
	鉛蓄電池内部の液が目に入ったときには、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
	• バックアップバッテリーは定期的(1 年～2.5 年以内)に交換してください。 また、寿命の過ぎたバッテリーは使用しないでください。 ケースが割れたり液漏れにより、漏電、発煙、発火の原因となることがあります。 周囲温度が高くなる場合は交換の周期が短くなります。 • バッテリーの交換は、販売店に依頼してください。お客様による交換は絶対にお止めください。 • 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
	鉛蓄電池は極性表示(プラスとマイナスの向き)を確認してから機器に挿入してください。 間違えますと、鉛蓄電池の破裂、液もれにより、火災・やけど・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

リチウムイオン電池について

警 告	
	リチウムイオン電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。 1. 充電は、コードレス電話機以外では行わないでください。 2. リチウムイオン電池パックは、端子の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、端子の向きを確かめて正しく差し込んでください。 3. リチウムイオン電池パックを単体では充電しないでください。 4. 専用のリチウムイオン電池パックを使用してください。また、専用のリチウムイオン電池パックは、ほかの機器には使用しないでください。 5. 火の中に投入したり、加熱、加工しないでください。 6. 直接はんだ付けしないでください。 7. リチウムイオン電池パックを分解、改造しないでください。 8. リチウムイオン電池パックを金属製品と一緒に持ち運んだり保管しないでください。液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
	リチウムイオン電池は、火のそばや炎天下などで充電したり放置しないでください。 電池が発熱・破裂・発火する原因になります。
	リチウムイオン電池パック内部の液が眼に入った時には、失明の恐れがありますので、こすらずに、直にきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
	リチウムイオン電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害をおこす恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い流してください。
	リチウムイオン電池パックを水や海水につけたりぬらさないでください。 リチウムイオン電池パックを発熱させたり、さびの原因となります。
	リチウムイオン電池パックの液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気が付いた時には、使用しないでください。
	リチウムイオン電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

注 意	
	• リチウムイオン電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 • リチウムイオン電池パックは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

コードレス電話機の設置について

警 告	
	濡れた手で、本機を操作したり、接続したりしないでください。 感電の原因になることがあります。
	万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	ふろ場やシャワー室など、水がかかる場所では使用しないでください。また、本機に水が入ったり、濡れたりしないように注意してください。 火災・感電の原因となります。
	本機のそばに花びんや植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。
	開口部から本機の内部に金属物を差し込まないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	本機を分解しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。 改造は電波法違反にもなります。

警 告	
	AC アダプタは、必ず指定のものを使用してください。 指定以外の AC アダプタを使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。 電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

注 意	
	次のようなところには置かないでください。 • 直射日光があたるところ • 温度の高いところ • 調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるところ • ほこりの多いところ – 火災・感電の原因となります。 • ぐらついた台の上や傾いたところ • 不安定なところ • 振動や衝撃の多いところ – 倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
	デジタルコードレス電話機およびカールコードレス電話機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
	デジタルコードレスおよびカールコードレス電話機の設置にあたっては、設置業者による事前環境調査を行ってください。 お客様による設置および移設工事、または設置業者であっても環境測定を行わない設置の場合、この機器が正しく動作しないばかりではなく、他の電気機器に影響を与える場合があります。
	万一、デジタルコードレス電話機およびカールコードレス電話機から、移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにこの機器の電波の発射を停止した上で（親機に接続されている電話機コードを抜き、子機の電池パックをはずします）、お買い上げの販売店に混線回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
	コードレス電話機等のアンテナをあやまって目にささないようにしてください。
	デジタルコードレス電話機およびカールコードレス電話機は、デジタル信号で無線を行っているため傍受されにくくなっていますが、通常の手段を越えた方法で第三者が故意に内容を傍受する可能性があります。この点について十分に配慮して使用してください。機密が必要な通話は、有線の多機能電話機を使用することをお勧めします。
	移動しながら使用するときは、位置や向きによって雑音が入ることがあります。

注 意	
⚠	同一室内で、無線 LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話に雑音が入る場合があります。
❗	本機に異物や水などが入ったときは、すぐに電源を切り、電話機コードを抜いて販売店にご連絡ください。
🚫	充電端子をショートさせないでください。
🚫	充電端子に水滴がついたまま子機を親機にのせて充電しないでください。

そ の 他

- カールコードレス電話機は、2.4～2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は、「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 mです。この機器（親機、子機ともに）には、それを示す右記のマークが貼付されています。

  2.4 FH 8

- カールコードレス電話機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- BCA-ZD UNIT（Bluetooth コネクションアダプタ）は、2.4～2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は、「FH-SS 方式」、与干渉距離は 10 mです。BCA-ZD UNIT には、それを示す下記のマークが貼付されています。

  2.4 FH 1

- BCA-ZD UNIT（Bluetooth コネクションアダプタ）の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- Carrity-BR は、2.4～2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可で、変調方式は、「FH-SS 方式」、与干渉距離は 10m です。この機器には、それを示す下記のマークが貼付されています。

  2.4 FH 1

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- WFA-KD UNIT（ワイヤレスアダプタ）は、2.412～2.472GHz の全帯域を使用する無線設備です。
  移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS 方式」および「OFDM 方式」、与干渉距離は 40m です。この機器には、それを示す下記のマークが貼付されています。

  2.4 DS / OF 4

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

IP カメラドアホンの取り扱いについて

警 告	
	お客様による設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対にお止めください。設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、販売店にご依頼ください。
	濡れた手で LAN ケーブルを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	LAN ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください。LAN ケーブルが傷んだら、販売店に修理をご依頼ください。 LAN ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。
	開口部から内部に金属類や可燃性などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに LAN ケーブルを抜くか給電 HUB や AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認し、販売店に点検・修理をご依頼ください。 火災・感電・故障の原因となります。
	火の気を近づけたり、加熱しないでください。 発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。
	万一、次のような異常状態を発見したら、すぐに LAN ケーブルを抜くか給電 HUB や AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認し、販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 • IP 電話機または IP カメラドアホンから異常音がする • IP 電話機または IP カメラドアホンが熱くなっている • 煙が出ている • 異常音がする • へんな臭いがする – そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	分解しないでください。 火災・感電の原因となります。

注 意	
	開口部をふさがないでください。 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。
	電気雑音を発生するものの近くに置かないでください。 通話に雑音が入ったり、使用できないことがあります。 〈電気雑音の原因としては〉 • 放送局や無線局（アマチュア無線、CB 無線など）の近くで使用する場合 • テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 • 高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機器の近くで使用する場合
	シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきんのような化学薬品類、及び、これらの有機溶剤を含むクリーナーを使用すると、変色・変形・ひび割れの原因となりますので、絶対に使用しないでください。

使用上のご注意

本製品を正しく動作させるために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解いただき、本製品を正しくご利用ください。記号の説明については『安全に関わる表示』（⇒P.v）を参照してください。

購入、設置、据付時

注 意	
	この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外では使用できません。 This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
	温度・湿度条件は、本体装置および周辺機器の動作条件内でご使用ください。 故障の原因になります。
	薬品や化学物質などを扱う場所では、使用しないでください。 故障・火災の原因となります。
	ラジオ、テレビ、携帯電話など電波を利用した機器の近くに、設置したり、使用しないでください。 テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。（放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。）

注 意	
	強い磁界が発生する機器の近くに、設置したり、使用しないでください。 違法電波を受ける場所では使用しないでください。 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることあります）。
	周辺機器は無線を利用しているため、接続装置から遠く電波の弱い場所や電波の届かない場所、サービスエリア外、および強い静電気の影響を受けやすい場所ではご使用になれません。 電波が強くアンテナマークが正常に表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
	設置は工事マニュアルに指定された方法および部材を用いて行ってください。
	本体装置および周辺機器に他の機器を近接配置する場合、当該機器の設置・運用基準を必ず守ってください。 本体装置および周辺機器が誤作動する原因になることがあります。
	直射日光の当たるところ、温度の高いところ又は屋外に置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	温泉地など硫化水素の発生する場所や海岸などの塩分の多い所でお使いになると、本体装置および周辺機器の寿命が短くなることがあります。
	電話機は平らな面に置いてお使いください。 落下や故障の原因となることがあります。
	電話機コードを引っ張らないでください。 故障の原因となることがあります。
	電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となることがあります。
	本体装置および周辺機器の通風孔をふさがないでください。 次のような設置のしかたはしないでください。 • 主装置を仰向けや逆さまなど、指定以外の向きでの設置。 • 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。 • 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。 • 主装置にテーブルクロスなどをかける。 • 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。 – 主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

注 意	
	強い静電気の影響を受けやすい場所でのご使用は避けてください。 まれに、誤動作などを引き起こす場合があります。
	本体装置および周辺機器のケーブル接続は、当社指定または機器添付のケーブルを使用してください。特に指定がないケーブルに関しても、伝送性能や安全性などを考慮し選定して使用してください。不明点がある場合は、販売店または営業にご相談ください。
	電源コードの工事・敷設においては、工事者や機器使用者が引っかける恐れのある場所に電源コードを這わせたり、保守・工事者が差し込み口を含めた電源コードの状態を容易に確認できない場所へは収納しないでください。また、電源コードの安全性を損なうことが容易に判断できる工事・敷設はしないでください。
	壁および天井に使用される建材には、帯電しにくいもの、断熱効果が高く不燃性のものなどを考慮してください。蓄電池の寿命は周辺温度に大きく左右されますので、蓄電池設備を設置しようとする装置設置室には、屋外に通じる有効な換気設備(換気口または換気扇)が必要です。また、モーターやトランスなどの熱源からは極力離す必要があります。
	雷災害(直接被雷の他、電源線や通信線等を経由して雷サージを受ける場合があります)による本体装置または周辺機器への被害を最小限にするために適切な接地が必要です。 接地線についてはA種(第一種)接地(10Ω 以下)とD種(第三種)接地(100Ω 以下)が必要です。 特にA種(第一種)接地は本体装置の電子回路接地としても使用しますので、単独系統にしてください。 ・ 接地線の詳細については工事マニュアルを参照してください。
	アナログ停電電話機収容時は、直流抵抗が 414Ω になります。電話機を含めた直流抵抗が 1700Ω 以上となる場所では、ご使用になれません。
	FAX にて個人情報など大切な情報を送信する場合は、相手をよくご確認の上送信されるか、誤送信防止機能やセキュリティ機能を備えた FAX をご使用ください。

使用方法、用途以外の使用

注 意	
	本体装置および周辺機器は日本国外ではご使用になれません。
	磁気記録を使用している記録媒体を本体装置および周辺機器に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。
	お客様ご自身で本体装置および周辺機器に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

注 意	
	本体装置および周辺機器の故障、誤動作、電池パックの消耗、または、停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
	「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。 • 初期パスワードは、保守運用における初期設定のために設けられています。パスワードの安全性を高めるため、初期設定時の他、定期的に変更してください。 • パスワード変更を行っても、強度の低いもの（桁数の少ないもの）や容易に考えられるもの（“123456789”, “abcdefg”, “password”, “Administrator” など）では不正アクセスの防止が困難です。強度の強いパスワード（8 文字以上および英大文字・小文字・数字・記号を混在させ、容易に推測できないような複雑な設定）に変更してください。 • ネットワークを介して制御できる機器において、その制御用パスワードを初期値のまま運用すると、悪意のある第三者による不正アクセスを許すリスクが発生します。もし初期パスワードのまま運用して不正アクセスの被害が発生した場合、情報漏えいのみならず、可用性や完全性を阻害してシステムに被害を生じさせたり、ボットネットによるサイバー攻撃の足場に悪用されたりする可能性があります。もし初期パスワードのまま運用して不正アクセスの被害が発生した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
	本体装置および周辺機器の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために発生した障害等の純粋経済損害には、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
	電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
	必要以上に音量を上げないでください。 ハウリングなど通話品質の低下を招くばかりでなく、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

保守・点検

注 意	
	お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	電話機の汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。特に汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を薄めてご使用のあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
	シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきんのような化学薬品類、及び、これらの有機溶剤を含むクリーナーを使用すると、変色・変形・ひび割れの原因となりますので、絶対に使用しないでください。

注 意	
	製品に含まれる空冷用ファン、蓄電池、メモリバックアップ用電池、ハードディスク装置、ヒューズなどの定期交換部品は、所定の周期にて定期交換してください。交換せずに所定の周期を越えて使用しますと、当該部品の突発事故のみならず、システム全体の故障や損傷にもつながることがあります。 記録用紙、プリンタトナーなどの消耗品は使用状況により交換してください。
	本体装置および周辺機器の設置工事、配線作業、修理、移動、鉛蓄電池の接続や交換などを行うときは、販売店にご依頼ください。お客様による本体装置および周辺機器の設置工事、配線作業、修理、移動、鉛蓄電池の接続や交換などは危険ですから絶対におやめください。
	ユニットのメークビジー後の抜き差しを除いて、取付・配線工事は、必ず主装置の電源を切断し、電源コードを AC コンセントから抜いた状態で行ってください。 感電・故障の原因となります。
	主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

異常時の処置

注 意	
	雷による直接被雷があった場合、以下のことに注意してください。 • 落雷により通信回線が使用不可になった場合は、該当カード/パッケージを継続使用せず、代品への交換を行ってください。 • 落雷で故障したカード/パッケージ類は修理できません。落雷を受けたカード/パッケージ類は、製品としての品質保証対象外です。 • 落雷や雷サージによる製品の損傷は広範囲に及ぶ恐れがあり、複数のカード/パッケージ類の交換が必要になります。したがって、買取の場合は、動産保険に加入していただくことをお勧めします。
	落雷以外に装置にダメージを与える要因として、回線ケーブルや MDF/IDF 端子盤の絶縁耐力の低下等の特性劣化、また電力線や他の通信回線との混触による外部異常電圧の印加があります。

保管時の禁止事項

注 意	
	製品を保管する場合は、梱包状態のまま保存してください。保存場所は、各機器の仕様と同等の環境(主装置:周囲温度 0～40℃、湿度 10～90%)を維持できる場所に保存してください。詳しくは、販売店にご相談ください。

廃棄

注 意	
!	不要バッテリーは産業廃棄物として処理してください。環境保護のために廃棄方法を法律で規制しています。産業廃棄物処理業者に依頼されるか、販売店にご相談ください。
!	本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。お客様固有の情報は、CPU 上の SD メモリーカードに保存されています。本商品内に保存または保持された情報の流出による不足の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、SD メモリーカードに保存された情報を消去する必要があります。下記に従って消去または直接 SD メモリーカード上のデータを消去できます。詳しくは、販売店にご相談ください。 • 取扱説明書の発信履歴:『▼ 発着信履歴をすべて削除する』(⇒P.1-121)を参照し、発信履歴をすべて消去してください。 • 取扱説明書の着信履歴:『▼ 発着信履歴をすべて削除する』(⇒P.1-121)を参照し、着信履歴をすべて消去してください。 • 取扱説明書の個別短縮ダイヤル登録:『▼ 消去のしかた』(⇒P.1-51)を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。 • 取扱説明書の共通短縮登録:『▼ 消去のしかた』(⇒P.1-51)を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。 • 取扱説明書のワンタッチボタン登録:『▼ 解除のしかた』(⇒P.5-32)を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて解除してください。 • 取扱説明書の着信転送登録:『《解除のしかた》』(⇒P.1-77)を参照し、転送設定をすべて解除してください。

鉛蓄電池について

注 意	
!	本体装置では非常用バックアップ電源として、充電可能な鉛蓄電池を使用しています。周辺装置の正常動作や、停電時のバックアップを保証するために、必ず定期交換を行ってください。
!	鉛蓄電池の交換時期をラベル等で表示しています。 ※ 鉛蓄電池の表示ラベル例 お願い 蓄電池取り替えについて 本蓄電池の設置年月は　年　月です 蓄電池の交換期限は　年　月です シール鉛蓄電池はシステム環境平均温度(年間平均)により下記を期限として交換することが必要です システム環境温度 / 25℃以下 / 25～30℃ / 30～40℃ 蓄電池交換期限 / 3年 / 2年 / 1年 交換期限を守らずに、寿命期を過ぎたまま使用し続けますと、液漏れ、発火、発煙などの不具合が発生する恐れがあります!! 注意 けが、やけどを防ぐため次の点にご注意。 ○ショートや火気の接近は危険。 ○火の中に入れたり、蓄電池の破損(分解、落下、衝撃等)は危険。 ○密封容器内での使用は危険。 もし誤ってバッテリー液(希硫酸)がついたときは直ちに多量の水で洗ってください。

多機能電話機について

注 意	
!	本電話機は、有寿命の電子部品(液晶ディスプレイ、内蔵フラッシュメモリ、電解コンデンサ、音響部品など)を搭載した製品です。有寿命部品の交換時期は使用頻度や条件により異なりますが、故障した場合は交換修理が必要です。
!	カラー液晶ディスプレイは、液晶パネルの特性や製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。非常に高度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また見る角度や温度変化によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

各種規制について

本製品を扱う上での各種法規制について記載しています。

輸出規制について

- 本製品のうち、外国為替及び外国貿易法の規定により規制貨物等(又は役務)に該当するものについては、日本国政府の輸出許可が必要です。
- 本製品がユーザ判定の結果、外国為替及び外国貿易法の規定による規制貨物等(又は役務)に該当する場合には、日本国外に輸出する際に日本国政府の輸出許可が必要です。
- 本製品には米国の輸出関連法令の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI－A

高調波電流規格について

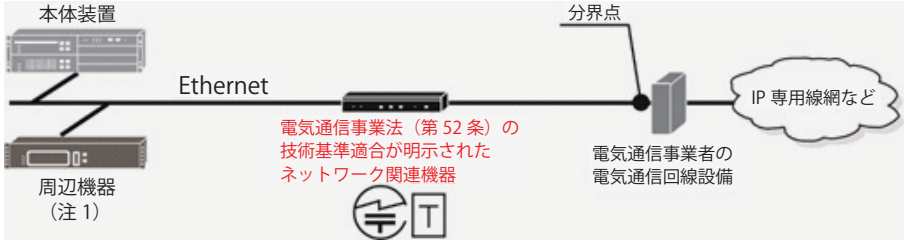
- 本体装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に準用しています。

使用周波数帯について

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
  2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、販売店または保守会社にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
  3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店または保守会社へお問い合わせ下さい。

電気通信事業法について

- 本体装置および周辺機器の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- アナログ停電電話機収容時は、直流抵抗が 414Ω になります。電話機を含めた直流抵抗が 1700Ω 以上となる場所ではご使用になれません。
- IP を使用した機能を利用して他拠点と接続運用する場合、Ethernet インタフェースを持つ本体装置および周辺機器と、電気通信事業者の電気通信回線設備との間に、電気通信事業法（第 52 条）の技術基準適合が明示されたネットワーク関連機器（ルータ、セキュリティ機器など）を接続のうえ、運用して下さい。



（注 1）ここでいう周辺機器については、周辺機器マニュアル（IP 機器編）で説明している機器のことをいいます。

音楽の著作権について

- お客様によって導入した着信音、保留音の音源（音楽ファイル、BGM 等）に関しては、著作権侵害にあたらないことを十分確認した上で、ご使用願います。また、使用した音源によって生じたいかなる損害やトラブルについても、当社は責任を一切負いかねます。

消防法/火災予防条例について

- 火災予防条例では、屋内に設置できる蓄電池の総量（定格容量と電槽数との積[Ah・セル]）を規定しています。蓄電池設備を設置する場合には、同一区画の合計 Ah・セルをご確認のうえ、4,800Ah・セル以上となる場合には、管轄の消防署に事前相談を行い、対応する必要があります。
- 蓄電池設備を増設することにより、同一区画の合計 Ah・セルが 4,800Ah・セル以上となる場合にも、同様に管轄の消防署に事前相談を行い、対応する必要があります。
- 条例キュービクル適合品票のある蓄電池設備であっても、必ず管轄の消防署にご相談ください。

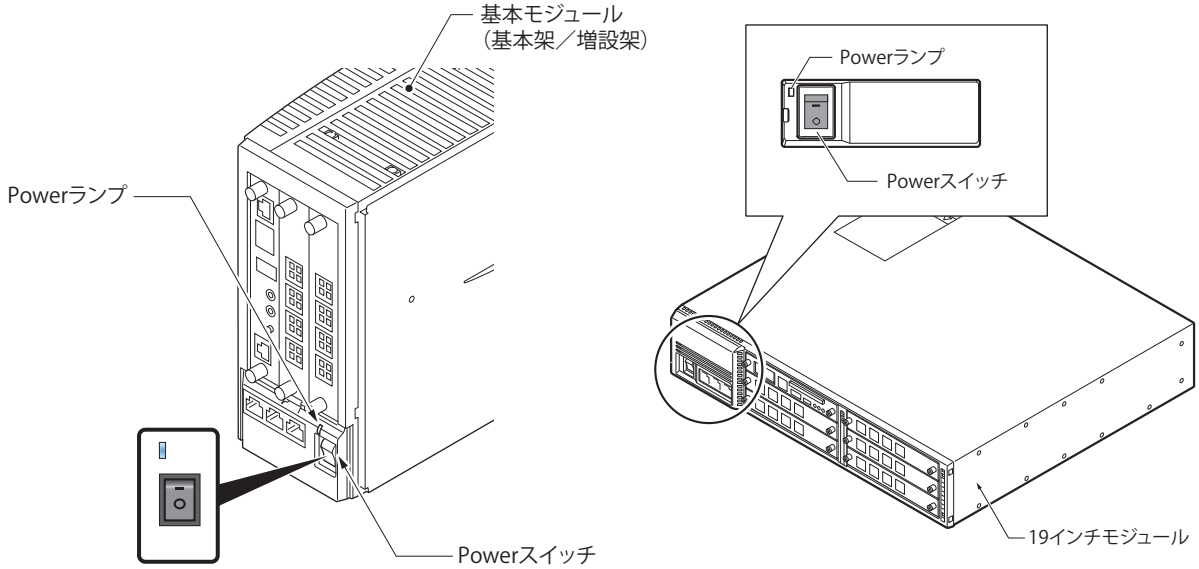
電源の切りかた、入れかた

《電源の切りかた》

1. Power スイッチの OFF 側(○)を押す
   Power ランプが消灯して電源が切れます。
   ※ 増設架を使用している場合は、基本架→増設架の順に Power スイッチを押して、電源を切ってください。

注意

システムの電源を切った直後に電源を入れないでください。いったん電源を切った場合は、システムが確実に停止したことを確認後、3 秒以上経過してから電源を入れてください。



《電源の入れかた》

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する
2. Power スイッチの ON 側(|)を押す
   Power ランプが点灯してシステムが起動します。しばらくすると、電話機の表示器に時計表示が出ます。
   ※ 増設架を使用している場合は、増設架→基本架の順に Power スイッチを押して、電源を入れてください。

目次

重要なお知らせ. i
ご注意. i
NTT の電話機などをレンタルで利用している方へ. i
登録商標について. i
はじめに. ii
この取扱説明書の見かた. iii
ご使用の前に. iv
ソフトウェア使用許諾契約書. iv
安全に正しくお使いいただくために. v
安全に関わる表示. v
安全上のご注意. vi
購入、設置、据付時. vi
使用方法、用途以外の使用. x
保守・点検. xii
異常時の処置. xiii
保管時の禁止事項. xv
廃棄. xv
鉛蓄電池について. xv
リチウムイオン電池について. xvii
コードレス電話機の設置について. xviii
IP カメラドアホンの取り扱いについて. xxi
使用上のご注意. xxii
購入、設置、据付時. xxii
使用方法、用途以外の使用. xxiv
保守・点検. xxv
異常時の処置. xxvi
保管時の禁止事項. xxvi
廃棄. xxvii
鉛蓄電池について. xxvii
多機能電話機について. xxviii
各種規制について. xxviii
輸出規制について. xxviii
情報処理装置等電波障害自主規制について. xxviii
高調波電流規格について. xxviii
使用周波数帯について. xxix
電気通信事業法について. xxix
音楽の著作権について. xxix
消防法/火災予防条例について. xxix
電源の切りかた、入れかた. xxx
目次. xxxi

多機能電話機を使う. 1-1
ボタンと表示器の見かた. 1-2
各ボタンの使いかた. 1-2
パネルと示名条片の取り外しかた・取り付けかた. 1-3

短縮ダイヤル早見表（別売品）の取り付けかた.....1-4
表示器の見かた.....1-4
アイコン表示の意味.....1-8
ソフトキーのメニューについて.....1-9
電話機を使用していないとき.....1-9
電話機を使用しているとき.....1-12
メニューボタンのメニューについて.....1-16
メニューを操作する（デジタル多機能電話機の場合）.....1-16
メニューの設定項目一覧.....1-17
メニューを操作する（IP 多機能電話機の場合）.....1-17
メニューについて.....1-27
メニューを操作する.....1-27
メニューの構成内容.....1-27
十字キーのメニューについて.....1-29
十字キーの左（再／短）メニューを操作する.....1-29
十字キーの右（電話帳）メニューを操作する.....1-30
電話機の調整のしかた.....1-32
音や表示器を調整する.....1-32
着信音の音色を設定する.....1-33
ダイヤルボタンを押したときの音を設定する.....1-34
内線からの着信方法を設定する.....1-34
電話機に使用者の名前を登録する.....1-35
表示器内の文字を縦倍角表示にする.....1-35
電話機の角度を調整する.....1-36
外線に電話をかける.....1-38
発信ボタンを使ってかける.....1-38
外線ボタンを使ってかける.....1-39
電話番号を確認してからかける.....1-39
索線ボタンを使ってかける.....1-40
特番を使ってかける.....1-41
一度かけた相手にかけ直す.....1-42
相手が出るまで自動でかけ直す.....1-44
短縮番号を使ってかける.....1-45
内線に電話をかける.....1-52
内線を呼び出す.....1-52
内線を検索する.....1-52
相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す.....1-53
相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す.....1-54
電話機の周囲にいる人に呼びかける.....1-55
ほかの部署にかける.....1-56
受話器を上げるだけで特定の内線にかける.....1-57
電話を受ける.....1-58
応答ボタンを使って受ける.....1-58
外線ボタンを使って受ける.....1-58
受話器を上げるだけで受ける.....1-59
受話器を上げるだけで受けるかどうかを自分で切り替える.....1-59

内線からの電話を受ける. 1-60
代理で電話を受ける. 1-61
ほかの人への電話を代わりに受ける. 1-61
同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける. 1-62
ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける. 1-63
電話を保留する・取り次ぐ. 1-65
外線との通話を保留する. 1-65
自分だけが応答できるように保留する. 1-66
外線との通話をほかの人に取り次ぐ. 1-67
内線／外線ボタンを使って取り次ぐ. 1-71
着信音だけで取り次ぐ. 1-72
取り次ぎ先の通話終了後、自分に戻るようにする. 1-72
ほかの人の通話が終了後、自分につながるようにする. 1-73
内線通話を保留する. 1-74
内線通話を取り次ぐ. 1-74
電話に出られないとき. 1-76
自分宛ての電話をすべて転送する. 1-76
通話中にかかってきた電話をすべて転送する. 1-79
電話に出られないときに転送する. 1-80
通話中や電話に出られないときに転送する. 1-81
移動先から転送の設定をする. 1-82
かかってくる電話を一時的に拒否する. 1-84
不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す. 1-85
通話中の相手を緊急で呼び出す. 1-85
便利な使いかた. 1-88
ワンタッチボタンを使ってかける. 1-89
受話器を置いたまま通話する. 1-92
ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする. 1-94
一斉呼出をする. 1-95
電話で会議する. 1-97
自分から会議に参加する. 1-99
ほかの人の通話に割り込む. 1-101
ほかの人と通話中の内線相手に声をかける. 1-102
通話中に電話番号を記憶する. 1-103
こちらの声だけを一時的に消す. 1-106
キャッチホンサービスなどを利用する. 1-106
電話情報サービスなどを利用する. 1-107
登録済みの番号に別の番号を続けてかける. 1-107
電話機のランプで伝言があることを知らせる. 1-107
かけてきた相手に不在の理由を知らせる. 1-110
指定時刻にアラーム音を鳴らす. 1-111
電話機でブザー呼出を行う. 1-113
電話機から音楽などを流す. 1-114
会議室の様子を電話機から聞く. 1-114
通話相手の声を周りの人にも聞かせる. 1-115
着信履歴を利用する. 1-116

発着信履歴を削除する..... 1-120
同じ外線で続けて電話をかける..... 1-122
取り次ぎ用の電話機を指定する..... 1-122
ヘッドセットを使って通話する..... 1-123
共通短縮ダイヤルに登録した付加情報を表示する..... 1-125
外線に通知する発信者番号を選択する..... 1-126
スマートフォンと連動して使う..... 1-127
スマートフォンと連動して使う..... 1-127
各部の名称とはたらき..... 1-128
Bluetooth 機能を使用するために..... 1-128
モードの切り替え..... 1-131
BCA-ZD オプション設定..... 1-132
電話の受けかた..... 1-137
電話のかけかた..... 1-138
ミュートのしかた..... 1-139
音量を調整する..... 1-139
音楽を再生する..... 1-140
センター電話帳を使う..... 1-141
センター電話帳について..... 1-141
センター電話帳利用時の各ボタンの使いかた..... 1-141
センター電話帳のアイコン表示の意味..... 1-142
センター電話帳を起動する..... 1-143
電話帳に登録する..... 1-145
電話帳に登録されている相手を検索する..... 1-149
電話帳の登録内容を変更する..... 1-153
電話帳に登録されている内容を削除する..... 1-155
センター電話帳を設定する..... 1-156
文字を入力する..... 1-160
入力のしかた..... 1-160
文字入力一覧表..... 1-161
カールコードレス電話機のコードレス子機を使う..... 1-164
カールコードレス電話機のコードレス子機を使用するにあたって..... 1-164
カールコードレス電話機の親機とコードレス子機について..... 1-164
おもな機能..... 1-164
通話できる範囲について..... 1-164
操作上の注意..... 1-165
カールコードレス電話機のコードレス子機の使用にあたっての注意事項..... 1-165
各部の名称とはたらき..... 1-166
アイコンの意味..... 1-168
子機待ち受け画面..... 1-169
親機表示と子機表示の関係..... 1-169
カールコードレス電話機の子機の十字キーのメニューについて..... 1-171
カールコードレス電話機の子機による電話帳検索..... 1-172
子機の調整のしかた..... 1-173
有線ヘッドセットの接続..... 1-174
外線に電話をかける..... 1-174

内線に電話をかける. 1-175
電話を受ける. 1-176
子機の機能. 1-176

一般電話機を使う. 2-1

一般電話機を使うときの注意. 2-2
一般電話機をご使用の前に. 2-2
特番について. 2-2
保留のしかた. 2-2
外線に電話をかける. 2-3
受話器を上げてかける. 2-3
特番を使ってかける. 2-4
最後にかけた相手にかけ直す. 2-5
短縮番号を使ってかける. 2-5
内線に電話をかける. 2-6
内線を呼び出す. 2-6
相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す. 2-6
相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す. 2-7
電話機の周囲にいる人に呼びかける. 2-8
ほかの部署にかける. 2-8
受話器を上げるだけで特定の内線にかける. 2-9
電話を受ける. 2-10
受話器を上げるだけで受ける. 2-10
特番を使って受ける. 2-10
内線からの電話を受ける. 2-10
代理で電話を受ける. 2-12
ほかの人への電話を代わりに受ける. 2-12
同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける. 2-13
ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける. 2-13
電話を保留する・取り次ぐ. 2-15
外線との通話を保留する. 2-15
外線との通話をほかの人に取り次ぐ. 2-16
着信音だけで取り次ぐ. 2-18
内線通話を保留する. 2-18
内線通話を取り次ぐ. 2-19
電話に出られないとき. 2-20
自分宛ての電話をすべて転送する. 2-20
通話中にかかってきた電話をすべて転送する. 2-22
電話に出られないときに転送する. 2-22
通話中や電話に出られないときに転送する. 2-23
移動先から転送の設定をする. 2-24
不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す. 2-25
通話中の相手を緊急で呼び出す. 2-25
便利な使いかた. 2-27
ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする. 2-27
一斉呼出をする. 2-28

電話で会議する. 2-29
ほかの人の通話に割り込む. 2-30
ほかの人と通話中の内線相手に声をかける. 2-31
通話中にいまかけた電話番号を記憶する. 2-32
キャッチホンサービスなどを利用する. 2-33
登録済みの番号に別の番号を続けてかける. 2-33
電話機のランプで伝言があることを知らせる. 2-34
指定時刻にアラーム音を鳴らす. 2-35
外線に通知する発信者番号を選択する. 2-36

システムの運用例. 3-1

ISDN 回線. 3-2
ISDN 回線の利用例. 3-2
ISDN 回線を使って電話をかける. 3-2
発信規制や料金管理を利用する. 3-3
ISDN 付加サービスを利用する. 3-3
利用できるサービスについて. 3-4
INS フレックスホン　通信中転送を利用する. 3-4
INS ナンバーリクエストを利用する. 3-5
INS ボイスワープを利用する. 3-5
INS ボイスワープセレクトを利用する. 3-8
NTT のサービス. 3-12
ナンバー・ディスプレイ. 3-12
マイライン. 3-18
NTT ダイヤルイン. 3-19
NTT ダイヤルインの着信方式. 3-19
NTT ダイヤルインの着信転送. 3-20
NTT ダイヤルインの着信拒否. 3-23
専用線. 3-25
通常のかけかた. 3-25
相手の内線番号を押してかける. 3-25
電話を外線に転送する. 3-26
手動で転送する. 3-26
自動で転送する. 3-28
ほかの内線や仮想の内線番号を使う. 3-31
仮想内線の利用例. 3-31
仮想内線ボタンを使う. 3-32
オートアテンダント（VRS） 3-34
オートアテンダント（DID／DISA）の利用例. 3-34
社外から本システムに電話をかける. 3-34
オートアテンダントメッセージの録音・再生・消去. 3-37
外出先から内線への各種設定を行う. 3-40
DID／DISA. 3-41
ダイレクトインワードダイヤルの利用例. 3-41
ダイレクトインワードシステムアクセスの利用例. 3-41

着信お待たせメッセージ. 3-43
着信お待たせメッセージの利用例. 3-43
着信お待たせメッセージを設定する. 3-43
構内放送. 3-45
構内放送の利用例. 3-45
外部スピーカを使って呼び出す. 3-45
構内放送に応答する. 3-46
外部スピーカで呼び出して電話を取り次ぐ. 3-47
外部スピーカで呼び出して会議通話をする. 3-47
ドアホン. 3-49
ドアホンの利用例. 3-49
ドアホンに応答する. 3-49
ドアホンの周囲の音を聞く. 3-49
ドアのカギを開ける. 3-50
ドアホンへの着信を外線に転送する. 3-50
DSS コンソール. 3-52
DSS コンソールについて. 3-52
DSS コンソールのランプ表示モード. 3-52
利用できる機能と利用中の表示. 3-53
DSS コンソールの使いかた. 3-57
システム着信履歴. 3-60
使いかた. 3-60
ホテル機能. 3-61
チェックイン・チェックアウトについて. 3-61
モーニングコールについて. 3-62
伝言（メッセージウェイティング）について. 3-63
DSS コンソールによる客室状態表示について. 3-63
客室情報出力について. 3-64
セキュリティ. 3-65
社内に警戒中メッセージを放送する. 3-65
セキュリティセンサに連動して通報する. 3-66
自動で在席確認をする. 3-67
ダイレクト通話料金管理. 4-1
ダイレクト通話料金管理について. 4-2
おもな機能. 4-2
機器の構成. 4-3
ご利用になる前に. 4-4
ダイレクト通話料金管理を利用する. 4-7
印刷のテストをする. 4-7
番号ごとの通話料金集計・明細を印刷する. 4-8
グループごとの通話料金集計・明細を印刷する. 4-22
システム全体の通話料金集計・明細を印刷する. 4-41
システム全体の通話料金データを消去する. 4-47
通話終了と同時に明細を印刷する. 4-50

特番で内線の通話料金集計を簡単に印刷する. 4-52
困ったときは. 4-54
困ったときのチェックポイント. 4-54
システムアラームメッセージについて. 4-54
システム管理者の方へ. 5-1
システムについて. 5-2
利用できる周辺機器. 5-2
外線の発着信の方法について. 5-3
内線グループについて. 5-5
発信規制について. 5-7
個人登録発信規制について. 5-9
料金管理について. 5-11
番号計画について. 5-14
電話機のラインナップ. 5-21
デジタル多機能電話機. 5-21
IP 多機能電話機. 5-22
シングルゾーンデジタルコードレス電話機. 5-23
マルチラインデジタルコードレス電話機（PHS）. 5-23
UC100. 5-23
その他の電話機. 5-23
多機能電話機の品名および機能一覧. 5-24
多機能電話機のオプション品一覧. 5-25
カールコードレス電話機の仕様. 5-26
電話機と利用できる機能について. 5-27
各種設定について. 5-28
時計を設定する. 5-28
日付を設定する. 5-28
ファンクションボタンへの機能登録について. 5-29
運用モードについて. 5-36
保留音について. 5-37
外部機器の制御について. 5-38
多機能電話機を交換する. 5-39
夜間などの消費電力をおさえる. 5-40
停電したときは. 5-42
システムの動作. 5-42
停電したときのカールコードレス電話機のコードレス子機の動作について. 5-42
停電中の電話の使いかた. 5-43
停電が復旧したとき. 5-43
消耗品について（電池等）. 5-44
システムの内蔵バッテリについて. 5-44
システム内 CPU のメモリバックアップ電池について. 5-45
カールコードレス電話機のコードレス子機内蔵のリチウムイオン電池パックについて. 5-45
冷却ファンボックスについて. 5-46
困ったときは. 5-47
電話機が使えない. 5-47

受話器やスピーカから音が聞こえない. 5-47
着信音が鳴らない. 5-47
カールコードレス電話機のコードレス子機がおかしい. 5-48
ドアホンの着信音が鳴らない. 5-49
短縮ダイヤルやファンクションボタンの登録ができない. 5-49
保証とアフターサービスについて. 5-50
保証書の記載内容ご確認と保存について. 5-50
保証期間について. 5-50
アフターサービスについて. 5-50
修理を依頼されるときは. 5-50
消耗品について. 5-50
商品廃棄について. 5-50
おもな仕様. 5-51
ユーザープログラミング. 6-1
ユーザープログラミングについて. 6-2
ユーザープログラミングの概要. 6-2
ご使用上の注意. 6-2
パソコンの動作環境. 6-2
機器の構成. 6-2
LAN とインターネットブラウザの設定. 6-3
HTTPS での接続. 6-6
ユーザープログラミングの操作. 6-9
操作上の注意点. 6-9
おもなアイコン. 6-9
ログイン／ログアウト. 6-11
設定範囲の選択. 6-13
設定メニュー一覧. 6-14
UA レベルの設定メニュー. 6-14
UB レベルの設定メニュー. 6-25
索引. 索-1

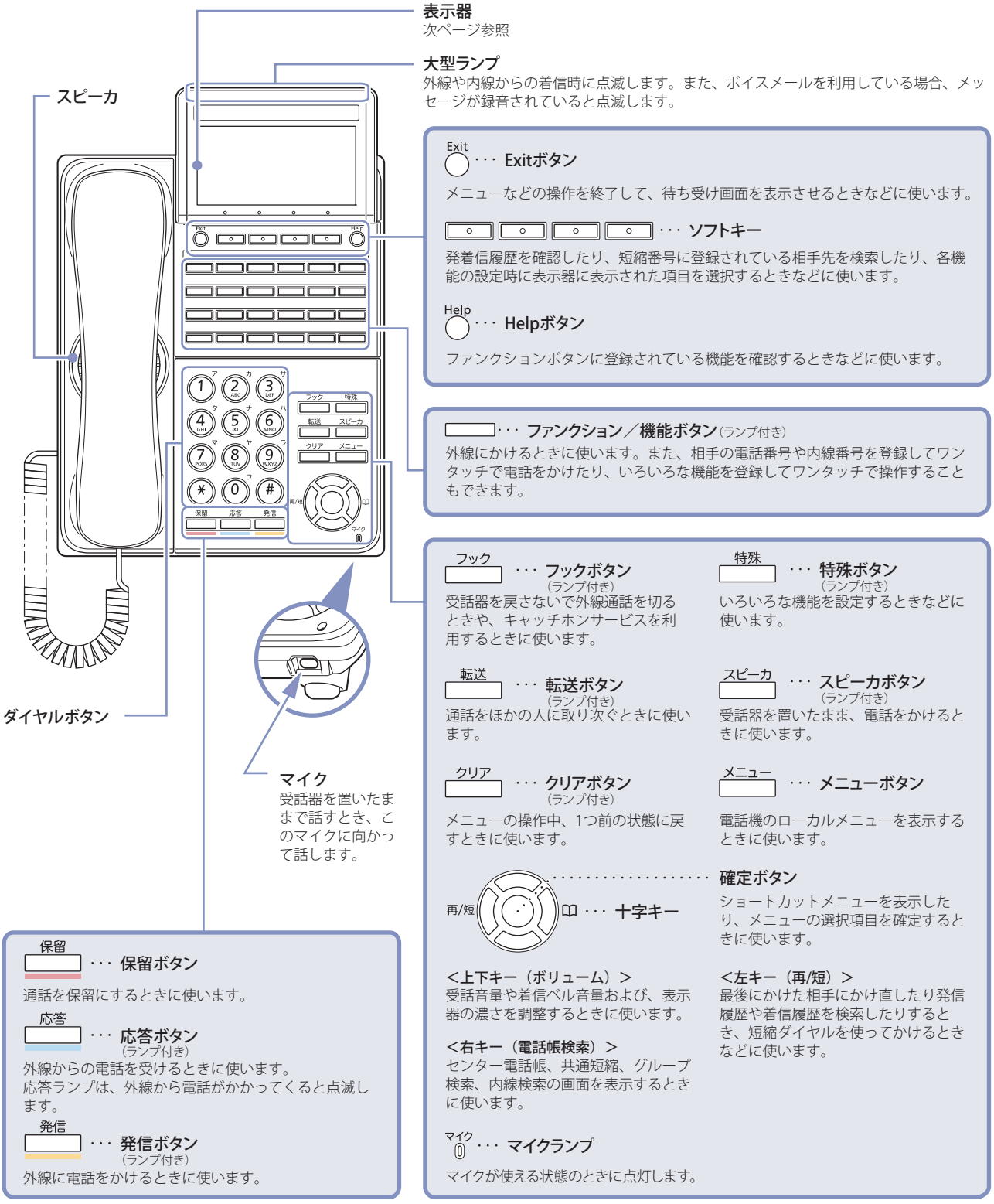
多機能電話機を使う

ボタンと表示器の見かた..... 1-2
ソフトキーのメニューについて..... 1-9
メニューボタンのメニューについて..... 1-16
メニューについて..... 1-27
十字キーのメニューについて..... 1-29
電話機の調整のしかた..... 1-32
外線に電話をかける..... 1-38
内線に電話をかける..... 1-52
電話を受ける..... 1-58
代理で電話を受ける..... 1-61
電話を保留する・取り次ぐ..... 1-65
電話に出られないとき..... 1-76
便利な使いかた..... 1-88
スマートフォンと連動して使う..... 1-127
センター電話帳を使う..... 1-141
文字を入力する..... 1-160
カールコードレス電話機のコードレス子機を使う.... 1-164

ボタンと表示器の見かた

各ボタンの使いかた

ここでは、24 ボタン IP 多機能電話機を例に説明しています。（⇒『表示器の見かた』（⇒P.1-4）～ 参照）

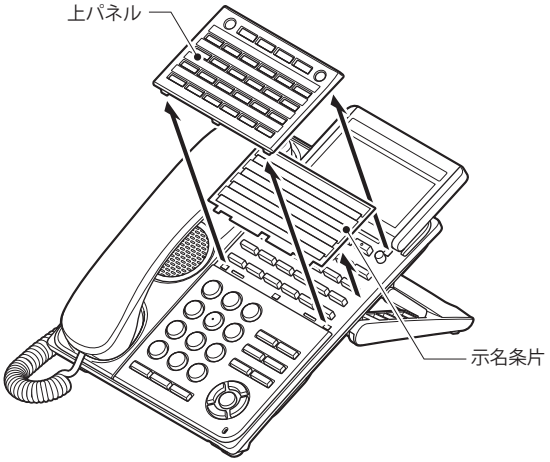


パネルと示名条片の取り外しかた・取り付けかた

電話機のパネルを外すと、示名条片がかぶせてあります。この示名条片には、各ボタンに割り付けてある機能名やワンタッチで登録してある相手先の名称を書き込んで、ご利用ください。

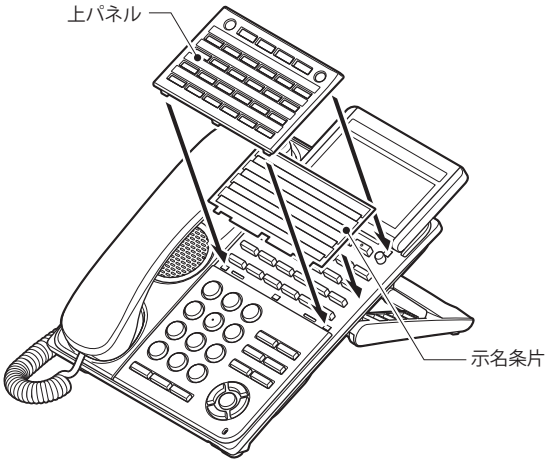
▼ パネルと示名条片の取り外しかた

1. パネル右側のすき間に、先のとがった棒などを軽く差し込む
2. 軽く上に持ち上げて取り外す
3. 示名条片を取り外す



▼ 示名条片とパネルの取り付けかた

1. 電話機のボタンに合わせて示名条片をかぶせる
2. 電話機のボタンに合わせてパネルをかぶせてから“パチッ”と音がするまで四隅を押さえる



注意

パネルは確実に取り付けてください。パネルでボタンが押されたままになると、電話をかけられないなど、誤動作することがあります。

こんなときは

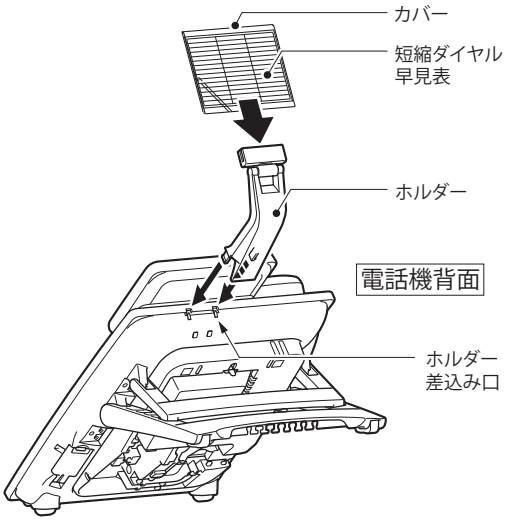
パネルにキズが付いているように見える

パネルの穴の周囲などに、光の具合によってはキズに見えるスジが入っていることがあります。これは、プラスチックの成形過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

短縮ダイヤル早見表（別売品）の取り付けかた

短縮ダイヤル早見表をカバーにはさみ込み、ホルダーに取り付けてください。

1. **電話機背面のホルダー差込み口にホルダーを差し込む**
2. **短縮ダイヤル早見表をホルダーに取り付ける**



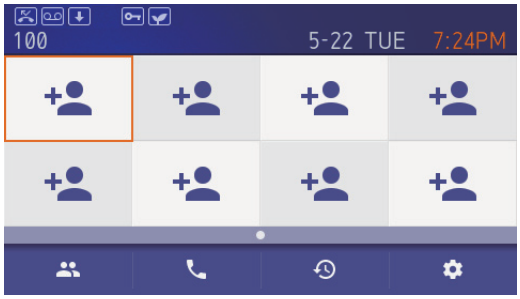
表示器の見かた

多機能電話機の表示器には、電話機の状態によって、次のように表示されます。

▼ 表示器の表示モード

IP 多機能電話機(DT900 シリーズ)では、待機中の表示器の表示モードを選ぶことができます。

ポータルモード



クラシックモード

実際の表示とは異なる場合があります。

この取扱説明書では、電話機が待機中の表示例をクラシックモードの画面で説明します。
ポータルモードで表示されるアイコンやコンテンツについてはお使いの多機能電話機用のマニュアルをご参照ください。

こんなときは

表示モードを変更したい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 電話機を使用していないとき

電話機を使用していないときは、次の情報が表示されます。なお、日付の表示方法は、工事段階で変更できます。

《デジタル多機能電話機の場合》

- 1 段目：アイコン
- 2 段目：日付、曜日、時刻
- 3 段目：内線番号、名前
- 4 段目：ソフトキーのメニュー

《IP 多機能電話機の場合》

- 1 段目：アイコン
- 2 段目：未使用
- 3 段目：未使用
- 4 段目：日付、曜日、時刻
- 5 段目：未使用
- 6 段目：内線番号、名前
- 7 段目：ソフトキーのメニュー

こんなときは

アイコンについて

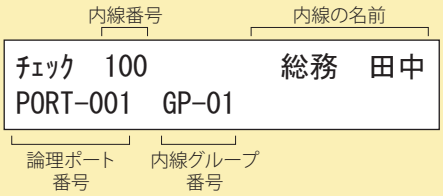
アイコンメニュー用のアイコンや電話機の状態を示すアイコンが表示されます。詳しくは『アイコン表示の意味』(⇒P.1-8)を参照してください。

名前の表示について

この表示は、電話機の内線番号の代わりに使用者の名前を表示することができます。詳しくは『電話機に使用者の名前を登録する』(⇒P.1-35)を参照してください。

電話機のポート番号などを知りたい

電話機の各種設定をするとき、内線ポート番号などのポート番号が必要になることがあります。このときは、Help ボタンを押してから発信ボタンを押してください。IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、ポップアップ画面を表示してから操作します。

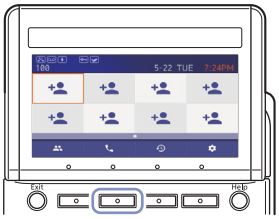


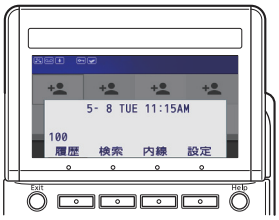
元に戻すときは、Exit ボタンを押します。

IP 多機能電話機のポータルモードではポップアップ画面を表示することで、クラシックモードと同じように電話機を操作することができます。

▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき

待機中の画面で左から 2 番目のソフトキーを押すとポップアップ画面が表示されます。





元に戻すときは、Exit ボタンを 1 回押してください。

▼ 外線に発信中のとき

外線に発信中は、使用中の外線名称と相手の内線番号または電話番号が表示されます。

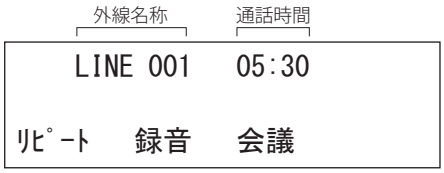
こんなときは

“LINE” の表示について

この表示は、使用中の外線の電話番号（加入者番号）や、その外線を使用する部署名など、別の名称に工事段階で変更できます。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 外線と通話中のとき

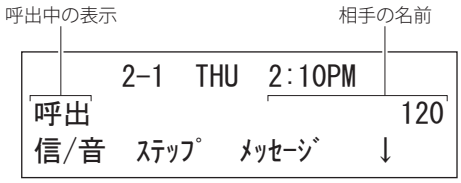
外線と通話中は、通話時間が表示されます。



通話時間は、通話開始および保留応答時に、00:00 から始まります。
電話をかけた場合と、かかってきた場合とで、表示は異なります。
この例は、かかってきた場合を示しています。
中段には、通話料金や相手の電話番号などが表示される場合があります。

▼ 内線を呼出中のとき

内線を呼出中は、呼出中の表示と相手の内線番号または名前が表示されます。



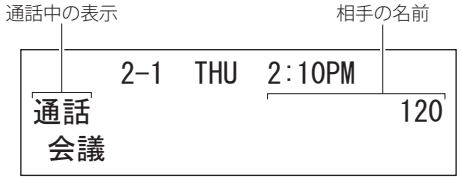
こんなときは

名前の表示について

電話をかけてきた相手先の電話機の設定によっては、相手の内線番号の代わりに、相手の名前が表示されます。詳しくは『電話機に使用者の名前を登録する』（⇒P.1-35）を参照してください。

▼ 内線と通話中のとき

内線と通話中は、通話中の表示と相手の名前が表示されます。



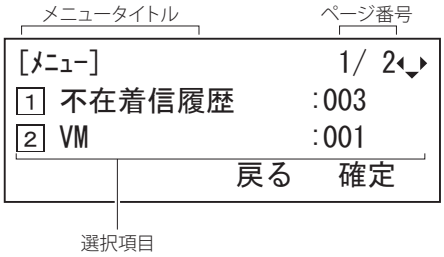
こんなときは

名前の表示について

電話をかけてきた相手先の電話機の設定によっては、相手の内線番号の代わりに、相手の名前が表示されます。詳しくは『電話機に使用者の名前を登録する』（⇒P.1-35）を参照してください。

▼ メニューを表示しているとき

メニュー表示中は、設定中のメニュータイトルと選択項目およびページ番号が表示されます。



ページ番号が表示されているときは、選択項目に続きがあります。十字キーの上下またはソフトキーの上下を押して、表示項目を切り替えます。

アイコン表示の意味

表示器の 1 行目に表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。
アイコンは実際の表示とは異なる場合があります。

DT : デジタル多機能電話機、IP : IP 多機能電話機

アイコン		意味
DT	IP	
		確認されていない不応答の不在着信履歴があるときに表示されます。 詳しくは『メニューについて』(⇒P.1-27)を参照してください。
VM		メールボックスに、聞き取っていないボイスメールが保存されているときに表示されます。 詳しくは『メニューについて』(⇒P.1-27)を参照してください。 工事段階の設定により、聞き取っていないボイスメールが保存されていてもアイコンが表示されない場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。
—		ダウンロードされていない電話帳データ(内線リスト)があるときに表示されます(ポータルモード時のみ表示)。 変更前の内線にダイヤルしてしまうことを防ぐため、本アイコンが表示された場合は速やかにデータのダウンロードをおこなってください。電話帳データの更新方法についてはお使いの多機能電話機用のマニュアルをご参照ください。
	—	カールコードレス電話機またはオプションの BHA-LD UNIT/BCA-ZD を利用している場合に、Bluetooth®機器が接続されていると表示されます。ただし、DT500 シリーズには使用できません。 詳しくは『メニューについて』(⇒P.1-27)を参照してください。 BCA-ZD のみ IP 多機能電話機に収容できます。ただし、DT900 シリーズには使用できません。
RTP		音声が暗号化されているときに表示されます。
	—	使用できる十字キーの方向が表示されます。
ECO		節電モードへの移行時間指定がされているときに表示されます。

こんなときは

センター電話帳のアイコンについて

詳しくは『センター電話帳のアイコン表示の意味』(⇒P.1-142)を参照してください。

ソフトキーのメニューについて

多機能電話機の表示器には、ソフトキーのメニューが表示されています。各メニューの下のソフトキーを押すと、特番を使わずに、履歴や検索機能を利用することができます。
各機能の詳細については、本文を参照してください。
ソフトキーのメニューや表示内容は、次のとおりです。

- 電話機を使用していないとき
  - 『▼ 履歴メニュー』(⇒P.1-9)
  - 『▼ 検索メニュー』(⇒P.1-9)
  - 『▼ 内線メニュー』(⇒P.1-10)
  - 『▼ 設定メニュー』(⇒P.1-10)
- 『電話機を使用しているとき』(⇒P.1-12)

こんなときは

ソフトキーの使用を停止したい

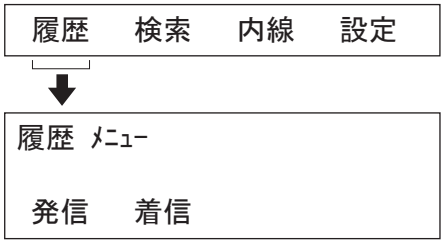
受付や会議室など社外の方が利用できる場所に設置する電話機は、ソフトキーの使用を停止させることができます。
ソフトキーの使用停止は、工事段階で設定する必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

電話機を使用していないとき

電話機を使用していないときは、次のメニューが表示されています。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、ポップアップ画面に表示されます。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

▼ 履歴メニュー

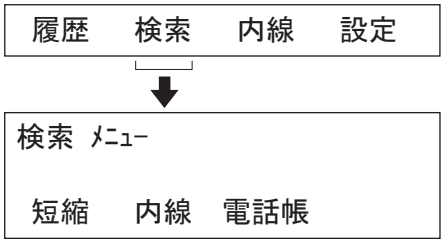
発信履歴や着信履歴を表示させたいときに押します。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。



- 発信(発信履歴)
  直前の発信から 50 件までの履歴が表示されます。一度かけた相手にかけ直す(再ダイヤル)ときに、使います。
- 着信(着信履歴)
  NTT のナンバー・ディスプレイを利用している場合、過去にかかってきた相手の履歴が 50 件まで表示されます。

▼ 検索メニュー

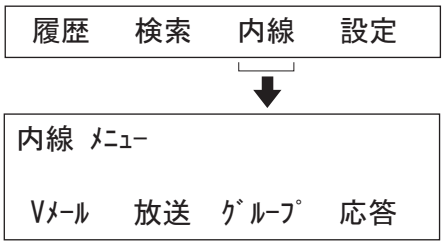
あらかじめ登録されている短縮ダイヤル番号や内線番号、電話番号を探したいときに押します。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、ポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。



- 短縮
  短縮メニューから、次のメニューを表示します。
  – 共通（共通短縮）
    システム内の、どの電話機からでも使える共通の短縮番号を検索します。
  – グループ（グループ短縮）
    電話機が登録されているグループ内の短縮番号を検索します。
- 内線
  システム内の内線番号を検索します。
- 電話帳
  システム内の、どの電話機からでも使えるセンター電話帳を検索します。

▼ 内線メニュー

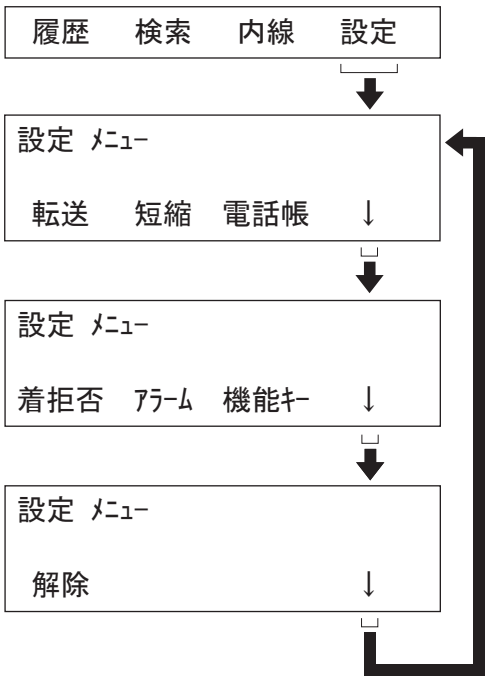
ボイスメールにアクセスするときや、一斉呼出などを利用するときに押します。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。



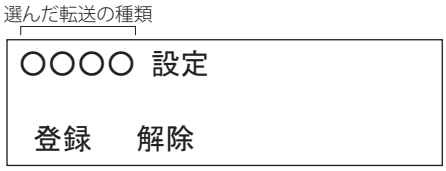
- V メール
  ボイスメールにアクセスします。ボイスメールにアクセスしたあとの操作については、『ボイスメール　取扱説明書』を参照してください。
- 放送
  構内放送を利用して一斉放送やグループ放送をします。
- グループ
  内線グループの呼出（ページング）をします。
- 応答
  応答メニューから、次のメニューを表示します。
  – 代理（代理応答）：自分と同じ内線グループ内の着信に代理応答します。
  – 放送（放送への応答）：構内放送での呼び出しに応答します。
  – グループ：内線グループ呼出に応答します。

▼ 設定メニュー

自分宛てにかかってきた電話に対し、転送や拒否などを設定することができます。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。



- 転送
  転送メニューから、次のメニューを表示します。各機能の詳細については『電話に出られないとき』(⇒P.1-76)を参照してください。
  – 着信(着信転送):着信転送を登録または解除します。
  – 不在(不在転送):不在着信転送を登録または解除します。
  – 話中(話中転送):話中転送を登録または解除します。
  – ↓:次のメニューを表示します。
  – 不応答(不応答転送):不応答転送を登録または解除します。
  – フォローミー:フォローミーを登録または解除します。
  – ↑:前のメニューに戻ります。
  転送の種類を選ぶと、次のメニューが表示されます。“登録”または“解除”を選んで、それぞれの設定をしてください。



- 短縮
  短縮ダイヤルを登録します。詳しくは『▼ 短縮番号を登録する』(⇒P.1-49)を参照してください。
  – 短縮(共通・個別短縮):システム内の、どの電話機からでも使える共通の短縮番号と、電話機ごとの短縮番号を登録します。短縮ダイヤルを使用するには、工事段階の設定が必要です。
  – グループ(グループ短縮):電話機が登録されているグループ内の短縮番号を検索します。
- 電話帳
  センター電話帳のメニュー画面を表示します。詳しくは『センター電話帳を使う』(⇒P.1-141)を参照してください。

- 着信否（着信拒否）
  着信拒否を登録または解除します。
  “着信否”を選ぶと、次のメニューが表示されます。“登録”または“解除”を選んで、それぞれの設定をしてください。“登録”を選んだときは、さらに着信の種類を選ぶメニューが表示されます。

```
着信拒否 設定

 登録    解除
```

⬇

```
着信拒否 設定

 外線    内線   全着信   転送
```

- アラーム
  アラームメニューから、次のメニューを表示します。
  – アラーム 1：1 回だけ鳴らすアラームを設定または解除します。
  – アラーム 2：毎日定刻に鳴らすアラームを設定または解除します。
- 機能キー
  ファンクションボタンに、いろいろな機能を割り付けます。詳しくは『▼ 一般機能レベルのファンクションボタンを設定する』（⇒P.5-29）を参照してください。
- 解除
  解除メニューから、次のメニューを表示します。
  – 伝言：送信または受信した伝言を解除します。“解除”を選ぶと、さらに解除する対象を選ぶメニューが表示されます。
  – 予約：内線予約または外線予約を解除します。“予約”を選ぶと、さらに解除する対象を選ぶメニューが表示されます。
  – リピート：相手が出ないときや通話中のとき、自動でかけ直すリピートダイヤルを解除します。
- ↓
  次のメニューを表示します。最後のメニューのときは、最初のメニューに戻ります。

電話機を使用しているとき

内線呼出中や内線通話中、外線通話中、会議通話中などには、次のようなメニューが表示されます。

▼ 内線で呼出中のメニュー表示

内線で呼出中のときは、次のメニューが表示されます。

```
      2-1   THU   2:10PM
呼出                     120
信/音  ｽﾃｯﾌﾟ  ﾒｯｾｰｼﾞ    ↓
```

⬇

```
      2-1   THU   2:10PM
呼出                     120
 Vﾒｰﾙ    予約            ↑
```

- 信/音
  相手を呼び出すときに、信号音で呼び出すか、音声で呼び出すかを切り替えます。
- ステップ
  呼び出している相手と同じ内線グループ内のほかの内線に、呼び出しを切り替えます（ステップコール）。

- メッセージ
  伝言を設定します。詳しくは『便利な使いかた』(⇒P.1-88)の『電話機のランプで伝言があることを知らせる』(⇒P.1-107)を参照してください。
- ↓
  次のメニューを表示します。
- V メール
  呼び出している相手のメールボックスにつながり、メッセージを録音します。
- 予約
  内線予約を設定します。詳しくは『内線に電話をかける』(⇒P.1-52)の『相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す』(⇒P.1-53)を参照してください。
- ↑
  前のメニューに戻ります。

▼ 内線呼出で相手が通話中のメニュー表示

内線で呼び出した相手が通話中だったときは、次のメニューが表示されます。

```
      2-1   THU   2:10PM
話中                     120
話中呼 ｽﾃｯﾌﾟ   ﾒｯｾｰｼﾞ    ↓
```

```
      2-1   THU   2:10PM
話中                     120
 Vﾒｰﾙ    予約    割込     ↑
```

- 話中呼
  話し中の内線に対し、呼出をします。
- ステップ
  呼び出している相手と同じ内線グループ内のほかの内線に、呼び出しを切り替えます(ステップコール)。
- メッセージ
  伝言を設定します。詳しくは『便利な使いかた』(⇒P.1-88)の『電話機のランプで伝言があることを知らせる』(⇒P.1-107)を参照してください。
- ↓
  次のメニューを表示します。
- V メール
  呼び出している相手のメールボックスにつながり、メッセージを録音します。
- 予約
  内線予約を設定します。詳しくは『内線に電話をかける』(⇒P.1-52)の『相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す』(⇒P.1-53)を参照してください。
- 割込
  通話に割り込みます。
- ↑
  前のメニューに戻ります。

▼ 内線と通話中のメニュー表示

内線と通話中のときは、次のメニューが表示されます。

```
      2-1   THU   2:10PM
通話                     120
 会議
```

- 会議
  会議通話をします。詳しくは『便利な使いかた』(⇒P.1-88)の『電話で会議する』(⇒P.1-97)を参照してください。

▼ 外線がふさがっているときのメニュー表示

かけようとした外線がふさがっているときは、次のメニューが表示されます。

```
    LINE 001
使用中
 予約
```

- 予約
  外線が空きしだい使用できるように、外線を予約します。

▼ 外線に発信中または通話中のメニュー表示

外線に発信中や通話中のときは、次のメニューが表示されます。

```
    LINE 001
                    01234567
ﾘﾋﾟｰﾄ    録音    会議
```

- リピート
  相手が出ないときや通話中のとき、自動でくり返し、かけ直します(リピートダイヤル)。
- 録音
  ボイスメールで通話録音をします。
- 会議
  会議通話をします。詳しくは『便利な使いかた』(⇒P.1-88)の『電話で会議する』(⇒P.1-97)を参照してください。

▼ 会議通話を操作中のメニュー表示

通話中に会議通話の操作をすると、次のメニューが表示されます。

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
再応答   検索
```

- 再応答
  会議通話の操作により保留になった通話を再開します。
- 検索
  会議通話に参加させたい相手を、検索メニューで選ぶときに表示させます。

▼ 会議通話の相手を呼出中のメニュー表示

会議通話に参加させたい相手を呼び出しているときは、次のメニューが表示されます。

```
      2-1  THU  2:10PM
呼出                    121
 中止
```

- 中止
  呼出を中止します。

▼ 会議通話の相手と通話中のメニュー表示

会議通話に参加させたい相手と通話がつながったときは、次のメニューが表示されます。

```
                    会議 通話
通話                     121
 登録
```

- 登録
  “登録”を押したあと、“開始”を押すと、通話中の相手を会議に参加させて会議通話を始められます。

▼ 会議通話中のメニュー表示

会議通話をしているときは、次のメニューが表示されます。

```
                    会議 通話
        120              121
 会議
```

- 会議
  さらに会議通話に参加させたい相手を呼び出します。

メニューボタンのメニューについて

電話機のメニューボタンを押すと、表示器にメニュー画面が表示されます。各メニューを選択して、電話機の各種設定が行えます。

メニューを操作する（デジタル多機能電話機の場合）

1. メニュー **ボタンを押す**

電話機のメニュー画面が表示されます。

デジタル多機能電話機

2. **メニュー項目を選択する**

次のいずれかの方法で、選択します。

- 項目に対応する番号を押す
- 十字キーの上下で反転表示を移動し、確定ボタンまたは十字キーの右を押す
- “↑”“↓”のソフトキーで反転表示を移動し、“確定”のソフトキーを押す

※1 つ前の画面に戻るときは、クリアボタンまたは“戻る”のソフトキーを押します。操作を中断して待ち受け画面に戻るときは、Exit ボタンを押します。

3. **各種操作をする**

▼ メニュー設定時のボタン操作

ボタン		内容
十字キー	上	• 反転表示を上に移動 • 音量・濃度を上げる
	下	• 反転表示を下に移動 • 音量・濃度を下げる
	左	• 1 つ前の画面に戻る
	右	• 反転表示の項目を確定して、次の画面を表示
確定ボタン		• 反転表示の項目を確定して、次の画面を表示 • 設定内容を保存して 1 つ前の画面に戻る
ダイヤルボタン		• 押した番号の項目を確定して、次の画面を表示 • 押した番号の設定内容を保存して、1 つ前の画面に戻る • 数字を入力
クリアボタン		• 1 つ前の画面に戻る • 数字を 1 文字削除
Exit ボタン		• メニューを終了して待ち受け画面に戻る

メニューの設定項目一覧

デジタル多機能電話機とIP 多機能電話機では、メニューの設定項目が異なります。それぞれの電話機で設定できる内容は、次のとおりです。

▼ デジタル多機能電話機メニューの設定項目

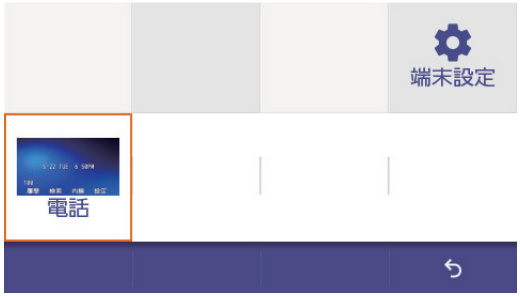
メニュー項目	設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1.着信音量	1～【6】～13	着信時のスピーカ音量を調整します。
2.話中着信音	1.無効 【2.有効】	話中時の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
3.バックライト	1.無効 【2.有効】	電話機の操作時や着信時に、表示器およびダイヤルボタンのバックライトを点灯させるかどうかを設定します。
4.ヘッドセット鳴動	【1.無効】 2.有効	着信時にヘッドセットから着信音を鳴らすかどうかを設定します。
5.ハンズフリーモード	【1.ハーフデュプレックス】 2.フルデュプレックス	ハンズフリー通話時の半二重、全二重を設定します。

メニューを操作する（IP 多機能電話機の場合）

IP 多機能電話機（クラシックモード）のメニュー操作は、次の通りです。

1. メニュー **ボタンを押す**

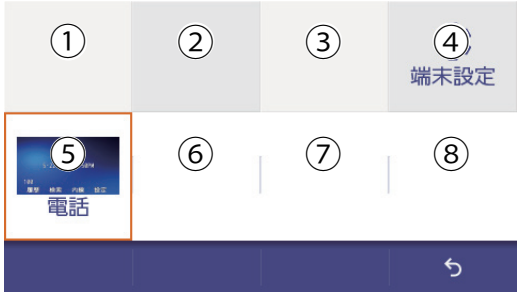
電話機のメニュー画面が表示されます。
メニュー画面は、実際とは異なる場合があります。



2. メニュー項目を選択する

次のいずれかの方法で、選択します。

- 十字キーの上下左右でフォーカス表示を移動し、確定ボタン（十字キーの真中）を押す。
- 画面に表示された項目に対応する、下の図中の番号をダイヤルボタンで押す。
  お使いの電話機の設定によって、画面は異なります。
  項目が表示されていないダイヤルボタンを押しても画面は変わりません。



※ 1 手順前の画面に戻るときは、 を押します。

操作を中断して待ち受け画面に戻るときは、Exit ボタンを押すか、またはフォーカス表示を“電話”に移動し、確定ボタン（十字キーの真中）を押します。

注意

XML サーバが接続されている場合の操作は、ご使用の XML サーバのお買い上げ販売店にお問い合わせください。

▼ メニュー設定時のボタン操作

メニュー画面と“端末設定”画面では、ボタン操作の内容が異なります。それぞれの画面でのボタン操作内容は次の通りです。

メニュー画面

ボタン		内　容
十字キー	上	• フォーカス表示を上下左右に移動
	下	
	左	
	右	
確定ボタン		• フォーカス表示の項目を確定して、次の画面を表示
ダイヤルボタン		• 押した番号の項目を確定して、次の画面を表示
		• 1 手順前の操作画面に戻る

“端末設定” 画面

ボタン		内容
十字キー	上	• フォーカス表示を上に移動
	下	• フォーカス表示を下に移動
	左	• 1 つ前の画面に戻る
	右	• フォーカス表示の項目を確定して、次の画面を表示
確定ボタン		• フォーカス表示の項目を確定して、次の画面を表示 • 設定内容を保存して 1 つ前の画面に戻る
ダイヤルボタン		• 押した番号の項目を確定して、次の画面を表示 • 押した番号の設定内容を保存して、1 つ前の画面に戻る • 数字を入力
クリアボタン		• 1 つ前の画面に戻る • 数字を 1 文字削除 ※“端末設定”画面から“メニュー”に戻る場合は、メニューボタンを押します。
Exit ボタン		• メニューを終了して待ち受け画面に戻る
メニューボタン		• メニューを表示します ※操作途中の内容は“[端末設定]”部に保持されています。

▼ IP 多機能電話機メニューの設定項目

メニュー画面で、次のいずれかを選択してください。
- 4.端末設定：電話機の調整や動作の設定が行えます。
- 5.電話：電話の画面に戻ります。
- 6.（XML アプリエリア 1）：[端末設定]またはショートカットメニューが表示されます。
  操作途中の端末設定またはショートカットメニューに戻ります。
  （操作途中のメニューが無い場合、表示されません。）

1～3 および 7 以降については、選択できません。XML サーバが接続されていると表示される場合があります。

《4. 端末設定の表示内容》

メニュー画面で、次のいずれかを選択してください。
- 1.ユーザ設定：下記『表: 1.ユーザ設定の表示内容』(⇒P.1-19)を参照してください。
- 2.ダウンロード：下記『表: 2.ダウンロードの表示内容』(⇒P.1-25)を参照してください。
- 3.バックアップ／リストア：下記『表: 3.バックアップ/リストアの表示内容』(⇒P.1-26)を参照してください。

1. ユーザ設定の表示内容

メニュー項目		設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1. 着信設定	1. 話中着信音	1. 無効 【2. 有効】	話中時にかかってきた電話の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
	2. ヘッドセット鳴動	【1. 無効】 2. 有効	着信時にヘッドセットからも着信音を鳴らすかどうかを設定します。

メニュー項目			設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1. 着信設定	3. 着信音	1. 外線	【0. 自動】 1. 着信音 1 2. 着信音 2 3. 着信音 3 4. 着信音 4 5. 着信音 5 6. 着信音 6 7. 着信音 7 8. 着信音 8 9. 着信音 9 10. 着信音 10 11. 着信音 11 12. 着信音 12 13. 着信音 13 14. 着信音 14 15. ミュージックリング 1 16. ミュージックリング 2 17. ミュージックリング 3	外線から着信があった場合の着信音を設定します。 ※「0. 自動」以外に設定した場合、内線/外線の着信音鳴り分け機能などは使用できません。
		2. 内線	【0. 自動】 1. 着信音 1 2. 着信音 2 3. 着信音 3 4. 着信音 4 5. 着信音 5 6. 着信音 6 7. 着信音 7 8. 着信音 8 9. 着信音 9 10. 着信音 10 11. 着信音 11 12. 着信音 12 13. 着信音 13 14. 着信音 14 15. ミュージックリング 1 16. ミュージックリング 2 17. ミュージックリング 3	内線から着信があった場合の着信音を設定します。 ※「0. 自動」以外に設定した場合、内線/外線の着信音鳴り分け機能などが使用できなくなります。

メニュー項目			設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1. 着信設定	4. イルミネーション	1.外線	【0. 自動】 1. 無効 2. 赤 3. 緑 4. 青 5. 黄 6. 紫 7. 水色 8. 白 9. ローテーション	大型ランプの表示色を設定します。 ※「0. 自動」に設定した場合、工事段階の設定により、内線、外線、仮想内線ごとの表示色を選択できます。 自動以外に設定した場合は、動作状態による色分け機能は使用できません。
		2. 内線	【0. 自動】 1. 無効 2. 赤 3. 緑 4. 青 5. 黄 6. 紫 7. 水色 8. 白 9. ローテーション	大型ランプの表示色を設定します。 ※「0. 自動」に設定した場合、工事段階の設定により、内線、外線、仮想内線ごとの表示色を選択できます。 自動以外に設定した場合は、動作状態による色分け機能は使用できません。
2. 通話設定	1. RTP 警告音		【0. 自動】 1. 無効 2. 有効	RTP 警告音を鳴らすかどうかを設定します。
	2. PB 音再生		【0. 自動】 1. 無効 2. 有効	トーン信号を送出するかどうかを設定します。
	3. キータッチトーン		【0. 自動】 1. 無効 2. トーン 3. 音声	ダイヤルボタンを押したときに鳴らす音を設定します。
	4. 保留音		【1. 初期設定】 2. ダウンロード	電話機内蔵の保留音またはダウンロードした保留音のいずれかを選択して設定します。
	5. プレフィックス	1. プレフィックス 1	―	※この機能は利用できません。
		2. プレフィックス 2	―	
		3. プレフィックス 3	―	

メニュー項目			設定値 （【 】：初期値）	設定内容
3. 画面設定	1. カレンダーフォーマット	1. カレンダーフォーマット	【0. 自動】 1. タイプ 1 2. タイプ 2 3. タイプ 3 4. タイプ 4 5. タイプ 5	時計表示のカレンダーフォーマットを設定します。
		2. 12/24 時間制	【0. 自動】 1. 12 時間制 2. 24 時間制	時計表示の時間制を設定します。
	2. 音量表示		【0. 自動】 1. 無効 2. 有効	音量調節、コントラスト調節の際、表示器にボリューム表示を行うかどうかを設定します。
	3. スクリーンセーバー	1. スクリーンセーバーモード	1. 無効 【2. 有効】	スクリーンセーバーを使用するかどうかを設定します。 ※同じ画面を長時間表示させると、焼き付きが起こる場合があります。焼き付きの予防のため、スクリーンセーバーモードを有効にしておくことをお勧めします。
		2. 待ち時間	【30 分】	スクリーンセーバーの起動までの時間（1～999 分）を設定します。
	4. バックライト		1. レベル 1（明るい） 【2. レベル 2】 3. レベル 3 4. レベル 4（暗い）	電話機の操作時や着信時に、表示器およびダイヤルボタンのバックライトの明るさを 4 段階で調節します。
	5. フォントサイズ		1. 大 【2. 標準】	メニュー表示時のフォントサイズを設定します。

メニュー項目			設定値 （【 】：初期値）	設定内容
3. 画面設定	6. 言語		【0. 自動】 1. 日本語 2. NEC 英語 3. NEC ポルトガル語 4. NEC スペイン語 5. NEC フランス語 6. ドイツ語 7. イタリア語 8. オランダ語 9. ノルウェー語 10. デンマーク語 11. スウェーデン語 12. ギリシア語 13. 英語 14. ポルトガル語 15. スペイン語 16. フランス語 17. ロシア語 18. トルコ語 19. アゼルバイジャン語 20. ルーマニア語 21. ポーランド語 22. カタロニア語 23. 韓国語	表示器に表示される文字の言語を設定します。 （注）必ず「0. 自動」を設定してください。「0. 自動」以外に設定した場合、操作状況によって異なった言語表示になります。
	7. その他の設定	1. 壁紙	【1. 初期設定】 2.ダウンロード	表示器の壁紙を設定します。 ※画面モードがクラシックモードのときのみ有効です。
		2. フォントカラー	1. カラー 1 2. カラー 2 3. カラー 3 4. カラー 4 5. カラー 5 6. カラー 6 7. カラー 7 8. カラー 8 9. カラー 9 10. カラー 10 11. カラー 11 12. カラー 12 13. カラー 13 14. カラー 14 15. カラー 15 【16. カラー 16】（白）	表示器のフォントカラーを設定します。 ※表示器の表示モードがクラシックモードのときのみ有効です。

メニュー項目				設定値 （【 】：初期値）	設定内容
3. 画面設定	7. その他の設定	3.画面消灯	1. 消灯設定	1. 無効 2. 有効 【3. アプリ優先】	電話機が待機状態のときの画面消灯の設定をします。 「1. 有効」に設定した場合、待ち時間で設定した時間になると画面が消灯します。
			2. 待ち時間	【180 分】	画面消灯開始までの待ち時間（1～999 分）を設定します。
		4. バックライトフェードコントロール		【1. 有効】 2. 無効	「1. 有効」に設定すると、表示器のバックライトがなめらかに点灯/消灯します。
4. パスワード変更				―	
5. セキュリティ設定	1. VPN	1. IP アドレス(PC)		【0.0.0.0】	VPN 有効時、PC ポートに接続する PC の IP アドレスを設定します。
6. 操作性	1. ヘルプモード			【1. オプションメニュー】 2. ポップアップウィンドウ	「2. ポップアップウィンドウ」を選択した場合は、端末設定またはショートカットメニュー操作中にヘルプボタン押下でポップアップウィンドウを開き、電話操作ができます。ポップアップウィンドウは、通話終了または、オフフック→オンフックで自動的に閉じ、操作中のメニュー画面に戻ります。
0.個人設定リセット				―	端末に設定されている個人情報を初期化します。 ※バックアップもしくはバックアップファイルが無い場合には、一度初期化した情報は復元できません。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

2. ダウンロードの表示内容

メニュー項目			設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1. ダウンロードファイル	1. 保留音		MOH.wav	FTP/TFTP/HTTPS サーバに保存されている保留音および着信音ファイル名を入力して、電話機にダウンロードします。 ＜利用できるファイル＞ • 8kHz WAV ファイル ：最大 32 秒
	2. 着信音	1. ミュージックリング 1	Melody1.wav	FTP/TFTP/HTTPS サーバに保存されている着信音ファイル名を入力して、電話機にダウンロードします。 〈利用できるファイル〉 • 8kHz WAV ファイル：最大 32 秒 • 16kHz WAV ファイル：最大 32 秒
		2. ミュージックリング 2	Melody2.wav	
		3. ミュージックリング 3	Melody3.wav	
	3. 電話帳		Directory.csv	※この機能は利用できません。
	4. 壁紙		WallPaper.bmp	FTP/TFTP/HTTPS サーバに保存されている画像ファイル名を入力して 電話機にダウンロードします。 〈利用できるファイル〉 bmp ファイル 512Kbyte 以下：最大ピクセル 320×240
2. ダウンロードアドレス	―		0.0.0.0	ダウンロード用の保留音および着信音ファイルを保存しておく、FTP/TFTP/HTTPS サーバの IP アドレスまたは URL を入力します。
3. プロトコル	―		【1. FTP】 2. TFTP 3. HTTPS	ダウンロードを行うプロトコルの種類を設定します。
4. アカウント設定	1. ユーザ ID		―	FTP/TFTP/HTTPS サーバにアクセスするユーザ ID およびパスワードを設定します。
	2. パスワード		―	
	3. フォルダ		―	TFTP/FTP/HTTPS サーバのフォルダを設定します。

注意

【ユーザ ID、パスワードについて】
「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
ユーザ ID、パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

3. バックアップ/リストアの表示内容

メニュー項目		設定値 （【 】：初期値）	設定内容
1. データバックアップ	―	PersonalData.tgz	FTP/TFTP/HTTPS サーバに電話機の設定データをバックアップします。
2. データリストア	―	PersonalData.tgz	電話機の設定内容を、バックアップした時点の状態に戻す場合に、FTP/TFTP/HTTPS サーバからデータをリストア（復元）します。
3. サーバアドレス	―	0.0.0.0	電話機の設定データをバックアップする際に利用する、FTP/TFTP/HTTPS サーバの IP アドレスまたは URL を入力します。
4. プロトコル	―	【1. FTP】 2. TFTP 3. HTTPS	バックアップ／リストアを行うプロトコルの種類を設定します。
5. アカウント設定	1. ユーザ ID	―	FTP/TFTP/HTTPS サーバにアクセスするユーザ ID およびパスワードを設定します。
	2. パスワード	―	
	3. フォルダ	―	FTP/TFTP/HTTPS サーバのフォルダを設定します。

注意

【ユーザ ID、パスワードについて】
「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
ユーザ ID、パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

メニューについて

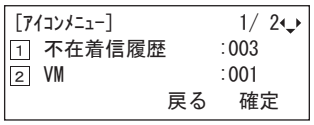
電話機の確定ボタンを押すと、メニューが表示されます。(IP 多機能電話機の場合は、ショートカットメニュー)
各メニューに対応する番号を選択して不在着信履歴を表示したり、ボイスメールにアクセスしたりすることができます。
表示器に不在着信履歴、ボイスメール、Bluetooth®の各アイコンが表示されているときに利用すると便利です。

メニューを操作する

1. (確定) ボタンを押す

メニュー画面(IP 多機能電話機の場合は、ショートカットメニュー)が表示されます。
なお、画面は実際とは異なる場合があります。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

デジタル多機能電話機



IP多機能電話機

2. メニュー項目を選択する

次のいずれかの方法で、選択します。
- 項目に対応する番号を押す
- 十字キーの上下で反転表示を移動し、確定ボタンを押す
- “↑”“↓”のソフトキーで反転表示を移動し、“確定”のソフトキーを押す

※ 1 つ前の画面に戻るときは、クリアボタンまたは“戻る”のソフトキーを押します。
操作を中断して待ち受け画面に戻るときは、Exit ボタンを押します。

3. 各種操作をする

メニューの構成内容

メニュー(IP 多機能電話機の場合は、ショートカットメニュー)のメニュー構成は、次のとおりです。

DT:デジタル多機能電話機、IP:IP 多機能電話機

メニュー項目		内　　容
DT	IP	
1. 不在着信履歴	1. 不在着信履歴	不在着信履歴を表示します。不応答の不在着信履歴を確認していないときは、右側に「(不在)x」(xは件数)と表示されます。 詳しくは『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。
2. ボイスメール(VM)	2. ボイスメール	ボイスメールのメールボックスにアクセスします。聞き取っていないメッセージが保存されているときは、右側のメールボックスに保存されている全メッセージの件数が表示されます。 詳しくは、別冊の『ボイスメール 取扱説明書』を参照してください。

十字キーのメニューについて

電話機の十字キーの左（再／短）を押すと、表示器に発着信履歴を表示することができます。
また、十字キーの右（電話帳）を押すと、表示器に読み（個別電話帳 1／2）、共通短縮、グループ短縮、内線の検索画面を表示することができます。

十字キーの左（再／短）メニューを操作する

1.

（再／短）ボタンを押す

発信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から表示されます。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

発信履歴画面

```
 再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
01:  9-30 16:13   0312345678
02:  9-30 15:58   0698765432
```

2. かけたい相手を選択する

- 十字キーの左右を押して、発信履歴と着信履歴を切り替えます。
- 十字キーの上下を押して、発着信履歴の順を切り替えます。
- 発信履歴は最大 50 件、着信履歴は最大 50 件記憶できます。

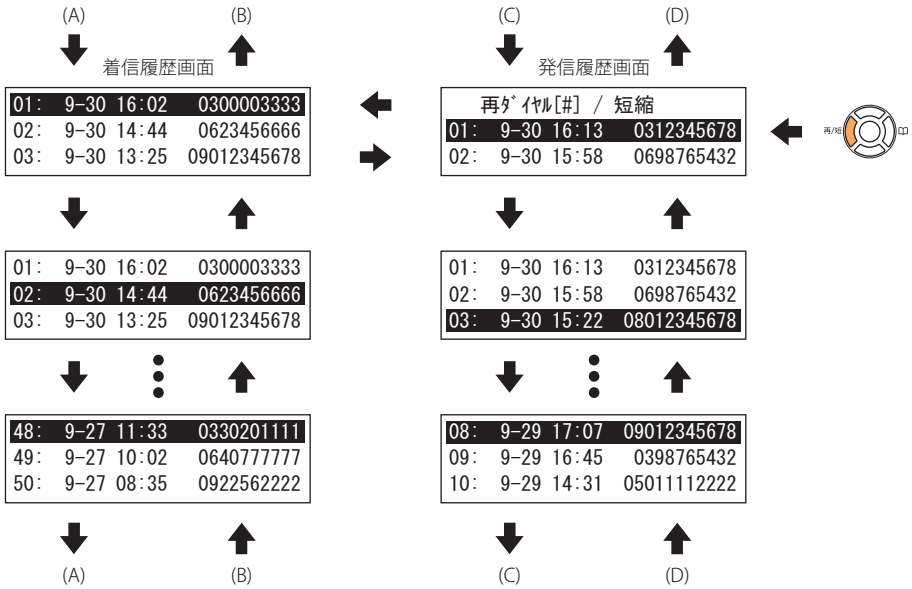
(確定)ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。

クリアボタンを押すと、発信履歴画面に戻ります。

履歴詳細画面

```
01 :
     9-30 16:13      0312345678
                登録      削除
```

※ ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。



3. かけ直したい電話番号が表示されたら受話器を上げる

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『一度かけた相手にかけ直す』(⇒P.1-42)へ
- 『着信履歴を利用する』(⇒P.1-116)へ

十字キーの右（電話帳）メニューを操作する

1. （電話帳）を押す

電話帳検索画面が表示されます。

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。

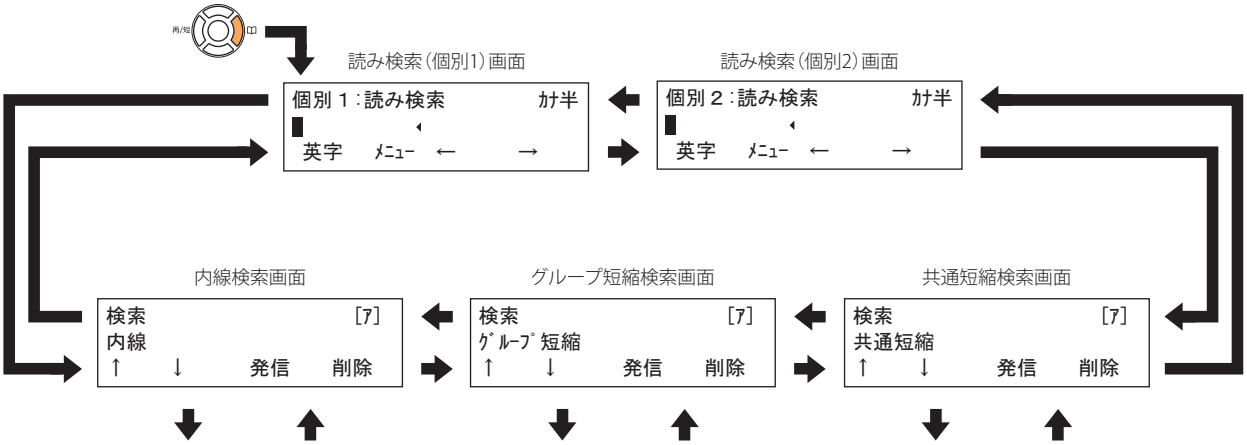
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
個別 1 :読み検索          ｶﾅ半
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

2. 検索したい条件を表示する

- 十字キーの左右を押して、読み（個別 1／2）、共通短縮、グループ短縮、内線の検索条件を切り替えます。
- 十字キーの上下または“↑”“↓”のソフトキーを押して、検索候補を移動します。

※ ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。
※ 検索画面は設定によっては、表示されないことがあります。
※ 読み検索（個別 2）、グループ短縮検索の使用には、工事の段階での設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



3. 電話をかける相手を検索する

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『▼ 読みカナ検索のしかた』（⇒P.1-149）へ
- 『短縮番号を使ってかける』（⇒P.1-45）へ
- 『短縮番号を使ってかける』（⇒P.1-45）へ
- 『内線を検索する』（⇒P.1-52）へ

電話機の調整のしかた

多機能電話機では、次のような調整や設定ができます。

- 音や表示器を調整する
  『音や表示器を調整する』(⇒P.1-32)
- 着信音の音色を設定する
  『着信音の音色を設定する』(⇒P.1-33)
- ダイヤルボタンを押したときの音を設定する
  『ダイヤルボタンを押したときの音を設定する』(⇒P.1-34)
- 内線からの着信方法を設定する
  『内線からの着信方法を設定する』(⇒P.1-34)
- 電話機に使用者の名前を登録する
  『電話機に使用者の名前を登録する』(⇒P.1-35)
- 『表示器内の文字を縦倍角表示にする』(⇒P.1-35)
- 『電話機の角度を調整する』(⇒P.1-36)

メニューボタンを使用する調整や設定については、『メニューボタンのメニューについて』(⇒P.1-16)を参照してください。

音や表示器を調整する

<ボリュームコントロール>
次の調整を行うには、十字キーの上下(ボリューム)を使います。

- 受話音量:受話器から聞こえる声
- スピーカ音量:スピーカから聞こえる声
- 着信音量:電話機のベルの音
- 話中着信音量:通話中に着信したときのベルの音
- 濃淡:表示器のコントラスト

▼ 受話音量を変える

受話器で通話中に、十字キーの上下(ボリューム)を押してください。内線通話中の受話音量と、外線通話中の受話音量のそれぞれを変更することができます。

大きくする

小さくする

▼ スピーカ音量を変える

スピーカから音が出ているときに、十字キーの上下(ボリューム)を押してください。内線通話中のスピーカ音量と、外線通話中のスピーカ音量のそれぞれを変更することができます。

大きくする

小さくする

▼ 着信音量を変える

着信音が鳴っている間に、十字キーの上下(ボリューム)を押してください。

大きくする

小さくする

また、着信音が鳴っていない場合は、次の手順で調整します。

《特番を使うとき》

電話機を使っていないときに、次の操作を行います。

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ③ ⑦ を押す
   937 は、着信音量設定の特番（初期値）です。
3. スピーカから着信音が鳴る
4. （ボリューム）を押して調整する
5. スピーカ を押す

▼ 話中時の着信音量を変える

電話機を使っていないときに、次の操作を行います。

1. 受話器を上げる
2. ⑨ ③ ⑦ を押す
   937 は、話中着信音量設定の特番（初期値）です。
3. スピーカから話中着信音が鳴る
4. （ボリューム）を押して調整する
5. 受話器を戻す

着信音の音色を設定する

<着信音色切替>
内線や外線から着信したときに鳴る着信音の音色を、11 種類の中から選ぶことができます。
着信音を設定する前に、どのような音かを確認してから、設定してください。

注意
着信音としてお好きな曲をミュージックリング 1～3 に登録してお使いになりたい場合は、電話機がミュージックリングに対応するか確認してください。対応していない場合は着信音の音色を 8 種類の中から選ぶことができます。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ を押す
2. ⑨ ② ⓪ を押す
   920 は、着信音色切替の特番（初期値）です。

```
着信音 設定
内線:1 外線:2
```

3. 内線の番号（1）を押す
   電話機によって表示が異なります。
   例はミュージックリングに対応している電話機の場合です。
   ミュージックリングに対応していない電話機の場合は MR:3 は表示されません。

```
着信音 設定 内線
鳴動音:1 ﾒﾛﾃﾞｨ:2 MR:3
```

4. **鳴動音の種類（1～3）を押す**

```
着信音 設定 内線
ﾒﾛﾃﾞｨ: 1-5
```

5. **着信音の種類（1～5）を押す**

例：2（メロディ）を選択した場合
- 鳴動音：1 を選択した場合（1～3）
- MR：3（ミュージックリング）を選択した場合（1～3）

```
着信音 設定 内線
着信音 設定完了
```

6. **押した番号の鳴動音が鳴る**

鳴動音が流れ、設定した鳴動音を確認することができます。

7. **スピーカ を押す**

これで、着信音の音色が設定できました。

ダイヤルボタンを押したときの音を設定する

＜キータッチトーン／ダイヤル読み上げ＞
多機能電話機のダイヤルボタンを押すたびに“ピッ”という音を出すことができます。ボタンを押したことを音で確認できます。

▼ 設定のしかた

1. **スピーカ を押す**

2. **⑨ ① ⑨ を押す**

919 は、キータッチトーンの特番（初期値）です。

3. **スピーカ を押す**

これで、キータッチトーンが設定できました。

▼ 解除のしかた

設定のしかたと同じ操作をもう一度行うと、解除することができます。

内線からの着信方法を設定する

<内線呼出の音声／信号の呼出指定>
内線から電話がかかってきたときに、着信音を鳴らすか、声での呼び出しにするかを設定します。
着信側の電話機であらかじめ設定しておくだけで利用できます。

▼ 設定のしかた

1. **スピーカ を押す**

2. **内線の着信方法の番号を押す**
- 信号着信を設定するとき：916（初期値）
- 音声着信を設定するとき：915（初期値）

3. スピーカ **を押す**

これで、内線の着信方法が設定できました。

電話機に使用者の名前を登録する

＜内線名称入力＞
名前を登録しておくと、内線に電話をかけたとき、自分の名前を相手の電話機に表示します。
また、電話機を使用していないときや、内線を呼出中、内線を使用中に使用者の名前を表示します。

- お買い上げの状態：内線番号を表示しています。

着信 <<< 100

- 名前を登録した状態

着信 <<< 総務　田中

▼ 登録のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ② ② **を押す**
922 は、内線名称入力の特番（初期値）です。

3. **名前を登録したい内線番号を押す**

4. **名前を入力する**
入力のしかたは『文字を入力する』（⇒P.1-160）を参照してください。

5. 保留 **を押す**

6. スピーカ **を押す**

これで、使用者の名前が登録できました。

表示器内の文字を縦倍角表示にする

<LCD 縦倍角表示設定>
表示器のカレンダー・時計表示行および内線番号（内線名称）表示行の文字を、縦倍角で表示させることができます。

注意

縦倍角表示にすると、メニュー（IP 多機能電話機の場合は、ショートカットメニュー）のアイコンが表示されなくなります。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**

2. ⑨ ⑥ ③ **を押す**
963 は、LCD 縦倍角表示設定の特番（初期値）です。

縦倍角表示設定（0-2）

3. **表示方法を指定する番号を押す**

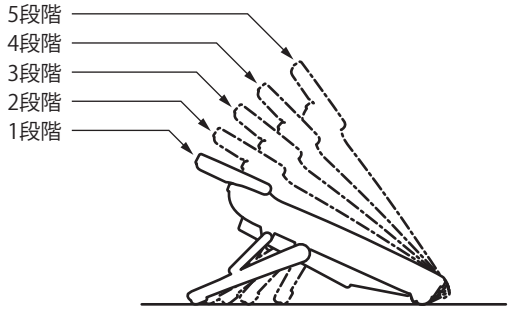
- 通常表示:0
- カレンダー・時計表示行を縦倍角表示:1
- 内線番号(内線名称)表示行を縦倍角表示:2

4. **受話器を戻す**

これで、縦倍角表示が設定できました。

電話機の角度を調整する

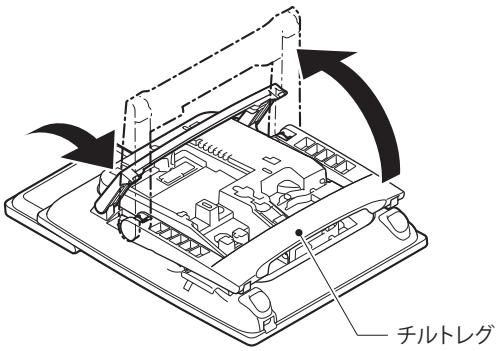
電話機裏面にあるチルトレグ(あし)を使って、電話機の角度を 4 段階で変えることができます。使いやすい角度に調整してください。
電話機のタイプにより、背面の形状は異なりますが、調整方法は同じです。



▼ チルトレグで角度を上げる

1. **電話機を裏返す**

2. **ストッパーを手前に倒し、“カチッ” と音がするまでチルトレグをはめ込む**

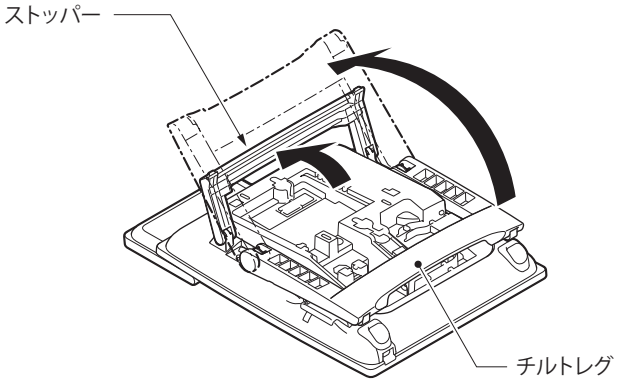


3. **電話機を表に返す**

▼ チルトレグで角度を下げる

1. **電話機を裏返す**

2. ストッパーを奥側に倒し、“カチッ”と音がするまでチルトレグをはめ込む



3. 電話機を表に返す

外線に電話をかける

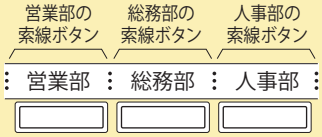
外線への電話のかけかたには、次の方法があります。

- 発信ボタンを使ってかける
  『発信ボタンを使ってかける』(⇒P.1-38)
- 外線ボタンを使ってかける
  『外線ボタンを使ってかける』(⇒P.1-39)
- 電話番号を確認してからかける
  『電話番号を確認してからかける』(⇒P.1-39)
- 索線ボタンを使ってかける
  『索線ボタンを使ってかける』(⇒P.1-40)
- 特番を使ってかける
  - 外線グループ内の空き外線を使ってかける
    『▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
  - 指定した外線を使ってかける
    『▼ 指定した外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
- 一度かけた相手にかけ直す
  『一度かけた相手にかけ直す』(⇒P.1-42)
- 相手が出るまで自動でかけ直す
  『相手が出るまで自動でかけ直す』(⇒P.1-44)
- 短縮番号を使ってかける
  『短縮番号を使ってかける』(⇒P.1-45)

こんなときは

索線ボタンとは

部署ごとなどで割り当てられたいくつかの外線を、グループとして 1 つのボタンに割り付けます。このボタンを索線ボタンといいます。



外線グループとは

いくつかの外線を、部署ごとなどのグループに分けたものです。電話をかけるときに外線グループを指定すると、そのグループ内の空外線を自動的に選んで発信できます。

発信ボタンを使ってかける

<空外線自動選択>
発信ボタンを押すと、そのとき空いている外線を使って電話をかけることができます。

▼ かけかた

1. 発信 **を押す**

外線ボタンが緑点灯します。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

LINE 001

2. **電話番号を押す**

```
LINE 001
                01234567
```

3. **受話器を上げる**

4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

受話器を上げるタイミング

上記手順のどこで受話器を上げても、かけることができます。

受話器を上げるだけで空いている外線を選びたい

受話器を上げるだけで、空いている外線を選ぶようにすることもできます（外線自動選択）。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

外線ボタンを使ってかける

<ワンタッチオンフックダイヤル（ダイレクトライン方式の場合）>
ランプが消えている外線ボタンを押すと、その外線を使って電話をかけることができます。

▼ かけかた

1. **□（外線ボタン）を押す**

押した外線ボタンが緑点灯します。

```
LINE 001
```

2. **電話番号を押す**

```
LINE 001
                01234567
```

3. **受話器を上げる**

4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

受話器を上げるタイミング

上記手順のどこで受話器を上げても、かけることができます。

電話番号を確認してからかける

<プリセットダイヤル>
ダイヤルした相手の電話番号に、間違いがないかを確認してから発信することができます。

▼ かけかた

1. 電話番号を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾀﾞｲﾔﾙ
              ﾀﾞｲﾔﾙ 01234567
```

2. ▭（外線ボタン）を押す

外線ボタンが緑点灯します。

```
  LINE 001
              01234567
```

3. 受話器を上げる

```
  LINE 001
              01234567
```

4. 相手が出たら、通話する

こんなときは

受話器を上げるだけで空いている外線を選びたい

受話器を上げるだけで、空いている外線を選ぶようにすることもできます（外線自動選択）。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

索線ボタンを使ってかける

<索線形外線発信> 工事

索線ボタンを押すと、あらかじめ指定してある外線グループの中から、空いている外線を使って電話をかけることができます。

▼ かけかた

1. ▭（索線ボタン）を押す

索線ボタンまたは外線ボタンが緑点灯します。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
  LINE 001
```

2. 電話番号を押す

```
  LINE 001
              01234567
```

3. 受話器を上げる

4. 相手が出たら、通話する

こんなときは

受話器を上げるタイミング

上記手順のどこで受話器を上げても、かけることができます。

特番を使ってかける

電話機に、外線ボタンや索線ボタンを割り付けていない場合は、特番を使って外線に電話をかけることができます。
指定できる外線は、次のとおりです。

- 外線グループ内の空いている外線
  『▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
- 指定した外線
  『▼ 指定した外線を使ってかける』(⇒P.1-41)

▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける

<外線グループ捕捉> 工事

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ① ④ を押す

814 は、外線グループ捕捉の特番(初期値)です。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ No.
```

3. 外線グループ番号を押す

外線グループ内の空き外線を選びます。
外線グループ番号は、販売店にご確認ください。

```
LINE 001
```

4. 電話番号を押す

```
LINE 001
                01234567
```

5. 相手が出たら、通話する

▼ 指定した外線を使ってかける

＜指定外線捕捉＞ 工事

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ① ⑤ を押す

815 は、指定外線捕捉の特番(初期値)です。

```
外線 No.
```

3. 外線番号を押す

```
LINE 001
```

4. **電話番号を押す**

```
LINE 001
                01234567
```

5. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

外線番号とは

システムに収容されている回線に、工事段階で割り振られた番号のことです。
外線番号が 1 桁のときは、頭に“00”を付けてください。
例:外線番号 1 の場合は“001”と押します。

一度かけた相手にかけ直す

＜再ダイヤル＞
電話をかけた相手にもう一度かけたいとき、簡単に電話をかけ直すことができます。
かけた電話番号の履歴を、最大 10 件まで記憶できます。10 件を超えた場合は、古い番号から順に上書きされます。
また、記憶できる電話番号は、最大 24 桁までです。

▼ 直前にかけた相手にかけ直す

1. **（再／短）を押す**

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

2. **受話器を上げる**

```
LINE 001
          再ﾀﾞｲﾔﾙ 01234567
```

3. **相手が出たら、通話する**

▼ 発信履歴から探してかけ直す

記憶されている 50 件の発信履歴から探してかけ直します。

《十字キーを使うとき》

1. （再／短）を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。
発信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から表示されます。

- 発信履歴
  『十字キーのメニューについて』（⇒P.1-29）の『十字キーの左（再／短）メニューを操作する』（⇒P.1-29）を参照してください。

```
01:  9-30 16:13   0312345678
02:  9-30 15:58   0698765432
03:  9-30 15:22   08012345678
```

2. （ボリューム）を押すと、発信履歴に記憶されている番号が切り替わる

十字キーの下（ボリューム）を押すごとに、発信履歴に記憶されている新しい番号から順に 3 件表示されます。
ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。
（確定）ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。
クリアボタンを押すと、発信履歴画面に戻ります。

履歴詳細画面

```
01 :
     9-30 16:13     0312345678
                 登録      削除
```

3. かけ直したい電話番号が表示されたら受話器を上げる

4. 相手が出たら通話する

《ソフトキーを使うとき》

1. “履歴”のソフトキーを押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

```
履歴 ﾒﾆｭｰ

 発信     着信
```

2. “発信”のソフトキーを押す

発信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から 3 件表示されます。

```
01:  9-30 16:13   0312345678
02:  9-30 15:58   0698765432
03:  9-30 15:22   08012345678
```

3. **（ボリューム）を押すと、発信履歴に記憶されている番号が切り替わる**

十字キーの下（ボリューム）を押すごとに、発信履歴に記憶されている新しい番号から順に 3 件表示されます。ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

（確定）ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。

履歴詳細画面

```
01 :
    9-30 16:13      0312345678
                 登録      削除
```

4. **かけ直したい電話番号が表示されたら受話器を上げる**

5. **相手が出たら通話する**

相手が出るまで自動でかけ直す

＜リピートダイヤル＞
外線に電話をかけて、相手が出ないときや通話中のとき、自動でくり返してかけ直すことができます。

▼ 設定のしかた

1. **外線に発信中**

2. **相手が不在、または通話中**

3. **特殊 を押す**

4. **（再／短）を押す**

```
    LINE 001
ﾘﾋﾟｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
```

5. **受話器を戻す**

これで、リピートダイヤルが設定できました。
一定時間が経過すると、自動的に発信されます。
相手が出ないまま一定時間が経過すると、自動で発信を切断します。
リピートダイヤルは、次のいずれかの方法で解除されるまで、発信をくり返します。

- 相手が応答したとき
- リピートダイヤルを解除したとき
- リピートダイヤルで設定されている再呼出の回数に達したとき

こんなときは

リピートダイヤルの回数

リピートダイヤルは、次のタイミングで自動的にかけ直します。

- 呼出間隔：60 秒
- 呼出回数：3 回
- 呼出時間：30 秒

この回数は、工事段階で設定します。

▼ 解除のしかた

《発信中のとき》

相手を呼出中にリピートダイヤルを解除するときは、次の操作です。

1. リピートダイヤルで発信中

```
リピートダイヤル 01234567
```

2. 受話器を上げて戻す

これで、リピートダイヤルが解除できました。

《発信が中断しているとき》

発信が中断している際にリピートダイヤルを解除するときは、次の操作です。

1. 電話機が未使用の状態

2. 特殊 を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

3. （再／短）を押す

これで、リピートダイヤルが解除できました。

短縮番号を使ってかける

＜短縮ダイヤル発信＞ 工事

電話をよくかける相手先の電話番号を、短縮番号に登録しておくと、短い番号でかけられるようになります。
短縮番号は、会社で共通して使用したい客先などの電話番号や、専用線などを使ってかける電話番号を登録するときに使用します。
短縮番号の登録には、次の 3 通りの方法があります。

- 共通短縮ダイヤル
  システム内のどの電話機からでも使える共通短縮番号です。
  登録可能な件数は 000～899 の 900 件です。また、工事段階の設定で、グループ短縮ダイヤルと合わせて、最大 10000 件まで登録できます。
- グループ短縮ダイヤル
  電話機が登録されているグループ内の短縮番号です。
  グループは、最大 64 グループまで分けられます。共通短縮ダイヤルと合わせて、最大 10000 件まで登録できます。
  グループ短縮ダイヤルを使用するには、工事段階の設定が必要です。
- 個別短縮ダイヤル
  電話機ごとに使える短縮番号です。
  電話機ごとに、900～919 の最大 20 件まで登録できます。

短縮番号を使ってかけるには、次の 2 通りの方法があります。

- 再／短（十字キーの左）でかける
  短縮番号がわかっている場合のかけかたです。
  十字キーの左（再／短）を押してから、短縮番号を押してかけます。
- 検索機能を使ってかける
  短縮番号がわからない場合のかけかたです。
  十字キーの右（電話帳）またはソフトキーを押したあと、相手の名前を頭文字などで検索してからかけます。

注意

- 十字キーの左（再／短）を押したときに、共通短縮番号とグループ短縮番号のどちらを利用するかは、あらかじめ工事段階で設定しておきます。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 短縮ダイヤルの使用開始後に短縮ダイヤル選択の桁数 000～999 を 0000～9999 へ変更した場合、3 桁で選択していた範囲も 4 桁の短縮番号選択に変更されます。（例：010 の指定が、0010 に変更となります。）

こんなときは

短縮番号をそれほど多く使用しない場合は

短縮ダイヤルの範囲を次のように設定して、桁数を減らすことができます。

- 共通短縮ダイヤル:00～79
- 個別短縮ダイヤル:80～99

この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

短縮番号をたくさん使用したい場合は

短縮ダイヤルを 1000 件を超えて使用したい場合、短縮ダイヤルの選択桁数として 4 桁(0000～9999)を選択できるように、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 十字キーの左（再／短）を使ってかける

1. （再／短）を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。

ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

2. 短縮番号を押す

登録されている電話番号と名称が表示されます。

3. 受話器を上げる

相手先番号へ発信されます。

4. 相手が出たら、通話する

こんなときは

短縮番号で発信できない

ご使用の電話機では、短縮番号に設定されている相手の利用を規制されていることが考えられます。システム管理者に確認してください。

グループ短縮番号をボタン 1 つで指定したい

ファンクションボタンにグループ短縮ボタンを設定しておくと、十字キーの左(再／短)のように使えます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

短縮番号を押した時点で発信されるようにしたい

左記手順 2 の操作で、自動的に空いている外線を選ぶようにすることができます(オンフックダイヤル)。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

発信する外線を指定する場合は

次の手順で操作してください。

受話器を上げる → 下記のいずれかの操作をする → 十字キーの左(再／短)→ 短縮番号

- 外線ボタンを押す
- 索線ボタンを押す
- [814](外線グループ捕捉の特番)を押す
- [815](指定外線捕捉の特番)→ 外線番号を押す

▼ 検索機能を使ってかける

《十字キーを使うとき》

1. **（電話帳）を押す**

『十字キーのメニューについて』の『十字キーの右（電話帳）メニューを操作する』（⇒P.1-30）を参照してください。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
 ◀
 英字   ﾒﾆｭｰ  ←      →
```

2. **を押し、検索したい短縮を表示する**

例：“共通短縮”を選択した場合
ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

```
検索                    [7]
共通短縮
↑    ↓      発信    削除
```

3. 検索したい文字を入力する

ダイヤルボタンの右上にかかれている文字に応じて、検索したい文字のボタンを押します。
カタカナと英数字とを切り替えるときは、フックボタンを押すと、表示が[ア]⇔[A]に切り替わります。
文字の入力を間違えたときは、“削除”のソフトキーを押すと、1 文字分を削除することができます。
続けてダイヤルすると、2 文字目以降が入力できます。

カタカナ入力時の文字とダイヤルボタンの対応					
ア行	①	ナ行	⑤	ラ行	⑨
カ行	②	ハ行	⑥	ワ行	⓪
サ行	③	マ行	⑦		
タ行	④	ヤ行	⑧		

英数字入力時の文字とダイヤルボタンの対応					
−	①	JKL	⑤	WXYZ	⑨
ABC	②	MNO	⑥	−	⓪
DEF	③	PQRS	⑦		
GHI	④	TUV	⑧		

その他文字とダイヤルボタンの対応			
*	濁点・半濁点・長音符・その他記号	#	カーソル右移動

例: ④ を押した場合

```
検索                    [ｱ]
タ
  ↑     ↓     発信   削除
```

4. “↓” のソフトキーを押す

```
001                     田中
                   0123456789
  ↑     ↓     発信
```

5. “発信” のソフトキーを押す

6. 受話器を上げる

7. 相手が出たら、通話する

《ソフトキーを使うとき》

1. “検索”のソフトキーを押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
検索 ﾒﾆｭｰ

 短縮    内線   電話帳
```

2. “短縮”のソフトキーを押す

```
短縮 検索

 共通   グループ
```

共通短縮　グループ短縮

3. 検索したいソフトキーを押す

例:“共通”のソフトキーを押した場合

```
検索                    [7]
共通短縮
```

4. 検索したい文字を入力する

『▼ 検索機能を使ってかける』(⇒P.1-47)の『《十字キーを使うとき》』(⇒P.1-47)を参照してください。

5. “↓”のソフトキーを押す

6. “発信”のソフトキーを押す

7. 受話器を上げる

8. 相手が出たら、通話する

▼ 短縮番号を登録する

《登録のしかた》

こんなときは

短縮番号として使える番号や登録できる件数などについて
工事段階で変更できます。詳しくは、販売店にご確認ください。

短縮ダイヤルには、番号のほかに、ポーズやフッキング信号(下表参照)などを含め、最大 24 桁までの電話番号を登録することができます。また、相手の名前を、最大全角 12 文字(半角の場合 24 文字)で登録することができます。

登録内容	登録時に押すボタン	表示
0 ～ 9、*、#	0 ～ 9、*、#	0 ～ 9、*、#
ポーズ	転送	P
フッキング信号	フック	R
応答待ちコード	応答	@

注意

- 個別短縮への登録は、各電話機で行うことができますが、共通短縮への登録は、システム管理者に限られています。
- 応答待ちコードを含めて登録した場合、応答待ちコード以降に登録した番号が、相手の応答後に送出されます。
- PBX 回線が収容されている場合には、電話番号の前に外線発信番号「0」を付けて登録する必要があります。詳しくは、販売店にご確認ください。
- 短縮ダイヤルを登録直後にシステムの電源を切る場合は、登録した短縮ダイヤルがシステムに書き込まれたことを確認してください。詳しくは『短縮番号を使ってかける』(⇒P.1-45)の『▼ 確認のしかた』(⇒P.1-51)を参照してください。

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ⓪ ④ **を押す**

*04 は、共通・個別短縮登録の特番(初期値)です。グループ短縮を登録するときは、*05(初期値)を押します。

```
短縮 登録
```

3. **短縮番号を押す**

例:010 と押す

4. **電話番号を押す**

```
短縮 0010
                0312345678
```

5. 保留 **を押す**

名前を入力しない場合は、手順 7 に進みます。

```
短縮 0010                漢全
                          ◂
 カナ    ←     →
```

6. **相手の名前を入力する**

相手の名前は、全角 12 文字(半角の場合 24 文字)まで入力できます。また、全角と半角を混ぜて使用できます。文字入力のしかたは、『文字を入力する』(⇒P.1-160)を参照してください。

```
短縮 0010                英半
鈴木一郎 PHS              ◂
 数字    ←     →
```

7. 保留 **を押す**

手順 6 で入力した名前の読みカナ(半角 12 文字まで)が表示されます。読みカナを修正するときは、文字入力と同じ要領で修正します。

```
短縮 0010                ｶﾅ半
ｽｽﾞｷｲﾁﾛｳ PHS ◂
 英字    ←     →
```

8. 保留 **を押す**

```
短縮 登録
```

9. スピーカ **を押す**

これで、短縮番号の登録ができました。

こんなときは

複数の短縮番号を登録したい

手順 8 のあと、手順 3 からくり返します。

別の電話番号に変更したい

同じ短縮番号に新しい電話番号を登録すると、古い電話番号は消去され、新しい電話番号におき替わります。

▼ 確認のしかた

1. Help を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
チェック
```

2. （再／短）を押す

```
チェック
                    短縮
```

3. 短縮番号を押す

```
チェック                本社
        短縮 010 0123456789
```

4. Exit を押す

▼ 消去のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ⓪ ④ を押す

*04 は、共通・個別短縮ダイヤル設定の特番（初期値）です。

3. 短縮番号を押す

4. Exit を押す

5. スピーカ を押す

これで、短縮番号の登録内容を消去できました。

内線に電話をかける

内線への電話のかけかたには、次の方法があります。

- 内線を呼び出す
  『内線を呼び出す』(⇒P.1-52)
- 『内線を検索する』(⇒P.1-52)
- 相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す
  『相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す』(⇒P.1-53)
- 相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す
  - 別の内線番号を呼び出す
    『▼ 別の内線番号を呼び出す』(⇒P.1-54)
  - 同じ内線グループ内の内線を呼び出す
    『▼ 同じ内線グループ内の内線を呼び出す』(⇒P.1-55)
- 電話機の周囲にいる人に呼びかける
  『電話機の周囲にいる人に呼びかける』(⇒P.1-55)
- ほかの部署にかける
  - 部署の代表番号にかける
    『▼ 部署の代表番号にかける』(⇒P.1-56)
  - 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す
    『▼ 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す』(⇒P.1-56)
- 受話器を上げるだけで特定の内線にかける
  『受話器を上げるだけで特定の内線にかける』(⇒P.1-57)

こんなときは

内線グループとは

いくつかの電話機を、部署ごとなどのグループに分けたものです。内線グループ内で、ほかの内線への呼び出しに代理応答したり、内線を呼び出し直したりすることができます。内線グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

内線を呼び出す

<内線相互接続>
内線に電話をかけることができます。

▼ かけかた

1. 受話器を上げる

2. 内線番号を押す

呼出	120

3. 相手が出たら、通話する

内線を検索する

登録された内線名称から内線に電話をかけることができます。

▼ 検索のしかた

1. **（電話帳）を押す**

『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの右(電話帳)メニューを操作する』(⇒P.1-30)を参照してください。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
                ◂
 英字   ﾒﾆｭｰ  ←      →
```

2. **（再／短）を押す**

ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

```
検索                      [ｱ]
内線
↑     ↓      発信     削除
```

3. **検索したい文字を入力する**

『▼ 検索機能を使ってかける』(⇒P.1-47)の『《十字キーを使うとき》』(⇒P.1-47)を参照してください。
内線名称が登録されていないときは、十字キーの上下(ボリューム)または“↑”“↓”のソフトキーを押すと番号が切り替わります。

これで、内線名称の検索ができました。
電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。

相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す

＜内線予約／内線コールバック＞ 工事
内線にかけた相手が通話中のとき、相手の通話が終わりしだい呼び出す、または知らせが入るようにすることができます。
設定のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 内線予約
  相手の電話が終わるまで、受話器を持ったまま待ち、電話が終わりしだい呼び出すようにする。
- 内線コールバック
  いったん電話を切り、相手の電話が終わったら知らせが入るようにする。

▼ 設定のしかた

1. **内線を呼出中**

2. **話中音が聞こえる**

```
話中                      120
```

3. ⑧ ⓪ ④ **を押す**

804 は、外線・内線予約の特番（初期値）です。
“ピッ”という確認音が聞えます。

内線予約	120

これで、内線予約が設定できました。
そのままの状態で待っていると、相手の電話が終わりしだい、相手を呼び出します。
電話をいったん切って待つとき（内線コールバック）は、次の手順 4 に進みます。

4. **受話器を戻す**

内線予約	120

これで、内線コールバックが設定できました。
相手の通話が終わると、呼返音が鳴ります。受話器を上げると相手を呼び出します。

▼ 解除のしかた

受話器を上げたまま待っている（内線予約中）場合は、いったん受話器を戻します。

1. **内線コールバックを設定中**

内線予約	120

2. スピーカ **を押す**

3. ⑧ ⓪ ⑤ **を押す**

805 は、外線・内線予約解除の特番（初期値）です。

予約解除

4. スピーカ **を押す**

これで、内線コールバックが解除できました。

こんなときは

よく内線予約／内線コールバックを利用する方へ

電話機のファンクションボタンに予約ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す

内線にかけても相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに、ほかの人を呼び出し直すことができます。

注意

リセットコールとステップコールは、内線呼出中のときだけ利用できます。相手が出たあとでかけ直すときは、電話をいったん切ってください。

▼ 別の内線番号を呼び出す

<リセットコール> 工事

内線にかけた相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに別の内線番号を押して、かけ直すことができます。

1. **内線を呼出中**

呼出	120

2. **相手が出ない、または話中音が聞こえる**

3. **別の内線番号を押す**

呼出	130

4. **相手が出たら、通話する**

▼ 同じ内線グループ内の内線を呼び出す

<ステップコール> 工事

内線にかけた相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに相手と同じ内線グループ内の内線にかけ直すことができます。

1. **内線を呼出中**

呼出	120

2. **⑧ ⓪ ⑦ を押す**

807 は、ステップコールの特番（初期値）です。
最初に呼び出していた相手と同じ内線グループの人を呼び出します。

呼出	121

3. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

よくステップコールを利用する方へ

電話機のファンクションボタンにステップコールボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

電話機の周囲にいる人に呼びかける

<信号／音声呼出切替>

内線にかけた相手が出ないとき、電話機のスピーカから音声を出して、周囲の人に呼びかけることができます。音声に切り替えたあと、元の信号音での呼出に戻すこともできます。

▼ かけかた

1. **内線を呼出中**

呼出	120

2. **① 押す**

3. **音声呼出に切り替わる**

1 を押すたびに、音声呼出と信号音呼出が切り替わります。

こんなときは

特番を使って切り替えることもできます

内線を呼出中に、信号／音声呼出切替の特番 806（初期値）を押しても、切り替えることができます。
特番を使うには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

ほかの部署にかける

社内の電話機を、部署単位などでグループ分けができます。
その部署に対し、次の 2 通りの方法で電話をかけることができます。

- 部署の代表番号にかける
  <内線代表呼出>
- 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す
  <内線代理着信>

▼ 部署の代表番号にかける

<内線代表呼出> 工事

内線番号とは別に、部署全体の内線番号（代表番号）を決めておくことができます。その代表番号を押して、部署内の空いている電話機を呼び出すことができます。

1. **受話器を上げる**
2. **内線代表番号を押す**
3. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

内線代表呼出で着信する電話機

内線代表呼出で着信する際の着信順には、パイロット方式と簡易 UCD 方式の 2 種類があります。

- パイロット方式：
  常に着信順が 1 番目に設定されている電話機に着信する
- 簡易 UCD 方式：
  前回着信した電話機の次の順番に設定されている電話機に着信する

工事段階の設定により、着信する方式が変わります。どちらの方式になっているかは、販売店にご確認ください。

▼ 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す

<内線代理着信> 工事

電話をかけたい相手が通話中の場合は、同じ部署内の空いている電話機を呼び出すことができます。

1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**

転送 >>	151

3. **電話をかけた相手が通話中のとき、自動的にほかの内線を呼び出す**
4. **相手が出たら、通話する**
   電話を受けた相手の内線番号が表示されます。

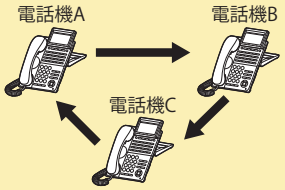
通話	151

こんなときは

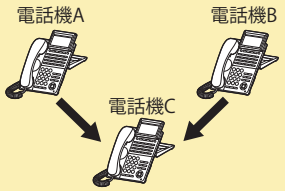
内線代理着信で着信する電話機

内線代理着信で着信する際の着信方式には、次の 2 種類があります。

- 話中時の転送先が円を描いている場合
  電話機 A→電話機 B→電話機 C→電話機 A というように、順次転送されます。
  もし、すべての電話機が話中の場合には、電話をかけてきた相手に話中音を流します。



- 話中時の転送先が 1 台の電話機に集中している場合
  どの電話機にかけても、通話中の場合には決まった電話機に転送されます。



工事段階の設定により、着信する方式が変わります。どちらの方式になっているかは、販売店にご確認ください。

受話器を上げるだけで特定の内線にかける

＜内線ホットライン＞ 工事

受話器を上げるだけで、特定の内線に電話をかけることができます。会社などの、無人の受付で利用すると便利です。

▼ かけかた

1. 受話器を上げる

あらかじめ決められた相手を呼び出します。

2. 相手が出たら、通話する

こんなときは

内線ホットラインの電話機で、外線にかけたい

受話器を上げる前に、外線ボタンを押してから番号を押すと、かけられます。

内線ホットラインの電話機で、ほかの内線にかけたい

受話器を上げてから約 5 秒（初期値）の間に内線番号を押してください。
内線番号を押すことができる時間は、工事段階の設定で変更することができます。

電話を受ける

電話の受けかたには、次の方法があります。

- 応答ボタンを使って受ける
  『応答ボタンを使って受ける』(⇒P.1-58)
- 外線ボタンを使って受ける
  『外線ボタンを使って受ける』(⇒P.1-58)
- 受話器を上げるだけで受ける
  『受話器を上げるだけで受ける』(⇒P.1-59)
- 受話器を上げるだけで受けるかどうかを自分で切り替える
  『受話器を上げるだけで受けるかどうかを自分で切り替える』(⇒P.1-59)
- 内線からの電話を受ける
  『内線からの電話を受ける』(⇒P.1-60)

応答ボタンを使って受ける

＜外線応答＞
外線から着信中に応答ボタンを押して応答します。

▼ 受けかた

1. 外線から着信中

応答ボタンが赤点滅します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

着信

2. 受話器を上げる

3. 応答 を押す

応答

4. 相手と通話する

こんなときは

着信自動応答を設定している場合は
受話器を上げるだけで応答することができます。

外線ボタンを使って受ける

<任意外線応答> 工事
外線から着信中に、点滅している外線ボタンを押して応答します。

▼ 受けかた

1. 外線から着信中

外線ボタンが赤点滅します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

着信

2. **受話器を上げる**

3. **点滅している ▭（外線ボタン）を押す**

応答

4. **相手と通話する**

こんなときは

受話器を上げるタイミング

外線ボタンを押してから受話器を上げても応答できます。
また、着信自動応答を設定している場合には、受話器を上げるだけで応答することができます。

受話器を上げるだけで受ける

＜着信自動応答＞ 工事

外線から着信中に、受話器を上げるだけで電話に応答できます。

▼ 受けかた

1. **外線から着信中**

外線ボタンが赤点滅します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

着信

2. **受話器を上げる**

応答

3. **相手と通話する**

受話器を上げるだけで受けるかどうかを自分で切り替える

＜応答プリセット＞ 工事

外線から着信中に、受話器を上げるだけで応答できるように、簡単に設定できます。この設定は、電話機の利用者が、状況に合わせて自由に設定と解除を切り替えることができます。

注意

設定の変更は、電話機が待ち受け状態のときに操作してください。

▼ 設定のしかた

1. **特殊 を押す**

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

2. **応答 を押す**

3. 応答ランプが赤点灯する

これで、応答プリセットが設定できました。
以降は、受話器を上げるだけで電話に出ることができます。

▼ 解除のしかた

1. [特殊] を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

2. [応答] を押す

3. 応答ランプが消灯する

これで、応答プリセットが解除できました。

▼ 受けかた

1. 外線から着信中

外線ボタンが赤点滅します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

着信

2. 受話器を上げる

応答

3. 相手と通話する

内線からの電話を受ける

<内線応答>
内線からの呼出には、受話器を上げるだけで応答できます。

▼ 受けかた

1. 内線から着信中

内線ボタンが赤点滅します(内線ボタンがファンクションボタンに設定されている場合)。

着信 <<<	120

2. 受話器を上げる

通話	120

3. 相手と通話する

代理で電話を受ける

ほかの人への着信を手元の電話機で受けるには、次の方法があります。

- ほかの人への電話を代わりに受ける
  『ほかの人への電話を代わりに受ける』(⇒P.1-61)
- 同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける
  - 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける
    『▼ 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける』(⇒P.1-62)
  - 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける
    『▼ 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける』(⇒P.1-62)
- ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける
  - グループ番号を指定して受ける
    『▼ グループ番号を指定して受ける』(⇒P.1-63)
  - ほかのグループへの着信を受ける
    『▼ ほかのグループへの着信を受ける』(⇒P.1-63)

機能ごとに代理応答できる着信とできない着信は、下表のとおりです。

○:代理応答可 ×:代理応答不可

代理応答の機能名	代理応答の対象	着信の種類			
		外線一般着信	外線個別着信	内線着信	ドアホン着信
指定内線代理応答	指定した内線	○	○	○	○
内線指定呼代理応答	自分が所属する代理応答グループ内の内線	×	○	○	○
グループ代理応答		○	○	○	○
グループ指定代理応答	指定した代理応答グループ内の内線	○	○	○	○
他グループ代理応答	他の代理応答グループの内線	○	○	○	○

こんなときは

代理応答グループとは

代理応答を行う電話機をグループ化したものです。内線グループとは異なります。グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

ほかの人への電話を代わりに受ける

<指定内線代理応答> 工事

ほかの人への着信に、手元の電話機から内線番号を指定して代わりに応答することができます。

▼ 受けかた

1. ほかの内線に着信中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ② ⑨ を押す

829 は、指定内線代理応答の特番(初期値)です。

```
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. **着信先の内線番号を押す**

代理応答	130

5. **相手と通話する**

通話	120

同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける

自分が所属する代理応答グループの人への電話に、手元の電話機で代わりに応答することができます。
応答のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける
  <内線指定呼代理応答>
- 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける
  <グループ代理応答>

▼ 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける

<内線指定呼代理応答> 工事

1. **ほかの内線に着信中**

2. **受話器を上げる**

3. **⑧ ② ⑤ を押す**

825 は、内線指定呼代理応答の特番（初期値）です。

代理応答	130

4. **相手と通話する**

通話	120

▼ 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける

<グループ代理応答> 工事

1. **ほかの内線に着信中**

2. **受話器を上げる**

3. **⑧ ② ⑦ を押す**

827 は、グループ代理応答の特番（初期値）です。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

代理応答	130

4. **相手と通話する**

通話	120

こんなときは

よくグループ代理応答を利用する方へ

電話機のファンクションボタンにグループ代理応答ボタンを割り付けておくと、受話器を上げ、内線のダイヤルトーンが聞こえてからこのボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける

ほかの代理応答グループの人への電話に、手元の電話機で代わりに応答することができます。代理応答グループが複数あるときは、その代理応答グループ番号を指定して応答できます。
応答のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- グループ番号を指定して受ける <グループ指定代理応答>
- ほかのグループへの着信を受ける <他グループ代理応答>

▼ グループ番号を指定して受ける

<グループ指定代理応答> 工事

1. ほかの代理応答グループの内線に着信中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ② ⑥ を押す

826 は、グループ指定代理応答の特番(初期値)です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ No.

4. 着信先の代理応答グループ番号を押す

代理応答	130

5. 相手と通話する

通話	120

こんなときは

よく代理応答を利用する方へ

電話機のファンクションボタンにグループ指定代理応答ボタンを割り付けておくと、受話器を上げ、内線のダイヤルトーンが聞こえてからこのボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ ほかのグループへの着信を受ける

<他グループ代理応答> 工事

1. ほかの代理応答グループの内線に着信中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ② ⑧ を押す

828 は、他グループ代理応答の特番(初期値)です。

代理応答	130

4. 相手と通話する

通話	120

こんなときは

よく代理応答を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに他グループ代理応答ボタンを割り付けておくと、受話器を上げ、内線のダイヤルトーンが聞こえてからこのボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

電話を保留する・取り次ぐ

外線や内線の電話の保留や取り次ぎかたには、次の方法があります。

- 外線との通話を保留する
  『外線との通話を保留する』(⇒P.1-65)
- 自分だけが応答できるように保留する
  『自分だけが応答できるように保留する』(⇒P.1-66)
- 外線との通話をほかの人に取り次ぐ
  - 口頭で取り次ぐ
    『▼ 口頭で取り次ぐ』(⇒P.1-67)
  - 内線に電話をかけて取り次ぐ
    『▼ 内線に電話をかけて取り次ぐ』(⇒P.1-68)
  - 保留した通話を自動で取り次ぐ
    『▼ 保留した通話を自動で取り次ぐ』(⇒P.1-69)
  - 内線グループ保留して取り次ぐ
    『▼ 内線グループ保留して取り次ぐ』(⇒P.1-69)
  - パーク保留して取り次ぐ
    『▼ パーク保留して取り次ぐ』(⇒P.1-70)
- 内線／外線ボタンを使って取り次ぐ
  『内線／外線ボタンを使って取り次ぐ』(⇒P.1-71)
- 着信音だけで取り次ぐ
  『着信音だけで取り次ぐ』(⇒P.1-72)
- 取り次ぎ先の通話終了後、自分に戻るようにする
  『取り次ぎ先の通話終了後、自分に戻るようにする』(⇒P.1-72)
- ほかの人の通話が終了後、自分につながるようにする
  『ほかの人の通話が終了後、自分につながるようにする』(⇒P.1-73)
- 内線通話を保留する
  『内線通話を保留する』(⇒P.1-74)
- 内線通話を取り次ぐ
  『内線通話を取り次ぐ』(⇒P.1-74)

注意

- 保留状態のまま約 90 秒が経過すると、保留警報音が鳴り、表示器に“保留リコール”が表示されます。このときは受話器を上げると、通話を再開できます。
- IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、受話器を上げる前に保留表示しているボタンを押しても再応答できません。受話器を上げてから保留表示しているボタンを押すと再応答できます。

外線との通話を保留する

<共通保留>

通話中に相手を待たせるとき、保留音を流して通話を保留にすることができます。

また、保留中の外線ボタンは、次のように点滅します。

- 自分が保留中：緑点滅
- ほかの人が保留中：赤点滅

保留にした通話を再開するときは、保留表示中の外線ボタンを押します。

▼ 保留のしかた

1. **外線と通話中**

2. 保留 **を押す**

保留した外線ボタンが緑点滅します。

保留

3. **受話器を戻す**

これで、通話が保留できました。
このあと、ほかの人へ転送するときは『外線との通話をほかの人に取り次ぐ』(⇒P.1-67)を参照してください。

▼ 再開のしかた

1. **外線を保留中**

2. **受話器を上げる**

3. **緑点滅している □（外線ボタン）を押す**

ほかの人が保留にしていた場合は、その人から聞いた番号の、赤点滅している外線ボタンを押します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

応答

4. **相手と通話する**

自分だけが応答できるように保留する

<個別保留>
外線通話を保留にするとき、自分だけが通話を再開できるように保留することができます。保留した通話を再開するときは、保留中の外線ボタンを押します。

注意

「ファンクションボタンの設定」により個別保留ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

こんなときは

いつも個別保留にしたい

工事段階の設定で保留ボタンを個別保留ボタンに変更することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 保留のしかた

《ファンクションボタンを使うとき》

1. **外線と通話中**

2. **□（個別保留ボタン）を押す**

保留した外線ボタンが緑点滅します。

保留

3. **受話器を戻す**

これで、通話が個別保留できました。

《特殊ボタンを使うとき》

1. **外線と通話中**
2. **[特殊] を押す**
3. **[保留] を押す**

保留

4. **受話器を戻す**

これで、通話が個別保留できました。

▼ 再開のしかた

1. **外線を個別保留中**
2. **受話器を上げる**
3. **緑点滅している [　] （外線ボタン）を押す**
   お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

応答

4. **相手と通話する**

こんなときは

操作中の電話機に、緑点滅している外線ボタンが無い
保留中の外線の外線ボタンが割り付けられていない場合、緑点滅中の応答ボタンまたは発信ボタンを押して再開します。

外線との通話をほかの人に取り次ぐ

外線との通話をほかの人に取り次ぐことができます。
電話の取り次ぎかたには、次の 5 通りの方法があります。

- 口頭で通話を取り次ぐ
  〈口頭転送〉
- 内線に電話をかけて通話を取り次ぐ
  〈保留転送〉
- 保留した通話を自動で取り次ぐ
  〈自動保留転送〉
- 通話を内線グループ保留して取り次ぐ
  〈内線グループ保留〉
- 通話をパーク保留して取り次ぐ
  〈パーク保留〉

▼ 口頭で取り次ぐ

〈口頭転送〉
外線との通話を近くにいる人に取り次ぐことができます。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**

2. 保留 **を押す**

保留

3. **受話器を戻す**

4. **近くの人に声をかける**

保留した外線番号を伝えます。

これで、口頭転送ができました。

《受けかた》

1. **受話器を上げる**

2. **赤点滅している ▭（外線ボタン）を押す**

取り次いでくれた人から聞いた外線番号のボタンを押します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

応答

3. **相手と通話する**

▼ 内線に電話をかけて取り次ぐ

<保留転送>
外線との通話を内線通話で用件を伝えてから、取り次ぐことができます。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**

2. 保留 **を押す**

保留

3. **取り次ぎたい人の内線番号を押す**

4. **相手が出たら、用件を伝える**

保留した外線の番号を伝えます。

5. **受話器を戻す**

これで、保留転送ができました。

《受けかた》

1. **内線と通話中**

電話を取り次いでくれた人から、保留中の外線番号を聞きます。

2. **赤点滅している ▭（外線ボタン）を押す**

取り次いでくれた人から聞いた外線番号のボタンを押します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

応答

3. **相手と通話する**

▼ 保留した通話を自動で取り次ぐ

<自動保留転送>
外線との通話を内線通話で用件を伝えたあと、転送ボタンを押して取り次ぐことができます。取り次ぎ先の相手は、待っているだけで自動的に外線とつながります。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**
2. **[保留] を押す**

保留

3. **取り次ぎたい相手の内線番号を押す**

呼出 120

4. **内線通話で電話を取り次ぐことを伝える**

通話 120

5. **[転送] を押す**

これで、自動保留転送ができました。

《受けかた》

1. **内線通話のあと、そのまま待つ**
2. **相手が [転送] を押すと、自動的に外線とつながる**
3. **外線の相手と通話する**

こんなときは

受話器を戻すだけで取り次ぎたい
内線通話のあと、転送ボタンを押さずに受話器を戻すだけで、自動的に外線とつながるようにすることもできます(オンフック自動転送)。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 内線グループ保留して取り次ぐ

<内線グループ保留> 工事
外線通話を内線グループ保留すると、内線グループ内のほかの電話機から、特番を押して応答することができます。一般電話機など、外線ボタンがない電話機からでも応答できます。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**
2. **[保留] を押す**

保留

3. **⑧ ③ ③ を押す**
833 は、内線グループ保留登録の特番(初期値)です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ保留

4.　受話器を戻す

これで、内線グループ保留ができました。
このあと、同じ内線グループ内のほかの人に取り次ぐことができます。

《受けかた》

1.　受話器を上げる

2.　⑧ ③ ④ を押す

834 は、内線グループ保留応答の特番（初期値）です。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

```
応答
```

3.　相手と通話する

▼ パーク保留して取り次ぐ

<パーク保留> 工事
外線ボタンがない電話機に取り次ぎたい通話が複数あるときは、パーク保留することができます。パーク番号を押して応答することができます。

《取り次ぎかた》

1.　外線と通話中

2.　[保留] を押す

```
保留
```

3.　⑧ ③ ① を押す

831 は、パーク保留登録の特番（初期値）です。

```
ﾊﾟｰｸ 保留
                ﾊﾟｰｸ No.ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4.　パーク番号を押す

パーク番号は、01 から 64 のうち、いずれかを押してください。

```
LINE 008        ﾊﾟｰｸ 01
```

5.　受話器を戻す

これで、パーク保留ができました。
ほかの人に取り次ぐときは、上記手順 4 で押したパーク番号を伝えます。

こんなときは

パーク保留中のボタン表示

パーク保留ボタンがあると、次のようにランプ表示されます。

- パーク保留した電話機：緑点滅
- ほかの電話機：赤点滅

《受けかた》

1.　受話器を上げる

2. ⑧ ③ ② を押す

832 は、パーク保留応答の特番（初期値）です。

```
ﾊﾟｰｸ 応答
                ﾊﾟｰｸ No.ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. パーク番号を押す

パーク保留するときに押したパーク番号を押します。
お使いの電話機の設定や契約状況によっては、表示が異なります。

```
応答
```

4. 相手と通話する

こんなときは

よくパーク保留を利用する方へ

電話機のファンクションボタンにパーク保留ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

内線／外線ボタンを使って取り次ぐ

<自動保留> 工事

外線との通話をほかの人に取り次ぐとき、内線ボタンまたは外線ボタンを使ってすばやく保留することができます。

- 取り次ぎ先が内線のとき
  内線ボタンを押すと、通話の保留と同時に内線呼出の準備ができます。
- 取り次ぎ先が外線のとき
  外線ボタンを押すと、通話の保留と同時に外線発信の準備ができます。

注意

- 「ファンクションボタンの設定」により内線ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。
  詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。
- 工事設定していない電話機で内線／外線ボタンを使って取り次ごうとすると、外線通話が切れてしまいます。

▼ 内線への取り次ぎかた

1. 外線と通話中

2. □（内線ボタン）を押す

外線通話が保留されました。

3. 取り次ぎたい人の内線番号を押す

4. 相手が出たら、用件を伝える

保留した外線の番号を伝えます。

5. 受話器を戻す

6. 取り次いだ相手が、赤点滅している □（外線ボタン）を押す

取り次いでくれた人から聞いた外線番号のボタンを押します。

7. 相手と通話する

▼ 外線への取り次ぎかた

1. 外線と通話中

2. ［　　］（外線ボタン）を押す
外線通話が保留されました。

3. 取り次ぎたい相手の電話番号を押す

4. 相手が出たら、用件を伝える
電話を取り次いでほしいことを伝えます。

5. ［転送］を押す
外線の相手と取り次いだ相手の通話がつながります。

着信音だけで取り次ぐ

<呼出状態転送>
外線からの電話を保留にしたあと、内線を呼び出し、相手が出る前に電話を切って取り次ぎます。こうすると、取り次ぎ先で改めて着信音が鳴ります。相手が不在の場合には、一定時間が経過すると、転送元の電話機で警報音が鳴ります。

▼ 取り次ぎかた

1. 外線と通話中

2. ［保留］を押す

保留

3. 取り次ぎ先の内線番号を押す

呼出	120

4. 相手が出る前に［転送］を押す

5. 受話器を戻す

これで、転送ができました。

▼ 受けかた

1. 着信音が鳴る

転送 <<<	100

2. 受話器を上げる

3. 外線の相手と通話する

取り次ぎ先の通話終了後、自分に戻るようにする

<折り返し転送>
ほかの人に取り次いだ外線通話が終わったら自分に戻してほしいとき、その通話が終わると同時に自分の電話に戻るようにすることができます。こうすると、電話を取り次いだあと、そのまま待っているだけで、もう一度話すことができます。

注意

「ファンクションボタンの設定」により折り返し転送ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ 取り次ぎかた

1. 外線と通話中
2. 保留 を押す

保留

3. 取り次ぎ先の内線番号を押す

呼出 120

4. 内線通話で電話を取り次ぐことを伝える

通話 120

5. (折り返し転送ボタン) を押す
保留していた外線と取り次ぎ先がつながります。

転送 待ち 120

6. 取り次ぎ先の相手と外線の相手が通話する
このとき受話器を持ったままの状態で待ちます。
7. 取り次ぎ先の相手が受話器を置くと、外線との通話が戻る
8. 外線の相手と通話する

ほかの人の通話が終了後、自分につながるようにする

<被保留転送> 工事
ほかの人が外線通話している相手と通話したい場合、その通話が終わると同時に自分の電話につながるようにすることができます。

▼ 設定のしかた

1. B さんが外線と通話中
2. 受話器を上げる
3. B さんが通話している (外線ボタン) を押す

転送 待ち 100

4. 受話器を持ったまま待つ
5. B さんが電話を切ると、B さんが通話していた相手と自分の電話がつながる

応答

6. 外線の相手と通話する

内線通話を保留する

<内線保留>
外線通話を保留するのと同じように、通話していた相手に保留音を流し、待ってもらうことができます。

▼ 保留のしかた

1. 内線と通話中

通話	120

2. 保留 を押す
内線ボタンが緑点滅します。

保留	120

3. 受話器を戻す

これで、内線通話が保留できました。

▼ 再開のしかた

1. 受話器を上げる
2. 相手と通話する
受話器を上げただけで保留が解除されない場合は、緑点滅している内線ボタンを押します。

内線通話を取り次ぐ

<内線の自動保留転送>
内線通話をほかの人に取り次ぐことができます。

▼ 取り次ぎかた

1. 内線と通話中
2. 保留 を押す

保留	120

3. 取り次ぎ先の内線番号を押す

呼出	130

4. 相手が出たら、用件を伝える
5. 転送 を押す

これで、内線通話の取り次ぎができました。

▼ 受けかた

1. 内線と通話中

2. そのまま待つ

相手が転送ボタンを押すと、保留になっていた内線と通話がつながります。

こんなときは

転送ボタンを押さずに取り次ぎたい

電話を取り次ぐ人が、受話器を戻すだけで内線がつながるように、工事段階で設定できます（オンフック自動転送）。詳しくは、販売店にご相談ください。

電話に出られないとき

会議や外出などで席を外すときや、通話中で別の電話に出ることができないときの転送設定には、次の方法があります。

- 自分宛ての電話をすべて転送する
  - 転送元と転送先で着信音を鳴らす
    『▼ 転送元と転送先で着信音を鳴らす』(⇒P.1-76)
  - 転送先だけ着信音を鳴らす
    『▼ 転送先だけ着信音を鳴らす』(⇒P.1-77)
- 通話中にかかってきた電話をすべて転送する
  『通話中にかかってきた電話をすべて転送する』(⇒P.1-79)
- 電話に出られないときに転送する
  『電話に出られないときに転送する』(⇒P.1-80)
- 通話中や電話に出られないときに転送する
  『通話中や電話に出られないときに転送する』(⇒P.1-81)
- 移動先から転送の設定をする
  『移動先から転送の設定をする』(⇒P.1-82)
- かかってくる電話を一時的に拒否する
  『かかってくる電話を一時的に拒否する』(⇒P.1-84)

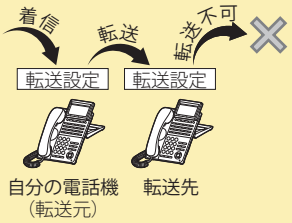
また、不在設定や着信拒否、通話中の相手を、緊急で呼び出す必要がある場合には、次の方法があります。

- 不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す
  『不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す』(⇒P.1-85)
- 通話中の相手を緊急で呼び出す
  『通話中の相手を緊急で呼び出す』(⇒P.1-85)

こんなときは

転送先の電話機でも転送が設定されていると

転送先の電話機で設定されている転送先には転送されません。このときは、転送先の電話機に着信します。



自分宛ての電話をすべて転送する

工事

会議などで電話に出られないときに、かかってきた電話を、ほかの電話機に転送することができます。
転送には、次の 2 通りの方法があります。

- 転送元と転送先で着信音を鳴らす
  〈不在着信転送〉
- 転送先だけ着信音を鳴らす
  〈着信転送〉

▼ 転送元と転送先で着信音を鳴らす

〈不在着信転送〉
転送の設定中に着信すると、転送元と転送先の両方で着信音が鳴り、どちらでも応答することができます。

《設定のしかた》

1. 受話器を上げる

2. ⑨ ⓪ ⑤ を押す

905 は、不在着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
不在転送 設定
1:登録 0:解除
```

3. ① を押す

```
不在転送 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. 転送先の内線番号を押す

```
不在転送 設定
不在転送                120
```

5. 受話器を戻す

```
不在転送                120
```

《解除のしかた》

1. 不在着信転送を設定中

```
不在転送                120
```

2. 受話器を上げる

3. ⑨ ⓪ ⑤ を押す

905 は、不在着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
不在転送 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ を押す

```
不在転送 設定
                   解除
```

5. 受話器を戻す

これで、不在着信転送が解除できました。

こんなときは

よく不在着信転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに不在着信転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

▼ 転送先だけ着信音を鳴らす

〈着信転送〉
転送を設定中に着信すると、転送先の電話機だけ着信音が鳴り、応答できます。

《設定のしかた》

1. 受話器を上げる

2. ⑨ ⓪ ① を押す

901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
着信転送 設定
1:登録 0:解除
```

3. ① を押す

```
着信転送 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. 転送先の番号を押す

```
着信転送 設定
着信転送                120
```

5. 受話器を戻す

```
着信転送                120
```

これで、着信転送が設定できました。

《解除のしかた》

1. 着信転送を設定中

```
着信転送                120
```

2. 受話器を上げる

3. ⑨ ⓪ ① を押す

901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
着信転送 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ を押す

```
着信転送 設定
                    解除
```

5. 受話器を戻す

これで、着信転送が解除できました。

こんなときは

よく着信転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに着信転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、着信転送を次のように設定します。
スピーカボタン →[901]→[1]→[810]→[短縮番号]→ スピーカボタン
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

通話中にかかってきた電話をすべて転送する

<話中転送> 工事

通話中にかかってきた電話を、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ⓪ ② を押す

902 は、話中転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
話中転送 設定
1:登録 0:解除
```

3. ① を押す

```
話中転送 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. 転送先の番号を押す

“ピッ”という確認音が聞えます。

```
話中転送 設定
話中転送                120
```

5. スピーカ を押す

```
話中転送                120
```

これで、話中転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. 話中転送を設定中

```
話中転送                120
```

2. スピーカ を押す

3. ⑨ ⓪ ② を押す

902 は、話中転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
話中転送 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ を押す

```
話中転送 設定
                    解除
```

5. スピーカ を押す

これで、話中転送が解除できました。

こんなときは

よく話中転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに話中転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、話中転送を次のように設定します。
スピーカボタン →[902]→[1]→[810]→[短縮番号]→ スピーカボタン
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

電話に出られないときに転送する

<不応答転送> 工事

着信音が鳴ってから一定時間が経過しても電話に出られない場合、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ⓪ ③ を押す

903 は、不応答転送の設定と解除の特番(初期値)です。

```
不応答転送 設定
1:登録 0:解除
```

3. ① を押す

```
不応答転送 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. 転送先の番号を押す

```
不応答転送 設定
不応答転送          120
```

5. スピーカ を押す

```
不応答転送          120
```

これで、不応答転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. 不応答転送を設定中

```
不応答転送          120
```

2. スピーカ を押す

3. ⑨ ⓪ ③ を押す

903 は、不応答転送の設定と解除の特番(初期値)です。

```
不応答転送 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ **を押す**

```
不応答転送 設定
                    解除
```

5. スピーカ **を押す**

これで、不応答転送が解除できました。

こんなときは

よく不応答転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに不応答転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、不応答転送を次のように設定します。
スピーカボタン →[903]→[1]→[810]→[短縮番号]→ スピーカボタン
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

通話中や電話に出られないときに転送する

<話中／不応答転送> 工事
通話中にかかってきた電話や、着信音が鳴ってから一定時間が経過しても電話に出られない場合、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ⓪ ④ **を押す**

904 は、話中／不応答転送の設定と解除の特番(初期値)です。

```
話中/不応答 設定
1:登録 0:解除
```

3. ① **を押す**

```
話中/不応答 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. **転送先の番号を押す**

```
話中/不応答 設定
転送-話中/不応          120
```

5. スピーカ **を押す**

```
転送-話中/不応          120
```

これで、話中／不応答転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. **話中／不応答転送を設定中**

```
転送-話中/不応          120
```

2. **[スピーカ] を押す**

3. **⑨ ⓪ ④ を押す**

904 は、話中／不応答転送の設定と解除の特番（初期値）です。

```
話中/不応答 設定
1:登録 0:解除
```

4. **⓪ を押す**

```
話中/不応答 設定
                解除
```

5. **[スピーカ] を押す**

これで、話中／不応答転送が解除できました。

こんなときは

よく話中／不応答転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに話中／不応答転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、話中／不応答転送を次のように設定します。
スピーカボタン →[904]→[1]→[810]→[短縮番号]→ スピーカボタン
※[810]は共通・個別短縮ダイヤル発信特番です。

移動先から転送の設定をする

<フォローミー> 工事

転送の設定は、通常は転送元の電話機で行います。この転送の設定を、転送先の電話機から行うことができます。例えば、会議室などに移動している際、自分のデスクへの電話を会議室の電話機に転送したいときなどに使用します。フォローミーは、同時に複数の設定をすることができます。
フォローミー設定中に転送元が呼出された場合、転送元と転送先の両方で鳴動音が鳴ります。

▼ 設定のしかた

1. **[スピーカ] を押す**

2. **⑨ ⓪ ⑦ を押す**

907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
1:登録 0:解除
```

3. **① を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. **転送元の内線番号を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
ﾌｫﾛｰﾐｰ <<                120
```

5. [スピーカ] **を押す**

これで、フォローミーが設定できました。

▼ 解除のしかた

《オールクリアするとき》

1. **フォローミーを設定中**

2. [スピーカ] **を押す**

3. ⑨ ⓪ ⑦ **を押す**

907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ **を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定            解除
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ        0:ｵｰﾙｸﾘｱ
```

5. ⓪ **を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
                       解除
```

6. [スピーカ] **を押す**

これで、フォローミーが解除できました。

《個別解除するとき》

1. **フォローミーを設定中**

2. [スピーカ] **を押す**

3. ⑨ ⓪ ⑦ **を押す**

907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
1:登録 0:解除
```

4. ⓪ **を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定            解除
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ        0:ｵｰﾙｸﾘｱ
```

5. **解除したい内線番号を押す**

```
ﾌｫﾛｰﾐｰ 設定
                       解除
```

6. スピーカ **を押す**

これで、転送元の解除ができました。

> **こんなときは**
> **よくフォローミーを利用する方へ**
> 電話機のファンクションボタンにフォローミーボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
> 詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

かかってくる電話を一時的に拒否する

<着信拒否> 工事

一時的に着信を拒否することができます。拒否できる着信の種類には、次の 4 通りがあります。

- 外線からの着信
- 内線からの着信
- 外線と内線からの着信
- ほかの電話機からの転送

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ⓪ ⑧ **を押す**

908 は、着信拒否の設定と解除の特番(初期値)です。

```
着信拒否 設定
```

3. **設定したい着信拒否の番号を押す**

1. 外線からの着信を拒否
2. 内線からの着信を拒否
3. 外線と内線からの着信を拒否
4. 着信転送などの転送先としての設定を拒否

```
着信拒否 設定
着信拒否 外線
```

1を押した場合

4. スピーカ **を押す**

```
着信拒否 外線
```

これで、着信拒否が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. **着信拒否を設定中**

```
着信拒否 外線
```

2. スピーカ **を押す**

3. ⑨ ⓪ ⑧ **を押す**

908 は、着信拒否の設定と解除の特番（初期値）です。

着信拒否 設定

4. ⓪ **を押す**

着信拒否 設定 解除

5. スピーカ **を押す**

これで、着信拒否が解除できました。

よく着信拒否を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに着信拒否ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

こんなときは

不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す

<バイパスコール> 工事

緊急で電話をかけたい相手が、不在着信転送やテキストメッセージの不在設定中や着信拒否を設定していてつながらないとき、特別に呼び出すことができます。

▼ 呼び出しかた

1. **受話器を上げる**

2. **内線番号を押す**

相手が不在転送や着信拒否を設定していると、その内容が表示されます。

着信拒否	120

3. ⑧ ⓪ ① **を押す**

801 は、バイパスコールの特番（初期値）です。

4. **通常の呼び出しに変わる**

呼出	120

5. **相手が出たら、通話する**

よくバイパスコールを利用する方へ

電話機のファンクションボタンにバイパスコールボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

こんなときは

通話中の相手を緊急で呼び出す

<話中呼出> 工事

緊急で電話をかけたい相手が通話中のとき、特別に呼び出すことができます。

注意

相手がマルチラインデジタルコードレス電話機の場合は、話中呼出できません。

▼ 呼び出しかた

1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**

   相手が話中のときは、話中音が聞こえ、その内容が表示されます。

   話中　120

3. **⑧ ⓪ ③ を押す**

   803 は、話中呼出の特番（初期値）です。

   呼出　120

4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

よく話中呼出を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに話中呼出ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

通話中にかかってきた電話も、常に受けられるようにしたい

通話中でも別の人からの呼出に応答できるよう、着信音を鳴らすことができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 受けかた

《内線通話中のとき》

1. **内線通話中に、電話機のスピーカから着信音が鳴る**

   着信 <<<　121

2. **［保留］を押す**

   いままでの通話が保留になり、話中呼出でかかってきた相手と電話がつながります。

3. **話中呼出でかかってきた相手と通話する**
4. **話中呼出でかかってきた相手と通話終了後、元の通話に戻るときは、［特殊］を押す**

《外線通話中のとき》

1. **外線通話中に、電話機のスピーカから着信音が鳴る**

   着信 <<<　121

2. **［保留］を押す**

   いままでの通話が保留になります。

3. **受話器を戻す**

4. 受話器を上げて、話中呼出でかかってきた相手と通話する

5. 元の通話に戻るときは、保留中の ▭（外線ボタン）を押す

こんなときは

話中呼出の着信音が聞こえない

話中呼出時の着信音は、通常の着信音量に連動しかつ通常の着信音より小さく鳴ります。通常の着信音を大きめに設定してください。

話中呼出の着信音量を通常の着信音と同じにしたい

通常の着信音と同じ大きさにするには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

便利な使いかた

多機能電話機では、次の電話機能も利用することができます。

- ワンタッチボタンを使ってかける
  『ワンタッチボタンを使ってかける』(⇒P.1-89)
- 受話器を置いたまま通話する
  『受話器を置いたまま通話する』(⇒P.1-92)
- ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする
  『ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする』(⇒P.1-94)
- 『一斉呼出をする』(⇒P.1-95)
- 電話で会議する
  『電話で会議する』(⇒P.1-97)
- ほかの人の通話に割り込む
  『ほかの人の通話に割り込む』(⇒P.1-101)
- ほかの人と通話中の内線相手に声をかける
  『ほかの人と通話中の内線相手に声をかける』(⇒P.1-102)
- 『通話中に電話番号を記憶する』(⇒P.1-103)
- こちらの声だけを一時的に消す
  『こちらの声だけを一時的に消す』(⇒P.1-106)
- キャッチホンサービスなどを利用する
  『キャッチホンサービスなどを利用する』(⇒P.1-106)
- 電話情報サービスなどを利用する
  『電話情報サービスなどを利用する』(⇒P.1-107)
- 登録済みの番号に別の番号を続けてかける
  『登録済みの番号に別の番号を続けてかける』(⇒P.1-107)
- 電話機のランプで伝言があることを知らせる
  『電話機のランプで伝言があることを知らせる』(⇒P.1-107)
- かけてきた相手に不在の理由を知らせる
  『かけてきた相手に不在の理由を知らせる』(⇒P.1-110)
- 指定時刻にアラーム音を鳴らす
  『指定時刻にアラーム音を鳴らす』(⇒P.1-111)
- 電話機でブザー呼出を行う
  『電話機でブザー呼出を行う』(⇒P.1-113)
- 電話機から音楽などを流す
  『電話機から音楽などを流す』(⇒P.1-114)
- 会議室の様子を電話機から聞く
  『会議室の様子を電話機から聞く』(⇒P.1-114)
- 通話相手の声を周りの人にも聞かせる
  『通話相手の声を周りの人にも聞かせる』(⇒P.1-115)
- 『着信履歴を利用する』(⇒P.1-116)
- 『発着信履歴を削除する』(⇒P.1-120)
- 同じ外線で続けて電話をかける
  『同じ外線で続けて電話をかける』(⇒P.1-122)
- 取り次ぎ用の電話機を指定する
  『取り次ぎ用の電話機を指定する』(⇒P.1-122)
- ヘッドセットを使って通話する
  『ヘッドセットを使って通話する』(⇒P.1-123)
- 共通短縮ダイヤルに登録した付加情報を表示する
  『共通短縮ダイヤルに登録した付加情報を表示する』(⇒P.1-125)
- 外線に通知する発信者番号を選択する
  『外線に通知する発信者番号を選択する』(⇒P.1-126)

ワンタッチボタンを使ってかける

<ワンタッチダイヤル>
電話をよくかける相手先の電話番号をワンタッチボタンに登録して、ボタン 1 つでかけられるようにすることができます。ワンタッチボタンは、次のような場合に利用できます。

- よくかける電話番号を登録する
- よくかける内線番号を登録する
- 特番を登録する

ワンタッチボタンには、番号のほかに、ポーズやフッキング信号（下表参照）などを含め、最大 24 桁までの電話番号や内線番号などを登録することができます。
ISDN 回線を使用している場合は、電話番号直後に応答待ちコードを入力します。また、登録したい番号の一番最後にダイヤルの最後の桁を示す＃を付加します。（最後の#は相手に通知されません。）

登録内容	登録時に押すボタン	登録時の表示
0 ～ 9、＊、＃	0 ～ 9、＊、＃	0 ～ 9、＊、＃
ポーズ	転送	P
フッキング信号	フック	R
応答待ちコード	応答	@

注意
「ファンクションボタンの設定」によりワンタッチボタンを電話機に割り付けておく必要があります。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

こんなときは
登録中に操作を中断したいときは
受話器を上げて戻すか、またはスピーカボタンを押してください。

▼ 登録のしかた

《電話番号を登録する》

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ① ⑦ を押す

917 は、機能ボタン設定（一般機能レベル）の特番（初期値）です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. ▭（ファンクションボタン）を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ                ｷｰ 13
```

4. ⓪ ① を押す

01 は、DSS／ワンタッチボタンの機能番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ                ｷｰ 13
                   DSS/ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ
```

5. ⓪ を押す

0 は外線発信番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
                       0
```

6. 電話番号を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
             0031234567
```

7. 保留 を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
   DSS/ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ 0031234567
```

8. スピーカ を押す

これで、ファンクションボタンに電話番号が登録できました。

《内線番号を登録する》

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ① ⑦ を押す

917 は、ファンクションボタン設定（一般機能レベル）の特番（初期値）です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. ▭（ファンクションボタン）を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
```

4. ⓪ ① を押す

01 は、DSS／ワンタッチボタンの機能番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
             DSS/ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ
```

5. 内線番号を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
                      201
```

6. 保留 を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 13
        DSS/ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ 201
```

7. スピーカ を押す

これで、ワンタッチボタンに内線番号が登録できました。

こんなときは

内線番号を登録すると

ワンタッチボタンに登録されている内線電話機の状態が、ボタンのランプでわかります。

- 通話中：赤点灯
- 未使用状態：消灯
- 着信拒否中
  （内線着信拒否、外線と内線の着信拒否）：赤点滅

特番を登録したい

ワンタッチボタンに登録する際、内線番号の代わりに登録したい特番を押します。

▼ 確認のしかた

ワンタッチボタンに登録されている内容を確認することができます。

1. Help を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

```
ﾁｪｯｸ
```

2. ▭（ワンタッチボタン）を押す

電話機上のボタン番号

```
ﾁｪｯｸ                LINEｷｰ 09
                DSS/ﾜﾝﾀｯﾁｷｰ 201
```

登録されている番号

3. Exit を押す

▼ 解除のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ① ⑦ または ⑨ ③ ⑧ を押す

917 は、ファンクションボタン設定（一般機能レベル）の特番（初期値）です。938 は、ファンクションボタン設定（アピアランス機能レベル）の特番（初期値）です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. 解除したい ▭（ファンクションボタン）を押す

押したファンクションボタンの登録内容が表示されます。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ            ｷｰ 16
                 不在着信転送
```

4. ⓪ ⓪ ⓪ を押す

000 は、ファンクションボタンの解除番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ            ｷｰ 16
               NOT DEFINE
```

5. スピーカ を押す

これで、ファンクションボタンを解除できました。

▼ かけかた

ワンタッチボタンを使ったかけかたは、外線にかけるときも内線にかけるときも同じ方法です。

1. （ワンタッチボタン）を押す
2. 受話器を上げる
3. 相手が出たら、通話する

受話器を置いたまま通話する

<ハンズフリー通話>
受話器を置いたまま、多機能電話機のマイクとスピーカを使って通話します。ハンズフリー通話を利用するには、あらかじめマイクの設定が必要です。

注意
ハンズフリー通話は、シングルゾーンデジタルコードレス電話機では利用できません。

▼ マイクを設定する

《設定のしかた》

1. 特殊 を押す
   IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
   ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。
2. ① を押す
3. マイクランプが赤点灯する

これで、マイクが設定できました。
以降は、受話器を置いたままでも、こちらの声が相手に聞こえます。

《解除のしかた》

1. 特殊 を押す
   IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
   ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。
2. ① を押す
3. マイクランプが消灯する

これで、マイクが解除できました。

こんなときは

受話器を上げるタイミング

受話器を上げてからワンタッチボタンを押しても、かけることができます。

ワンタッチボタンや短縮番号を組み合わせて使いたい

次のようにかけると、登録されている番号が連続して送出されます（チェーンダイヤル）。

- 複数のワンタッチボタンを続けて押す
- 短縮番号とワンタッチボタンを続けて押す

例えば、短縮番号 001 に客先の代表番号を登録し、ワンタッチボタンに相手部署の内線番号を登録した場合は、次のようにかけます。

十字キーの左（再／短） → 001 → ワンタッチボタン

▼ かけかた

受話器を置いたまま電話をかけて、相手と通話します。

1. マイクランプが赤点灯していることを確認する

消灯していたら、ハンズフリー通話ができません。マイクの設定をしてください。

2. 発信 を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。

ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

3. 電話番号を押す

4. 相手が出たら、通話する

5. 電話を切るときは スピーカ を押す

▼ 受けかた

受話器を置いたまま電話を受けて、相手と通話します。

1. 外線から着信中

2. 応答 を押す

3. 相手と通話する

4. 電話を切るときは スピーカ を押す

こんなときは

マイク設定中に内線から音声で呼び出されると

着信と同時に内線通話がつながり、かけてきた相手の声が聞こえ、通話することができます（内線トークバック）。

受話器を置いたまま内線通話をする

発信／応答ボタンの替わりにスピーカボタンを押すことで、受話器を置いたまま内線通話ができます。

注意

ハンズフリー通話中は、次のことに注意してください。

- マイクから 1m 以内でお話しください。
- 交互にお話しください。相手先と同時に話すと、音切れが発生する場合があります。
- 音声が反響しやすいところや、周囲の騒音が大きいところでは、受話器で通話してください。
- 音量を最大にしても相手の声が小さいときは、受話器で通話してください。
- 天気予報や時報など、相手の声を聞くだけのときは、マイクを解除してください。

▼ 通話中の切り替えかた

1. **外線または内線と通話中**

2. **[特殊] を押す**

3. **① を押す**

マイクが設定されていたときは解除され、解除されていたときは設定されます。

以降、上記の操作をするたびに、設定が切り替わります。

こんなときは

よくハンズフリー通話を利用する方へ

電話機のファンクションボタンにマイクボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする

<外線予約／外線コールバック> 工事

使いたい外線がふさがっていて、電話がかけられないとき、外線が空いたらすぐ使えるように予約することができます。予約のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 外線予約
  外線が空くまで、受話器を持ったまま待ち、外線が空きしだい電話がかけられるようにする。
- 外線コールバック
  いったん電話を切り、外線が空いたら知らせが入るようにする。

▼ 設定のしかた

1. **[発信] を押す**

話中音が聞こえます。
IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
    LINE 001
使用中
```

2. **⑧ ⓪ ④ を押す**

804 は、外線・内線予約設定の特番(初期値)です。

```
外線予約
```

これで、外線予約が設定できました。
受話器を持ったまま待っていると、外線が空きしだい、電話をかけることができます。
受話器をいったん戻して待つとき(外線コールバック)は、次の手順 3 に進みます。

3. **受話器を戻す**

```
外線予約
```

これで、外線コールバックが設定できました。
外線が空くと呼返音が鳴ります。受話器を上げると電話をかけることができます。

▼ 解除のしかた

外線予約を解除するときは、いったん受話器を戻します。

1. 外線コールバックを設定中

外線予約

2. スピーカ を押す

3. ⑧ ⓪ ⑤を押す

805 は、外線・内線予約解除の特番（初期値）です。

予約解除

4. スピーカ を押す

これで、外線コールバックが解除できました。

こんなときは

よく外線予約／外線コールバックを利用する方へ

電話機のファンクションボタンに予約ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

一斉呼出をする

席を外している人を呼び出したいときなどに、多機能電話機のスピーカを使って一斉に呼び出すことができます。（内線グループ呼出）
外線通話を保留したあと、一斉呼出をして呼び出した相手に電話を取り次ぐこともできます。（内線グループ呼出転送）

こんなときは

内線グループとは

いくつかの電話機を、部署ごとなどのグループに分けたものです。内線グループ内で、ほかの内線への呼び出しに代理応答したり、内線を呼び出し直したりすることができます。内線グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 内線グループで呼び出す

<内線グループ呼出>

《呼び出しかた》

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ① ⑨ を押す

819 は、内線グループ呼出の特番（初期値）です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ No.

3. グループ番号を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼び　　ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1

4. 一斉呼出をする

指定した内線グループ内の電話機のスピーカから音声が聞こえます。

5. 相手が出たら、通話する

《受けかた》

1. **外線から着信中**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼び	100

2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ② ③ を押す**
   823 は、内線グループ呼出応答の特番（初期値）です。
4. **相手と通話する**

▼ 内線グループ呼出を使って電話を取り次ぐ

<内線グループ呼出転送>

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**
2. **[保留] を押す**
3. **⑧ ① ⑨ を押す**
   819 は、内線グループ呼出の特番（初期値）です。
4. **グループ番号を押す**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼び	ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1

5. **一斉呼出をする**
6. **相手が出たら、用件を伝える**
7. **[転送] を押す**

これで、グループ呼出転送ができました。

《受けかた》

1. **内線グループを呼出中**

ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼び	100

2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ② ③ を押す**
   823 は、内線グループ呼出応答の特番（初期値）です。
4. **相手と内線で通話する**
5. **そのまま待つ**
6. **相手が [転送] を押すと、自動で外線とつながる**
7. **外線の相手と通話する**

こんなときは

よく内線グループ呼出を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに内線グループ呼出ボタンおよび内線グループ呼出応答ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

電話で会議する

<会議通話>

1 つの通話に複数の人が参加して、同時に通話することができます。会議通話は、内線 1 人を含めた自由な組み合わせができ、システム全体で最大 32 人まで利用できます。

こんなときは

会議通話から抜けるときは

会議通話中に受話器を戻すまたは保留ボタン押下にて、会議通話から抜けることができます。

会議を保留したい

会議通話は保留できません。会議通話中に保留ボタンを押下した場合は、会議通話から抜けます。

注意

アナログ回線や一般電話機、ハンズフリーで会議に参加した場合、エコーが発生するなど通話品質が悪くなる場合があります。この場合は、ISDN 回線や多機能電話機に変更したり、受話器での通話に変更したり、会議の参加人数を減らしたりするなどの対応が必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。

▼ 内線の人を会議に参加させる

<内線呼出招集>

1. 外線または内線と通話中

```
    LINE 001
                        110
ﾘﾋﾟｰﾄ  録音  会議
```

2. “会議” のソフトキーを押す

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
再応答  検索
```

3. 会議に参加させたい人の内線番号を押す

```
呼出                    120
```

4. 相手が出たら、会議通話を始めることを伝える

```
通話                    120
 登録
```

5. “登録” のソフトキーを押す

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
 開始   検索
```

6. “開始”のソフトキーを押す

内線の相手が通話に参加します。

```
LINE 001        会議 通話
     120
```

これで、会議通話になりました。

こんなときは

ほかの人も参加させたい

上記手順 5 のあと手順 3 からの操作をくり返すと、ほかの人も参加させることができます。

会議通話を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに会議ボタンを割り付けておくと、ソフトキーの代わりにこのボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ 外線の人を会議に参加させる

<2 外線会議通話>

1. 外線と通話中

```
LINE 001
                    110
ﾘﾋﾟｰﾄ  録音  会議
```

2. “会議”のソフトキーを押す

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. 消灯している外線ボタンを押す

4. 会議に参加させたい人の電話番号を押す

```
LINE 002
              0387654321
```

5. 相手が出たら、会議通話を始めることを伝える

```
LINE 002
              0387654321
登録
```

6. “登録”のソフトキーを押す

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
 開始    検索
```

7. “開始”のソフトキーを押す

外線の相手が通話に参加します。

```
LINE 001        会議 通話
LINE 002
```

これで、会議通話になりました。

こんなときは

ほかの人も参加させたい

手順 6 のあと手順 3 からの操作をくり返すと、ほかの人も参加させることができます。

▼ 近くの人を会議に参加させる

<口頭会議招集>

注意

「ファンクションボタンの設定」により口頭会議招集ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

1. 外線と通話中

2. ▭(口頭会議招集ボタン)を押す

ほかの人が通話に参加できるようになりました。

```
LINE 002   00:10
```

3. 会議に参加させたい人に声をかける

通話中の外線番号を伝えます。

4. 会議に参加する人が受話器を上げる

5. 会議に参加する人が上記手順 3 で聞いた外線ボタンを押す

```
LINE 001        会議 通話
     120
```

これで、会議通話になりました。

自分から会議に参加する

< リモート・カンファレンス> 工事

参加者自身の操作により開始できる会議通話です。会議通話は自由な組み合わせが可能で、システム全体で最大 32 人まで利用できます。リモート・カンファレンスは最大 20 グループ作成が可能で、1 つのリモート・カンファレンスグループに参加できるのは最大 32 名までです。参加者は、内線または外線からリモート・カンファレンス代表番号を入力した後にパスワード(4 桁固定)を入力することで、招集してもらうことなく自分から会議に参加することができます。パスワードなしでの運用も可能です。

注意

以下内容に該当する場合、詳しくは販売店にご相談ください。

- パスワードが一致しない場合は、ワーニングトーン聴取となります。パスワードが一致した場合でも、リモート・カンファレンス参加人数が定員に達している場合や、会議リソースが確保できない場合は、切断(話中音聴取)します。パスワードは工事段階の設定が必要です。
- アナログ回線や一般電話機、ハンズフリーでリモート・カンファレンスに参加した場合、エコーが発生するなど通話品質が悪くなる場合があります。この場合は、ISDN 回線や多機能電話機に変更したり、受話器での通話に変更したり、リモート・カンファレンスの参加人数を減らしたりするなどの対応が必要となります。
- リモート・カンファレンスは、最初の参加者が参加後 2 時間で強制的に終了となり、参加者全員の通話が切断されます。なお、切断される 5 分前に警告音が送出されます。リモート・カンファレンスの強制終了時間および警告音送出までの時間は、工事段階で変更できます。
- リモート・カンファレンスグループ毎の参加人数の制限(最大 32 人)は、工事段階で設定します。

こんなときは

パスワード設定を利用する方へ

パスワードは次の 3 種類あり、リモート・カンファレンスグループ(1～20)毎に指定できます。詳しくは、販売店にご相談ください。

1. 工事段階で設定したパスワード
2. パスワードなし
3. 最初にリモート・カンファレンスグループ毎に参加した人がダイヤルしたパスワードを会議中に使用する

リモート・カンファレンスグループ別の設定を利用する方へ

自動通話録音設定されているリモート・カンファレンスグループを使用した場合は、常に録音されるなどリモート・カンファレンスグループ毎に、常に会議通話録音を行うか、手動通話録音を行うか、設定を変更することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 内線から会議に参加する

1. 受話器を上げる

2. リモート・カンファレンス代表番号を押す

呼出	ｶｲｷﾞ 1

3. 呼び出しの後に“パスワードをどうぞ”とメッセージが流れる

通話	ｶｲｷﾞ 1

4. 参加したリモート・カンファレンスグループのパスワードをダイヤルする

一般電話機などの場合は、PB 信号にてパスワードを入力します。

1111

5. パスワードが一致した場合は、会議参加完了です

通話	ｶｲｷﾞ 1

これで、リモート・カンファレンス通話になりました。

▼ 外線から会議に参加する（DID/DISA）

1. 外線へ発信する

セカンドダイヤルトーンまたは VRS メッセージを聴取します。DISA ユーザ ID の入力を要求された場合は、PB 信号で DISA ユーザ ID をダイヤルします。

2. PB 信号にてリモート・カンファレンス代表番号をダイヤルする

3. 呼び出しの後に“パスワードをどうぞ”とメッセージが流れる

4. PB 信号にて、参加したリモート・カンファレンスグループのパスワードをダイヤルする

5. パスワードが一致した場合は、会議参加完了です

これで、リモート・カンファレンス通話になりました。

▼ 外線から会議に参加する（ダイヤルイン/サブアドレス/DIL/専用線）

1. 外線へ発信する

サブアドレス発信する場合、サブアドレスとしてリモート・カンファレンス代表番号をダイヤルします。

2. 呼び出しの後に“パスワードをどうぞ”とメッセージが流れる
3. PB 信号にて、参加したリモート・カンファレンスグループのパスワードをダイヤルする
4. パスワードが一致した場合は、会議参加完了です

これで、リモート・カンファレンス通話になりました。

▼ 外線から会議に参加する（一般着信）

1. 外線へ発信する
2. 相手が出たら、会議に参加したいことを伝える
3. 相手がリモート・カンファレンスに保留転送する
4. PB 信号にて、リモート・カンファレンスグループのパスワードをダイヤルする
5. パスワードが一致した場合は、会議参加完了です

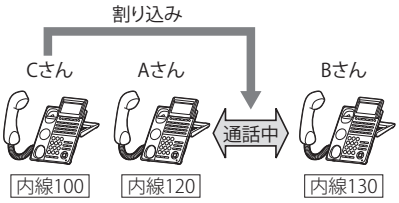
これで、リモート・カンファレンス通話になりました。

ほかの人の通話に割り込む

<通話割り込み> 工事
ほかの人の内線または外線の通話に割り込んで、通話に参加することができます。

▼ 内線通話への割り込みかた

例：次のような通話に割り込みます。



1. A さんと B さんが内線通話中
2. C さんが受話器を上げる
3. A さんの内線番号を押す
   話中音が聞こえます。

話中	120

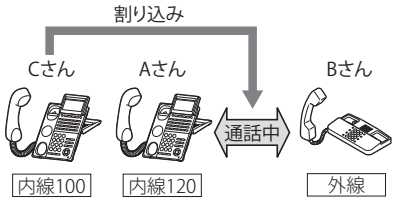
4. ⑧ ⓪ ⑧ を押す
   808 は、通話割り込みの特番（初期値）です。
   割り込みトーンが聞えます。

	通話割り込み
120	130

これで、A さん、B さん、C さんの 3 者通話になりました。

▼ 外線通話への割り込みかた

例：次のような通話に割り込みます。



1. **A さんと B さんが外線通話中**
2. **C さんが受話器を上げる**
3. **A さんが通話している ▭（外線ボタン）を押す**

LINE 001 120	通話割り込み

これで、A さん、B さん、C さんの 3 者通話になりました。

こんなときは

よく通話割り込みを利用する方へ

電話機のファンクションボタンに通話割り込みボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

通話に参加できない

通話の内容は聞こえるのに、こちらの声が相手に聞こえないときは、工事段階の設定で通話割り込みのモードが「モニターモード」になっています。3 者通話にするためには「スピーチモード」にする必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

通話に割り込むとき、通知音を出したい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。なお、モニターモードの場合には通知音は鳴りません。

通話割り込みができない

次の場合には、通話割り込みができません。

- 発信中または着信中
- 保留中
- 32 人での会議通話
- モニターモードの場合

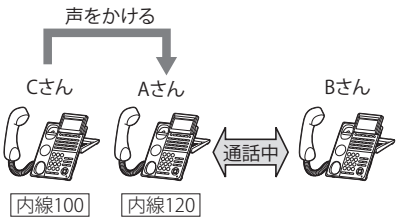
ほかの人がすでに通話割り込みしている場合は、会議通話になります。

ほかの人と通話中の内線相手に声をかける

<ボイスオーバー> 工事

ほかの人と通話中の内線相手に、音声で割り込んで声をかけることができます。

▼ 声のかけかた



1. **A さんと B さんが内線通話中**

2. **C さんが受話器を上げる**

3. **A さんの内線番号を押す**

話中音が聞こえます。

話中	120

4. **⑧ ⓪ ③ を押す**

803 は、話中呼出（待機中通知）の特番（初期値）です。

呼出	120

5. **⑧ ④ ① を押す**

841 は、ボイスオーバーの特番（初期値）です。
割り込みトーンが聞えます。

ﾎﾞｲｽｵｰﾊﾞｰ >>	120

これで、C さんから、A さんだけに声をかけることができました。

こんなときは

よくボイスオーバーを利用する方へ

電話機のファンクションボタンにボイスオーバーボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

通話に参加できない

通話の内容は聞こえるのに、こちらの声が相手に聞こえないときは、工事段階の設定で通話割り込みのモードが「モニターモード」になっています。3 者通話にするためには「スピーチモード」にする必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

声をかけるとき、通知音を出したい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。なお、モニターモードの場合には通話音は鳴りません。

ボイスオーバーができない

次の場合には、ボイスオーバーができません。

- 発信中または着信中
- 保留中
- 32 人での会議通話
- モニターモードの場合

ほかの人がすでに通話割り込みしている場合は、会議通話になります。

通話中に電話番号を記憶する

通話中に覚えておきたい電話番号を 1 件（最大 24 桁）だけ記憶することができます。
記憶のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- いまかけた電話番号を記憶する
  〈セーブドナンバーリダイヤル〉
- 通話中に聞いた電話番号などを記憶する
  〈メモダイヤル〉

注意

- 記憶できる電話番号は、セーブドナンバーリダイヤルもメモダイヤルも、それぞれ 1 件ずつです。新しい番号を記憶すると、前の番号は消去されます。
- 「ファンクションボタンの設定」によりセーブドナンバーリダイヤルボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。
- 「ファンクションボタンの設定」によりメモダイヤルボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ 今かけた電話番号を記憶する

<セーブドナンバーリダイヤル>

《登録のしかた》

1. **外線に発信中または通話中**
2. **□（セーブドナンバーリダイヤルボタン）を押す**

```
登録
```

これで、いまかけた電話番号が記憶できました。

《かけかた》

1. **□（セーブドナンバーリダイヤルボタン）を押す**

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ          ｾｰﾌﾞﾄﾞ ﾅﾝﾊﾞｰ
                 01234567
```

2. **受話器を上げる**
   受話器を上げずに、約 6 秒経過すると待ち受け画面に戻ります。
3. **相手が出たら、通話する**

▼ 確認のしかた

1. **□（セーブドナンバーリダイヤルボタン）を押す**
   登録されている番号が表示されます。

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ          ｾｰﾌﾞﾄﾞ ﾅﾝﾊﾞｰ
                 01234567
```

2. **Exit を押すと、待ち受け画面に戻る**
   Exit ボタンを押さなくても、約 6 秒後に待ち受け画面に戻ります。

▼ 消去のしかた

1. **スピーカ を押す**
2. **⑧ ① ⑧ を押す**
   818 は、セーブドナンバーリダイヤル消去の特番（初期値）です。

```
ｾｰﾌﾞﾄﾞﾅﾝﾊﾞｰ 消去
```

3. **スピーカ を押す**

これで、セーブドナンバーリダイヤルの登録内容が消去できました。

▼ 通話中に聞いた電話番号などを記録する

<メモダイヤル>

《登録のしかた》

1. 通話中
2. ▭（メモダイヤルボタン）を押す

```
ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ          00:15
```

3. 登録したい番号を押す

```
ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ          00:15
                 01234567
```

4. ▭（メモダイヤルボタン）を押す

```
   LINE 001   01:10
```

これで、メモダイヤルに登録できました。

《かけかた》

1. ▭（メモダイヤルボタン）を押す

```
ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ
                 01234567
```

2. 発信 を押す

   発信ボタンを押さずに、約 6 秒経過すると待ち受け画面に戻ります。

3. 相手が出たら、通話する

▼ 確認のしかた

1. ▭（メモダイヤルボタン）を押す

   登録されている番号が表示されます。

```
ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ
                 01234567
```

2. Exit ◯ を押すと、待ち受け画面に戻る

   Exit ボタンを押さなくても、約 6 秒後に待ち受け画面に戻ります。

《消去のしかた》

1. スピーカ を押す
2. ▭（メモダイヤルボタン）を押す

```
ﾒﾓﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. スピーカ を押す

これで、メモダイヤルの登録内容が消去できました。

こちらの声だけを一時的に消す

<送話カット>
外線または内線と通話中に、相手の声を聞きながら、こちらの声だけを一時的に消すことができます。

注意
「ファンクションボタンの設定」により送話カットボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ 設定のしかた

1. **外線または内線と通話中**
2. **（送話カットボタン）を押す**
   確認音が聞こえ、送話カットボタンが赤点灯します。

これで、こちらの声は相手に聞こえなくなりました。

▼ 解除のしかた

1. **送話カット中**
2. **（送話カットボタン）を押す**
   確認音が聞こえ、送話カットボタンが消灯します。

これで、こちらの声が相手に聞こえるようになりました。

キャッチホンサービスなどを利用する

<外線フッキング> 工事
外線と通話中に、キャッチホンでかかってきた電話に応答することができます。

注意
- 工事設定されていない電話機でフックボタンを押すと、外線通話が切れてしまいますので、注意してください。
- ISDN 回線、IP フォン回線を使用時は切断再捕捉になります。

▼ キャッチホンの受けかた

1. **外線と通話中**
2. **キャッチホンの着信音が聞こえる**
3. **フック を押す**
   キャッチホンでかかってきた相手と電話がつながります。いままで通話していた相手には保留音が流れます。
4. **キャッチホンでかかってきた相手と通話する**
5. **元の通話に戻るときはを フック 押す**

以降は、フックボタンを押すたびに通話の相手を切り替えることができます。

電話情報サービスなどを利用する

<通話中 PB 信号送出>
外線または内線(相手が一般電話機などの場合)と通話中、電話情報サービスの番号入力などのために PB 信号(トーン)を送出することができます。

▼ 使いかた

1. **外線と通話中**
2. **(#) を押す**
3. **送出したい番号を押す**

こんなときは

いつでも PB 信号を送れるようにしたい
相手が応答後、自動で PB 信号が送れるようにするには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

登録済みの番号に別の番号を続けてかける

<追加ダイヤル>
短縮ダイヤルやワンタッチボタンなどで電話をかけるとき、続けて相手部署の内線番号などを押して、かけることができます。

▼ かけかた

受話器を置いたまま電話をかけて、相手と通話します。

1. **受話器を上げる**
2. **(再/短) を押す**
3. **短縮番号を押す**
4. **追加したい番号を押す**
5. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

追加ダイヤルが利用できる発信の種類
追加ダイヤルは、次の発信のときに利用できます。
- 短縮ダイヤルの発信
- ワンタッチボタンの発信
- 再ダイヤルの発信
- セーブドナンバーリダイヤルの発信
- メモダイヤルの発信

電話機のランプで伝言があることを知らせる

<伝言(メッセージウェイティング)>
用件を伝えたい相手が通話中や不在などのとき、戻りしだい連絡をもらえるように、ランプの表示で知らせることができます。

注意

伝言（メッセージウェイティング）は、相手が多機能電話機またはメッセージウェイティングランプ付きの電話機の場合だけ利用できます。マルチラインデジタルコードレス電話機およびシングルゾーンデジタルコードレス電話機の場合には、着信／メッセージ／充電ランプに表示されます。

▼ 設定のしかた

1. 受話器を上げる

2. 内線番号を押す

相手が通話中、または誰も出ない状態です。

```
呼出                    120
```

3. ⑨ ⓪ ⑨ を押す

909 は、伝言の特番（初期値）です。
大型ランプが緑点灯します。

```
ﾒｯｾｰｼﾞ >>               120
```

4. 相手の電話機の大型ランプまたはメッセージウェイティングランプが点滅する

相手がマルチラインデジタルコードレス電話機の場合には、着信／メッセージ／充電ランプがゆっくり赤点滅します。

5. 受話器を戻す

これで、相手に伝言があることを知らせることができました。

こんなときは

別の人にも伝言を設定したい

複数の相手に伝言を設定できます。ただし、設定側の電話機の表示器には最初に設定した相手だけが表示されます。

▼ 伝言を設定した相手の確認のしかた

1. 大型ランプが緑点滅中

伝言が設定されている状態です。

2. Help を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

```
ﾁｪｯｸ
```

3. ⑨ ⓪ ⑨ を押す

909 は、伝言の特番（初期値）です。
伝言を設定した相手の内線番号が表示されます。

```
ﾁｪｯｸ ﾒｯｾｰｼﾞ
                        100
```

伝言を設定した相手の内線番号

4. **（ボリューム）を押す**

ほかにも伝言を設定しているときは、その相手が表示されます。
ほかに設定していなければ“メッセージ無し”と表示されます。

5. **Exit を押すと、待ち受け画面に戻る**

▼ 伝言を設定した相手の呼び出しかた

1. **大型ランプが緑点滅中**

伝言が設定されている状態です。

2. **受話器を上げる**

3. **⑨ ⓪ ⑨ を押す**

909 は、伝言の特番（初期値）です。
伝言を設定した相手を呼び出します。

呼出	100

4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

よく伝言を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに伝言ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

▼ 解除のしかた

1. **伝言を設定中**

相手の大型ランプが緑点滅しています。

ﾒｯｾｰｼﾞ >>	120

2. **スピーカ を押す**

ﾒｯｾｰｼﾞ ｷｬﾝｾﾙ

3. **⑨ ① ① を押す**

911 は、伝言解除の特番（初期値）です。

4. **伝言を解除したい内線番号を押す**

ﾒｯｾｰｼﾞ ｷｬﾝｾﾙ	120

5. **スピーカ を押す**

これで、伝言が解除できました。

こんなときは

すべての伝言設定を一度に解除したい

上記手順 3 で 910（伝言全解除の特番の初期値）を押してからスピーカボタンを押します。

かけてきた相手に不在の理由を知らせる

<テキストメッセージ>
不在時に内線から電話があったとき、相手の電話機に不在の理由や戻り時刻を表示させて、電話に出られないことを知らせることができます。

メッセージ一覧表

	メッセージ [1]
01	□□:□□^^マテ゛^カイキ゛
02	カイキ゛シツ^＃＃＃＃＃＃＃＃^ニ^イマス
03	カ゛イシュツ^□□:□□^^ニ^キシャ^ヨテイ
04	カ゛イシュツ^＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃^ニレンラク
05	□□:□□^^マテ゛^テ゛ンワニ^テ゛ラレマセン
06	□□:□□^^マテ゛^キュウケイ
07	△△／△△^マテ゛^シュッチョウチュウ
08	シュッチョウチュウ^＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃
09	キタク^シマシタ
10	Eメール^ニ^レンラクシテクタ゛サイ
11 : 20	工事段階でメッセージを登録しておくことができます。詳しくは、販売店に相談してください。

1.
- *□□:□□には時刻を入力できます。*
- *△△／△△には日付を入力できます。*
- *＃には電話番号などを入力できます。*

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ① ④ **を押す**

914 は、テキストメッセージの特番（初期値）です。

```
ﾃｷｽﾄ ﾒｯｾｰｼﾞ
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾒｯｾｰｼﾞ No.
```

3. **メッセージ番号を押す**

『表: メッセージ一覧表』(⇒P.1-110)を参照して、2 桁（01～20）で押してください。
ほかのテキストメッセージに変更したい場合は、ボリュームボタン（▲または▼）を使って変更することができます。

4. **戻り時刻などを入力する**

- 時刻の入力：24 時間制で入力する
  （表示は 12 時間制になります）
- カーソルを右に移動：Help ボタンを押す
- カーソルを左に移動：Exit ボタンを押す

5. スピーカ **を押す**

これで、テキストメッセージが設定できました。
内線をかけてきた相手には、次のように表示されます。

```
1:30PMﾏﾃﾞ ｶｲｷﾞ
```

こんなときは

時刻を間違えたまま設定した

“26:40”など、時刻を間違えたまま設定すると、時刻部分が空白で表示されます。

▼ 解除のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ① ④ **を押す**

914 は、テキストメッセージの特番（初期値）です。

```
ﾃｷｽﾄ ﾒｯｾｰｼﾞ
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾒｯｾｰｼﾞ No.
```

3. スピーカ **を押す**

これで、テキストメッセージが解除できました。

指定時刻にアラーム音を鳴らす

〈アラーム〉
指定した時刻に、電話機からアラーム音を鳴らすことができます。会議の開始時刻などをセットしておくと便利です。
アラームには次の 2 種類があります。

- アラーム 1:1 回だけ鳴る（鳴った時点で自動解除）
- アラーム 2:毎日定刻に鳴る（解除するまで有効）

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑨ ① ② **を押す**

912 は、アラーム（指定時刻呼出）の特番（初期値）です。

```
ｱﾗｰﾑ 設定
1:ｱﾗｰﾑ1 2:ｱﾗｰﾑ2
```

3. **アラームの番号を押す**

1:アラーム 1（1 回だけ鳴る）
2:アラーム 2（毎日定刻に鳴る）

```
ｱﾗｰﾑ 1 設定
時刻 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. アラームを鳴らす時刻を入力する

24 時間制で入力します。
表示は 12 時間制になります。
例:午後 3 時 05 分の場合は 1505 と入力する

```
ｱﾗｰﾑ 1   設定
                3:05 pm
```

5. スピーカ を押す

```
100                ｱﾗｰﾑ 1
```

これで、アラームが設定できました。

▼ 確認のしかた

1. Help を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
ﾁｪｯｸ
```

2. ⑨ ① ② を押す

912 は、アラーム(指定時刻呼出)の特番(初期値)です。

```
ﾁｪｯｸ
                912
```

3. アラームの番号を押す

1:アラーム 1(1 回だけ鳴る)
2:アラーム 2(毎日定刻に鳴る)

```
ｱﾗｰﾑ 1          3:05 pm
                  9121
```

4. Exit を押すと、待ち受け画面に戻る

▼ 止めかた

1. アラーム鳴動中

```
100                ｱﾗｰﾑ 1
```

2. Exit を押す

これで、アラーム音が停止しました。

▼ 解除のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ① ② **を押す**

912 は、アラーム（指定時刻呼出）の特番（初期値）です。

```
ｱﾗｰﾑ 設定
1:ｱﾗｰﾑ1 2:ｱﾗｰﾑ2
```

3. **アラームの番号を押す**

1：アラーム 1（1 回だけ鳴る）
2：アラーム 2（毎日定刻に鳴る）

```
ｱﾗｰﾑ 1　設定
時刻 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ **を押す**

```
ｱﾗｰﾑ 1　設定
解除
```

5. [スピーカ] **を押す**

これで、アラームが解除できました。

電話機でブザー呼出を行う

<ブザー>
別室にいる人を呼びたいとき、電話機でブザー呼出を行うことができます。

注意
「ファンクションボタンの設定」によりブザーボタンを呼ぶ側／呼ばれる側の両方の電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

▼ 呼び出しかた

1. [　] **（ブザーボタン）を押す**

ブザーボタンが赤点灯します。

これで、呼び出しができました。

▼ 受けかた

1. **電話機から“トゥルルルル”という音が鳴る**

ブザーボタンが赤点滅します。

2. [　] **（ブザーボタン）を押す**

ブザーボタンが消灯します。

これで、ブザーが解除できました。

こんなときは
ブザー音とブザーの解除について
ブザー音およびブザーボタンの点灯または点滅は、呼び出す側または呼び出される側で、ブザーボタンを押すと解除されます。

電話機から音楽などを流す

<BGM> 工事

電話機のスピーカから、有線放送や外部音源からの音楽などを BGM として流すことができます。設定は各電話機で行います。

▼ BGM の流しかた

1. スピーカ を押す

2. BGM の特番（初期値：未設定、例：⑨ ① ⑧）を押す

特番は、工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご相談ください。

B. G. M.　オン

3. スピーカ を押す

これで、BGM が流れ始めました。

こんなときは

電話を使おうとすると

次のようなときは、BGM が止まります。そのあと電話機が未使用の状態に戻ると、BGM が再開します。

- 電話がかかってきたとき（着信音鳴動中）
- 受話器を上げたとき
- 一斉呼出中
- 発信/ 応答操作などで電話機のファンクションボタンを押したとき

▼ BGM の止めかた

1. スピーカ を押す

2. BGM の特番（初期値：未設定、例：⑨ ① ⑧）を押す

特番は、工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご相談ください。

B. G. M.　オン

3. スピーカ を押す

これで、BGM が止まりました。

会議室の様子を電話機から聞く

＜ルームモニタ＞ 工事

会議室などで話している様子を、電話機を通して聞くことができます。会議に参加しなくても、会議の内容は聞いておきたい場合などに利用できます。

注意

「ファンクションボタンの設定」によりルームモニタボタンをモニタする側／される側の両方の電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

▼ 設定のしかた

《モニタされる側》

1. □（ルームモニタボタン）を押す

```
ﾙｰﾑ ﾓﾆﾀｰ
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

2. 自分の電話機の内線番号を押す

ルームモニタボタンが速い赤点滅になります。

```
ﾓﾆﾀｰ >>>
```

これで、モニタされる側の設定ができました。

《モニタする側》

1. □（ルームモニタボタン）を押す

```
ﾙｰﾑ ﾓﾆﾀｰ
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

2. モニタしたい相手の内線番号を押す

ルームモニタボタンが、ゆっくりした赤点滅になります。

```
ﾓﾆﾀｰ <<<                    109
```

これで、モニタする側の設定ができました。

▼ 解除のしかた

モニタする側とモニタされる側で共通の操作です。

1. モニタを設定中

2. □（ルームモニタボタン）を押す

これで、モニタが解除されました。

通話相手の声を周りの人にも聞かせる

<グループリスニング>
受話器で通話中に、通話相手の声を多機能電話機のスピーカからも聞くことができます。周囲の人にも通話内容を同時に聞いてもらいたい場合などに利用できます。

▼ 設定のしかた

1. 受話器で通話中

2. スピーカ を押す

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾘｽﾆﾝｸﾞ
```

これで、通話相手の声が、受話器とスピーカから聞こえるようになりました。

▼ 通話の終わりかた

1. グループリスニング使用中
2. スピーカ を押す
3. 受話器を戻す

こんなときは

通話を続けたまま、グループリスニングだけを終了したい

受話器を上げたまま、スピーカボタンを押します。

ハンズフリー通話に移行したい

グループリスニング中に、受話器を戻します。
- マイクランプが点灯している場合は、ハンズフリー通話(双方向の通話)になります。
- マイクランプが消灯している場合は、ハンズフリーモニタ(相手の声を聞くのみ)になります。

ハンズフリー通話をする場合、マイクを設定する必要があります。
詳しくは『受話器を置いたまま通話する』(⇒P.1-92)を参照してください。

注意

グループリスニング通話中は、次のことに注意してください。
- 音声が反響しやすいところや、周囲の騒音が大きいところでは通話品質が悪くなる場合があります。
- グループリスニング使用時は、受話器での通話が聞き取りにくくなる場合があります。
- 受話器とマイクを同時に使って通話することはできません(受話器を上げている間、マイクは動作しません)。

着信履歴を利用する

▼ 着信履歴を表示する

《十字キーを使うとき》

1. (再／短) を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。
発信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から 3 件表示されます。
- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)を参照してください。

```
01:  9-30 16:13   0312345678
02:  9-30 15:58   0698765432
03:  9-30 15:22   08012345678
```

2. を押す

着信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から 3 件表示されます。
十字キーの左右を押すごとに、発信履歴と着信履歴が表示されます。

```
01:  9-30 16:02   0300003333
02:  9-30 14:44   0623456666
03:  9-30 13:25   09012345678
```

3. （ボリューム）を押すと、着信履歴に記憶されている番号が切り替わる

十字キーの下（ボリューム）を押すごとに、着信履歴に記憶されている新しい番号から順に 3 件表示されます。

（確定）ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。

クリアボタンを押すと、着信履歴画面に戻ります。

履歴詳細画面

```
01 :
不在    9-30 16:02 0300003333
              登録     削除
```

電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。
ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

《ソフトキーを使うとき》

1. “履歴” のソフトキーを押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

```
履歴 ﾒﾆｭｰ

 発信    着信
```

2. “着信” のソフトキーを押す

着信履歴が表示されます。
記憶されている新しい番号から 3 件表示されます。

```
01:  9-30 16:02   0300003333
02:  9-30 14:44   0623456666
03:  9-30 13:25   09012345678
```

3. （ボリューム）を押すと、着信履歴に記憶されている番号が切り替わる

（確定）ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。

クリアボタンを押すと、着信履歴画面に戻ります。

履歴詳細画面

```
01 :
不在    9-30 16:02 0300003333
              登録     削除
```

電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。
ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

《メニュー（デジタル多機能電話機）を使うとき》

1. （確定）ボタンを押す

アイコンメニュー画面が表示されます。
IP 多機能電話機のポータルモードでは、ショートカットメニューが表示されます。

```
[ﾒﾆｭｰ]                    1/ 2
1 不在着信履歴        :003
2 VM                  :001
                 戻る   確定
```

2. “1. 不在着信履歴” を選択する

選択のしかたは『メニューを操作する』(⇒P.1-27)を参照してください。
最後に着信した相手の電話番号が表示されます。

```
01:
     2-1   10:10    0312345678
  ↑      ↓      登録    削除
```

3. （ボリューム）または “↑”、“↓” のソフトキーを押すと、着信履歴に記憶されている番号が切り替わる

電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。
ここで操作を終了するときはクリアボタンを押してください。

こんなときは

公衆電話や表示圏外と表示された着信が着信履歴に残らない

公衆電話等からの着信を着信履歴に残すためには工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
また、公衆電話からの着信にも関わらず、着信時に公衆電話と表示しない場合は、ナンバーディスプレイ契約が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 短縮番号に登録する

着信履歴に登録されている電話番号を、短縮番号に登録することができます。

1. 登録したい番号を表示させる

『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)の『《ソフトキーを使うとき》』(⇒P.1-117)を参照してください。

```
01:
     2-1   10:10    0312345678
  ↑      ↓      登録    削除
```

2. “登録” のソフトキーを押す

```
01:
     2-1   10:10    0312345678
 短縮   個別１  個別２
```

3. “短縮” のソフトキーを押す

スピーカボタンが赤点灯します。

```
短縮 登録
短縮 No.
```

4. 短縮番号を押す

```
0900
                    0312345678
```

5. 保留 を押す

名前を入力しない場合は、手順 7 に進みます。

```
短縮 0900                 漢全
                          ◂
カナ     ←     →
```

6. 相手の名前を入力する

名前の入力のしかたは『文字を入力する』(⇒P.1-160)を参照してください。

```
短縮 0900                 漢全
鈴木一郎                  ◂
カナ     ←     →
```

7. 保留 を押す

手順 6 で入力した名前の読みカナ(半角 12 文字まで)が表示されます。読みカナを修正するときは、文字入力と同じ要領で修正します。

```
短縮 0900                 ｶﾅ半
ｽﾞｷｲﾁﾛｳ    ◂
英字     ←     →
```

8. 保留 を押す

```
短縮 登録
```

9. スピーカ を押す

これで、短縮番号に登録ができました。

注意

- 短縮番号を指定して登録する場合、すでにその番号が使われていたときには、上書きされます。
- 短縮ダイヤルを登録した直後にシステムの電源を切る場合、登録した短縮ダイヤルがシステムに書き込まれたことを確認してください。詳しくは『短縮番号を使ってかける』(⇒P.1-45)の『▼ 確認のしかた』(⇒P.1-51)を参照してください。

こんなときは

空いている短縮番号に登録したい

短縮番号を指定しないで、空いている短縮番号を自動的に選んで登録することができます。この場合、手順 4 で短縮番号の代わりに保留ボタンを押し、手順 5 に進みます。
共通短縮ダイヤルへの登録操作ができる電話機(システム管理者の電話機)では、手順 4 で短縮番号の代わりに保留ボタンを押すと、次のように表示されます。

```
短縮 登録
登録先を選択して下さい
 共通     個別
```

“共通”(共通短縮)に登録するか、“個別”(個別短縮)に登録するかをソフトキーで選ぶと、空いている短縮番号を自動的に選択します。
空いている短縮番号がないときには、“登録できません”と表示されます。このとき、続けて短縮番号を押すと、その短縮番号に上書きして登録されます。

グループ短縮が使える場合は

手順 3 の操作のあと、“短縮”と“グループ”のソフトキーが表示されます。“短縮”のソフトキーを押したときは、手順 3 の表示に進みます。“グループ”のソフトキーを押したときは、手順 3 の表示の 1 行目が“グループ短縮 登録”となります。

“グループ” のソフトキーを押しても登録できない

グループ短縮の登録ができる電話機は、システム管理者の電話機に限られています。

発着信履歴を削除する

▼ 発着信履歴を 1 件だけ削除する

記憶されている発着信履歴の番号を 1 件だけ削除します。

1. 発着信履歴を表示させる

- 発信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 発信履歴から探してかけ直す』(⇒P.1-42)を参照してください。
- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。

```
   再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
 11-12 11:14      01234567
              登録    削除
```

※ 次の画面でも発着信履歴を 1 件だけ削除する操作は同じです。

```
   再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
 11-12 11:14      01234567
↑      ↓      登録    削除
```

2. “削除” のソフトキーを押す

```
02:
 11-12 10:15     012345678
↑      ↓      登録    削除
```

3. “1 件” のソフトキーを押す

```
02:
    11-12 10:15      012345678
 1件      全件
```

4. 約 30 秒後に待ち受け画面に戻る

これで、発信履歴または着信履歴の番号が 1 件だけ削除できました。

▼ 発着信履歴をすべて削除する

記憶されている発信履歴または着信履歴の番号をすべて削除します。

《十字キーまたはソフトキーを使うとき》

1. 発着信履歴を表示させる

- 発信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 発信履歴から探してかけ直す』(⇒P.1-42)を参照してください。
- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。

```
    再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
   11-12 11:14      01234567
                 登録    削除
```

※ 次の画面でも発着信履歴を 1 件だけ削除する操作は同じです。

```
    再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
   11-12 11:14      01234567
 ↑      ↓      登録    削除
```

2. “削除” のソフトキーを押す

```
    再ﾀﾞｲﾔﾙ[#] / 短縮
   11-12 11:14      01234567
 1件      全件
```

3. “全件” のソフトキーを押す

```
発信履歴全件削除しますか？
                 Yes      No
```

4. “Yes” のソフトキーを押す

```
発信履歴はありません
```

5. Exit を押す

これで、発信履歴または着信履歴の番号がすべて削除できました。

《特番を使うとき》

発信履歴のみ削除することができます。

1. スピーカ を押す

2. ⑧ ① ⑦ **を押す**

817 は再ダイヤル消去の特番（初期値）です。

再ﾀﾞｲﾔﾙ 消去

3. [スピーカ] **を押す**

これで、発信履歴の番号がすべて削除できました。

同じ外線で続けて電話をかける

<切断再捕捉>
外線の相手と通話が終了したあと、受話器を戻すことなく、そのまま同じ外線で次の相手に電話をかけることができます。この方法を使うと、通常のような外線へのかけ直し操作が不要となり、わずらわしさがなくなります。

▼ かけかた

1. **外線通話中**

2. **通話終了**

3. **受話器を上げたまま、**[特殊] **を押す**

4. [フック] **を押す**

いままで使っていた外線を捕捉したまま、通話だけが切れます。

5. **続けてかける相手の電話番号を押す**

6. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

キャッチホンサービスなどを使用していない

フックボタンを押すだけで切断再捕捉するように変更することができます。フックボタンを押すだけで切断再捕捉するには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

取り次ぎ用の電話機を指定する

<幹部着信転送>
幹部宛ての電話などを、常に秘書が応答してから取り次ぐように、ボタンひとつで設定することができます。
設定は、秘書側の電話機で行います。

注意

「ファンクションボタンの設定」により幹部着信代理応答ボタンを秘書の電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

▼ 設定のしかた

1. [　] **（幹部着信代理応答ボタン）を押す**

幹部着信代理応答ボタンが赤点灯します。

幹部転送 <<	200

これで、幹部着信転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. **幹部着信転送を設定中**
   幹部着信代理応答ボタンが赤点灯します。
2. **□（幹部着信代理応答ボタン）を押す**
   幹部着信代理応答ボタンが消灯します。

転送解除	200

これで、幹部着信転送が解除できました。

▼ 受けかた

1. **幹部への着信が転送されてくる**
   幹部着信代理応答ボタンが赤点滅します。

転送 <<<	200

2. **受話器を上げる**

通話

3. **相手と通話する**

ヘッドセットを使って通話する

<ヘッドセット接続> 工事
受話器の代わりに別売のヘッドセットを使って通話できます。
ヘッドセットの使用中は、ヘッドセットボタンを押すことで、受話器を上げたり戻したりの操作に相当します。

▼ 電話のかけかた

受話器を置いたまま、ヘッドセットを使って電話をかけます。

1. **□（ヘッドセットボタン）を押す**
   ヘッドセットボタンが赤点灯します。
2. **□（外線ボタン）を押す**
   ヘッドセットから、外線のダイヤルトーンが聞こえます。
3. **電話番号を押す**
4. **相手が出たら、ヘッドセットで通話する**
5. **電話を切るときは、もう一度 □（ヘッドセットボタン）を押す**
   ヘッドセットボタンが消灯します。

こんなときは

オンフック外線自動捕捉が設定されていると

上記の手順 1 でヘッドセットボタンを押した時点で、ヘッドセットから外線のダイヤルトーンが聞こえ、電話がかけられます。

ヘッドセットでの通話から受話器に切り替えるには

受話器を上げ、ヘッドセットボタンを押すと、受話器に切り替わります。

Bluetooth®ヘッドセットの場合

推奨の Bluetooth®ヘッドセットを使用してる場合は、通話開始時にヘッドセットボタンの代わりに Bluetooth®ヘッドセットの通話(コントロール)ボタンを短く 2 回押します。電話を切るときは、通話(コントロール)ボタンを 1 回押します。

▼ 電話の受けかた

受話器を置いたまま、ヘッドセットを使って電話を受けます。

1. **外線から着信中**
2. **□(ヘッドセットボタン)を押す**
   ヘッドセットボタンが赤点灯します。
3. **点滅中の □(外線ボタン)を押す**
   工事段階で設定されている電話機では、応答ボタンを押して受けることもできます。
4. **相手と通話する**
5. **電話を切るときは、もう一度 □(ヘッドセットボタン)を押す**
   ヘッドセットボタンが消灯します。

こんなときは

外線自動応答が設定されていると

ヘッドセットボタンを押すだけで電話を受けられます。

受話器での通話からヘッドセットに切り替えるには

通話中にヘッドセットボタンを押すと、ヘッドセットに切り替わります。

Bluetooth®ヘッドセットの場合

推奨の Bluetooth®ヘッドセットを使用してる場合は、ヘッドセットボタンの代わりに Bluetooth®ヘッドセットの通話(コントロール)ボタンを押します。

▼ 着信音量を調整する

工事

ヘッドセットから聞こえる次の着信音量を調整することができます。

- 通常の着信音
- 話中時の着信音

注意

- 電話機のヘッドセットコネクタに接続されている有線ヘッドセットでのみ、この機能を利用することができます。
- 工事段階でスピーカとヘッドセットの両方から着信音を鳴らす設定になっている場合は、話中時の着信音量を変更できません(通話音量の変更となります)。

《着信音量の変えかた》

電話機を使っていないときに、次の操作を行います。

1. **スピーカ を押す**
2. **⑨ ⑥ ② を押す**
   962 は、ヘッドセット着信の音量設定の特番(初期値)です。

3. スピーカから着信音が鳴る

4. （ボリューム）を押して調整する

5. スピーカ を押す

《話中時の着信音量の変えかた》

電話機を使っていないときに、次の操作を行います。

1. 受話器を上げる

2. ⑨ ⑥ ② を押す

   962 は、ヘッドセット着信の音量設定の特番（初期値）です。

3. スピーカから着信音が鳴る

4. （ボリューム）を押して調整する

5. 受話器を戻す

共通短縮ダイヤルに登録した付加情報を表示する

<共通短縮付加情報表示>
共通短縮ダイヤルに登録した付加情報（住所や取引状態など）を、着信中および通話中に多機能電話機の表示器に表示することができます。
表示文字数は、1 行あたり全角 14 文字または半角 28 文字で 3 行表示できます。

1. 外線から着信中または外線と通話中

   発信者番号または発信者名が表示されている場合に限ります。

```
LINE 001
日電　太郎        0312345678
```

2. （付加情報表示）を押す

```
日本電気株式会社
住所：東京都港区芝 00-00-00
登録日：2018年 3月 1日
```

こんなときは

共通短縮付加情報表示を終了したい

付加情報表示中にもう一度 （付加情報表示）を押すと元の表示に戻ります。

外線から着信時、自動で付加情報表示を表示したい

自動で共通短縮付加情報表示を表示させるには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご確認ください。

共通短縮付加情報表示の登録内容を変更したい

共通短縮付加情報表示は、ユーザープログラミングまたは工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご確認ください。

注意

- 共通短縮付加情報表示を表示中は、ソフトキーを使用できません。
- 外線着信中に付加情報を表示中、その着信に応答すると付加情報表示を終了します。通話中に引き続き付加情報を表示したい場合は、着信に応答後、再度表示操作を行ってください。

外線に通知する発信者番号を選択する

<発信者番号選択>
外線に電話をかけるときに、通知する発信者番号を選択することができます。
発信者番号選択リストとして 50 番号まで登録できます。

こんなときは

発信者番号選択リストを設定したい
発信者番号選択リストの設定はユーザープログラミングまたは工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご確認ください。

注意

- 事前に、通知する発信者番号を設定しておく必要があります。
- 発信者番号の設定については、販売店にお問い合わせください。

▼ 設定のしかた

1. □（発信者番号通知ボタン）を押す
発信者番号通知ボタンが赤点灯します。

発番：0312345678

これで、発信者番号選択が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. 発信者番号通知を設定中

2. □（発信者番号通知ボタン）を押す
発信者番号通知ボタンが消灯します。

これで、発信者番号選択が解除できました。

▼ かけかた

注意

仮想内線からの発信では動作しません。

《発信者番号通知ボタンを使うとき》

『外線に電話をかける』(⇒P.1-38)を参照してください。

《特番を使うとき》

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ⑥ ⑤ を押す
865 は発信者番号選択発信の特番（初期値）です。

3. 発信者番号選択リストの番号（01～100）を押す

4. 電話番号を押す

これで、設定した相手に電話がかかります。

スマートフォンと連動して使う

工事

スマートフォンと連動して使う

多機能電話機に Bluetooth 機能が搭載されているスマートフォンと接続する為のアダプタ(BCA-ZD オプション)を設置することによりスマートフォンと多機能電話機を連動して使うことができます。

注意

BCA-ZD オプションは予め工事により設置されます。
BCA-ZD は、カールコードレス電話機、DT500 シリーズおよび DT900 シリーズには収容できません。

BCA-ZD オプション

電話機には、「固定電話機モード」と「携帯端末連携モード」の 2 つのモードがあります。

- 固定電話機モード
  スマートフォンに専用の電話帳アプリをインストールし、電話帳アプリからのダイヤル操作にて多機能電話機から他の内線や、Aspire WX の外線経由で発信することができます。通話は、多機能電話機で行います。
- スマートフォン連携モード
  多機能電話機のハンドセットをスマートフォンのハンドセットとして利用できます。発信はスマートフォンから行います。
  スマートフォンでの応答操作、多機能電話機での応答操作(受話器を上げるなど)のどちらからでも応答可能です。
  携帯電話サービス会社の正規の音声通信のみ利用でき、Skype や LINE、050plus などの音声通話アプリケーションでは動作しません。

注意

- Bluetooth は、Bluetooth SIG,Inc の登録商標です。
- 固定電話機モードのときは、通常の多機能電話機として使用できます。スマートフォン連携モードのときは、スマートフォン連携のみ可能で、多機能電話機として使用できません。
- スマートフォンと BCA-ZD(多機能電話機)の間は、見通しで約 10m(一般使用で約 5m)が利用可能な範囲です。
- 他の BCA-ZD とは 1m 以上離して使用してください。他の Bluetooth または無線 LAN 機器とは 3m 以上離して使用してください。

こんなときは

Bluetooth 機能を搭載した携帯端末との連携動作に問題がある場合は、販売店にご確認ください。
専用電話帳アプリの購入については、販売店にお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

番号	ボタン/ランプ種別	説明
(1)	Bluetooth Connect ボタン(赤/緑)	スマートフォンと BCA-ZD とのペアリングおよび BCA-ZD に関する制御を行います。
(2)	Bluetooth Path ボタン(橙/緑)	システムまたは携帯端末の音声を、受話器またはスピーカ/マイクのどちらから流すか切り替えます。また、ランプの色、周期で携帯端末との接続状態を表示します。

注意

- 「ファンクションボタンの設定」により Blutooth Connect ボタンおよび Bluetooth Path ボタンを BCA-ZD を収容した電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。
- 一度割り付けた Bluetooth Connect ボタンおよび Bluetooh Path ボタンは、BCA-ZD 収容中は変更できません。変更する場合は割り付け設定を一度削除し、再設定を行ってください。

Bluetooth 機能を使用するために

ステータスアイコン表示域

ステータスアイコン表示域は、BCA-ZD オプション収容等があったときにステータスアイコンを表示します。
Bluetooth 機能を利用するために、スマートフォンの HFP と A2DP プロファイルを使用します。
また、電話機で BCA-ZD を利用した Bluetooth 接続を行うためにはシステムとの接続が完了している必要があります。

注意

BCA-ZD 機能を使用するためには、お使いのスマートフォンが HFP(Hands-Free Profile)と A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)と AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応しているか確認してください。

Bluetooth 機器との接続状態は、Bluetooth Connect ボタン(以下、Connect ボタン)のランプ状態で確認できます。
Connect ボタンのランプ状態は、下記です。

ランプの状態	状態
消灯	Bluetooth 機能 OFF
赤点灯	Bluetooth 機能 ON
赤/緑 1 秒交互点灯	ペアリングモード

ランプの状態	状態
緑点灯	スマートフォンと Bluetooth 接続中
緑点滅	Bluetooth 接続しているスマートフォン自身で通話中

注意
Connect ボタンは、ファンクションボタン 25 以降には設定できません。

▼ ペアリングを行う

スマートフォンと電話機を連携して使用するには、BCA-Z アダプタと連携するスマートフォンのペアリングが必要です。

こんなときは
電話機本体が複数のペアリング情報を保持している場合は、最後に接続したスマートフォンに優先接続します。

1. Bluetooth 機能が OFF(Connect ボタンが消灯)になっていることを確認する
2. ▭(Connect ボタン)を 8 秒以上長押しし、ペアリングモードにする

注意
3 秒押した時点で、赤点灯しますが、そのまま赤と緑が交互点灯するまで押し続けてください。

3. スマートフォンから電話機をスキャンし、ペアリングおよび接続を行う

注意
- 設定の詳細については、各スマートフォンのマニュアルを参照してください。
- ペアリングモードにしたあと、3 分 30 秒間操作しないと、自動的に Bluetooth 機能が ON の状態に変わります。

▼ Bluetooth 機能を ON にする

1. Bluetooth 機能が OFF(Connect ボタンが消灯)のときに、▭(Connect ボタン)を 3 秒以上長押しする
2. ▭(Connect ボタン)が赤点灯し、Bluetooth 機能が ON になる

注意
- 電話機起動直後、自動的に Bluetooth 機能が ON の状態になります。
- Bluetooth 機能が ON になると、前回使用時の最後に接続していたスマートフォンに Bluetooth 接続します。

▼ Bluetooth 機能を OFF にする

1. ▭(Connect ボタン)が赤点灯中に、▭(Connect ボタン)を 3 秒以上長押しする

2. ▭（Connect ボタン）が消灯し、Bluetooth 機能が OFF になる

Bluetooth 接続していたスマートフォンは、強制切断されます。

注意

電話機とスマートフォンがペアリング接続処理中のときは、Bluetooth 機能を OFF にできません。

▼ 電話機からスマートフォンへの接続

電話機は、ペアリングが完了したスマートフォンに対して、自動もしくは手動で、Bluetooth 接続を行うことができます。電話機から接続できるスマートフォンは、最後に Bluetooth 接続していたスマートフォンのみです。

自動接続

1. Bluetooth 接続が ON（Connect ボタンが赤点灯）になっていることを確認する
2. 最後に Bluetooth 接続していたスマートフォンを Bluetooth の接続範囲内（約 10m）に入れる
3. 自動的に電話機とスマートフォンが Bluetooth 接続する

注意

スマートフォンが通話中に Bluetooth 接続されると、通話が一旦途切れます。約 8 秒経過すると、通話は正常に戻ります。

手動接続

1. Bluetooth 接続が ON（Connect ボタンが赤点灯）になっていることを確認する
2. ▭（Connect ボタン）を短く（3 秒未満）押す
3. 最後に Bluetooth 接続していたスマートフォンに接続要求を送信する
4. 電話機とスマートフォンが Bluetooth 接続する

▼ Bluetooth 音声の切り替え

スマートフォン連携モードでの通話中に離席したい場合、電話機を操作することで、電話機での通話をスマートフォンでの通話に切り替えることができます。本機能を利用することで、スマートフォン通話中に Aspire WX からの着信があった場合にも、スマートフォンの通話を切断することなく、Aspire WX からの着信に応答することができます。

1. スマートフォン回線で通話中に ▭（Connect ボタン）を短く（2.5 秒未満）押す

こんなときは

もう一度 ▭（Connect ボタン）を短く押すと、元の状態に戻ります。

2. スマートフォンで音声通話に切り替わる

こんなときは

スマートフォン側で切り替える場合は、スマートフォンに添付されているマニュアルを参照してください。

モードの切り替え

スマートフォンと Bluetooth 接続が完了しているときに Path ボタンを押すことで、通常の多機能電話機の操作（固定電話機モード）と、多機能電話機とスマートフォンとの連携（スマートフォン連携モード）を切り替えることができます。また、Path ボタンを長押しすることで、スマートフォン種別（iPhone/Android）を切り替えることができます。固定電話機モード/スマートフォン連携モードの状態は、Path ボタンのランプの色と状態で確認できます。

▼ 固定電話機モードへの切り替え

多機能電話機の操作または Aspire WX 側の着信に応答する場合は、Path ボタンを操作します。

1. **Path ボタンが、緑点灯または緑点滅中**
2. **（Path ボタン）を押す。**
   受話器を上げているとき、またはスピーカが ON のとき、モードを切り替えることができません。
3. **Path ボタンが、橙点灯または橙点滅していることを確認する。**

▼ スマートフォン連携モードへの切り替え

スマートフォン連携またはスマートフォンからの着信に応答する場合は、Path ボタンを操作します。

1. **Path ボタンが、橙点灯または橙点滅中**
2. **（Path ボタン）を押す。**
   受話器を上げているとき、またはスピーカが ON のとき、モードを切り替えることができません。
3. **Path ボタンが、緑点灯または緑点滅していることを確認する。**

ランプの色	点滅周期	モード	状態	操作
橙	点灯	固定電話機モード	スマートフォンが待機中または未接続	電話機操作するまたは Aspire WX 側にて発着信する場合：そのまま電話機操作または発着信できます。 スマートフォンの発着信を多機能電話機で応答する場合：Path ボタンを押して緑点灯または緑点滅に変更後、受話機を上げるまたはスピーカボタンで通話します。
	点滅		スマートフォンが音楽再生中	
	2 回点滅		スマートフォンが着信中	
	遅い点滅		スマートフォンが発信中またはスマートフォンがキャリアの回線で通話中	
	速い点滅		スマートフォン自身での通話中	
緑	点灯	スマートフォン連携モード	Aspire WX 側で待機中または着信中	電話機操作するまたは Aspire WX 側にて発着信する場合：Path ボタンを押して橙点灯または橙点滅に変更後、多機能電話機を操作します。 スマートフォンの発着信を多機能電話機で応答する場合：そのまま受話機を上げるまたはスピーカボタンで通話します。
	速い点滅		Aspire WX 側からの音声呼出中	

注意

Path ボタンは、ファンクションボタン 25 以降には設定できません。

BCA-ZD オプション設定

電話機では、待ち受け状態時(空き)に メニュー ボタンを押すことで、BCA-ZD オプションの設定ができます。

1. メニュー操作を行う場合は、メニュー ボタンを押して、メニュー画面を表示する

2. 「5 ｵﾌﾟｼｮﾝ機器」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- を使用して項目を選択後 → 、 またはソフトキー(確定)を押します。
- ⑤ を押します。

3. 「1 BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」を選択する

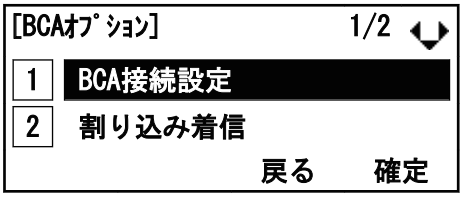
以下のいずれかの方法で選択できます。

- 、 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① を押します。

こんなときは

ショートカットメニューから、1 BCA オプションを選択することもできます。

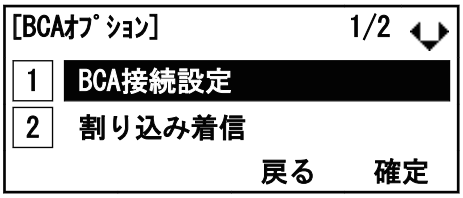
4. 「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



▼ 「自動接続モード」を選択する場合

「自動接続モード」とは、電話機が最後に接続した端末に対して定期で接続処理を行うことができるモードです。(最後に接続したスマートフォンが Bluetooth の有効範囲に入ると自動的に接続します。)

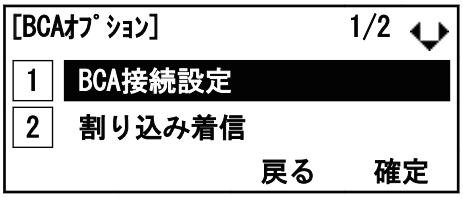
1. 『BCA-ZD オプション設定』(⇒P. 1-132) の手順に従い、「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



2. 「1 BCA 接続設定」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- 再/短 、再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① を押します。



3. 「1 自動接続ﾓｰﾄﾞ」を選択する

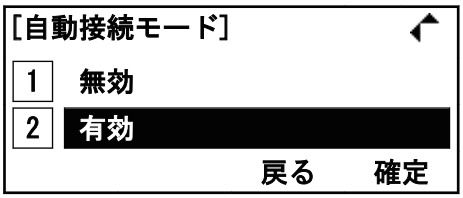
以下のいずれかの方法で選択できます。

- 再/短 、再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① を押します。

4. 自動接続モードにするか選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

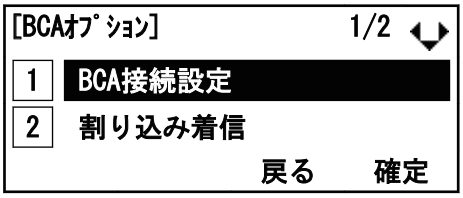
- 再/短 を使用して項目を選択後 → 再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① または ② を押下後 → 再/短 またはソフトキー(確定)を押します。



▼ 「自動接続周期」を選択する場合

「自動接続周期」はスマートフォンへの自動接続周期の設定を行います。

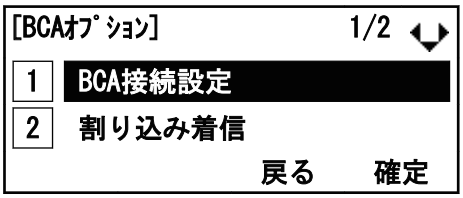
1. 『BCA-ZD オプション設定』(⇒P. 1-132) の手順に従い、「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



2. 「1 BCA 接続設定」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

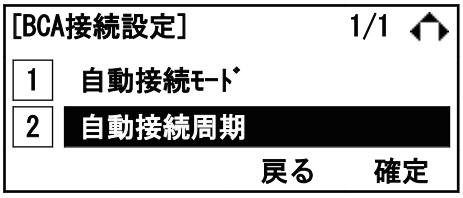
- 再/短 、再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① を押します。



3. 「2 自動接続周期」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- 再/短 を使用して項目を選択後 → 再/短 、再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ② を押します。



4. 接続周期を選択する

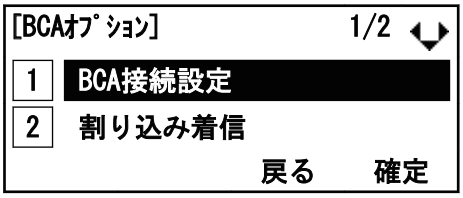
以下のいずれかの方法で選択できます。

- 再/短 を使用して項目を選択後 → 再/短 またはソフトキー(確定)を押します。
- ① ～ ④ を押下後 → 再/短 またはソフトキー(確定)を押します。

▼ 「割り込み着信」を選択する場合

「割り込み着信」は現在の接続回線側でない回線から着信を受けた場合、着信音の鳴動を行うか設定します。

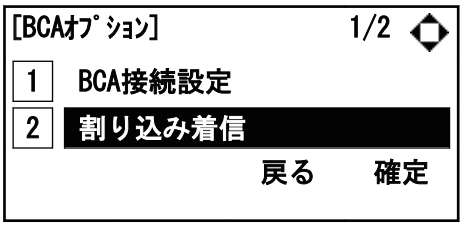
1. 『BCA-ZD オプション設定』(⇒P. 1-132) の手順に従い、「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



2. 「2 割り込み着信」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- を使用して項目を選択後 → 、 またはソフトキー(確定)を押します。
- ② を押します。



3. 割り込み着信を行うかどうか選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

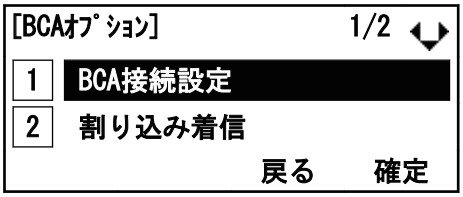
- を使用して項目を選択後 → またはソフトキー(確定)を押します。
- ① または ② を押下後 → またはソフトキー(確定)を押します。

▼ 「スマートフォン種別」を選択する場合

スマートフォンの種別を選択します。

- タイプ 1:iPhone
- タイプ 2:Android

1. 『BCA-ZD オプション設定』(⇒P. 1-132) の手順に従い、「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



2. 「3 携帯端末種別」を選択する

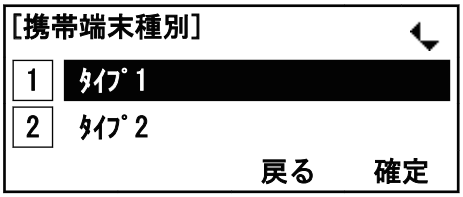
以下のいずれかの方法で選択できます。

- を使用して項目を選択後 → 、 またはソフトキー(確定)を押します。
- ③ を押します。

3. タイプを選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- を使用して項目を選択後 → またはソフトキー(確定)を押します。
- ① または ② を押下後 → またはソフトキー(確定)を押します。



携帯端末種別(スマートフォン種別)	対応するスマートフォン
タイプ 1	iPhone
タイプ 2	Android

▼ スマートフォン種別を切り替える場合

スマートフォンで着信に応答するためには、スマートフォンの種別を設定する必要があります。

タイプには、タイプ 1(iPhone) とタイプ 2(Android)があり、各スマートフォンによって推奨するモードが異なります。

注意

設定するタイプについては、販売店にご確認ください。

1. 電話機が待機中のときに、Path ボタンを長押しする。

2. モードを変更すると、“ピッ” と確認音が鳴る。

タイプ 1

確認音 1 回

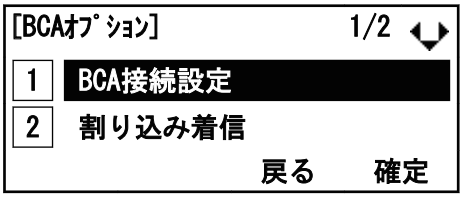
タイプ 2

確認音 2 回

▼ 「着信自動切替」を選択する場合

「着信自動切替」は着信した呼側に対して、接続回線の自動切り替えを行うか選択する。

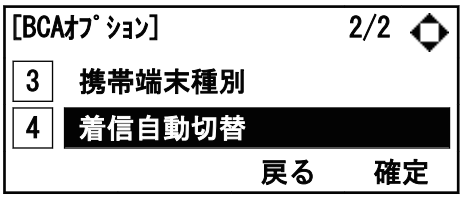
1. 『BCA-ZD オプション設定』(⇒P. 1-132) の手順に従い、「BCAｵﾌﾟｼｮﾝ」画面を表示する



2. 「4 着信自動切替」を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

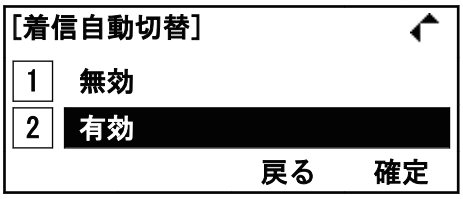
- を使用して項目を選択後 → 、 またはソフトキー(確定)を押します。
- ④ を押します。



3. 着信自動切替を選択する

以下のいずれかの方法で選択できます。

- を使用して項目を選択後 → またはソフトキー(確定)を押します。
- ① または ② を押下後 → またはソフトキー(確定)を押します。



電話の受けかた

電話機は、Aspire WX からの回線と携帯電話回線(スマートフォンの回線)の両方の電話を受けることができます。携帯電話回線(スマートフォンの回線)については、スマートフォンに添付されているマニュアルを参照してください。

▼ Aspire WX からの電話を受ける

1. 呼び出し音が鳴り、大型ランプが点滅する。

2. Path ボタンが消灯または橙点灯していることを確認し、受話器を上げる

こんなときは

スピーカボタンを押すことで、ハンズフリーで着信に応答することもできます。

3. 受話器を上げて通話する

注意
固定電話機モードで携帯電話回線(スマートフォンの回線)と Aspire WX からの回線が同時着信となった場合、受話器を上げるもしくはスピーカボタンを押すと、Aspire WX からの回線での通話となります。
初期値の設定は着信があった回線が優先となります。

注意
スマートフォン連携モード(Path ボタン:緑点灯)の場合、Path ボタンを押し、固定電話機モードに変更してください。

電話機の大型ランプの状態の詳細については、以下の表を参照してください。

ランプの状態	意味
125ms 周期の点滅(赤点滅)	システムの通知(着信、音声呼出しなど) 注意 システム設定の色で点滅します。初期では赤点滅します。詳しくは、販売店にご確認ください。
250ms 周期の点滅(青点滅)	Bluetooth 接続しているスマートフォンへの着信中
125ms または 250ms 周期の点滅(赤/青 1 秒交互点滅)	システムから着信中(125ms 周期)にスマートフォンからの着信(250ms 周期:青)を受けた場合は、250ms 周期で点滅 スマートフォンからの着信中(250ms 周期:青)にシステムから着信(125ms 周期)を受けた場合は、125ms 周期で点滅 こんなときは **システム/スマートフォンのどちらに応答するか選択する** Path ボタンが橙色の場合は、システム側の着信、緑色の場合はスマートフォンの着信に応答します。Path ボタン押下により、橙色/緑色を変えられます。

▼ 携帯電話回線(スマートフォンの回線)からの電話の受けかた

1. スマートフォンに着信する
2. Connect ボタンおよび Path ボタンが緑点灯していることを確認して受話器を上げる
3. 電話機で通話する

電話のかけかた

▼ Aspire WX 経由で電話をかける

通常の電話機操作で発信が可能です。
Aspire WX を経由した発信方法は 2 通りあります。

- Connect ボタン緑点灯、Path ボタンが橙点灯していることを確認して、電話機操作で発信する。
- Connect ボタン緑点灯、Path ボタンが橙点灯していることを確認して、スマートフォンのアプリを使用して発信する。

注意

電話機本体から携帯電話回線（スマートフォンの回線）への発信はできません。スマートフォンから発信してください。
通話接続後、本体のハンドセットで通話が可能です。

▼ 携帯電話回線（スマートフォンの回線）への電話のかけかた

電話機本体からスマートフォン連携しているスマートフォンを経由して発信はできません。スマートフォンから直接発信してください。

ミュートのしかた

スマートフォン連携モード中にハンズフリー通話を行っている状態で、ミュートが可能です。

1. 特殊 + ① を押す
   ハンズフリーマイクが OFF されミュートします。
2. 再び 特殊 + ① を押す
   ハンズフリーマイクが ON され、ミュートを解除します。

こんなときは

着信中に電話機を再起動させた場合、自動で着信応答します。

音量を調整する

電話機本体の により、各種音量を調整することができる。

▼ 受話音量を調整する

1. 通話中に を使用し、受話音量を調整する

▼ 着信音量を調整する

1. 着信中に を使用し、着信音量を調整する

▼ スピーカ音量を調整する

1. 通話中もしくは発信中でスピーカボタンが ON のときに、 を使用し、スピーカ音量を調整する

音楽を再生する

電話機は、スマートフォンと Bluetooth 接続中に、音楽をスピーカから再生することができます。

▼ 音楽を再生する

1. スマートフォンで音楽を再生する

音楽の再生方法については、スマートフォンに添付されているマニュアルを参照してください。

2. 受話器を置いている場合、スピーカボタンが赤点灯する→ スピーカ

自動的にスピーカから音楽が再生されます。

こんなときは

音楽再生中に受話器を上げると、受話器から音楽が再生されます。その後、受話器を置くと音楽の再生は停止します。

3. 再生音量を調整する場合は、 再/短 中 **を使用して調整する**

▼ 音楽を停止する

1. スピーカボタンを押す

スピーカボタンが消灯する。→ スピーカ

2. 音楽の再生が停止する

こんなときは

もう一度スピーカボタン押すと音楽が再生されます。

注意

- 音量を調整する場合は、電話機の十字キーで調整してください。電話機側で調整しても、音が歪む場合や小さい場合は、スマートフォンで調整してください。ただし、スマートフォンから音楽調整ができない場合があります。
- 電話機側で音楽の再生を停止しても、スマートフォン側では音楽が再生され続けます。必ずスマートフォン側で音楽の再生を停止してください。
- 着信中に電話機を再起動させた場合、自動で着信応答します。

センター電話帳を使う

センター電話帳について

工事

センター電話帳は、多機能電話機から利用できるシステムに内蔵されている電話帳です。
センター電話帳には、次の 2 種類があります。

- 共通短縮ダイヤル
  システム全体で共用するための電話帳です。
  システム全体で 1 個あり、最大 10000 件まで登録できます。
- 個別電話帳
  電話機ごとに使用するための電話帳です。
  システム全体で 200 グループあり、各電話帳に最大 450 件まで登録できます。個別電話帳は、1 台の多機能電話機で、最大 2 つまで使用することができます。
  工事段階の設定にて 200 グループ×最大 450 件を、100 グループ×最大 900 件に変更できます。
  個別電話帳を 2 つ使用するには、工事の段階の設定が必要です。

センター電話帳利用時のボタンの使いかたや操作のしかたは、次の項目を参照してください。

- 『センター電話帳利用時の各ボタンの使いかた』(⇒P.1-141)
- 『センター電話帳を起動する』(⇒P.1-143)
  - 『▼ 電話帳のメニュー画面を表示する』(⇒P.1-143)
  - 『▼ 電話帳の検索画面を表示する』(⇒P.1-143)
- 『電話帳に登録する』(⇒P.1-145)
  - 『▼ 新規で登録する』(⇒P.1-145)
  - 『▼ 発信履歴から登録する』(⇒P.1-148)
  - 『▼ 着信履歴から登録する』(⇒P.1-149)
- 『電話帳の登録内容を変更する』(⇒P.1-153)
  - 『▼ 電話帳を検索して変更する』(⇒P.1-153)
  - 『▼ 発信履歴から変更する』(⇒P.1-154)
  - 『▼ 着信履歴からの変更のしかた』(⇒P.1-154)
- 『電話帳に登録されている内容を削除する』(⇒P.1-155)
  - 『▼ 1 件だけ削除する』(⇒P.1-155)
  - 『▼ すべて削除する』(⇒P.1-156)
- 『電話帳に登録されている相手を検索する』(⇒P.1-149)
  - 『▼ 読みカナ検索のしかた』(⇒P.1-149)
  - 『▼ グループ検索のしかた』(⇒P.1-150)
  - 『▼ 電話番号検索のしかた』(⇒P.1-151)
  - 『▼ メモリ番号検索のしかた』(⇒P.1-152)
- 『センター電話帳を設定する』(⇒P.1-156)
  - 『▼ グループ名を変更する』(⇒P.1-156)
  - 『▼ 電話帳をロック／ロック解除する』(⇒P.1-158)
  - 『▼ 暗証番号を変更する』(⇒P.1-158)

センター電話帳利用時の各ボタンの使いかた

ここでは、センター電話帳の操作に使用するボタンのみを説明しています。

ボタン	待ち受け時またはセンター電話帳操作時	文字入力時
ソフトキー	メニューを選択します。	• 全角かな文字を変換 • カーソルを移動します。
Exit	センター電話帳を終了します。	

ボタン	待ち受け時またはセンター電話帳操作時	文字入力時
十字キー上下	• 画面を切り替えます。 • カーソルを移動します。	• 全角かな文字を変換します。 • 画面を切り替えます。
十字キー左右	• 電話帳検索画面を表示します。 • カーソルを移動します。	• 前後の候補を表示します。 • カーソルを移動します。
確定	選択項目を確定します。	入力した文字や数字を確定します。
ダイヤルボタン	• 文字や数字を入力します。 • 番号に該当する項目を確定します。	文字や数字を入力します。
フック	–	• 文字入力モードを切り替えます。 • “R”(フッキング)を入力します。
特殊	1 つ前の画面に戻ります。	• 文字や数字を消去します。 • 1 つ前の画面に戻ります。
転送	–	“P”(ポーズ)を入力します。
クリア	1 つ前の画面に戻ります。	• 文字や数字を消去します。 • 1 つ前の画面に戻ります。
メニュー	センター電話帳のメニュー画面を表示します。	–
保留	選択項目を確定します。	入力した文字や数字を確定します。
応答	–	“@”(ワイルドカード)を入力します。

センター電話帳のアイコン表示の意味

センター電話帳の画面に表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

アイコン	意　　味
電話帳表示アイコン	
名	電話帳に登録されている相手の名前です。
カナ	相手に設定されている読みカナです。
Gr	相手に設定されているグループ名です。
電話番号カテゴリアイコン	
	会社・勤務先の電話番号です。
	携帯電話または PHS などの電話番号です。
VM	ボイスメールへのアクセス番号です。
	自宅の電話番号です。
	その他の電話番号です。

センター電話帳を起動する

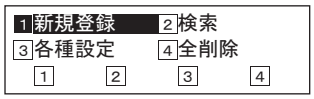
▼ 電話帳のメニュー画面を表示する

1. “設定” のソフトキーを押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

2. “電話帳” のソフトキーを押す

センター電話帳のメニュー画面が表示されます。



3. メニューを選択する

次のいずれかの方法で、選択します。

- 項目に対応する番号を、ダイヤルボタンで押す
- 項目に対応する番号のソフトキーを押す
  IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
  ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。
- 十字キーの上下左右で反転表示を移動し、確定ボタンを押す

4. 各種操作をする

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『▼ 新規で登録する』(⇒P.1-145)
- 『電話帳に登録されている相手を検索する』(⇒P.1-149)
- 『センター電話帳を設定する』(⇒P.1-156)
- 『▼ すべて削除する』(⇒P.1-156)

▼ 電話帳の検索画面を表示する

電話帳検索画面を表示する方法には、次の 3 通りがあります。

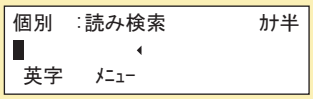
- 十字キーを使って表示する
- ソフトキーを使って表示する
- センター電話帳のメニュー画面から表示する

こんなときは

“！電話帳登録データは 0 件です” と表示された

電話帳には 1 件も登録されていません。

次の画面が表示された



ご使用の電話機では、個別電話帳 1 だけが利用できます。検索する電話帳の選択は不要です。

《十字キーを使うとき》

1. （電話帳）を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。
電話帳検索画面が表示されます。
『十字キーのメニューについて』（⇒P.1-29）の『十字キーの右（電話帳）メニューを操作する』（⇒P.1-30）を参照してください。

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
 ◀
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

2. 電話をかける相手を検索する

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『▼ 読みカナ検索のしかた』（⇒P.1-149）
- 『▼ グループ検索のしかた』（⇒P.1-150）
- 『▼ 電話番号検索のしかた』（⇒P.1-151）
- 『▼ メモリ番号検索のしかた』（⇒P.1-152）

《ソフトキーを使うとき》

1. “検索” のソフトキーを押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』（⇒P.1-6）を参照してください。

2. “電話帳” のソフトキーを押す

電話帳検索画面が表示されます。

```
[電話帳検索]

個別 1  個別 2
```

3. 検索したい電話帳のソフトキーを押す

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の最大 2 つの電話帳が利用できます。検索したい電話帳のソフトキーを押してください。読みカナを入力するための画面が表示されます。
（画面は“個別 1”のソフトキーを押した場合のものです。）

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
 ◀
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

4. 電話をかける相手を検索する

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『▼ 読みカナ検索のしかた』（⇒P.1-149）
- 『▼ グループ検索のしかた』（⇒P.1-150）
- 『▼ 電話番号検索のしかた』（⇒P.1-151）
- 『▼ メモリ番号検索のしかた』（⇒P.1-152）

《電話帳のメニュー画面から表示するとき》

1. センター電話帳のメニュー画面で、“2検索” を選択する

電話帳検索画面が表示されます。

```
[電話帳登録]

個別 1  個別 2
```

2. 検索したい電話帳のソフトキーを押す

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の最大 2 つの電話帳が利用できます。検索したい電話帳のソフトキーを押してください。読みカナを入力するための画面が表示されます。
（画面は“個別 1”のソフトキーを押した場合のものです。）

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
■              ◂
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

3. 電話をかける相手を検索する

操作のしかたは、各ページを参照してください。

- 『▼ 読みカナ検索のしかた』（⇒P.1-149）
- 『▼ グループ検索のしかた』（⇒P.1-150）
- 『▼ 電話番号検索のしかた』（⇒P.1-151）
- 『▼ メモリ番号検索のしかた』（⇒P.1-152）

電話帳に登録する

▼ 新規で登録する

1. センター電話帳のメニュー画面で、“1新規登録” を選択する

登録先の電話帳を選ぶための画面が表示されます。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

```
[電話帳登録]

個別 1  個別 2
```

こんなときは

次の画面が表示された

```
個別 1：名前入力          漢全
■                  ◂
 カナ    ←    →
```

ご使用の電話機では、個別電話帳 1 だけが利用できます。手順 3 に進んでください。

2. 登録したい電話帳のソフトキーを押す

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の最大 2 つの電話帳が利用できます。登録したい電話帳のソフトキーを押してください。名前を入力するための画面が表示されます。
（画面は“個別 1”のソフトキーを押した場合のものです。）

```
個別 1：名前入力          漢全
■                         ◂
 カナ     ←     →
```

こんなときは

“！メモリ 450 件登録済みです 新規登録できません”と表示された

個別電話帳への登録件数が一杯になっています。登録したいときは、不要な登録先を削除してください。
なお、100 グループ×900 件に設定されている場合は、“！メモリ 900 件登録済みです”と表示されます。
100 グループ×900 件へは、工事段階の設定が必要です。

3. 相手の名前を入力する

相手の名前は、全角で 12 文字（半角の場合 24 文字）まで入力できます。また、全角と半角を混ぜて使用できます。文字入力のしかたは、『文字を入力する』（⇒P.1-160）を参照してください。

```
個別 1：名前入力          英半
鈴木一郎 PHS              ◂
 数字     ←     →
```

4. （確定）または 保留 を押す

手順 3 で入力した名前の読みカナ（半角 12 文字まで）が表示されます。読みカナを修正するときは、文字入力と同じ要領で修正します。

```
個別 1：読みカナ入力      ｶﾅ半
ｽｽﾞｷｲﾁﾛｳPHS ◂
 英字     ←     →
```

5. （確定）または 保留 を押す

グループを選ぶための画面が表示されます。

```
個別 1：グループ選択
1東京本社     2大阪支店
3名古屋支店   4札幌支店
```

6. を押して、登録したいグループを表示する

7. 登録したいグループを選択する

電話番号を入力するための画面が表示されます。

```
個別 1：電話番号入力
鈴木一郎 PHS
■
```

8. 電話番号を入力する

電話番号は、24 桁まで入力できます。電話番号として使用できるのは、次の数字および記号です。

- 0～9、＊、＃
- P（ポーズ：転送ボタン）
- R（フッキング：フックボタン）
- @（ISDN 応答待ちコード：応答ボタン）

9. （確定）または 保留 を押す

アイコンを選ぶための画面が表示されます。

```
個別１： アイコン選択
1 2 3 VM 4 5 6
会社
```

10. 登録したいアイコンを選択する

メモリ番号を入力するための画面が表示されます。
画面には、空いている最も若番のメモリ番号が表示されます。

```
個別１：メモリ番号登録
                    101
[0～ 449]
```

11. メモリ番号を入力する

表示されているメモリ番号に登録したいときは、手順 12 に進んでください。

12. （確定）または 保留 を押す

しばらくすると、登録先の電話帳を選ぶための画面に戻ります。

```
メモリ番号 ： 101登録しました
電話帳登録件数      101/ 450件
```

```
[電話帳登録]

個別１ 個別２
```

こんなときは

複数の相手先を登録したい

手順 2 からの操作をくり返します。

13. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、電話帳に登録できました。

▼ 発信履歴から登録する

1. 登録したい発信履歴を表示する

- 発信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 発信履歴から探してかけ直す』(⇒P.1-42)を参照してください。

```
01:                    山田一郎
    11-12 11:14    0312345678
 ↑        ↓    登録    削除
```

こんなときは

ほかの発信履歴を見たい

発信履歴は、最大 50 件が記憶されています。十字キーの上下または“↑”、“↓”のソフトキーを押すと、番号が切り替わります。

電話をかけるときは

ここで発信の操作をします。

2. “登録”のソフトキーを押す

登録方法を選ぶための画面が表示されます。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

```
01:                    山田一郎
    11-12 11:14    0312345678
 短縮   個別１  個別２
```

こんなときは

“！メモリ 450 件登録済みです 新規登録できません”と表示された

個別電話帳への登録件数が一杯になっています。登録したいときは、不要な登録先を削除してください。なお、100 グループ×900 件に設定されている場合は、“！メモリ 900 件登録済みです”と表示されます。100 グループ×900 件へは、工事段階の設定が必要です。

3. 電話帳への登録操作をする

以降の操作は、電話帳の登録内容修正と同様です。『電話帳の登録内容を変更する』(⇒P.1-153)の手順 2 以降を参照してください。なお、電話帳を使って発信した場合など、名前が登録されていた場合は、その名前が自動入力されます。また、電話番号には、ダイヤルした電話番号が入力されています。必要に応じて、修正してください。

▼ 着信履歴から登録する

1. 登録したい着信履歴を表示する

- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。

※ mm:月、dd:日、hh:時、tt:分

```
01:                    山田一郎
不在mm-dd hh:tt    0312345678
  ↑        ↓    登録    削除
```

こんなときは

ほかの着信履歴を見たい

着信履歴は、最大 50 件が記憶されています。十字キーの上下または“↑”、“↓”のソフトキーを押すと、番号が切り替わります。

電話をかけるときは

ここで発信の操作をします。

2. “登録”のソフトキーを押す

登録先の電話帳を選ぶための画面が表示されます。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

```
01:                    山田一郎
不在mm-dd hh:tt    0312345678
 短縮   個別１  個別２
```

こんなときは

“！メモリ 450 件登録済みです 新規登録できません”と表示された

個別電話帳への登録件数が一杯になっています。登録したいときは、不要な登録先を削除してください。
なお、100 グループ×900 件に設定されている場合は、“！メモリ 900 件登録済みです”と表示されます。100 グループ×900 件へは、工事段階の設定が必要です。

3. 電話帳への登録操作をする

以降の操作は、電話帳の登録内容修正と同様です。『電話帳の登録内容を変更する』(⇒P.1-153)の手順 2 以降を参照してください。なお、名前には、ネーム･ディスプレイで通知されてきた名前が自動入力され、電話番号は、ナンバー･ディスプレイで通知されてきた電話番号が入力されています。必要に応じて、修正してください。

電話帳に登録されている相手を検索する

こんなときは

“！電話帳登録データは 0 件です”と表示された

電話帳には 1 件も登録されていません。

▼ 読みカナ検索のしかた

1. 電話帳の検索画面を表示する

『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの右(電話帳)メニューを操作する』(⇒P.1-30)または『▼ 電話帳の検索画面を表示する』(⇒P.1-143)を参照してください。

```
個別１:読み検索          ｶﾅ半
▌
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

2. 読みカナを入力する

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
ｽｽ
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

こんなときは

英数字を入力したい

フックボタンを押すと、入力モードが切り替わります。

3. を押す

入力した読みカナに該当する候補が表示されます。
ここで、操作を終了するときは Exit ボタンを押してください。

```
1鈴木一郎 PHS
2鈴木太郎 PHS
07012345678
```

4. を押して、候補を選ぶ

候補の番号のダイヤルボタンを押して選ぶこともできます。

5. （確定）または 保留 を押す

選んだ候補が確定され、登録内容が表示されます。

```
101鈴木一郎 PHS
07012345678
変更    削除    発信
```

これで、電話帳から読みカナで検索できました。
電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。

▼ グループ検索のしかた

1. 電話帳の検索画面を表示する

『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの右(電話帳)メニューを操作する』(⇒P.1-30)または『▼ 電話帳の検索画面を表示する』(⇒P.1-143)を参照してください。

```
個別 1：読み検索          ｶﾅ半
 英字    ﾒﾆｭｰ
```

2. “メニュー” のソフトキーを押す

検索方法を選ぶための画面が表示されます。

```
[検索メニュー]

 読み   ｸﾞﾙｰﾌﾟ   番号   メモリ
```

3. “グループ” のソフトキーを押す

グループを選ぶための画面が表示されます。

```
個別 1：グループ検索
1東京本社      2大阪支店
3名古屋支店    4札幌支店
```

4. を押して、検索したいグループを表示する

5. 検索したいグループの番号を押す

グループに所属する登録内容が表示されます。なお、該当するグループ内に登録内容が 1 件のみの場合は、手順 7 の画面が表示されます。

```
1鈴木一郎 PHS
2鈴木太郎 PHS
07012345678
```

6. を押して、候補を選ぶ

候補の番号を数字ボタンを押して選ぶこともできます。

7. （確定）または 保留 を押す

選んだ候補が確定され、登録内容が表示されます。

```
101鈴木一郎 PHS
07012345678
変更　削除　発信
```

これで、電話帳からグループで検索できました。
電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。

▼ 電話番号検索のしかた

1. 電話帳の検索画面を表示する

『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの右(電話帳)メニューを操作する』(⇒P.1-30)または『▼ 電話帳の検索画面を表示する』(⇒P.1-143)を参照してください。

```
個別 1：読み検索　　ｶﾅ半
英字　ﾒﾆｭｰ
```

2. “メニュー” のソフトキーを押す

検索方法を選ぶための画面が表示されます。

```
[検索メニュー]
読み　ｸﾞﾙｰﾌﾟ　番号　メモリ
```

3. “番号” のソフトキーを押す

電話番号を入力するための画面が表示されます。

```
個別 1：電話番号検索
ﾒﾆｭｰ
```

4. 電話番号を入力する

5. **を押す**

電話番号に該当する候補が表示されます。該当する候補が 1 件のみの場合は、手順 7 の画面が表示されます。

```
1鈴木一郎 PHS
2鈴木太郎 PHS
07012345678
```

6. **を押して、候補を選ぶ**

候補の番号を数字ボタンを押して選ぶこともできます。

7. **（確定）または 保留 を押す**

選んだ候補が確定され、登録内容が表示されます。

```
101鈴木一郎 PHS
07012345678
変更　削除　発信
```

これで、電話帳から電話番号で検索できました。
電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。

▼ メモリ番号検索のしかた

1. **電話帳の検索画面を表示する**

『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの右(電話帳)メニューを操作する』(⇒P.1-30)または『▼ 電話帳の検索画面を表示する』(⇒P.1-143)を参照してください。

```
個別 1：読み検索　　ｶﾅ半
英字　ﾒﾆｭｰ
```

2. **“メニュー” のソフトキーを押す**

検索方法を選ぶための画面が表示されます。

```
[検索メニュー]
読み　ｸﾞﾙｰﾌﾟ　番号　メモリ
```

3. **“メモリ” のソフトキーを押す**

メモリ番号を入力するための画面が表示されます。

```
個別 1：メモリ番号検索
ﾒﾆｭｰ　　[0～ 449]
```

4. **メモリ番号を入力して、 を押す**

メモリ番号に該当する相手が表示されます。
なお、3 桁のメモリ番号の場合は、十字キーの操作が不要です。

```
101鈴木一郎 PHS
07012345678
変更　削除　発信
```

これで、電話帳からメモリ番号で検索できました。
電話をかけるときは、ここで発信の操作をします。

電話帳の登録内容を変更する

▼ 電話帳を検索して変更する

1. 修正したい内容を表示する

検索する場合は、『電話帳に登録されている相手を検索する』(⇒P.1-149)を参照してください。

```
101鈴木一郎 PHS
07012345678
変更　削除　発信
```

2. “変更”のソフトキーを押す

修正する項目を選ぶための画面が表示されます。

```
個別 1：電話帳変更
名鈴木一郎 PHS
ｶﾅｽｽﾞｷｲﾁﾛｳPHS Gr東京本社
```

3. を押して、修正したい項目を選ぶ

4. （確定）または 保留 を押す

選んだ項目の修正画面が表示されます。修正のしかたは、新規登録の操作と同様です。

- 相手の名前を選んだ場合
  『電話帳に登録する』(⇒P.1-145)の手順 3～手順 5→修正する項目を選ぶための画面に戻ります。
- 相手の名前の読みカナを選んだ場合
  『電話帳に登録する』(⇒P.1-145)の手順 4、手順 5→修正する項目を選ぶための画面に戻ります。
- グループを選んだ場合
  『電話帳に登録する』(⇒P.1-145)の手順 6、手順 7→修正する項目を選ぶための画面に戻ります。
- 電話番号を選んだ場合
  『電話帳に登録する』(⇒P.1-145)の手順 8～手順 10→修正する項目を選ぶための画面に戻ります。

5. を押して、“メモリ番号の登録へ”を選択する

```
個別 1：電話帳変更
メモリ番号の登録へ
```

6. （確定）または 保留 を押す

メモリ番号を入力するための画面が表示されます。画面には、現在のメモリ番号が表示されます。
登録先を変更する場合は、新しいメモリ番号を入力してください。このとき、入力したメモリ番号の状態によって表示される画面が異なります。

- すでに別の電話帳データが登録されている場合
  手順 7 の画面(現在登録されている電話帳データの名前)が表示されます。手順 8 に進んでください。
- 電話帳データが登録されていない場合
  手順 8 の画面が表示されます。手順 9 に進んでください。

```
個別 1：メモリ番号登録
                ▸101
[0～ 449]
```

7. （確定）または 保留 を押す

確認画面が表示されます。

```
メモリ番号 ： 101登録しました
電話帳登録件数      101/ 450件
```

8. “Yes” のソフトキーを押す

書き換えたくないときは、“No”のソフトキーを押します。
※十字キーの左右で“Yes”を選択し、確定ボタンまたは保留ボタンを押して決定することもできます。

```
メモリ番号 ： 101登録しました
電話帳登録件数      101/ 450件
```

9. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、電話帳の登録内容が変更できました。

▼ 発信履歴から変更する

電話帳に登録されている相手に電話をかけた場合、発信履歴には電話帳に登録されている名前などが表示されます。この発信履歴から電話帳の登録内容を修正することができます。

1. 変更したい発信履歴を表示する

- 発信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 発信履歴から探してかけ直す』(⇒P.1-42)を参照してください。

2. “登録” のソフトキーを押す

登録方法を選ぶための画面が表示されます。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

```
01:                    山田一郎
    11-12 11:14    0312345678
 短縮   個別１  個別２
```

3. 登録したい電話帳のソフトキーを押す

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の最大 2 つの電話帳が利用できます。登録したい電話帳のソフトキーを押してください。電話帳を修正するための画面が表示されます。

4. 電話帳に登録されている内容を変更する

以降の操作は、電話帳の登録内容修正と同様です。『電話帳の登録内容を変更する』(⇒P.1-153)の手順 2 以降を参照してください。

▼ 着信履歴からの変更のしかた

電話帳に登録されている相手からの着信の場合、着信履歴には電話帳に登録されている名前などが表示されます。この着信履歴から電話帳の登録内容を修正することができます。

1. 変更したい着信履歴を表示する

- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。

2. “登録”のソフトキーを押す

登録先の電話帳を選ぶための画面が表示されます。
※ mm:月、dd:日、hh:時、tt:分
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

```
01:                    山田一郎
不在mm-dd hh:tt    0312345678
 短縮   個別１  個別２
```

こんなときは

“！メモリ 450 件登録済みです 新規登録できません”と表示された

個別電話帳への登録件数が一杯になっています。登録したいときは、不要な登録先を削除してください。
なお、100 グループ×900 件に設定されている場合は、“！メモリ 900 件登録済みです”と表示されます。
100 グループ×900 件へは、工事段階の設定が必要です。

3. 登録したい電話帳のソフトキーを押す

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の最大 2 つの電話帳が利用できます。登録したい電話帳のソフトキーを押してください。電話帳を修正するための画面が表示されます。

4. 電話帳に登録されている内容を変更する

以降の操作は、電話帳の登録内容修正と同様です。『電話帳の登録内容を変更する』(⇒P.1-153)の手順 2 以降を参照してください。

電話帳に登録されている内容を削除する

▼ 1 件だけ削除する

1. 削除したい内容を表示する

検索する場合は、『電話帳に登録されている相手を検索する』(⇒P.1-149)を参照してください。

```
 101鈴木一郎 PHS
 07012345678
 変更    削除   発信
```

2. “削除”のソフトキーを押す

確認画面が表示されます。

```
個別１:データ削除
削除しますか？
                Yes   No
```

3. “Yes”のソフトキーを押す

削除したくないときは、“No”のソフトキーを押します。
※十字キーの左右で“Yes”を選択し、確定ボタンまたは保留ボタンを押して決定することもできます。

```
！削除しました
```

4. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、登録内容が 1 件だけ削除できました。

▼ すべて削除する

1. メニュー画面で、“4 全削除” を選択する

暗証番号を入力するための画面が表示されます。

```
個別１:全削除
暗証番号を4桁入力して下さい
■ ◂
```

こんなときは

次の画面が表示された

```
[電話帳削除]

個別１ 個別２
```

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の 2 つの電話帳が利用できます。削除したい電話帳のソフトキーを押してください。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

2. 暗証番号 4 桁を入力する

暗証番号が一致すると、確認画面が表示されます。

```
個別１:全削除
電話帳全削除しますか？
              Yes  No
```

こんなときは

暗証番号を忘れてしまった

暗証番号を調べることはできませんので、出荷時の状態(”0000”)に戻してもらってください。詳しくは、システム管理者または販売店にご相談ください。

3. “Yes” のソフトキーを押す

削除したくないときは、“No”のソフトキーを押します。
※十字キーの左右で“Yes”を選択し、確定ボタンまたは保留ボタンを押して決定することもできます。

```
！電話帳全削除しました
```

4. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、電話帳の登録内容がすべて削除できました。

センター電話帳を設定する

▼ グループ名を変更する

グループ名は、初期状態では“グループ 01”～“グループ 20”となっています。このグループ名を、わかりやすい名称に変更できます。

1. **メニュー画面で、“3 各種設定”を選択する**

設定項目を選ぶための画面が表示されます。

```
[各種設定]

ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集　ロック　暗証
```

2. **“グループ名編集”のソフトキーを押す**

変更するグループ名を選ぶための画面が表示されます。

```
個別１:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集
1東京本社　　2大阪支店
3名古屋支店　4札幌支店
```

こんなときは

次の画面が表示された

```
[電話帳削除]

個別１　個別２
```

ご使用の電話機では、個別電話帳 1、個別電話帳 2 の 2 つの電話帳が利用できます。グループ名を変更したい電話帳のソフトキーを押してください。
※“個別 1”、“個別 2”の表示は初期値です。設定によって表示が変わります。

3. **を押して、変更したいグループを表示させる**

4. **変更したいグループの番号を押す**

グループ名を入力するための画面が表示されます。

```
個別１:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集　　漢全
東京本社　　◂
 カナ
```

5. **グループ名を入力する**

グループ名は、半角で 12 文字まで、全角で 6 文字まで入力できます。また、全角と半角を混ぜて使用できます。文字入力のしかたは、『文字を入力する』(⇒P.1-160)を参照してください。

```
個別１:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集　　漢全
神田本社　　◂
 カナ
```

6. **（確定）または 保留 を押す**

変更したグループ名が、一覧に表示されます。

```
！登録しました
```

```
個別１:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集
1神田本社　　2大阪支店
3名古屋支店　4札幌支店
```

7. **Exit を押す**

待ち受け画面に戻ります。

これで、グループ名称が変更できました。

▼ 電話帳をロック／ロック解除する

センター電話帳を、一時的に使用できないようにします。この操作には、暗証番号を入力します。暗証番号については、『▼ 暗証番号を変更する』(⇒P.1-158)を参照してください。

《電話帳をロックする》

1. メニュー画面で、“3 各種設定” を選択する

設定項目を選ぶための画面が表示されます。

```
[各種設定]

ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集　ロック　暗証
```

2. “ロック” のソフトキーを押す

暗証番号を入力するための画面が表示されます。

```
[電話帳ロック]
暗証番号を4桁入力して下さい
■　◂
```

3. 暗証番号を入力する

暗証番号が一致すると、次の画面が表示されます。

```
！電話帳ロックしました
```

こんなときは

暗証番号を忘れてしまった

暗証番号を調べることはできませんので、出荷時の状態(“0000”)に戻してもらってください。詳しくは、システム管理者または販売店にご相談ください。

4. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、電話帳がロックできました。

こんなときは

電話帳ロック中の動作

電話帳のロック中には、ロックの解除以外の電話帳操作はできなくなります。操作しようとすると、“！電話帳ロック中です”と表示されます。

《ロック解除のしかた》

電話帳をロックするときと同じ操作をします。暗証番号が一致すると、“！電話帳ロック解除しました”と表示されます。

▼ 暗証番号を変更する

電話帳の全件削除や、電話帳ロックに使用する暗証番号を変更します。暗証番号は、工場出荷時には“0000”に設定されています。

1. メニュー画面で、“3 各種設定” を選択する

設定項目を選ぶための画面が表示されます。

```
[各種設定]

ｸﾞﾙｰﾌﾟ名編集　ロック　暗証
```

2. “暗証”のソフトキーを押す

現在の暗証番号を入力するための画面が表示されます。

```
[暗証番号設定]
暗証番号を4桁入力して下さい
■  ◂
```

3. 暗証番号を入力する

暗証番号が一致すると、新しい暗証番号を入力するための画面が表示されます。

```
[暗証番号設定]
新規番号を4桁入力して下さい
■  ◂
```

こんなときは

暗証番号を忘れてしまった

暗証番号を調べることはできませんので、出荷時の状態（”0000”）に戻してもらってください。詳しくは、システム管理者または販売店にご相談ください。

4. 新しい暗証番号を入力する

```
！暗証番号設定しました
```

5. Exit を押す

待ち受け画面に戻ります。

これで、暗証番号が変更できました。

文字を入力する

入力のしかた

各ボタンを押したときに表示される文字は、『文字入力一覧表』(⇒P.1-161)を参照してください。

こんなときは

文字入力モードと表示について

フックボタンまたは電話帳ボタンを押すごとに、文字入力モードが次のように切り替わります。

- 漢全:全角ひらがな・漢字入力モード
  ↓
- カナ半:半角カタカナ入力モード
  ↓
- 英半:半角英字入力モード
  ↓
- 数半:半角数字入力モード

濁点、半濁点を入力するには

全角ひらがな・漢字、半角カタカナ入力モードで、*を押します。

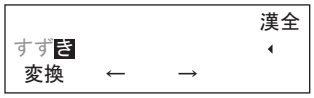
表示可能な漢字について

JIS X 0208:1990/1997 の文字規格に対応しています。

例:“鈴木部長 PHS”と入力する場合

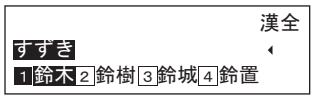
1. “すずき” と入力する

③を 3 回(す)、“→”のソフトキーまたは十字キーの右、③を 3 回(す)、を 1 回(゛)、②を 2 回(き)と押します。



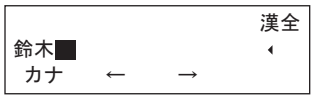
2. “変換” のソフトキーを押す

変換候補が表示されます。



3. ① を押す

変換結果が確定されます。

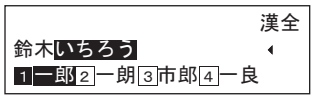


4. “いちろう” と入力する

①を 2 回(い)、④を 2 回(ち)、⑨を 5 回(ろ)、①を 3 回(う)と押します。

5. “変換” のソフトキーを押す

変換候補が表示されます。



6. ① を押す

変換結果が確定されます。

```
                    漢全
鈴木一郎■           ◂
 カナ     ←     →
```

7. フック を 2 回押して、文字入力モードを半角英字入力モードに切り替える

```
                    英半
鈴木一郎■           ◂
 数字     ←     →
```

8. ⑯ を押す

半角スペースが入力されます。

9. “PHS” と入力する

⑦を 1 回(P)、④を 2 回(H)、⑦を 4 回(S)と入力します。

```
                    英半
鈴木一郎 PHS        ◂
 数字     ←     →
```

10. 再/短 中 (確定) または 保留

入力した名前が確定されます。

これで、名前を入力できました。

こんなときは

文字の入力を間違えた

間違えた文字の上または右にカーソルを移動して、特殊ボタンまたはクリアボタンを押すと、1 文字ずつ消去できます。

文字入力一覧表

文字入力モードを切り替えるときは、フックボタンを押します。

▼ 全角ひらがな・漢字入力モードのとき

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
①ア	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	「あ」に戻る
②カ	か	き	く	け	こ	「か」に戻る					
③サ	さ	し	す	せ	そ	「さ」に戻る					
④タ	た	ち	つ	て	と	っ	「た」に戻る				
⑤ナ	な	に	ぬ	ね	の	「な」に戻る					
⑥ハ	は	ひ	ふ	へ	ほ	「は」に戻る					
⑦マ	ま	み	む	め	も	「ま」に戻る					
⑧ヤ	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	「や」に戻る				

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
⑨ラ	ら	り	る	れ	ろ	「ら」に戻る						
⓪ワ	わ	を	ん	「わ」に戻る								
⊛	゛	゜	ー	.	「	」	、	・	「゛」に戻る			
⊞	空白（スペース）											

▼ 半角カタカナ入力モードのとき

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
①ア	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	「ア」に戻る	
②カ	カ	キ	ク	ケ	コ	「カ」に戻る						
③サ	サ	シ	ス	セ	ソ	「サ」に戻る						
④タ	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	「タ」に戻る					
⑤ナ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	「ナ」に戻る						
⑥ハ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	「ハ」に戻る						
⑦マ	マ	ミ	ム	メ	モ	「マ」に戻る						
⑧ヤ	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	「ヤ」に戻る					
⑨ラ	ラ	リ	ル	レ	ロ	「ラ」に戻る						
⓪ワ	ワ	ヲ	ン	「ワ」に戻る								
⊞	゛	゜	ー	。	「	」	、	・	「゛」に戻る			
⊛	空白（スペース）											

▼ 半角英字入力モードのとき

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 [1]														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
①ア	1	@	[	¥	]	^	_	`	{	|	}	→	←	「1」に戻る	
②カ	A	B	C	a	b	c	「A」に戻る								
③サ	D	E	F	d	e	f	「D」に戻る								
④タ	G	H	I	g	h	i	「G」に戻る								

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 [1]													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
⑤ナ	J	K	L	j	k	l	「J」に戻る							
⑥ハ	M	N	O	m	n	o	「M」に戻る							
⑦マ	P	Q	R	S	p	q	r	s	「P」に戻る					
⑧ヤ	T	U	V	t	u	v	「T」に戻る							
⑨ラ	W	X	Y	Z	w	x	y	z	「W」に戻る					
⓪ワ	0	!	″	#	$	%	&	’	(	)	「0」に戻る			
ⓗ	＊	＋	,	－	.	／	：	；	＜	＝	＞	？	「＊」に戻る	
⊛	空白（スペース）													

1.（注）″→″、″←″は、正しく表示されません。

▼ 半角数字入力モードのとき

ダイヤルボタン	
①ア	1
②カ	2
③サ	3
④タ	4
⑤ナ	5
⑥ハ	6
⑦マ	7
⑧ヤ	8
⑨ラ	9
⓪ワ	0
ⓗ	＊
⊛	#

カールコードレス電話機のコードレス子機を使う

カールコードレス電話機のコードレス子機を使用するにあたって

カールコードレス電話機は親機とコードレス子機の間を Bluetooth®無線技術で接続し通話や操作をおこなうことができます。

カールコードレス電話機の親機とコードレス子機について

- カールコードレス電話機の親機は他の DT400 シリーズの多機能電話機と同じように操作します。本項では主に子機での操作について説明します。
  子機で使用できない機能については親機側で操作してください。
- 子機を使用しないときは、親機に戻して充電してください。
- 複数のコードレス電話機を設置する場合は親機と子機のペアをくずさないように注意してください。

おもな機能

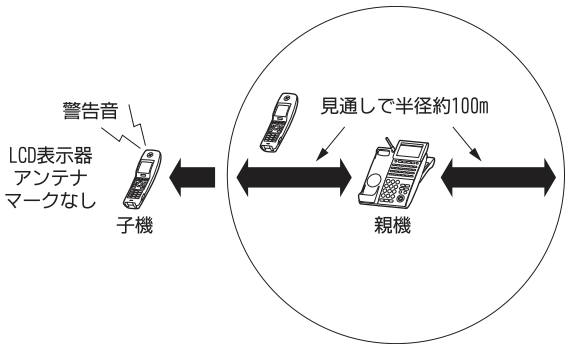
機能		機能内容
親機 （BTC）	Bluetooth®ヘッドセット通話	Bluetooth®ヘッドセットを親機に登録して、利用することができます。 • 内線または外線への発信 ヘッドセットの通話（コールコントロール）ボタンを短く 2 回押した後、電話機で発信操作を行います。 • 着信への応答 着信鳴動中にヘッドセットの通話（コールコントロール）ボタンを 1 回押します。 ※推奨品の最新情報は、下記のホームページを参照してください。 ※推奨品以外のヘッドセットを使用すると、接続できないことや接続できても音量が合わないことがあります。必ず、推奨品をご使用ください。

注意

Bluetooth®ヘッドセットからの発信および着信への応答操作は、お使いの機器によって異なる場合があります。

通話できる範囲について

親機と子機との間は、見通しで約 100m が通話可能な範囲です。ただし、金属やコンクリート壁の近くでご使用の場合など設置されるオフィスの周囲環境によって、通話可能な距離が短くなることもあります。
親機から離れ過ぎたときは、警告音が鳴ったあと、アンテナマークが消えます。



注意

- 子機から発信操作を行っても、つながらないことがあります。少し時間をおいてから発信操作を行ってください。
- コードレスターミナルとオフィスコードレス電話機を混在使用する際は、販売店にご相談ください。
- Bluetooth®ヘッドセットの通話可能範囲は、ご使用になる Bluetooth®ヘッドセットの説明書などを確認してください。

操作上の注意

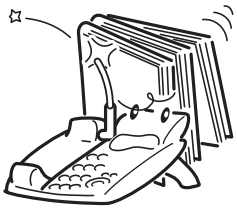
コードレスターミナルを操作するときは、下記の点に注意してご利用ください。

- コードレスターミナルは、通話できるようになるまでに多少の時間がかかります。
  また、オンフック発信時に相手の応答を確認したあと、子機へ通話を切り替える場合にも、多少時間がかかります。
- 親機の発信動作によって、オフフック待機している子機の通話ランプが緑点灯することがあります。子機に通話を切り替えるときは、子機のボタンを押してください。
- 子機で通話ボタンまたは内線ボタンを押したあとに電話をかける場合は、ダイヤルトーンが聞こえてからダイヤルボタンを押してください。ダイヤルトーンが聞こえる前に押したダイヤルボタンは無効となります。

カールコードレス電話機のコードレス子機の使用にあたっての注意事項

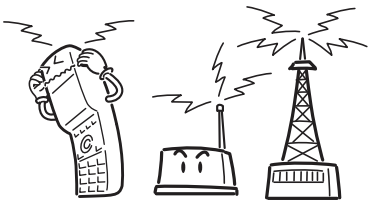
▼ アンテナについて

親機のアンテナは、垂直に立てた状態でご使用ください。
アンテナに無理な力を加えると、折れたり曲がったりしてしまいますのでご注意ください。



▼ 電波について

放送局の近くやアマチュア無線、CB 無線などの電波の強いところでは、使用できない場合や雑音などが入ることがあります。
電波混信などがある場合、機器を使用できないことがありますので、事前に環境測定を販売店に依頼してください。
また、本システムを導入後に新たな無線機器を設置する場合も、混信が起きないことを事前に確認依頼してください。本システムを導入後に混信が確認されても、回避できない場合があります。



- 本商品は、2.4～2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備を内蔵しています。
  移動体識別の帯域が回避可能で、変調方式は「FHSS 方式」、与干渉距離は 80m です。
  本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

電波に関するご注意

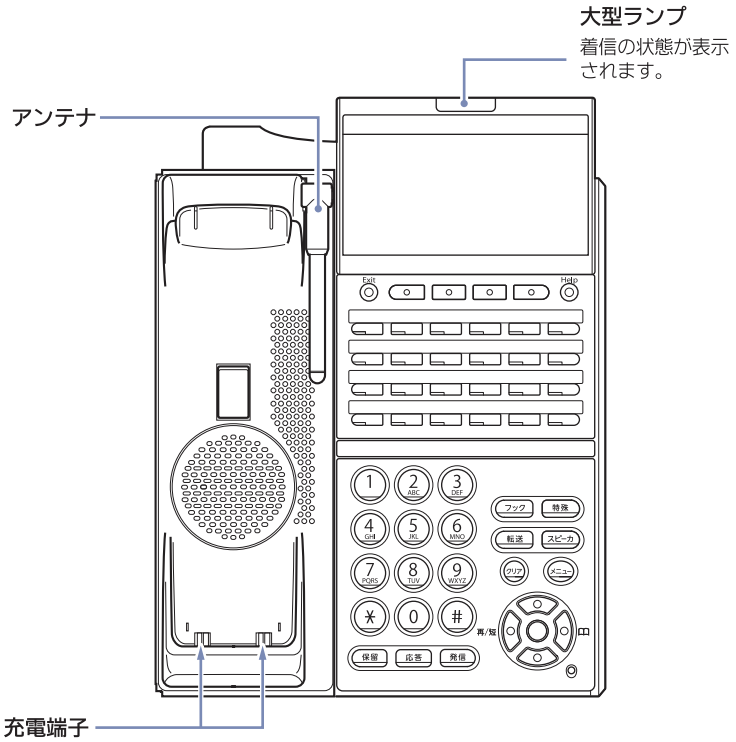
この機器の使用周波数帯は、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに、この機器の電波の発射を停止した上で、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混線回避のための処置などについてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本品は無線を使用している特性上、親機に比べ、着信音の鳴り始めや通話開始に若干遅れが発生することがあります。

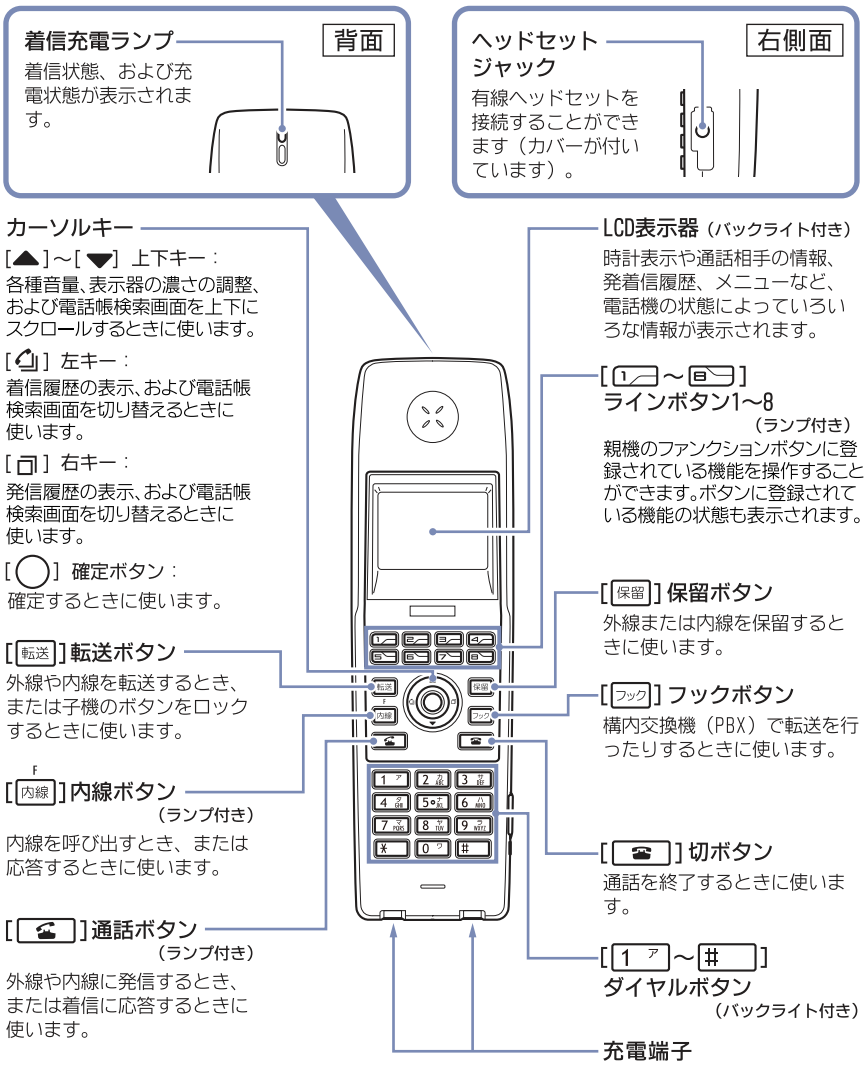
各部の名称とはたらき

コードレスターミナル各部の名称とはたらきは、次のとおりです。

▼ 親機（BTC）


大型ランプ
着信の状態が表示されます。
アンテナ
充電端子
Exit
Help
フック
特殊
転送
スピーカ
クリア
メニュー
再/短
保留
応答
発信

▼ 子機（BTH）



DTZ-24BT-3D

アイコンの意味

LCD 表示器の 1 行目および 4 行目に表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

アイコン	意味		
	アンテナマーク	強	親機と子機間の電波強度が表示されます。 ※電波強度が「弱」（ ）のとき、更に電波が届きにくいところに移動すると、圏外警告音が鳴動します。電波の届くところに移動すると圏外警告音が止まり、通話を継続することができます。なお、圏外警告音は鳴らないようにすることもできます。 ※通話中（圏外警告音鳴動中）に圏外（表示なし）になると、通話が切断されます。 ※圏外（表示なし）のときは、電波の届かないところにいます。電話をかけることも受けることもできません。
		↑	
		↓	
		弱	
		圏外	

アイコン	意味	
	着信音 OFF	着信音量が鳴らない設定のときに表示されます。
VM	未聴取ボイスメール通知	メールボックスに、聴き取っていないボイスメールが保存されているときに表示されます。
	キーロック	キーロックが設定されているときに表示されます。詳しくは『▼ キーロック』(⇒P.1-176)を参照してください。
	不応答着信の履歴未確認	確認していない不応答の着信履歴があるときに表示されます。お使いのシステムによって、表示されないことがあります。
	電池残量	電池残量が表示されます。
	使用可能なカーソル表示	使用できる十字キーの方向が表示されます。
1 ～ 8	ラインボタン状態表示	アクティブなラインボタンの番号が表示されます。

注意

お使いのシステムによっては表示されないアイコンがあります。

子機待ち受け画面

- 1段目：アイコン
- 2段目：日付・時刻表示
- 3段目：内線番号・内線名称
- 4段目：アクティブなラインボタン番号表示

こんなときは

アイコンについて

メニュー用のアイコンや電話機の状態を示すアイコンが表示されます。詳しくは『アイコンの意味』(⇒P.1-168)を参照ください。

親機表示と子機表示の関係

親機の 2、3 行目の内容を子機の 2、3 行目に表示しますが、表示桁数(親機 28 桁、子機 20 桁)が異なるため、若干表示が異なります。

<親機 LCD>

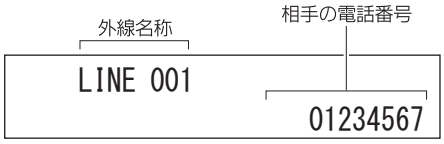
<子機 LCD>

- 20 桁を超える場合、2 桁以上連続するスペースは詰めて表示します。
- スペースを省いても 20 桁に収まらない場合、右端から 20 桁分のみを表示し、左端にはみ出した分は表示しません。

以下の画面は、子機の LCD の 2,3 行目を示します。

▼ 外線に発信中のとき

外線に発信中は、使用中の外線名称と相手の内線番号または電話番号が表示されます。



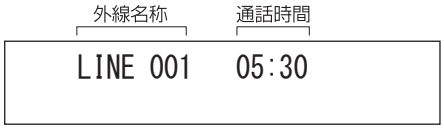
こんなときは

“LINE” の表示について

この表示は、使用中の外線の電話番号（加入者番号）や、その外線を使用する部署名など、別の名称に工事段階で変更できます。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 外線と通話中のとき

外線と通話中は、通話時間が表示されます。



通話時間は、通話開始および保留応答時に、00:00 から始まります。
電話をかけた場合と、かかってきた場合とで、表示は異なります。
この表示は、かかってきた場合を示しています。
3 行目には、通話料金や相手の電話番号が表示される場合があります。

▼ 内線を呼出中のとき

内線を呼出中は、呼出中の表示と相手の内線番号または名前が表示されます。

こんなときは

名前の表示について

電話をかけてきた相手先の電話機の設定によっては、相手の内線番号の代わりに、相手の名前が表示されます。詳しくは『電話機に使用者の名前を登録する』(⇒P.1-35)を参照してください。

▼ 内線と通話中のとき

内線と通話中は、通話中の表示と相手の名前が表示されます。

こんなときは

名前の表示について

電話をかけてきた相手先の電話機の設定によっては、相手の内線番号の代わりに、相手の名前が表示されます。詳しくは『電話機に使用者の名前を登録する』(⇒P.1-35)を参照してください。

カールコードレス電話機の子機の十字キーのメニューについて

注意

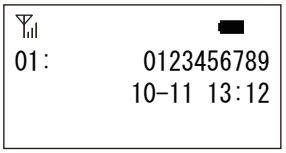
履歴の操作を行うためには一度オンフックしてアイドル状態にしてください。

電話機の十字キー の左キーを押すと着信履歴が、右キーを押すと発信履歴を表示することができます。

▼ 着信履歴を操作する

1. （着信履歴ボタン）を押す

着信履歴画面が表示されます。



〈着信履歴〉

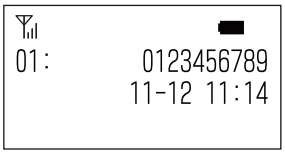
十字キーの上下キー で希望する履歴を呼び出すことができます。

着信履歴は最大 50 件記憶できます。

▼ 発信履歴を操作する

1. **（発信履歴ボタン）を押す**

発信履歴画面が表示されます。



〈発信履歴〉

十字キーの上下キー で希望する履歴を呼び出すことができます。

発信履歴は最大 50 件記憶できます。

こんなときは

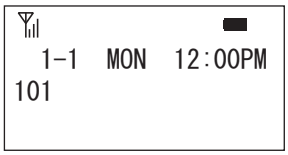
希望する番号を表示して、
- 内線発信は「内線キー」
- 外線発信は「通話キー」

を押すと発信することができます。

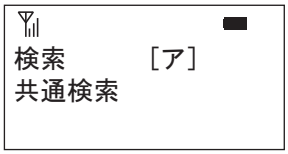
カールコードレス電話機の子機による電話帳検索

カールコードレス子機により電話帳の検索ができ検索した番号に電話をかけることができます。
（本機能は待機状態でのみ利用可能です。発信中、通話中等の状態では使用できません）

1. **十字キーの確定ボタン を押す**



＜待機状態＞



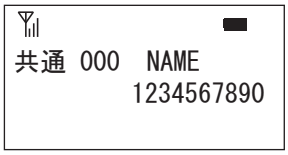
＜共通検索　検索画面＞

電話帳検索（共通検索）の画面が表示されます。

2. **十字キーの左右キー を押す**

親機と同様に検索画面が切り替わります。

3. **希望する検索画面で十字キーの上下キー を押す**



< 共通短縮 検索画面>

情報をスクロールして検索できます。

こんなときは

希望する番号を表示して、
- 内線発信は「内線ボタン」
- 外線発信は「通話ボタン」

を押すと発信することができます。

子機の調整のしかた

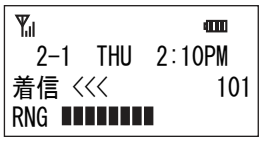
十字キーの上下キーを使用して、子機の各種音量や表示濃度を調整することができます。

▼ 受話音量を調整する

受話器から聞こえる声を調整することができます。
受話器で通話中に、十字キーの上下キー(上:大、下:小)を押してください。

▼ 着信音量を調整する

子機の着信音を調整することができます。
着信音が鳴っている間に、十字キーの上下キー(上:大、下:小)を押してください。



着信音量をオフに設定しているときは、LCD 表示器に着信音 OFF アイコンが表示されます。

▼ LCD 表示器の濃淡を調整する

表示器の明るさ(コントラスト)を調整することができます。
待ち受け画面で、十字キーの上下キー(上:濃く、下:淡く)を押してください。

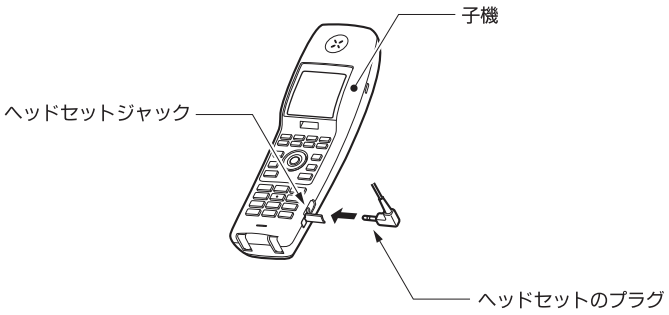
▼ 設定時のボタン操作(子機)

表示器の明るさ(コントラスト)を調整することができます。
待ち受け画面で、十字キーの上下キー(上:濃く、下:淡く)を押してください。

ボタン		内容
十字キー	上キー	• 反転表示を上に移動 • 音量・濃度を上げる
	下キー	• 反転表示を下に移動 • 音量・濃度を下げる
	左キー	• 操作を中断して、待ち受け画面に戻る
	確定ボタン	• 反転表示の項目を確定して、待ち受け画面に戻る
切ボタン		• 操作を中断して、待ち受け画面に戻る

有線ヘッドセットの接続

子機には、有線ヘッドセットを接続して使うことができます。
※ヘッドセットの推奨品については、お買い求めの販売店にご相談ください。
ヘッドセットのプラグを、子機右側面のヘッドセットジャック(フタに、 のマークがあります。)にしっかり差し込んでください。



外線に電話をかける

▼ 通話ボタンを使ってかける

<ワンタッチオンフックダイヤル(ダイレクトライン方式の場合)>

ランプが消えている外線ボタンを押すと、その外線を使って電話をかけることができます。

かけかた

1. ▭（通話ボタン）を押す
   押した通話ボタンが緑点灯します。

```
LINE 001
```

2. 電話番号を押す

```
LINE 001
                    01234567
```

3. 相手が出たら、通話する

▼ 電話番号を確認してからかける

<プリセットダイヤル>
ダイヤルした相手の電話番号に、間違いがないかを確認してから発信することができます。

かけかた

1. 電話番号を押す

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾀﾞｲﾔﾙ
              ﾀﾞｲﾔﾙ 01234567
```

2. ▭（通話ボタン）を押す
   通話ボタンが緑点灯します。

```
LINE 001
                    01234567
```

3. 相手が出たら、通話する

内線に電話をかける

▼ 内線を呼び出す

＜外線応答＞
外線から着信中に応答ボタンを押して応答します。

かけかた

1. 受話器を上げる
2. 内線番号を押す

```
呼出                    120
```

3. 相手が出たら、通話する

電話を受ける

▼ 通話ボタンを使って受ける

着信中に通話ボタンを押して応答します。

受けかた

1. **外線から着信中**
   通話ボタンが赤点滅します。

   着信

2. **通話ボタンを押して応答する**

   応答

3. **相手と通話する**

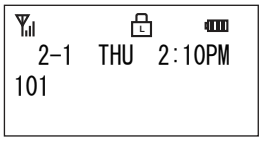
子機の機能

▼ キーロック

子機のボタンにロックをかけて、操作できないようにします。

設定のしかた

1. **[転送ボタン] を 2 秒押す**
2. **LCD 表示器にキーロックアイコンが表示される**



こんなときは

キーロック中に電話がかかってきた場合

通話ボタンまたは点滅しているラインボタン、内線ボタンのいずれかを押して、着信に応答することができます。
通話中は一時的にキーロックが解除され、すべてのボタンが操作できるようになります。
電話を切るとキーロック状態に戻ります。

解除のしかた

1. **[転送ボタン] を 2 秒押す**
2. **LCD 表示器からキーロックアイコンが消える**

一般電話機を使う

一般電話機を使うときの注意..... 2-2
外線に電話をかける..... 2-3
内線に電話をかける..... 2-6
電話を受ける..... 2-10
代理で電話を受ける..... 2-12
電話を保留する・取り次ぐ..... 2-15
電話に出られないとき..... 2-20
便利な使いかた..... 2-27

一般電話機を使うときの注意

一般電話機をご使用の前に

ここでは、本システムに市販の一般電話機を接続して使うときの操作を説明しています。
一般電話機独自の機能やお手入れのしかたなどについては、一般電話機に添付の取扱説明書を参照してください。
一般電話機独自の機能が、本システム内で利用できるかどうかについては、販売店にご確認ください。

注意

お手持ちの一般電話機を本システムに接続する前に、必ず販売店にご相談ください。機器によっては、コネクタの形状は同じに見えても、そのまま接続すると、本システムや機器が故障する場合があります。

特番について

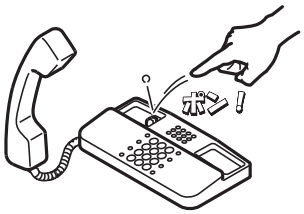
一般電話機ではファンクションボタンがないため、本システムのいろいろな操作は、すべて特番を使います。各操作の特番は、本文中に記載されています。

注意

特番は、工事段階で変更されていることがあります。記載されている特番を押しても操作できないときは、システム管理者または販売店に確認してください。

保留のしかた

一般電話機で通話を保留するには、多機能電話機の保留ボタンの代わりに、「フッキング」という操作を行います。
フッキングとは、電話機のフックボタンを押してすぐ放す操作のことです。



注意

フックボタンを長く押しすぎると、電話が切れてしまうことがあります。フックボタンは、ポンと押して、すぐ放してください。

こんなときは

フッキングがうまくいかない

フッキングしても保留できない、または電話が切れてしまうことが多いときは、工事段階での調整が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

外線に電話をかける

外線への電話のかけかたには、次の方法があります。

- 受話器を上げてかける
  - 通常のかけかた
    『▼ 通常のかけかた』(⇒P.2-3)
  - 0 を押してからかける
    『▼ 0 を押してからかける』(⇒P.2-3)
- 特番を使ってかける
  - 外線グループ内の空き外線を使ってかける
    『▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
  - 指定した外線を使ってかける
    『▼ 指定した外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
- 最後にかけた相手にかけ直す
  『最後にかけた相手にかけ直す』(⇒P.2-5)
- 短縮番号を使ってかける
  『短縮番号を使ってかける』(⇒P.1-45)

こんなときは

外線グループとは

いくつかの外線を、部署ごとなどのグループに分けたものです。電話をかけるときに外線グループを指定すると、そのグループ内の空外線を自動的に選んで発信できます。

受話器を上げてかける

一般電話機では、次の 2 通りの方法で電話をかけることができます。

- 受話器を上げて、かける
  <外線自動選択>
- 受話器を上げ、0 を押してから、かける
  <空外線自動選択>

▼ 通常のかけかた

<外線自動選択> 工事

1. 受話器を上げる

"ツー"という音が聞こえます。

2. 電話番号を押す

3. 相手が出たら、通話する

▼ 0 を押してからかける

<空外線自動選択>

1. 受話器を上げる

2. ⓪ を押す

0 は、外線発信番号です。
"ツー"という音が聞こえます。

3. 電話番号を押す

4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

0 を押してもかけられない

通常は 0 を使用しますが、別の番号に変更されることもあります。工事段階で変更されているかどうかを、販売店にご確認ください。

特番を使ってかける

工事

あらかじめ設定された特番を使って外線に電話をかけることができます。
指定できる外線は、次のとおりです。

- 外線グループ内の空いている外線
  『▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける』(⇒P.1-41)
- 指定した外線
  『▼ 指定した外線を使ってかける』(⇒P.1-41)

▼ 外線グループ内の空き外線を使ってかける

<外線グループ捕捉>

1. **受話器を上げる**

2. **⑧ ① ④ を押す**

814 は、外線グループ捕捉の特番(初期値)です。

3. **外線グループ番号を押す**

外線グループ内の空き外線を選びます。
外線グループ番号は、販売店にご確認ください。

4. **電話番号を押す**

5. **相手が出たら、通話する**

▼ 指定した外線を使ってかける

＜指定外線捕捉＞

1. **受話器を上げる**

2. **⑧ ① ⑤ を押す**

815 は、指定外線捕捉の特番(初期値)です。

3. **外線番号を押す**

4. **電話番号を押す**

5. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

外線番号とは

システムに収容されている回線に、工事段階で割り振られた番号のことです。
外線番号は、3 桁で指定してください。
例:外線番号 1 の場合は“001”と押す

最後にかけた相手にかけ直す

<再ダイヤル> 工事
電話をかけた相手にもう一度かけたいとき、特番操作で電話をかけ直すことができます。
記憶できる電話番号は、最大 24 桁です。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑧ ① ② を押す**
   812 は、再ダイヤルの特番(初期値)です。
3. **相手が出たら、通話する**

▼ 消去のしかた

記憶されている発信履歴の番号を消去します。

1. **受話器を上げる**
2. **⑧ ① ⑦ を押す**
   817 は再ダイヤル消去の特番(初期値)です。
3. **受話器を戻す**

これで、再ダイヤルの番号が消去できました。

短縮番号を使ってかける

<短縮ダイヤル発信>
あらかじめ登録されている短縮番号を利用して電話をかけることができます。
短縮番号の登録内容については、システム管理者に確認してください。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑧ ① ⓪ を押す**
   810 は、共通・個別短縮ダイヤル発信の特番(初期値)です。グループ短縮ダイヤル発信の場合は 811(初期値)を押します。
3. **短縮番号を押す**
4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

短縮番号で発信できない
ご使用の電話機では、短縮番号に設定されている相手の利用を規制されていることが考えられます。システム管理者に確認してください。

注意

一般電話機からは、共通短縮ダイヤルおよび個別短縮ダイヤルを登録できません。共通短縮ダイヤルの登録は、システム管理者の多機能電話機からのみ行えます。個別短縮ダイヤルの登録は、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

内線に電話をかける

内線への電話のかけかたには、次の方法があります。

- 内線を呼び出す
  『内線を呼び出す』(⇒P.1-52)
- 相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す
  『相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す』(⇒P.1-53)
- 相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す
  - 別の内線番号を呼び出す
    『▼ 別の内線番号を呼び出す』(⇒P.1-54)
  - 同じ内線グループ内の内線を呼び出す
    『▼ 同じ内線グループ内の内線を呼び出す』(⇒P.1-55)
- 電話機の周囲にいる人に呼びかける
  『電話機の周囲にいる人に呼びかける』(⇒P.1-55)
- ほかの部署にかける
  - 部署の代表番号にかける
    『▼ 部署の代表番号にかける』(⇒P.1-56)
  - 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す
    『▼ 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す』(⇒P.1-56)
- 受話器を上げるだけで特定の内線にかける
  『受話器を上げるだけで特定の内線にかける』(⇒P.1-57)

こんなときは

内線グループとは

いくつかの電話機を、部署ごとなどのグループに分けたものです。内線グループ内で、ほかの内線への呼び出しに代理応答したり、内線を呼び出し直したりすることができます。内線グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

内線を呼び出す

<内線相互接続>
内線に電話をかけることができます。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**
3. **相手が出たら、通話する**

相手の通話が終わりしだい自動で呼び出す

<内線予約／内線コールバック> 工事
内線にかけた相手が通話中のとき、相手の電話が終わりしだい呼び出す、または知らせが入るようにすることができます。
設定のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 内線予約
  相手の電話が終わるまで、受話器を持ったまま待ち、電話が終わりしだい呼び出すようにする
- 内線コールバック
  いったん電話を切り、相手の電話が終わったら知らせが入るようにする

▼ 設定のしかた

1. **内線を呼出中**
2. **話中音が聞こえる**
3. **⑧ ⓪ ④ を押す**
   804 は、外線・内線予約の特番（初期値）です。
   これで、内線予約が設定できました。
   そのままの状態で待っていると、相手の電話が終わりしだい、相手を呼び出します。
   電話をいったん切って待つとき（内線コールバック）は、次の手順 4 に進みます。
4. **受話器を戻す**

これで、内線コールバックが設定できました。
相手の通話が終わると、呼返音が鳴ります。受話器を上げると相手を呼び出します。

▼ 解除のしかた

受話器を上げたまま待っている場合（内線予約中）は、いったん受話器を戻します。

1. **内線コールバックを設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ⓪ ⑤ を押す**
   805 は、外線・内線予約解除の特番（初期値）です。
4. **受話器を戻す**

これで、内線コールバックが解除できました。

相手が出ないとき、ほかの内線にかけ直す

内線にかけた相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに、ほかの人を呼び出し直すことができます。

注意

リセットコールとステップコールは、内線呼出中のときだけ利用できます。相手が出たあとでかけ直すときは、電話をいったん切ってください。

▼ 別の内線番号を呼び出す

<リセットコール> 工事
内線にかけた相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに別の内線番号を押して、かけ直すことができます。

1. **内線を呼出中**
2. **相手が出ない、または話中音が聞こえる**
3. **別の内線番号を押す**
4. **相手が出たら、通話する**

▼ 同じ内線グループ内の内線を呼び出す

<ステップコール> 工事

内線にかけた相手が出ないとき、そのまま電話を切らずに特番を押すと、相手と同じ内線グループ内の内線にかけ直すことができます。

1. **内線を呼出中**
2. **⑧ ⓪ ⑦ を押す**
   807 は、ステップコールの特番（初期値）です。
   最初に呼び出していた相手と同じ内線グループの人を呼び出します。
3. **相手が出たら、通話する**

電話機の周囲にいる人に呼びかける

<信号／音声呼出切替>
内線にかけた相手が出ないとき、多機能電話機のスピーカから音声を出して、周囲の人にも声をかけます。音声に切り替えたあと、元の信号音での呼出に戻すこともできます。

▼ かけかた

1. **内線を呼出中**
2. **⑧ ⓪ ⑥ を押す**
   806 は、信号／音声呼出切替の特番（初期値）です。
3. **着信音が切り替わる**
   信号音で呼び出していた場合は音声に、音声で呼び出していた場合は信号音に切り替わります。このあとは、特番を押すたびに着信音が切り替わります。

ほかの部署にかける

社内の電話機を、部署単位などでグループ分けができます。
その部署に対し、次の 2 通りの方法で電話をかけることができます。
- 部署の代表番号にかける<内線代表呼出>
- 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す<内線代理着信>

▼ 部署の代表番号にかける

<内線代表呼出> 工事
内線番号とは別に、部署全体の内線番号（代表番号）を決めておくことができます。その代表番号を押して、部署内の空いている電話機を呼び出すことができます。

1. **受話器を上げる**
2. **内線代表番号を押す**
3. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

内線代表呼出で着信する電話機
内線代表呼出で着信する際の着信順には、パイロット方式と簡易 UCD 方式の 2 種類があります。
- パイロット方式：
  常に着信順が 1 番目に設定されている電話機に着信する。
- 簡易 UCD 方式：
  前回着信した電話機の次の順番に設定されている電話機に着信する。

工事段階の設定により、着信する方式が変わります。どちらの方式になっているかは、販売店にご確認ください。

▼ 相手が通話中のとき、別の内線を呼び出す

<内線代理着信> 工事
電話をかけたい相手が通話中の場合は、同じ部署内の空いている電話機を呼び出すことができます。

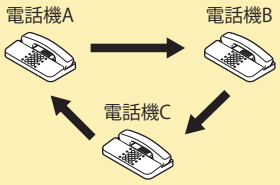
1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**
3. **電話をかけた相手が通話中のとき、自動でほかの内線を呼び出す**
4. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

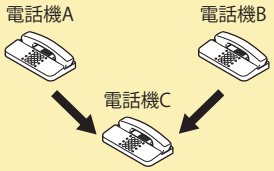
内線代理着信で着信する電話機

内線代理着信で着信する際の着信方式には、次の 2 種類があります。

- 話中時の転送先が円を描いている場合
  電話機 A→電話機 B→電話機 C→電話機 A というように、順次転送されます。
  もし、すべての電話機が話中の場合には、電話をかけてきた相手に話中音を流します。



- 話中時の転送先が 1 台の電話機に集中している場合
  どの電話機にかけても、通話中の場合には決まった電話機に転送されます。



工事段階の設定により、着信する方式が変わります。どちらの方式になっているかは、販売店にご確認ください。

受話器を上げるだけで特定の内線にかける

＜内線ホットライン＞ 工事
受話器を上げるだけで、特定の内線に電話をかけることができます。会社などの、無人の受付で利用すると便利です。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**
   あらかじめ決められた相手を呼び出します。
2. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

内線ホットラインの電話機で、外線にかけたい

工事段階の設定で「ホットラインタイマ」を設定する必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

電話を受ける

電話の受けかたには、次の方法があります。

- 受話器を上げるだけで受ける
  『受話器を上げるだけで受ける』(⇒P.1-59)
- 特番を使って受ける
  『特番を使って受ける』(⇒P.2-10)
- 内線からの電話を受ける
  『内線からの電話を受ける』(⇒P.1-60)

受話器を上げるだけで受ける

<着信自動応答>
電話がかかってきたとき、受話器を上げるだけで応答します。

▼ 受けかた

1. **外線から着信中（着信音が鳴動）**
2. **受話器を上げる**
3. **相手と通話する**

特番を使って受ける

<分散応答> 工事
電話がかかってきたとき、受話器を上げて特番を押して応答します。

▼ 受けかた

1. **外線から着信中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ④ ③ を押す**
   843 は、分散応答の特番（初期値）です。
4. **相手と通話する**

こんなときは

着信音が鳴動している場合は
受話器を上げるだけで応答することができます。

内線からの電話を受ける

<内線応答>
内線からの呼出に応答します。

▼ 受けかた

1. **内線から着信中**

2. 受話器を上げる
3. 相手と通話する

代理で電話を受ける

ほかの人への着信を手元の電話機で受けるには、次の方法があります。

- ほかの人への電話を代わりに受ける
  『ほかの人への電話を代わりに受ける』(⇒P.1-61)
- 同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける
  - 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける
    『▼ 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける』(⇒P.1-62)
  - 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける
    『▼ 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける』(⇒P.1-62)
- ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける
  - グループ番号を指定して受ける
    『▼ グループ番号を指定して受ける』(⇒P.1-63)
  - ほかのグループへの着信を受ける
    『▼ ほかのグループへの着信を受ける』(⇒P.1-63)

機能ごとに代理応答できる着信とできない着信は、下表のとおりです。

○:代理応答可 ×:代理応答不可

代理応答の機能名	代理応答の対象	着信の種類			
		外線一般着信	外線個別着信	内線着信	ドアホン着信
指定内線代理応答	指定した内線	○	○	○	○
内線指定呼代理応答	自分が所属する代理応答グループ内の内線	×	○	○	○
グループ代理応答		○	○	○	○
グループ指定代理応答	指定した代理応答グループ内の内線	○	○	○	○
他グループ代理応答	他の代理応答グループの内線	○	○	○	○

こんなときは

代理応答グループとは

代理応答を行う電話機をグループ化したものです。内線グループとは異なります。グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

ほかの人への電話を代わりに受ける

<指定内線代理応答> 工事

ほかの人への着信に、手元の電話機から内線番号を指定して、代わりに応答することができます。

▼ 受けかた

1. **ほかの内線に着信中**
2. **受話器を上げる**

3. ⑧ ② ⑨ を押す
   829 は、指定内線代理応答の特番（初期値）です。
4. 着信先の内線番号を押す
5. 相手と通話する

同じ代理応答グループ内への電話を代わりに受ける

自分が所属する代理応答グループの人への電話に、手元の電話機で代わりに応答することができます。
応答のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける
  <内線指定呼代理応答>
- 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける
  <グループ代理応答>

▼ 外線一般着信以外の電話を代わりに受ける

<内線指定呼代理応答> 工事

1. ほかの内線に着信中
2. 受話器を上げる
3. ⑧ ② ⑤ を押す
   825 は、内線指定呼代理応答の特番（初期値）です。
4. 相手と通話する

▼ 外線一般着信を含めた電話を代わりに受ける

<グループ代理応答> 工事

1. ほかの内線に着信中
2. 受話器を上げる
3. ⑧ ② ⑦ を押す
   827 は、グループ代理応答の特番（初期値）です。
4. 相手と通話する

ほかの代理応答グループへの電話を代わりに受ける

ほかの代理応答グループの人への電話に、手元の電話機で代わりに応答することができます。代理応答グループが複数あるときは、その代理応答グループ番号を指定して応答できます。
応答のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- グループ番号を指定して受ける
  <グループ指定代理応答>
- ほかのグループへの着信を受ける
  <グループ代理応答>

▼ グループ番号を指定して受ける

<グループ指定代理応答> 工事

1. **ほかの代理応答グループの内線に着信中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ② ⑥ を押す**
   826 は、グループ指定代理応答の特番（初期値）です。
4. **着信先の代理応答グループ番号を押す**
5. **相手と通話する**

▼ ほかのグループへの着信を受ける

<他グループ代理応答> 工事

1. **ほかの代理応答グループの内線に着信中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ② ⑧ を押す**
   828 は、他グループ代理応答の特番（初期値）です。
4. **相手と通話する**

電話を保留する・取り次ぐ

外線や内線の電話の保留や取り次ぎかたには、次の方法があります。

- 外線との通話を保留する
  - 保留する
    『▼ 保留する』(⇒P.2-15)
  - 保留を維持する
    『▼ 保留を維持する』(⇒P.2-15)
- 外線との通話をほかの人に取り次ぐ
  - 保留した通話を自動で取り次ぐ
    『▼ 保留した通話を自動で取り次ぐ』(⇒P.1-69)
  - 内線グループ保留して取り次ぐ
    『▼ 内線グループ保留して取り次ぐ』(⇒P.1-69)
  - パーク保留して取り次ぐ
    『▼ パーク保留して取り次ぐ』(⇒P.1-70)
- 着信音だけで取り次ぐ
  『着信音だけで取り次ぐ』(⇒P.1-72)
- 内線通話を保留する
  『内線通話を保留する』(⇒P.1-74)
- 内線通話を取り次ぐ
  『内線通話を取り次ぐ』(⇒P.1-74)

外線との通話を保留する

通話中に相手を待たせるとき、保留音を流して通話を保留にすることができます。

▼ 保留する

<保留>

《保留のしかた》

1. **外線と通話中**
2. **フッキングする**

これで、通話を保留できました。

こんなときは

フッキングしたあと受話器を戻すと

呼返音が鳴り続けます。このとき受話器を上げると、保留していた通話を再開することができます。呼返音が鳴らないように保留したい場合は、『▼ 保留を維持する』(⇒P.2-15)の操作をしてください。

《再開のしかた》

1. **外線を保留中**
2. **フッキングする**
3. **相手と通話する**

▼ 保留を維持する

<保留維持>

《保留のしかた》

1. **外線と通話中**
2. **フッキングする**
3. **⑧ ④ ⑤ を押す**
   845 は、保留維持の特番（初期値）です。
4. **受話器を戻す**

これで、通話を保留維持できました。

《再開のしかた》

1. **外線を保留中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑧ ④ ⑥ を押す**
   846 は、保留維持応答の特番（初期値）です。
4. **相手と通話する**

外線との通話をほかの人に取り次ぐ

外線との通話をほかの人に取り次ぐことができます。
電話の取り次ぎかたには、次の 3 通りの方法があります。

- 保留した通話を自動で取り次ぐ
  <自動保留転送>
- 通話を内線グループ保留して取り次ぐ
  <内線グループ保留>
- 通話をパーク保留して取り次ぐ
  <パーク保留>

▼ 保留した通話を自動で取り次ぐ

<自動保留転送> 工事
外線との通話を内線通話で用件を伝えたあと、転送ボタンを押して取り次ぐことができます。取り次ぎ先の相手は、待っているだけで自動的に外線とつながります。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**
2. **フッキングする**
3. **取り次ぎたい相手の内線番号を押す**
4. **内線通話で電話を取り次ぐことを伝える**
5. **受話器を戻す**

これで、自動保留転送ができました。

《受けかた》

1. **内線通話のあと、そのまま待つ**

2. **自動的に外線とつながる**

3. **外線の相手と通話する**

▼ 内線グループ保留して取り次ぐ

<内線グループ保留>
外線通話を内線グループ保留すると、内線グループ内のほかの電話機から、特番を押して応答することができます。一般電話機など、外線ボタンがない電話機からでも応答できます。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**

2. **フッキングする**

3. **⑧ ③ ③ を押す**
   833 は、内線グループ保留登録の特番（初期値）です。

4. **受話器を戻す**

これで、内線グループ保留ができました。
このあと、同じ内線グループ内のほかの人に取り次ぐことができます。

《受けかた》

1. **受話器を上げる**

2. **⑧ ③ ④ を押す**
   834 は、内線グループ保留応答の特番（初期値）です。

3. **相手と通話する**

▼ パーク保留して取り次ぐ

<パーク保留> 工事
外線ボタンがない電話機に取り次ぎたい通話が複数あるときは、パーク保留することができます。パーク番号を押して応答することができます。

《取り次ぎかた》

1. **外線と通話中**

2. **フッキングする**

3. **⑧ ③ ① を押す**
   831 は、パーク保留登録の特番（初期値）です。

4. **パーク番号を押す**
   パーク番号は、01 から 64 のうち、いずれかを押してください。

5. **受話器を戻す**

これで、パーク保留ができました。
ほかの人に取り次ぐときは、上記手順 4 で押したパーク番号を伝えます。

《受けかた》

1. **受話器を上げる**

2. ⑧ ③ ② を押す
   832 は、パーク保留応答の特番（初期値）です。
3. パーク番号を押す
   パーク保留するときに押したパーク番号を押します。
4. 相手と通話する

着信音だけで取り次ぐ

<呼出状態転送>
外線からの電話を保留にしたあと、内線を呼び出し、相手が出る前に電話を切って取り次ぎます。こうすると、取り次ぎ先で改めて着信音が鳴ります。相手が不在の場合には、一定時間が経過すると、転送元の電話機で警報音が鳴ります。

▼ 取り次ぎかた

1. 外線と通話中
2. フッキングする
3. 取り次ぎ先の内線番号を押す
4. 相手が出る前に受話器を戻す

これで、転送ができました。

▼ 受けかた

1. 着信音が鳴る
2. 受話器を上げる
3. 外線の相手と通話する

内線通話を保留する

<内線保留>
外線通話を保留するのと同じように、通話していた相手に保留音を流し、待ってもらうことができます。

▼ 保留のしかた

1. 内線と通話中
2. フッキングする
3. 受話器を戻す

これで、内線通話が保留できました。

こんなときは

フッキングしたあと受話器を戻すと
呼返音が鳴り続けます。このとき受話器を上げると、保留していた通話を再開できます。

▼ 再開のしかた

1. 受話器を上げる
2. 相手と通話する

内線通話を取り次ぐ

<内線の自動保留転送>
内線通話をほかの人に取り次ぐことができます。

▼ 取り次ぎかた

1. 内線と通話中
2. フッキングする
3. 取り次ぎ先の内線番号を押す
4. 相手が出たら、用件を伝える
5. 受話器を戻す

これで、内線通話の取り次ぎができました。

▼ 受けかた

1. 内線と通話中
2. そのまま待つ

相手が受話器を戻すと、保留になっていた内線と通話がつながります。

電話に出られないとき

会議や外出などで席を外すときや、通話中で別の電話に出ることができないときの転送設定には、次の方法があります。

- 自分宛ての電話をすべて転送する
  - 転送元と転送先で着信音を鳴らす
    『▼ 転送元と転送先で着信音を鳴らす』(⇒P.1-76)
  - 転送先だけ着信音を鳴らす
    『▼ 転送先だけ着信音を鳴らす』(⇒P.1-77)
- 通話中にかかってきた電話をすべて転送する
  『通話中にかかってきた電話をすべて転送する』(⇒P.1-79)
- 電話に出られないときに転送する
  『電話に出られないときに転送する』(⇒P.1-80)
- 通話中や電話に出られないときに転送する
  『通話中や電話に出られないときに転送する』(⇒P.1-81)
- 移動先から転送の設定をする
  『移動先から転送の設定をする』(⇒P.1-82)

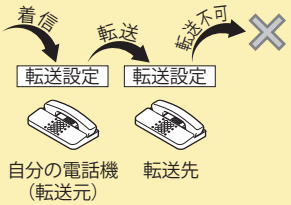
また、不在設定や着信拒否、通話中の相手を、緊急で呼び出す必要がある場合には、次の方法があります。

- 不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す
  『不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す』(⇒P.1-85)
- 通話中の相手を緊急で呼び出す
  - 通話中の相手を呼び出す
    『▼ 通話中の相手を呼び出す』(⇒P.2-26)
  - 通話中の呼び出しを受ける
    『▼ 通話中の呼び出しを受ける』(⇒P.2-26)

こんなときは

転送先の電話機でも転送が設定されていると

転送先の電話機で設定されている転送先には転送されません。このときは、転送先の電話機に着信します。



自分宛ての電話をすべて転送する

工事

会議などで電話に出られないときに、かかってきた電話を、ほかの電話機に転送することができます。
転送には、次の 2 通りの方法があります。

- 転送元と転送先で着信音を鳴らす
  〈不在着信転送〉
- 転送先だけ着信音を鳴らす
  〈着信転送〉

▼ 転送元と転送先で着信音を鳴らす

〈不在着信転送〉

《設定のしかた》

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ⑤ を押す**
   905 は、不在着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
3. **① を押す**
4. **転送先の内線番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、不在着信転送が設定できました。

《解除のしかた》

1. **不在着信転送を設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ⑤ を押す**
   905 は、不在着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
4. **⓪ を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、不在着信転送が解除できました。

▼ 転送先だけ着信音を鳴らす

<着信転送>
転送を設定中に着信すると、転送先の電話機だけ着信音が鳴り、応答できます。

《設定のしかた》

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ① を押す**
   901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
3. **① を押す**
4. **転送先の内線番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、着信転送が設定できました。

《解除のしかた》

1. **着信転送を設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ① を押す**
   901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
4. **⓪ を押す**

5.　受話器を戻す

これで、着信転送が解除できました。

こんなときは

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、着信転送を次のように設定します。
受話器を上げる →[901]→[1]→[810]→[短縮番号]→ 受話器を戻す
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

通話中にかかってきた電話をすべて転送する

<話中転送> 工事
通話中にかかってきた電話を、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1.　受話器を上げる

2.　⑨ ⓪ ② を押す

902 は、話中転送の設定と解除の特番（初期値）です。

3.　① を押す

4.　転送先の番号を押す

5.　受話器を戻す

これで、話中転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1.　話中転送を設定中

2.　受話器を上げる

3.　⑨ ⓪ ② を押す

902 は、話中転送の設定と解除の特番（初期値）です。

4.　⓪ を押す

5.　受話器を戻す

これで、着信転送が解除できました。

こんなときは

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、話中転送を次のように設定します。
受話器を上げる →[902]→[1]→[810]→[短縮番号]→ 受話器を戻す
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

電話に出られないときに転送する

<不応答転送> 工事
着信音が鳴ってから一定時間が経過しても電話に出られない場合、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ③ を押す**
   903 は、不応答転送の設定と解除の特番（初期値）です。
3. **① を押す**
4. **転送先の番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、不応答転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. **不応答転送を設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ③ を押す**
   903 は、不応答転送の設定と解除の特番（初期値）です。
4. **⓪ を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、不応答転送が解除できました。

こんなときは

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、不応答転送を次のように設定します。
受話器を上げる →[903]→[1]→[810]→[短縮番号]→ 受話器を戻す
※[810]は共通短縮ダイヤル発信特番です。

通話中や電話に出られないときに転送する

<話中／不応答転送> 工事
通話中にかかってきた電話や、着信音が鳴ってから一定時間が経過しても電話に出られない場合、ほかの電話機に転送することができます。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ④ を押す**
   904 は、話中／不応答転送の設定と解除の特番（初期値）です。
3. **① を押す**
4. **転送先の番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、話中／不応答転送が設定できました。

話中／不応答転送を設定している場合、受話器を上げたときに聞こえるダイヤルトーンが変わります（ツー・ツーと聞こえます）。

▼ 解除のしかた

1. **話中／不応答転送を設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ④ を押す**
   904 は、話中／不応答転送の設定と解除の特番（初期値）です。
4. **⓪ を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、話中／不応答転送が解除できました。

こんなときは

外出先に転送したい

転送先に、携帯電話の番号などを登録することもできます。この場合、転送先の電話番号を共通短縮番号にあらかじめ登録しておき、話中／不応答転送を次のように設定します。
受話器を上げる →[904]→[1]→[810]→[短縮番号]→ 受話器を戻す
※[810]は共通・個別短縮ダイヤル発信特番です。

移動先から転送の設定をする

<フォローミー> 工事

転送の設定は、通常は転送元の電話機で行います。この転送の設定を、転送先の電話機から行うことができます。例えば、会議室などに移動している際、自分のデスクへの電話を会議室の電話機に転送したいときなどにも使用します。フォローミーは、同時に複数の設定をすることができます。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ⑦ を押す**
   907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。
3. **① を押す**
4. **転送元の内線番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、フォローミーが設定できました。

▼ 解除のしかた

《オールクリアするとき》

1. **フォローミーを設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ⑦ を押す**
   907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。

4. ⓪ を押す
5. ⓪ を押す
6. 受話器を戻す

これで、フォローミーが解除できました。

《個別解除するとき》

1. フォローミーを設定中
2. 受話器を上げる
3. ⑨ ⓪ ⑦ を押す
   907 は、フォローミーの設定と解除の特番（初期値）です。
4. ⓪ を押す
5. 解除したい内線番号を押す
6. 受話器を戻す

これで、転送元の解除ができました。

不在設定中や着信拒否中でも、相手を緊急で呼び出す

<バイパスコール> 工事
緊急で電話をかけたい相手が、不在着信転送や着信拒否を設定していてつながらないとき、特別に呼び出すことができます。

▼ 呼び出しかた

1. 受話器を上げる
2. 内線番号を押す
   相手が不在転送や着信拒否を設定していると、話中音などが聞こえます。
3. ⑧ ⓪ ① を押す
   801 は、バイパスコールの特番（初期値）です。
4. 通常の呼び出しに変わる
5. 相手が出たら、通話する

通話中の相手を緊急で呼び出す

工事
緊急で電話をかけたい相手が通話中のとき、特別に呼び出すことができます。

注意
相手がマルチラインデジタルコードレス電話機との通話中の場合は、話中呼出できません。

▼ 通話中の相手を呼び出す

<話中呼出>

1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**
   相手が話中のときは、話中音が聞こえます。
3. **⑧ ⓪ ③ を押す**
   803 は、話中呼出の特番（初期値）です。
4. **相手の電話機のスピーカから着信音が鳴る**
   相手が一般電話機の場合は、相手の受話器から“ピッ”という音が聞こえます。
5. **相手が出たら、通話する**

▼ 通話中の呼び出しを受ける

<コールウェイティング>

1. **外線または内線と通話中**
2. **受話器から “ピッ” という音が聞こえる**
3. **フッキングする**
4. **内線の相手と通話する**
   いままで通話していた相手には保留音が流れます。

以降は、フッキングするたびに通話の相手を切り替えることができます。

便利な使いかた

一般電話機では、次の電話機能も利用することができます。

- ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする
  『ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする』(⇒P.1-94)
- 一斉呼出をする
  - 内線グループで呼び出す
    『▼ 内線グループで呼び出す』(⇒P.1-95)
  - 内線グループ呼出を使って電話を取り次ぐ
    『▼ 内線グループ呼出を使って電話を取り次ぐ』(⇒P.1-96)
- 電話で会議する
  『電話で会議する』(⇒P.1-97)
- ほかの人の通話に割り込む
  『ほかの人の通話に割り込む』(⇒P.1-101)
- ほかの人と通話中の内線相手に声をかける
  『ほかの人と通話中の内線相手に声をかける』(⇒P.1-102)
- 通話中に電話番号を記憶する
  『通話中に電話番号を記憶する』(⇒P.1-103)
- キャッチホンサービスなどを利用する
  『キャッチホンサービスなどを利用する』(⇒P.1-106)
- 登録済みの番号に別の番号を続けてかける
  『登録済みの番号に別の番号を続けてかける』(⇒P.1-107)
- 電話機のランプで伝言があることを知らせる
  『電話機のランプで伝言があることを知らせる』(⇒P.1-107)
- 指定時刻にアラーム音を鳴らす
  『指定時刻にアラーム音を鳴らす』(⇒P.1-111)
- 外線に通知する発信者番号を選択する
  『外線に通知する発信者番号を選択する』(⇒P.1-126)

ふさがっている外線が空きしだい、使えるようにする

<外線予約／外線コールバック> 工事

使いたい外線がふさがっていて、電話がかけられないとき、外線が空いたらすぐ使えるように予約することができます。
設定のしかたには、次の 2 通りの方法があります。

- 外線予約
  外線が空くまで、受話器を持ったまま待ち、外線が空きしだい電話がかけられるようにする
- 外線コールバック
  いったん電話を切り、外線が空いたら知らせが入るようにする

▼ 設定のしかた

1. 受話器を上げる

2. ⓪ を押す

0 は、外線発信番号です。
外線がふさがっていると、話中音が聞こえます。

3. ⑧ ⓪ ④ を押す

804 は、外線・内線予約設定の特番(初期値)です。
これで、外線予約が設定できました。
受話器を持ったまま待っていると、外線が空きしだい、電話をかけることができます。
受話器をいったん戻して待つとき(外線コールバック)は、次の手順 4 に進みます。

4. 受話器を戻す

これで、外線コールバックが設定できました。
外線が空くと呼返音が鳴ります。受話器を上げると電話をかけることができます。

▼ 解除のしかた

外線予約を解除するときは、いったん受話器を戻します。

1. 外線コールバックを設定中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ⓪ ⑤ を押す

805 は、外線・内線予約解除の特番（初期値）です。

4. 受話器を戻す

これで、外線コールバックが解除できました。

一斉呼出をする

席を外している人を呼び出したいときなどに、多機能電話機のスピーカを使って一斉に呼び出すことができます。（内線グループ呼出）
外線通話を保留したあと、一斉呼出をして呼び出した相手に電話を取り次ぐこともできます。（内線グループ呼出転送）

こんなときは

内線グループとは

いくつかの電話機を、部署ごとなどのグループに分けたものです。内線グループ内で、ほかの内線への呼び出しに代理応答したり、内線を呼び出し直したりすることができます。内線グループ分けは、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 内線グループで呼び出す

<内線グループ呼出>

《呼び出しかた》

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ① ⑨ を押す

819 は、内線グループ呼出の特番（初期値）です。

3. グループ番号を押す

4. 一斉呼出をする

指定した内線グループ内の多機能電話機のスピーカから音声が聞こえます。

5. 相手が出たら、通話する

《受けかた》

1. 内線グループを呼出中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ② ③ を押す

823 は、内線グループ呼出応答の特番（初期値）です。

4. 相手と通話する

▼ 内線グループ呼出を使って電話を取り次ぐ

<内線グループ呼出転送>

《取り次ぎかた》

1. 外線と通話中
2. フッキングする
3. ⑧ ① ⑨ を押す
   819 は、内線グループ呼出の特番(初期値)です。
4. グループ番号を押す
5. 一斉呼出をする
6. 相手が出たら、用件を伝える
7. 受話器を戻す

これで、グループ呼出転送ができました。

《受けかた》

1. 内線グループを呼出中
2. 受話器を上げる
3. ⑧ ② ③ を押す
   823 は、内線グループ呼出応答の特番(初期値)です。
4. 相手と内線で通話する
5. そのまま待つ
6. 相手が受話器を戻すと、自動で外線とつながる
7. 外線の相手と通話する

電話で会議する

<会議通話>
1 つの通話に複数の人が参加して、同時に通話することができます。会議通話は、内線 1 人を含めた自由な組み合わせができ、システム全体で最大 32 人まで利用できます。

▼ 内線の人を会議に参加させる

<内線呼出招集>

1. 外線または内線と通話中
2. フッキングする
3. ⑧ ⓪ ② を押す
   802 は、会議通話の特番(初期値)です。

4. **会議に参加させたい人の内線番号を押す**

5. **相手が出たら、会議通話を始めることを伝える**

6. **フッキングする**
   転送ダイヤルトーンが聞えます。

7. **フッキングする**
   内線の相手が通話に参加します。

これで、会議通話になりました。

こんなときは

ほかの人も参加させたい
上記手順 6 のあと手順 4 からの操作をくり返すと、ほかの人も参加させることができます。

▼ 外線の人を会議に参加させる

<2 外線会議通話>

1. **外線と通話中**

2. **フッキングする**

3. **⑧ ⓪ ② を押す**
   802 は、会議通話の特番(初期値)です。

4. **⓪ を押す**
   0 は、外線への発信番号です。

5. **会議に参加させたい人の電話番号を押す**

6. **相手が出たら、会議通話を始めることを伝える**

7. **フッキングする**

8. **フッキングする**
   外線の相手が通話に参加します。

これで、会議通話になりました。

こんなときは

ほかの人も参加させたい
上記手順 7 のあと手順 4 からの操作をくり返すと、ほかの人も参加させることができます。

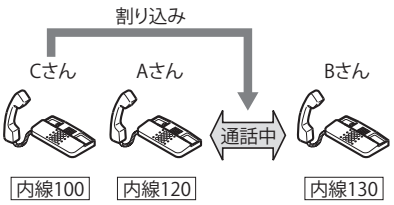
会議通話ができない
会議通話の特番を押したときに話中音が聞こえたら、すでに会議通話している人が定員に達しています。このときは、しばらく待ってから、やり直してください。

ほかの人の通話に割り込む

<通話割り込み> 工事
ほかの人の内線または外線の通話に割り込んで、通話に参加することができます。

▼ 割り込みかた

例:次のような通話に割り込みます。



1. **A さんと B さんが内線通話中**
2. **C さんが受話器を上げる**
3. **A さんの内線番号を押す**
   話中音が聞こえます。
4. **⑧ ⓪ ⑧ を押す**
   808 は、通話割り込みの特番（初期値）です。

これで、A さん、B さん、C さんの 3 者通話になりました。

こんなときは

通話に参加できない

通話の内容は聞こえるのに、こちらの声が相手に聞こえないときは、工事段階の設定で、通話割り込みの設定が「モニターモード」になっています。3 者通話にするためには「スピーチモード」にする必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

通話に割り込むとき、通知音を出したい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。なお、モニターモードの場合には通知音は鳴りません。

通話割り込みができない

次の場合には、通話割り込みができません。
- 発信中または着信中
- 保留中
- 32 人での会議通話中
- モニターモードの場合

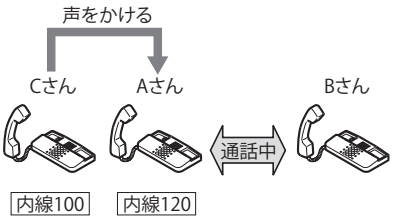
ほかの人がすでに通話割り込みしている場合は、会議通話になります。

ほかの人と通話中の内線相手に声をかける

<ボイスオーバー> 工事

ほかの人と通話中の内線相手に、音声で割り込んで声をかけることができます。

▼ 声のかけかた



1. **A さんと B さんが内線通話中**
2. **C さんが受話器を上げる**
3. **A さんの内線番号を押す**
   話中音が聞こえます。

4. ⑧ ⓪ ③ **を押す**

803 は、話中呼出（待機中通知）の特番（初期値）です。

5. ⑧ ④ ① **を押す**

841 は、ボイスオーバーの特番（初期値）です。

これで、C さんから、A さんだけに声をかけることができました。

こんなときは

通話に参加できない

通話の内容は聞こえるのに、こちらの声が相手に聞こえないときは、工事段階の設定で、通話割り込みの設定が「モニターモード」になっています。3 者通話にするためには「スピーチモード」にする必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

声をかけるとき、通知音を出したい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。なお、モニターモードの場合には通知音は鳴りません。

ボイスオーバーができない

次の場合には、ボイスオーバーができません。

- 発信中または着信中
- 保留中
- 32 人での会議通話中
- モニターモードの場合

ほかの人がすでに通話割り込みしている場合は、会議通話になります。

通話中にいまかけた電話番号を記憶する

<セーブドナンバーリダイヤル>
通話中に覚えておきたい電話番号を 1 件（最大 24 桁）だけ記憶することができます。

注意

記憶できる電話番号は 1 件だけです。新しい番号を記憶すると、前の番号は消去されます。

▼ 登録のしかた

1. **外線に発信中または通話中**

2. **フッキングする**

3. ⑧ ① ③ **を押す**

813 は、セーブドナンバーリダイヤルの特番（初期値）です。

これで、いまかけた電話番号が記憶できました。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**

2. ⑧ ① ③ **を押す**

813 は、セーブドナンバーリダイヤルの特番（初期値）です。

3. **相手が出たら、通話する**

▼ 消去のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑧ ① ⑧ を押す**
   818 は、セーブドナンバーリダイヤル消去の特番（初期値）です。
3. **受話器を戻す**

これで、セーブドナンバーリダイヤルの登録内容が消去できました。

キャッチホンサービスなどを利用する

<外線フッキング> 工事
外線と通話中に、キャッチホンでかかってきた電話に応答することができます。

注意

工事設定されていない電話機でフックボタンを押すと、外線通話が切れてしまいますので、注意してください。

▼ キャッチホンの受けかた

1. **外線と通話中**
2. **キャッチホンの着信音が聞こえる**
3. **フッキングする**
4. **⑧ ④ ② を押す**
   842 は、フッキングの特番（初期値）です。
   キャッチホンでかかってきた相手と電話がつながります。いままで通話していた相手には保留音が流れます。
5. **キャッチホンでかかってきた相手と通話する**

以降は、手順 3 と手順 4 をくり返すたびに通話の相手を切り替えることができます。

登録済みの番号に別の番号を続けてかける

<追加ダイヤル>
短縮ダイヤルなどで電話をかけるとき、続けて相手部署の内線番号などを押して、かけることができます。

▼ かけかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑧ ① ⓪ を押す**
   810 は、共通・個別短縮ダイヤル発信の特番（初期値）です。グループ短縮ダイヤル発信の場合は 811（初期値）を押してください。
3. **短縮番号を押す**
4. **追加したい番号を押す**
5. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

追加ダイヤルが利用できる発信の種類

追加ダイヤルは、次の発信のときに利用できます。

- 短縮ダイヤルの発信
- 再ダイヤルの発信
- セーブドナンバーリダイヤルの発信

電話機のランプで伝言があることを知らせる

<伝言(メッセージウェイティング)>

用件を伝えたい相手が通話中や不在などのとき、戻りしだい連絡をもらえるように、ランプの表示で知らせることができます。

注意

伝言(メッセージウェイティング)は、相手が多機能電話機またはメッセージウェイティングランプ付きの電話機の場合だけ利用できます。マルチラインデジタルコードレス電話機の場合には、着信/メッセージ/充電ランプに表示されます。

▼ 設定のしかた

<伝言設定>

1. **受話器を上げる**
2. **内線番号を押す**

   相手が通話中、または誰も出ない状態です。
3. **⑨ ⓪ ⑨ を押す**

   909 は、伝言の特番(初期値)です。
   大型ランプが緑点灯します。
4. **相手の電話機の大型ランプまたはメッセージウェイティングランプが点滅する**

   相手がマルチラインデジタルコードレス電話機の場合には、着信/メッセージ/充電ランプがゆっくり赤点滅します。
5. **受話器を戻す**

これで、相手に伝言があることを知らせることができました。

こんなときは

別の人にも伝言を設定したい

上記の操作で、複数の相手に伝言を設定できます。

▼ 伝言を設定した相手の呼び出しかた

<伝言への応答>

1. **大型ランプ(メッセージウェイティングランプ)が緑点滅中**

   伝言が設定されている状態です。
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ⓪ ⑨ を押す**

   909 は、伝言の特番(初期値)です。
   伝言を設定した相手を呼び出します。
4. **相手が出たら、通話する**

▼ 解除のしかた

<指定電話機の伝言解除>

1. **伝言を設定中**
   相手の大型ランプまたはメッセージランプが点滅しています。
2. **受話器を上げる**
3. **⑨ ① ① を押す**
   911 は、伝言解除の特番(初期値)です。
4. **伝言を解除したい内線番号を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、伝言が解除できました。

こんなときは

すべての伝言設定を一度に解除したい
上記手順 3 で 910(伝言全解除の特番の初期値)を押してから受話器を戻します。

指定時刻にアラーム音を鳴らす

<アラーム>
指定した時刻に、電話機からアラーム音を鳴らすことができます。会議の開始時刻などをセットしておくと便利です。
アラームには次の 2 種類があります。
- アラーム 1:1 回(30 秒間)だけ鳴る(鳴った時点で自動解除)
- アラーム 2:毎日定刻に鳴る(解除するまで有効)

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ① ② を押す**
   912 は、アラーム(指定時刻呼出)の特番(初期値)です。
3. **アラームの番号を押す**
   1:アラーム 1(1 回だけ鳴る)
   2:アラーム 2(毎日定刻に鳴る)
4. **アラームを鳴らす時刻を入力する**
   24 時間制で入力します。
   例:午後 3 時 05 分の場合は 1505 と入力する
5. **受話器を戻す**

これで、アラームが設定できました。

▼ 止めかた

1. **アラーム鳴動中**
2. **受話器を上げる**
   アラーム音が止まり、保留音が聞こえます。

3. 受話器を戻す

これで、アラーム音が停止しました。

▼ 解除のしかた

1. アラームを設定中

2. 受話器を上げる

3. ⑨ ① ② を押す

912 は、アラーム（指定時刻呼出）の特番（初期値）です。

4. アラームの番号を押す

1：アラーム 1（1 回だけ鳴る）
2：アラーム 2（毎日定刻に鳴る）

5. ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ を押す

6. 受話器を戻す

これで、アラームが解除できました。

外線に通知する発信者番号を選択する

<発信者番号選択>
外線に電話をかけるときに、通知する発信者番号を選択することができます。
発信者番号選択リストとして 50 番号まで登録できます。

こんなときは

発信者番号選択リストを設定したい

発信者番号選択リストの設定はユーザープログラミングまたは工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご確認ください。

注意

- 事前に、通知する発信者番号を設定しておく必要があります。
- 発信者番号の設定については、販売店にお問い合わせください。

▼ かけかた

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ⑥ ⑤ を押す

865 は発信者番号選択発信の特番（初期値）です。

3. 発信者番号選択リストの番号（01～50）を押す

4. 電話番号を押す

これで、設定した相手に電話がかかります。

システムの運用例

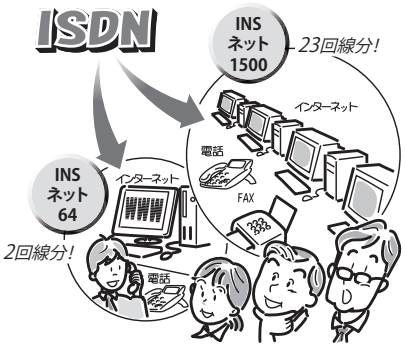
ISDN 回線..... 3-2
NTT のサービス..... 3-12
NTT ダイヤルイン..... 3-19
専用線..... 3-25
電話を外線に転送する..... 3-26
ほかの内線や仮想の内線番号を使う..... 3-31
オートアテンダント（VRS）..... 3-34
DID／DISA..... 3-41
着信お待たせメッセージ..... 3-43
構内放送..... 3-45
ドアホン..... 3-49
DSS コンソール..... 3-52
システム着信履歴..... 3-60
ホテル機能..... 3-61
セキュリティ..... 3-65

ISDN 回線

ISDN 回線(INS ネット 64 または INS ネット 1500)を、本システムに収容し、利用することができます。

ISDN 回線の利用例

<INS ネット 64／INS ネット 1500> 工事
ISDN 回線を利用すると、1 回線で INS ネット 64 の場合は 2 回線分、INS ネット 1500 の場合は 23 回線分の外線を収容することができます。また、ISDN 回線を利用した、高速インターネット通信をも実現します。



注意
ISDN 回線を収容するには、NTT 東日本または NTT 西日本との契約と、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

ISDN 回線を使って電話をかける

<通常の発信／サブアドレス指定発信>
ISDN 回線の場合には、電話番号のあとに#を押してかけます。

▼ 通常のかけかた

<通常の発信>

《多機能電話機を使うときのかけかた》

1. 発信 を押す
2. 電話番号を押す
3. ⓗ を押す
4. 相手が出たら、通話する

《一般電話機を使うときのかけかた》

1. 受話器を上げる
2. ⓪ を押す
   0 は、外線発信番号です。
   “ツー”という音が聞こえます。
3. 電話番号を押す

4. ⓗ を押す

5. 相手が出たら、通話する

こんなときは

電話がかかるのが遅い

電話番号のあとに#を押し忘れていませんか？電話番号のあとには#を押すようにしてください。

#を押す理由

一般回線では、電話番号などを押すと、そのつど 1 番号ずつ回線に送出されますが、ISDN 回線ではすべての電話番号が押されたことを確認してから、まとめて回線に送出されます。電話番号がすべて押されたかどうかは、前の番号を押してからの経過時間で判断するため、番号が送出されるまでに時間がかかってしまいます。この時間を短縮するために、#を押します。
DP(ダイヤルパルス)式の一般電話機の場合は、工事段階で設定した時間が経過すると、番号が送出されます。

▼ 相手の電話機に直接かける

<サブアドレス指定発信>
相手が ISDN 回線でサブアドレスを使用している場合、相手の電話機または端末に直接かけることができます。

1. 発信 を押す

2. 接続先電話番号を押す

3. ⓐ を押す
*は、接続先電話番号とサブアドレスの区切り記号です。

4. サブアドレスを押す

5. ⓗ を押す

6. 相手が出たら、通話する

こんなときは

接続先電話番号とサブアドレスの桁数

入力できる桁数は、それぞれ次のとおりです。
- 接続先電話番号:最大 32 桁
- サブアドレス　:最大 19 桁

サブアドレスとは

ISDN 回線に接続されている電話機(端末)に、直接電話をかけるための子番号です。この子番号のことをサブアドレスといいます。サブアドレスをつけておくと、ダイヤルイン着信のように、着信先を特定することができます。内線番号をサブアドレスとして使うこともできます。

発信規制や料金管理を利用する

<発信規制／料金管理>
ISDN 回線を利用していても、一般回線と同じように、発信規制や料金管理を利用することができます。
- 発信規制
  一般回線と同じように、発信規制ができます。
- 料金管理
  一般回線と同じように、料金管理ができます。通話料金の集計では、ISDN 回線からの料金情報と本システムの料金管理機能のどちらを使用するかを工事段階で設定できます。詳しくは、販売店にご相談ください。

ISDN 付加サービスを利用する

<発信者番号通知>

ISDN の付加サービスを利用するには、電話番号を通知してかける必要があります。INS ナンバー・ディスプレイの契約内容をご確認の上、必要に応じて電話番号を通知する操作をしてください。ナンバー・ディスプレイについては、『ナンバー・ディスプレイ』(⇒P.3-12)を参照してください。

こんなときは

電話番号を通知する理由

ISDN の付加サービスを利用する場合、サービスの設定変更や開始・停止を電話で操作します。このとき、NTT 側では、通知される電話番号を元に、発信者の確認をします。このため、電話番号が通知されなかったり、違う番号が通知されたりすると、操作ができません。システムに複数の外線を収容している場合には、正しい番号が通知される外線を使って操作する必要があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

利用できるサービスについて

<ISDN 付加サービス>
ISDN 回線を収容すると、次の付加サービスを利用することができます。ISDN 回線の契約および回線使用料とは別に、契約や利用料金が必要な機能もあります。詳しいサービス内容や契約の方法などについては、NTT 東日本または NTT 西日本にご確認ください。

- i・ナンバー(ISDN64 のみ)
- INS テレホーダイ(ISDN64 のみ)
- INS ナンバー・ディスプレイ
- INS ナンバーリクエスト
- INS ボイスワープ
- INS ボイスワープセレクト
- INS#ダイヤルサービス
- INS ダイヤルインサービス
- INS でんわばんサービス
- 発信者番号通知サービス
- INS フレックスホン　通信中転送(ISDN64 のみ)
- 料金情報通知サービス

こんなときは

ISDN 付加サービスを利用するために

前ページの ISDN 付加サービスの設定を、システム内の電話機で変更できるよう、「スティミュラスプロトコル手順」に対応しています。
詳しくは、販売店にご相談ください。

本書に記載されていない機能を設定する場合

ガイダンスに従って指定番号を押したあと、#を押してください。

INS フレックスホン　通信中転送を利用する

INS フレックスホン　通信中転送は、通話中の電話を別の外線に転送するサービスです。

1. **A さんからの ISDN64 回線への着信に応答する**
   A さんと通話中
2. **[　　](通信中転送ボタン)を押す**
   いままで通話をしていた A さんは保留になります。
3. **B さんの電話番号を押す**
4. **(#) を押す**
5. **転送先の B さんに電話を転送することを伝える**
6. **[転送] を押す**

7. **受話器を戻す**

こんなときは

前の相手との通話に戻りたい

上記の手順 6 で、転送ボタンの代わりに通信中転送ボタンを押すと B さんは保留になり、A さんとの通話に戻ります。もう一度、通信中転送ボタンを押すと A さんは保留になり、B さんとの通話に戻ります。

INS ナンバーリクエストを利用する

INS ナンバーリクエストは、電話番号を通知しないでかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すように音声で伝えるサービスです。

▼ サービスを開始する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ⑧ ＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **① を押す**
5. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **受話器を戻す**

これで、INS ナンバーリクエストが開始できました。

▼ サービスを停止する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ⑧ ＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **⓪ を押す**
5. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **受話器を戻す**

これで、INS ナンバーリクエストが停止できました。

INS ボイスワープを利用する

INS ボイスワープは、かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。
指定先の電話番号は、あらかじめ 0～4 に登録することができます。

▼ 転送を開始する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**

2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ② ① を押す**
4. **転送モードパターンを選択するため ①～④ のいずれかを押す**
5. **# を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **受話器を戻す**

これで、INS ボイスワープの転送が開始できました。

▼ 転送を停止する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ② ⓪ # を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **受話器を戻す**

これで、INS ボイスワープの転送が停止できました。

▼ 転送先を登録する

《転送先リスト 0 に登録するとき》

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ② ② # を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **登録したい電話番号を押す**
5. **# を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **受話器を戻す**

これで、転送先リスト 0 に転送先が登録できました。

《転送先リスト 1～4 に登録するとき》

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ② ④ # を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
   登録（キーパッドファシリティ）ボタンが赤点灯します。
4. **⓪ を押す**

5. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. 転送先を登録したい転送先リスト番号 ①～④ のいずれかを押す
7. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 登録したい電話番号を押す
9. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
10. 受話器を戻す

これで、転送先リスト 1～4 に転送先が登録できました。

▼ 転送先を指定する

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ② ④ ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ① を押す
5. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. 転送先リスト番号 ⓪～④ のいずれかを押す
7. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 受話器を戻す

これで、転送先が指定できました。

▼ 転送通知用トーキを指定する

《パターン指定を利用しないとき》

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ② ④ ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ② を押す
5. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. ⓪ を押す

7. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 受話器を戻す

これで、転送通知用トーキが指定できました。

《パターン指定を利用するとき》

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ② ④ ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ② を押す
5. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. 指定したいパターン番号 ①～③ のいずれかを押す
7. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 受話器を戻す

これで、転送通知用トーキが指定できました。

▼ 登録内容を確認する

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ② ⑧ ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. 確認内容を指定するために ⓪～③ のいずれかを押す
5. ⓗ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. 受話器を戻す

これで、INS ボイスワープの登録内容が確認できました。

INS ボイスワープセレクトを利用する

INS ボイスワープセレクトは、あらかじめ電話番号を登録した相手からかかってきた電話だけを、指定した電話番号に転送するサービスです。
転送してほしい相手の電話番号は、あらかじめ登録しておきます。

▼ 登録リストに電話番号を登録する

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す

2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ⑦ ＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **② を押す**
5. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **登録する電話番号を押す**
7. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
8. **受話器を戻す**

これで、登録リストに電話番号が登録できました。

▼ 登録リストの電話番号を確認する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ⑦ ＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **⑧ を押す**
5. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **受話器を戻す**

これで、登録してある電話番号が確認できました。

▼ 登録リストから電話番号を削除する

1. **ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **① ④ ⑦ ＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
4. **⑨ を押す**
5. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
6. **削除する電話番号を押す**
7. **＃ を押す**
   ガイダンスが聞こえます。
8. **受話器を戻す**

これで、登録リストから電話番号が削除できました。

▼ セレクト機能の利用条件を指定する

《登録番号転送に設定するとき》

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ⑦ ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ③ を押す
5. ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. ① を押す
7. ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 受話器を戻す

これで、セレクト機能を登録番号転送に設定できました。

《登録番号着信に設定するとき》

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ⑦ ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ③ を押す
5. ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
6. ② を押す
7. ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
8. 受話器を戻す

これで、セレクト機能を登録番号着信に設定できました。

▼ セレクト機能を解除する

1. ISDN 回線が収容されている外線ボタンを押す
2. 受話器を上げる
3. ① ④ ⑦ ＃ を押す
   ガイダンスが聞こえます。
4. ③ を押す

5. ⓗ **を押す**

ガイダンスが聞こえます。

6. ⓪ **を押す**

7. ⓗ **を押す**

ガイダンスが聞こえます。

8. **受話器を戻す**

これで、セレクト機能が解除できました。

NTT のサービス

NTT 東日本または NTT 西日本の、いろいろなサービスを利用できます。

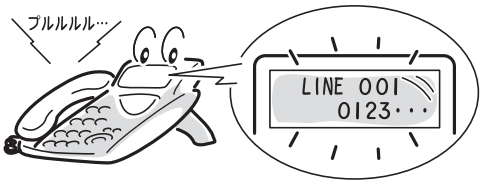
ナンバー・ディスプレイ

<発信者番号通知> 工事

電話をかけてきた相手の電話番号を、表示器に表示して、電話に出る前に相手を確認することができます。また、共通短縮ダイヤルに登録されている相手からの着信の場合には、名前を表示することもできます。

注意

- ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT 東日本または NTT 西日本との契約と、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 電話をかけてきた相手の電話番号や名前を表示させる電話機は、工事段階で設定します。なお、一般着信時や個別着信時に加え、仮想内線着信時にも、電話番号や名前を表示させることができます。



注意

相手の名前や電話番号が表示されるのは、着信鳴動設定された電話機だけです。

▼ ナンバー・ディスプレイの表示について

注意

一般着信のときは、応答後にナンバー・ディスプレイ表示されます。

電話をかけてくる相手の電話番号が、次のように表示されます。

《相手の電話番号》

```
LINE 001
                0312345678
```

《相手の名前と電話番号》

- 共通短縮番号に電話番号と名前が登録されている場合

```
LINE 001
XX社 鈴木       0312345678
```

《相手の電話番号が表示できない理由》

- 発信者が番号通知を希望していない場合

```
LINE 001
非通知
```

- 公衆電話からの場合

```
   LINE 001
公衆電話
```

- ネットワーク条件などで、番号を通知できない場合

```
   LINE 001
表示圏外
```

こんなときは

相手の電話番号を表示できない理由について

この理由表示は、NTT 東日本または NTT 西日本とナンバー・ディスプレイ契約をしている場合のみ、表示されます。

▼ 相手の名前を表示するには

相手の電話番号と名前を、本システムの共通短縮ダイヤルに登録しておくと、電話がかかったときに相手の名前が表示されます。

注意

相手の電話番号は、市外局番から登録してください。短縮ダイヤルに市外局番が登録されていないと、該当する名前が表示できません。自分と同じ市外局番の場合でも、必ず市外局番から登録してください。

《発信者名称の表示について》

発信者名称を表示する条件と優先順位は、次のとおりです。

優先順位	表示条件
1	「ナンバー・ディスプレイ」を契約していて、センター電話帳に、該当する電話番号と相手の名前が登録されている
2	「ナンバー・ディスプレイ」を契約していて、共通短縮ダイヤルに、該当する電話番号と相手の名前が登録されている

▼ 着信中や保留中に相手の電話番号を表示する

1. 外線着信中または保留中

2. [特殊] を押す

3. [　] （外線ボタン）を押す

着信中または保留中外線の相手先番号などが表示されます。

▼ 相手から通知された番号にかけるには

<着信履歴>
不在時に、電話番号を通知してかけてきた相手の電話番号を、50 件まで記憶しています。この番号を利用して、電話をかけることができます。

1. 表示器に“不在着信履歴”アイコン表示中

2. かけたい番号を表示させる

- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』(⇒P.1-29)の『十字キーの左(再／短)メニューを操作する』(⇒P.1-29)または『▼ 着信履歴を表示する』(⇒P.1-116)を参照してください。

3. かけたい相手が表示されたら、受話器を上げる

4. 相手が出たら、通話する

こんなときは

よく着信履歴を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに着信履歴ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。着信履歴ボタンのランプは、次のように切り替わって状態を表示します。

- 新しい着信履歴あり:赤点滅
- 確認済みの着信履歴あり:赤点灯
- 着信履歴を削除:消灯

詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

着信履歴を削除したい

上記の操作で削除したい相手を表示させ、"削除"のソフトキーを押したあと、"1 件"のソフトキーを押します。

応答できた相手の電話番号も着信履歴として残したい

不在中にかかってきた相手の電話番号に加え、在席中で応答できた相手の電話番号も、着信履歴として残すことができます。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 発信者番号に応じて着信先を変える

<識別着信>

相手から通知されてきた電話番号に応じて、着信先を指定しておくことができます。また、着信音の鳴り分けも設定できます。

注意

識別着信は、NTT ダイヤルイン／DID／DISA の機能よりも優先的に動作します。識別着信を設定した場合、電話番号が登録された相手先から NTT ダイヤルイン／DID／DISA で電話がかかってきても、すべて識別着信となります。

《着信先と着信音を指定する》

1. **短縮番号への登録の手順 1～手順 7 を操作して、相手の電話番号と名前を入力する**

   詳しくは、『短縮番号を使ってかける』(⇒P.1-45)の『《登録のしかた》』(⇒P.1-49)を参照してください。

2. **[転送] を押す**

```
0100                    田中
転送ﾓｰﾄﾞ (0-2) ?0-
```

3. **転送モードを入力する**

   次のいずれかを押します。

   - 0:工事段階で設定した着信先に着信する
     "0"を入力した場合は、手順 6 に進みます。
   - "1"を入力した場合:内線番号を入力する

```
短縮0100 ﾓｰﾄﾞ 1          着信先
```

   - 2:指定した着信グループに着信する

```
短縮0100 ﾓｰﾄﾞ 2          着信先
```

4. **手順 3 で "1" または "2" を押した場合は、着信先を指定する**

   - "1"を入力した場合:内線番号を入力する
   - "2"を入力した場合:着信グループ番号を入力する

5. 保留 **を押す**

```
短縮0100 ﾓｰﾄﾞX
着信音(0-9)?0-
```

6. **着信音（0～9）を指定する**

セット音が聞こえます。

```
短縮 登録
```

7. スピーカ **を押す**

これで、着信先と着信音が設定できました。

▼ 発信者番号に対して着信を拒否する

<識別着信拒否>
相手から通知されてきた電話番号に対して、着信を拒否することができます。

《識別着信拒否を設定する》

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ③ ④ **を押す**

*34 は、発番号による着信拒否設定の特番（初期値）です。

```
発番号通知拒否 開始
```

3. スピーカ **を押す**

これで、識別着信拒否が設定できました。

こんなときは

よく識別着信拒否設定を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに発番号による着信拒否設定ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。発番号による着信拒否設定ボタンのランプは、次のように切り替わって状態を表示します。

- 識別着信拒否を設定中：遅い赤点滅
- 識別着信拒否を解除中：消灯

詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

《識別着信拒否を解除する》

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ③ ④ **を押す**

*34 は、発番号による着信拒否設定の特番（初期値）です。

```
発番号通知拒否 解除
```

3. スピーカ **を押す**

これで、識別着信拒否が解除できました。

《着信を拒否する電話番号を登録する》

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ③ ③ を押す

*33 は、発番号による着信拒否登録の特番（初期値）です。

```
発番号拒否 ﾒﾆｭｰ

 登録    解除
```

3. “登録” のソフトキーを押す

```
発番号拒否 登録 XXX

 登録
```

こんなときは

“空きメモリ 無し” と表示された

発番号による着信拒否の電話番号を登録するエリアが一杯です。新たに登録するためには、不要な登録を削除してください。

4. 登録したい電話番号を押す

```
発番号拒否 登録 XXX
                    0312345678
 登録
```

5. “登録” のソフトキーを押す

これで、着信を拒否する電話番号が登録できました。

《着信履歴を着信拒否に登録する》

1. 着信拒否に登録したい電話番号を表示させる

- 着信履歴
  『十字キーのメニューについて』（⇒P.1-29）の『十字キーの左（再／短）メニューを操作する』（⇒P.1-29）または『▼ 着信履歴を表示する』（⇒P.1-116）を参照してください。

2. “登録” のソフトキーを押す

```
01:
      2-1   10:10    0312345678
 短縮                   拒否
```

3. “拒否” のソフトキーを押す

こんなときは

“空きメモリ 無し” と表示された

発番号による着信拒否の電話番号を登録するエリアが一杯です。新たに登録するためには、不要な登録を削除してください。

これで、着信履歴を着信拒否に登録できました。

《着信拒否に登録した電話番号を削除する》

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ③ ③ **を押す**

*33 は、発番号による着信拒否登録の特番（初期値）です。

```
発番号拒否 ﾒﾆｭｰ

 登録    解除
```

3. **“検索” のソフトキーを押す**

```
発番号拒否 検索

 ↑      ↓          削除
```

4. **削除したい電話番号の先頭の数桁を入力する**

入力した番号で始まる電話番号が、検索結果として表示されます。

5. **削除したい電話番号を表示させる**

“↑”または“↓”のソフトキーまたはボリュームボタンで、登録内容をスクロールできます。

こんなときは

“リストなし” と表示された

入力した番号で始まる電話番号が登録されていません。

6. **“削除” のソフトキーを押す**

これで、着信拒否に登録されていた電話番号が削除できました。

▼ 発信者番号が非通知の着信を拒否する

<非通知着信拒否>

相手からの発信者番号通知が“非通知”の場合には、その着信を拒否することができます。

《非通知着信拒否モードを開始する》

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ③ ② **を押す**

*32 は、発番号非通知拒否設定の特番（初期値）です。

```
発番号非通知拒否 開始
```

3. スピーカ **を押す**

これで、非通知着信拒否モードが開始できました。

《非通知着信拒否モードを終了する》

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ③ ② **を押す**

*32 は、発番号非通知拒否設定の特番（初期値）です。

```
発番号非通知拒否 解除
```

3. スピーカ **を押す**

これで、非通知着信拒否モードが終了できました。

こんなときは

よく非通知着信拒否設定を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに発番号非通知拒否設定ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。発番号非通知拒否設定ボタンのランプは、次のように切り替わって状態を表示します。

- 非通知着信拒否を設定中：遅い赤点滅
- 非通知着信拒否を解除中：消灯

詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

《非通知の相手に流すメッセージを録音する》

発信者に対して、電話番号を通知してかけ直すように案内するメッセージを録音します。録音のしかたは、オートアテンダントメッセージと同じです。

詳しくは、『オートアテンダントメッセージの録音・再生・消去』(⇒P.3-37)を参照してください。

マイライン

<電話会社選択サービス／電話会社固定サービス> 工事

電話会社選択サービス(マイライン)および電話会社固定サービス(マイライン・プラス)を契約している回線を、本システムに収容することができます。

- マイライン
  電話をかけるときに選んだ外線を使って発信します。
- マイライン・プラス
  あらかじめ申し込んである電話会社の回線を常に使って発信します。

注意

マイライン、マイライン・プラスを利用するには、電話会社への申し込みと、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

NTT ダイヤルイン

NTT ダイヤルインを利用すると、1 回線に対し別の子番号を持たせることができ、各個人の電話機や部署に割り付けて、直接電話をかけてもらうことができます。

注意

NTT ダイヤルインを利用するには、NTT 東日本または NTT 西日本との契約と、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

局側から通知される呼番号に対して、時間帯と着信動作を 10 パターンまで設定できます。また、転送先として、オートアテンダント(DISA)が設定された外線や、外線留守番サービスが設定された外線を設定することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。

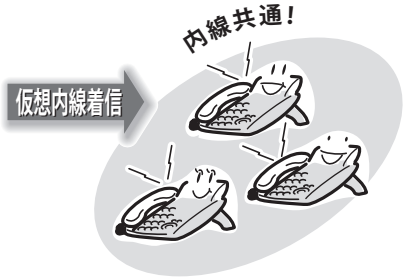
NTT ダイヤルインの着信方式

工事

次のような着信先を選ぶことができます。

- 1 台の電話機に着信させる<個別着信方式>
  NTT ダイヤルイン番号にかかってきた電話を、あらかじめ指定した 1 台の電話機に着信させます。

- 複数の電話機に着信させる<仮想内線着信方式>
  NTT ダイヤルイン番号にかかってきた電話を、仮想内線に着信させます。仮想内線とは、各電話機に割り付けられている内線番号とは別に、複数の電話機が共有できる内線番号です。この仮想内線に着信すると、部署内の電話機すべてに着信させることができます。



この仮想内線の内線番号は、多機能電話機のファンクションボタンに割り付けて使用します。

▼ 1 台の電話機に着信させて受ける

<個別着信方式>

1. NTT ダイヤルイン番号に着信中

```
   LINE 001
着信
```

2. **受話器を上げる**

```
   LINE 001   00:10
応答
```

3. **相手と通話する**

こんなときは

一般電話機で受けたい

NTT ダイヤルイン着信中に受話器を上げると、受けられます。

▼ 複数の電話機に着信させて受ける

<仮想内線着信方式>

1. **NTT ダイヤルイン番号に着信中**

2. **受話器を上げる**

3. **赤点滅中の仮想内線ボタンを押す**

```
   LINE 001
応答
```

4. **相手と通話する**

こんなときは

一般電話機で受けたい

次の操作で受けることができます。

NTT ダイヤルイン着信中 → 受話器を上げる →[826]→[着信中の仮想内線が所属する内線グループ番号]→通話

NTT ダイヤルインの着信転送

応答できないときや、就業時間外などにかかってきた電話を、あらかじめ登録しておいた電話機に転送したり、着信を拒否したりすることができます。

- 着信したら、すぐに転送する<自動転送>
  NTT ダイヤルイン着信を、すぐに転送します。

- 一定時間応答しないと転送する<不応答転送>
  NTT ダイヤルイン着信に、一定時間応答しないと転送します。

注意

自動転送と不応答転送は、いずれか一方だけ設定できます。
1 つの NTT ダイヤルイン番号に対し、自動転送と不応答転送を同時に設定することはできません。もし、両方を設定した場合は、あとから設定した方が有効になります。

▼ 自動転送を設定する

<内線グループ毎の自動転送> 工事

《設定のしかた》

1. スピーカ を押す
2. ⑨ ② ⑤ を押す
   925 は、内線グループ毎の自動転送設定の特番(初期値)です。
3. 転送元の内線グループ番号を押す

```
転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
                 転送 開始
```

4. スピーカ を押す

これで、NTT ダイヤルイン着信の自動転送が設定できました。

《解除のしかた》

1. 着信自動転送を設定中
2. スピーカ を押す
3. ⑨ ② ⑥ を押す
   926 は、内線グループ毎の自動転送解除の特番(初期値)です。
4. 転送元の内線グループ番号を押す

```
転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
                 転送 解除
```

5. スピーカ を押す

これで、NTT ダイヤルイン着信の自動転送が解除できました。

こんなときは

よく自動転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに内線グループ毎の自動転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

一般電話機で操作したい

次の操作で設定または解除できます。

- 設定するとき:
  受話器を上げる →[925]→[転送元の内線グループ番号]→ 確認音 → 受話器を戻す
- 解除するとき:
  設定中 → 受話器を上げる →[926]→[転送元の内線グループ番号] → 確認音 → 受話器を戻す

内線グループ番号について

内線グループ番号(01～128)は、販売店にご確認ください。

▼ 不応答転送を設定する

<内線グループ毎の不応答転送> 工事

《設定のしかた》

1. スピーカ を押す
2. ⑨ ② ⑧ を押す
   928 は、内線グループ毎の不応答転送設定の特番（初期値）です。
3. 転送元の内線グループ番号を押す

```
不応答転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
                 転送 開始
```

4. スピーカ を押す

これで、NTT ダイヤルイン着信の不応答転送が設定できました。

こんなときは

転送元の内線グループ内の電話機がすべて通話中の場合
一定時間を待たずに、すぐ転送されます。

《解除のしかた》

1. 着信不応答転送を設定中
2. スピーカ を押す
3. ⑨ ② ⑨ を押す
   929 は、内線グループ毎の不応答転送解除の特番（初期値）です。
4. 転送元の内線グループ番号を押す

```
不応答転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
                 転送 解除
```

5. スピーカ を押す

これで、NTT ダイヤルイン着信の不応答転送が解除できました。

こんなときは

よく不応答転送を利用する方へ
電話機のファンクションボタンに内線グループ毎の不応答転送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

一般電話機で操作したい
次の操作で設定または解除できます。
- 設定するとき：
  受話器を上げる →[928]→[転送元の内線グループ番号]→ 確認音 → 受話器を戻す
- 解除するとき：
  設定中 → 受話器を上げる →[929]→[転送元の内線グループ番号] → 確認音 → 受話器を戻す

内線グループ番号について
内線グループ番号（01～128）は、販売店にご確認ください。

▼ 転送先の登録のしかた

<内線グループ毎の自動／不応答転送先登録> 工事
自動転送と不応答転送の転送先は、1 つの NTT ダイヤルイン番号に対し、共通で 1 箇所だけ登録できます。転送方法は、用途に応じて使い分けてください。

注意

時間帯のモードは、工事段階で設定しておきます。詳しくは、販売店にご相談ください。

1. スピーカ を押す
2. ⑨ ② ⑦ を押す

   927 は、内線グループ毎の自動／不応答転送先登録の特番（初期値）です。
3. 転送元の内線グループ番号を押す

```
転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
ﾓｰﾄﾞ:1-8 ?
```

4. 自動／不応答転送を行いたい時間帯の番号を押す

   時間帯は、1～8 の中から選ぶことができます。

```
転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01 ﾓｰﾄﾞ 1
```

5. 転送先の番号を押す

```
転送 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01 ﾓｰﾄﾞ 1
                    880
```

6. 保留 を押す

   セット音が聞こえます。
7. スピーカ を押す

これで、転送先が登録できました。

こんなときは

転送先の番号を変更したい

新しい番号を登録すると、古い番号は消去され、新しい番号におき替わります。

一般電話機で登録したい

一般電話機では登録できません。多機能電話機から登録してください。

NTT ダイヤルインの着信拒否

<内線グループ着信拒否> 工事

▼ 設定のしかた

1. スピーカ を押す
2. ⑨ ③ ⓪ を押す

   930 は、内線グループ毎の着信拒否設定の特番（初期値）です。
3. 着信拒否を行う内線グループ番号を押す

```
着信拒否 ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
                 開始
```

4. スピーカ を押す

これで、NTT ダイヤルインの着信拒否が設定できました。

▼ 解除のしかた

1. 着信拒否を設定中

2. [スピーカ] を押す

3. ⑨ ③ ① を押す

931 は、内線グループ毎の着信拒否解除の特番（初期値）です。

4. 着信拒否を解除する内線グループ番号を押す

```
着信拒否 ｸﾞﾙｰﾌﾟ01
                解除
```

5. [スピーカ] を押す

これで、NTT ダイヤルインの着信拒否が解除できました。

こんなときは

よく着信拒否を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに内線グループ毎の着信拒否ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

一般電話機で操作したい

次の操作で設定または解除できます。

- 設定するとき：
  受話器を上げる →[930]→[着信拒否を行う内線グループ番号]→ 確認音 → 受話器を戻す
- 解除するとき：
  設定中 → 受話器を上げる →[931]→[着信拒否を解除する内線グループ番号] → 確認音 → 受話器を戻す

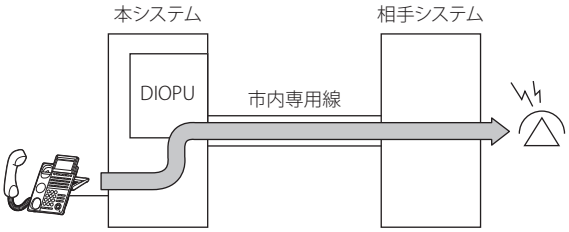
内線グループ番号について

内線グループ番号（3 桁）は、販売店にご確認ください。

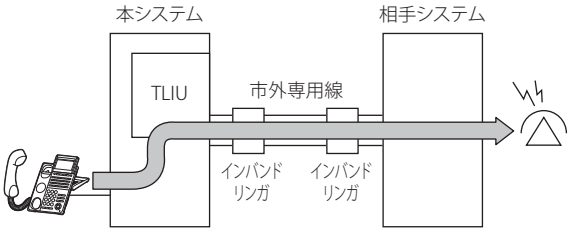
専用線

市内専用線（LD 方式）、市外専用線（OD 方式）を利用し、複数のシステムを接続できます。

- 市内専用線
  ループダイヤル方式（LD 方式）の市内専用線を収容できます。
  専用線で接続された相手システムの内線を、自システムの内線と同じように呼び出すことができます。



- 市外専用線
  アウトバンドダイヤル方式（OD 方式）の市外専用線を収容できます。
  専用線で接続された相手システムの内線を、自システムの内線と同じように呼び出すことができます。



通常のかけかた

<外線ボタンを使ってかける> 工事
設定によって、操作は異なります。詳しくは、販売店にご確認ください。

1. **専用線が収容されている外線ボタンを押す**
2. **受話器を上げる**
3. **呼び出したい相手の内線番号を押す**
4. **相手が出たら、通話する**

相手の内線番号を押してかける

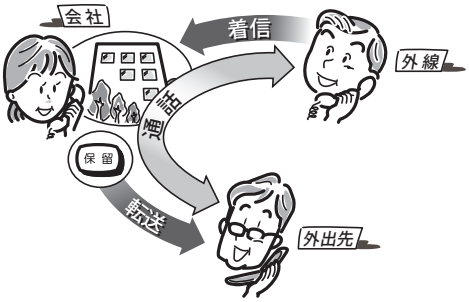
工事
設定によって、操作は異なります。詳しくは、販売店にご確認ください。

1. **受話器を上げる**
2. **呼び出したい相手システムのシステム局番を押す**
   各システムに内線番号を分けた場合など、システム局番なしで発信できる場合があります。
3. **内線番号を押す**
4. **相手が出たら、通話する**

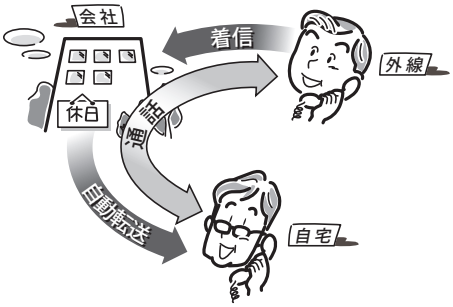
電話を外線に転送する

電話を外線に転送するには、次の 2 通りの方法があります。

- 外線通話をいったん受けてから転送する<外線手動転送>
  例えば、外出中の人あての電話を受けたとき、その通話をいったん保留にしてから、外出中の人に電話をかけます。用件を伝えたら電話をかけてきた相手と外出先の人の電話を、会社を介してつなぎます。この通話の間、2 つの外線を使います。



- 外線からの着信を、そのまま転送する<外線自動転送>
  例えば、就業時間後や休日にかかってきた電話を、自宅の電話に自動で転送します。この通話の間、2 つの外線を使います。



注意

転送したあとの通話は、一定の時間が経過すると自動的に切断されます。これにより、外線が長時間ふさがってしまうことを防ぎます。

こんなときは

転送先を時間帯で切り替えたい

外線自動転送の転送先は時間帯によって切り替えることができます。この時間帯のモードは工事段階で設定しておきます。詳しくは、販売店にご相談ください。

外線自動転送のタイミングや転送先を、もっと細かく指定したい

次のように運用できます。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

- 一定時間内に応答しなかったときに転送
  外線からの着信時、最初は一般着信して、一定時間が経過後に外線へ転送することができます。
- 転送先が応答しない場合、別の外線に転送
  外線からの着信を転送後、転送先が一定時間内に応答しなかった場合、さらに別の外線へ転送することができます(ステップ転送)。

手動で転送する

工事

▼ 通話を外線に転送する

<外線手動転送>

1. 外線と通話中

2. [保留] を押す

外線通話が共通保留状態になります。
“ツーツー”と、内線発信音が聞こえます。

```
   LINE 001
保留
```

3. [発信] を押す

外線手動転送用の外線が決まっている場合は、その外線ボタンを押してください。

```
   LINE 002
```

4. 取り次ぎ先の電話番号を押す

```
   LINE 002
                09001234567
```

5. 相手が出たら、電話を取り次ぐことを伝える

6. [転送] を押す

7. 受話器を戻す

これで、外線への手動転送ができました。

こんなときは

一般電話機で操作したい

次の操作で設定または解除できます。
外線と通話中 → フッキングする →[0]→[取り次ぎ先の電話番号] → 用件を伝える → 受話器を戻す

▼ 会議通話してから転送する

<会議通話転送> 工事

注意

「ファンクションボタンの設定」により会議ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

1. 外線と通話中

```
   LINE 001
                0312345678
```

2. [ ] (会議ボタン) を押す

```
                会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. 消灯している外線ボタンを押す

4. 取り次ぎ先の電話番号を押す

```
LINE 002
                09001234567
```

5. 相手が出たら、会議通話を始めることを伝える

6. [会議ボタン] を押す

```
                会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

7. [会議ボタン] を押す

```
LINE 001        会議 通話
LINE 002
```

8. 3 人で通話する

9. [転送] を押す

10. 受話器を戻す

これで、外線への会議通話転送ができました。

自動で転送する

工事

▼ 設定のしかた

<外線自動転送設定>

1. [スピーカ] を押す

2. ⊛ ⓪ ⑥ を押す

*06 は、外線毎の自動転送設定の特番（初期値）です。

```
転送 開始 外線No.
```

3. 転送用の外線番号を押す

```
転送 外線008
転送 開始
```

4. [スピーカ] を押す

これで、外線自動転送が設定できました。

▼ 解除のしかた

<外線自動転送解除>

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ⓪ ⑦ を押す

*07 は、外線毎の自動転送解除の特番（初期値）です。

```
転送 解除 外線No.
```

3. 転送用の外線番号を押す

```
転送 外線008
転送 解除
```

4. スピーカ を押す

これで、外線自動転送が解除できました。

▼ 転送先の登録のしかた

<外線毎の自動転送先登録>

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ⓪ ⑧ を押す

*08 は、外線毎の自動転送先登録の特番（初期値）です。

```
転送 外線No.
```

3. 転送用の外線番号を押す

```
転送 外線008
ﾓｰﾄﾞ:1-8 ?
```

4. 自動転送を行いたい時間帯の番号を押す

時間帯は、1～8 の中から選ぶことができます。
時間帯 1～8 の詳細は、『運用モードについて』（⇒P.5-36）を参照してください。

```
転送 外線008 ﾓｰﾄﾞ1
```

5. 転送先の電話番号を押す

```
転送 外線008 ﾓｰﾄﾞ1
                09001234567
```

押した番号に応じて表示される

6. 保留 を押す

セット音が聞こえ、手順 3 の表示に戻ります。
必要に応じて、別の時間帯の番号と転送先を、合計 8 件まで登録できます。

7. スピーカ を押す

これで、外線自動転送の転送先の登録と、転送の設定ができました。

こんなときは

よく外線自動転送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに外線毎の自動転送設定ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで転送の設定および解除をすることができます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

外線毎の自動転送設定ボタンを登録すると

ボタンのランプ表示で、外線毎の自動転送の設定／解除の状態がわかります。

- 外線毎の自動転送が設定されているとき：赤点滅
- 外線毎の自動転送が設定されていないとき：消灯

ほかの内線や仮想の内線番号を使う

本来の内線番号のほかに、次のような内線番号を持つことができます。
- ほかの内線番号（実内線番号）
- 架空の内線番号（仮想内線）
- 内線代表番号（仮想内線）

これらの内線番号は、多機能電話機のファンクションボタンに割り付けて使うことができます。

仮想内線の利用例

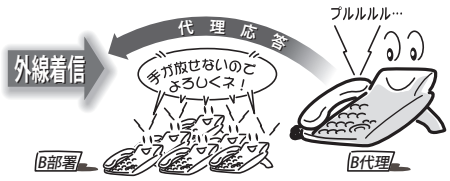
<実内線番号／仮想内線番号> 工事
仮想内線ボタンは、次のように利用します。

▼ かけかた

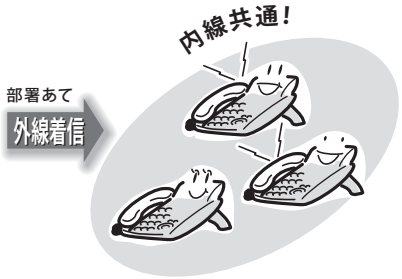
自分の電話機からや部署内の電話機から、発信を規制されている相手先に電話をかけたいときなどに使います。
- ほかの人の外線を使って電話をかける
  ほかの人の内線番号（実内線番号）を割り付けたボタンを押すと、その人の電話機で発信が許可されている相手先に電話をかけることができます。

▼ 受けかた

<仮想内線着信への応答>
ほかの人や部署あての電話を、代理で受けるときなどに使います。部署の内線番号を決めるときは、架空の内線番号を使うことができます。
- ほかの人あての電話を代理で受ける
  ほかの人の内線番号（実内線番号）を割り付けたボタンを押すと、その人あての電話に代理で応答することができます。



- 部署あての代表番号のように使う
  部署内の電話機に、同じ内線番号（仮想内線番号や内線代表番号）の仮想内線ボタンを割り付けておくと、その部署あての着信時にはすべての電話機が鳴り、どの電話機からでも応答できるようになります。



仮想内線ボタンを使う

工事

▼ 内線へのかけかた

1. **仮想内線ボタンを押す**
   仮想内線ボタンにほかの人の電話機の内線番号が割り付けられている場合、その人の電話機の内線ボタンも赤点灯します。
2. **内線番号を押す**

呼出	120

3. **相手が出たら、通話する**
   相手の電話機には、電話をかけてきた人の本来の内線番号ではなく、仮想内線番号が発信元として表示されます。

相手先の電話機の表示

着信 <<<	600

発信元の仮想内線番号

注意

ほかの人の内線番号を使用して発信している間は、その内線番号を使われている人の電話機に“使用中”と表示され、電話がかけられません。

▼ 外線へのかけかた

1. **受話器を上げる**
2. **仮想内線ボタンを押す**
3. **⓪ を押す**
   0 は、外線発信番号です。
   “ツー”という音が聞こえます。
4. **電話番号を押す**
5. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

仮想内線ボタンと相手の電話番号で電話をかけられるようにしたい
上記手順 3 を省略することができます。この場合、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 仮想内線へのかけかた

1. **受話器を上げる**
2. **仮想内線番号を押す**
3. **相手が出たら、通話する**

こんなときは

部署あての代表番号として仮想内線を使っている場合

仮想内線ボタンが割り付けられ、着信音指定されている電話機の着信音が鳴ります。

▼ 受けかた

1. **仮想内線に着信中**

   仮想内線ボタンが赤点滅します。

2. **受話器を上げる**

3. **仮想内線ボタンを押す**

4. **相手と通話する**

▼ 保留のしかた

1. **仮想内線ボタンを使って通話中**

2. **[保留] を押す**

   仮想内線ボタンが緑点滅します。

3. **受話器を戻す**

これで、通話が保留できました。

こんなときは

保留にした通話を再開したい

仮想内線での通話を保留にすると、仮想内線ボタンが次のように点滅します。

- 保留した人の仮想内線ボタン：緑点滅
- ほかの人の仮想内線ボタン：赤点滅

通話を再開するときは、点滅中の仮想内線ボタンを押します。

オートアテンダント（VRS）

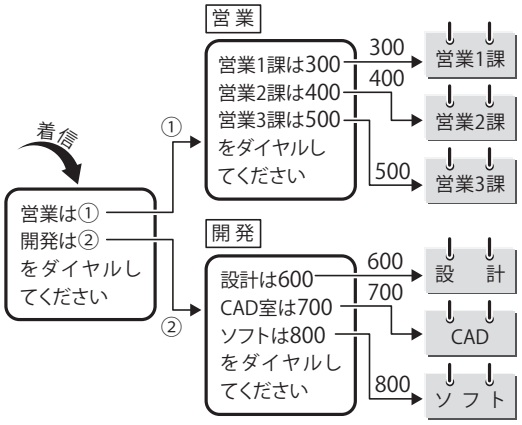
オートアテンダント（DID／DISA）の利用例

工事

DID ／ DISA の外線に電話がかかってきたとき、音声案内を流して、対応することができます。これにより、内線番号案内などを流すことができます。
詳しくは『社外から本システムに電話をかける』（⇒P.3-34）を参照してください。

- 内線番号案内を流す
  電話をかけてきた相手に、内線番号案内を流します。
  相手が内線番号を知らなくても、目的の部署にかけてもらえるので、電話受付台が必要なくなります。

- 段階を分けて音声案内を流す
  電話をかけてきた相手に流す音声案内を、段階分けすることができます。
  例えば担当部署が細かく分かれている場合、次のように音声案内を分けることができます。



こんなときは

VRS メッセージ番号毎の録音時間は、次のとおりです。
- 001～100：4 分
- 101～200：1 分

音声案内を流して次の段階へ移行する際の呼び出し音として、VRS メッセージを流すことができます。詳しくは販売店にご相談ください。

注意

VRS メッセージ番号 101～200 を利用するには、VOIPDB ユニットや VOIPDB 32 チャネルライセンスの追加が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

社外から本システムに電話をかける

社外から各内線に、直接電話をかけてもらうことができます。
内線番号には、仮想内線番号や内線代表番号も含まれます。
この機能は、プッシュホンタイプの電話機（トーン信号を送出できる電話機）で利用できます。

▼ オートアテンダント（DID）の場合

<オートアテンダント（DID）>
社外から本システムに電話をかけるときに、直接内線番号を指定してかけてもらうことができます。受付を介さず、直接担当者に電話をかけることができる着信方式です。

1. **社外から本システムに電話をかける**
2. **本システムに電話がつながるとオートアテンダントメッセージが聞こえる**
   オートアテンダントメッセージは最大 4 分（VRS メッセージ番号：001～100）、もしくは最大 1 分（VRS メッセージ番号：101～200）まで自由に録音できます。
3. **メッセージに従い、電話をかけたい相手の内線番号を押す**
4. **内線につながる**

こんなときは

次のようなときは、通常の呼び出しに切り替えたい
工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 内線の相手が電話に出ない
- 内線の相手が通話中
- 内線番号を間違えた
- 内線番号を押さなかった

▼ オートアテンダント（DISA）の場合

<オートアテンダント（DISA）> 工事
利用者を限定するために、ユーザー ID を設定します。
ID 番号を入力することによって、本システムが利用者を識別します。また、本システムを介して、専用線（公専接続）や公衆回線（公公接続）にかけるときにも使用します。

注意

ユーザー ID を利用するには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1. **社外から本システムに電話をかける**
2. **本システムに電話がつながると“ピロピロピロ…”という音が聞こえる**
3. **ユーザー ID を入力する**

4. **ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる**
   オートアテンダントメッセージは最大 4 分（VRS メッセージ番号：001～100）、もしくは最大 1 分（VRS メッセージ番号：101～200）まで自由に録音できます。
5. **メッセージに従い、電話をかけたい相手の内線番号を押す**
6. **内線につながる**

こんなときは

ユーザー ID の入力を間違えたとき
ユーザー ID の入力を 3 回続けて間違えると、電話が自動的に切れます。このときは、もう一度かけ直してください。

内線番号のほかに使える番号
次の番号を使えます。
- 本システムを介して外線にかけるための特番
- 本システムを介して専用線にかけるための特番
- 共通短縮ダイヤル発信の特番
- 内線グループ呼出や構内放送の特番
- 自分の電話機などに着信転送を設定／解除するための特番
- 通話割り込みの特番

▼ オートアテンダント（DID ／ DISA）着信の受けかた

1. **外線から着信中**
   着信中の電話機の外線ボタンが緑点滅します。
2. **受話器を上げる**
3. **緑点滅している外線ボタンを押す**
4. **相手と通話する**

こんなときは

一般電話機で受けたい
次の操作で受けることができます。
オートアテンダント（DID／DISA）着信中 → 受話器を上げる → 通話

▼ 外出先から着信転送を設定する

《設定のしかた》

この操作は、オートアテンダント（DISA）でのみ行うことができます。

1. **外出先の電話機や携帯電話などから、本システムに電話をかける**
   オートアテンダント（DISA）が設定された回線の電話番号にかけます。
2. **本システムにつながると“ピロピロピロ…”という音（セカンドダイヤルトーン）が聞こえる**
3. **ユーザー ID を押す**
4. **ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる**
5. **⑨ ⓪ ① を押す**
   901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
6. **転送元の内線番号を押す**
7. **① を押す**

8. **転送先の内線番号を押す**
9. **“ピッ”という確認音が聞こえる**
10. **電話を切る**

これで、外線から着信転送の設定ができました。

こんなときは

DISA で設定できる転送

次の転送を設定することができます。設定または解除の特番については、『電話に出られないとき』（⇒P.1-76）を参照してください。

- 着信転送
- 不在着信転送
- 不応答転送
- 話中転送

《解除のしかた》

この操作は、オートアテンダント（DISA）でのみ行うことができます。

1. **外出先の電話機や携帯電話などから、本システムに電話をかける**
   オートアテンダント（DISA）が設定された回線の電話番号にかけます。
2. **本システムにつながると“ピロピロピロ…”という音（セカンドダイヤルトーン）が聞こえる**
3. **ユーザー ID を押す**
4. **ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる**
5. **⑨ ⓪ ① を押す**
   901 は、着信転送の設定と解除の特番（初期値）です。
6. **転送元の内線番号を押す**
7. **⓪ を押す**
8. **“ピッ”という確認音が聞こえる**
9. **電話を切る**

これで、外線から着信転送の解除ができました。

オートアテンダントメッセージの録音・再生・消去

<VRS メッセージ編集>
電話をかけてきた相手に流す音声案内を録音・再生・消去します。
この操作は、内線からでも外線からでも利用できます。ただし、外線から利用する場合は、パスワードが必要です。
また、選択できる VRS メッセージ番号は 001～200 までですが、非通知着信拒否や識別着信拒否、お待たせメッセージなどの機能は、VRS メッセージ番号 001～100 の範囲内で利用できます。オートアテンダント機能のみ、VRS メッセージ番号 001～200 を利用できます。

▼ 録音のしかた

《内線から録音するとき》

1. **受話器を上げる**

2. ⊛ ② ⓪ を押す
   *20 は、VRS メッセージ編集の特番（初期値）です。
3. ⑦ を押す
   7 は、録音の番号です。
4. VRS メッセージ番号（001～200）を押す
5. 音声案内を受話器で録音する
6. 受話器を戻す

これで、オートアテンダントメッセージが録音できました。

注意

受話器を戻すときは、静かに戻してください。乱暴に戻すと、音声案内の最後に「ガチャン」という音が入ってしまいます。

《外線から録音するとき》

1. 外出先の電話機や携帯電話などから、本システムに電話をかける
   オートアテンダント（DISA）が設定された回線の電話番号にかけます。
2. 本システムにつながると“ピロピロピロ…”という音（セカンドダイヤルトーン）が聞こえる
3. ユーザー ID を押す
4. ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる
5. ⊛ ② ⓪ を押す
   *20 は、VRS メッセージ編集の特番（初期値）です。
6. 工事段階で設定された VRS メッセージパスワードを押す
7. ⑦ を押す
   7 は、録音の番号です。
8. VRS メッセージ番号（001～200）を押す
9. 音声案内を受話器で録音する
10. 電話を切る

これで、外線からオートアテンダント（VRS）メッセージが録音できました。

注意

録音は、なるべく雑音のない静かなところで行ってください。音声案内の中に雑音が入り、誤動作の原因となることがあります。

▼ 再生のしかた

《内線で再生して聞くとき》

1. 受話器を上げる

2. ⊛ ② ⓪ を押す
   *20 は、VRS メッセージ編集の特番（初期値）です。
3. ⑤ を押す
   5 は、聴取の番号です。
4. VRS メッセージ番号（001～200）を押す
5. 音声案内が再生される
6. 受話器を戻す

これで、オートアテンダント（VRS）メッセージが再生できました。

《外線から再生して聞くとき》

1. 外出先の電話機や携帯電話などから、本システムに電話をかける
   オートアテンダント（DISA）が設定された回線の電話番号にかけます。
2. 本システムにつながると“ピロピロピロ…”という音（セカンドダイヤルトーン）が聞こえる
3. ユーザー ID を押す
4. ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる
5. ⊛ ② ⓪ を押す
   *20 は、VRS メッセージ編集の特番（初期値）です。
6. 工事段階で設定された VRS メッセージパスワードを押す
7. ⑤ を押す
   5 は、聴取の番号です。
8. VRS メッセージ番号（001～200）を押す
9. 音声案内が再生される
10. 電話を切る

これで、外線からオートアテンダント（VRS）メッセージが再生できました。

▼ 消去のしかた

1. 受話器を上げる
2. ⊛ ② ⓪ を押す
   *20 は、VRS メッセージ編集の特番（初期値）です。
3. ③ を押す
   3 は、消去の番号です。
4. VRS メッセージ番号（001～200）を押す
5. 受話器を戻す

これで、オートアテンダント（VRS）メッセージが消去できました。

注意

外線から消去することはできません。

外出先から内線への各種設定を行う

<リモート設定> 工事

社外から、任意の内線に対する各種設定をすることができます。自分の内線番号あてにかかってきた電話の転送や、運用モードの切り替えなども行えます。
この操作は、オートアテンダント（DISA）でのみ行うことができます。

注意

ユーザー ID を利用するには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- リモート設定中は、被設定電話機は使用できません。（多機能電話機の場合、ディスプレイに「ﾘﾓｰﾄｱｸｾｽ中」と表示されます。）
- 被設定電話機が鳴動中や使用中の場合、内線番号をダイヤルした時点で終話となり、設定できません。

1. **社外から本システムに電話をかける**
2. **本システムに電話がつながると“ピロピロピロ…”という音が聞こえる**
3. **ユーザー ID を入力する**
4. **ユーザー ID が一致すると、オートアテンダントメッセージが聞こえる**
   オートアテンダントメッセージは最大 4 分（VRS メッセージ番号：001～100）、もしくは最大 1 分（VRS メッセージ番号：101～200）まで自由に録音できます。
5. **⑧ ⓪ ⓪ を押す**
   800 は、リモート設定の特番（初期値）です。
6. **“内線番号をどうぞ”と聞こえる**
7. **設定をしたい内線番号を押す**
8. **“サービスコードをどうぞ”と聞こえる**
9. **各種設定を行う**
10. **設定が完了すると、“設定しました”と聞こえる**

こんなときは

ユーザー ID の入力を間違えたとき

ユーザー ID の入力を 3 回続けて間違えると、電話が自動的に切れます。このときは、もう一度かけ直してください。

リモート設定で行える設定

次の設定が行えます。
- 自グループの運用モードの切り替え
- 外線ごとの自動転送の設定・解除・転送先の登録
- VRS メッセージの録音・再生・消去
- VRS 同報メッセージの録音・消去
- 着信転送、話中転送、不応答転送、話中・不応答転送、不在着信転送、フォローミー、着信拒否の設定・解除

DID／DISA

社外から各内線に、直接電話をかけてもらうことができます。
内線番号には、仮想内線番号や内線代表番号も含まれます。
この機能は、プッシュホンタイプの電話機（トーン信号を送出できる電話機）で利用できます。

ダイレクトインワードダイヤルの利用例

<DID> 工事
社外から本システムに電話をかけるときに、直接内線番号を指定してかけてもらうことができます。受付を介さず、直接担当者に電話をかけることができる着信方式です。

1. **社外から本システムに電話をかける**
2. **本システムに電話がつながると“ピロピロピロ…”という音が聞こえる**
3. **電話をかけたい相手の内線番号を押す**
4. **内線につながる**

こんなときは

次のようなときは、通常の呼び出しに切り替えたい

工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

- 内線の相手が電話に出ない
- 内線の相手が通話中
- 内線番号を間違えた
- 内線番号を押さなかった

ダイレクトインワードシステムアクセスの利用例

<DISA> 工事
利用者を限定するために、ユーザー ID を設定します。
ID 番号を入力することによって、本システムが利用者を識別します。また、本システムを介して、専用線（公専接続）や公衆回線（公公接続）にかけるときにも使用します。

注意

ユーザー ID を利用するには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1. 社外から本システムに電話をかける
2. 本システムに電話がつながると“ピロピロピロ…”という音が聞こえる
3. ユーザー ID を入力する
4. ユーザー ID が一致すると、“ピロピロピロ…”という音が聞こえる
5. 電話をかけたい相手の内線番号を押す
6. 内線につながる

こんなときは

ユーザー ID の入力を間違えたとき

ユーザー ID の入力を 3 回続けて間違えると、電話が自動的に切れます。このときは、もう一度かけ直してください。

内線番号のほかに使える番号

次の番号を使えます。

- 本システムを介して外線にかけるための特番
- 本システムを介して専用線にかけるための特番
- 共通短縮ダイヤル発信の特番
- 内線グループ呼出や構内放送の特番
- 自分の電話機などに着信転送を設定／解除するための特番
- 通話割り込みの特番

着信お待たせメッセージ

かかってきた電話にすぐ応答できない場合や、電話受付担当者が少ないとき、相手に「ただいま電話が混み合っております…」などの音声案内を流すことができます。

着信お待たせメッセージの利用例

工事

着信お待たせメッセージを設定した外線に着信すると、一定時間が経過しても応答できない場合、相手にメッセージを流します。
これにより、一定時間内は通常どおり応答し、一定時間が経過しても応答できないときは、着信お待たせメッセージを流すことができます。

1. **外線から着信中**
   通常と同じように着信音が鳴ります。
2. **一定時間が経過しても応答できないと、相手に着信お待たせメッセージが流れる**
   着信音が変わります。
3. **応答するときは、赤点滅中の外線ボタンを押す**
4. **相手と通話する**

こんなときは

必要なときだけ切り替えたい
電話応対ができないときだけ、必要に応じて着信お待たせメッセージを利用することができます。この場合は、着信中に着信お待たせメッセージ起動ボタンを押してから、着信中の外線ボタンを押してください。

着信お待たせメッセージを設定する

工事

注意

- 「ファンクションボタンの設定」により着信お待たせ設定ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。
- お待たせメッセージの録音・再生・消去方法は『オートアテンダント(VRS)』(⇒P.3-34)の『オートアテンダントメッセージの録音・再生・消去』(⇒P.3-37)を参照してください。ただし、お待たせメッセージで使用する VRS メッセージ番号は、工事段階で設定します。
- VRS メッセージ番号 101 には、あらかじめ「ただいま、電話が大変混み合っています。少々お待ちください」というメッセージが登録されています。このメッセージを使用する場合には、工事段階の設定が必要です。

▼ 設定のしかた

1. **□(着信お待たせ設定ボタン)を押す**
   着信お待たせ設定ボタンが赤点灯します。

```
着信お待たせ設定
IRG No.001              設定
```

これで、着信お待たせメッセージが設定できました。

▼ 解除のしかた

1. □（着信お待たせ設定ボタン）を押す

着信お待たせ設定ボタンが消灯します。

```
着信お待たせ設定
IRG No.001              解除
```

これで、着信お待たせメッセージが解除できました。

構内放送

構内放送用の外部スピーカを利用して、次のようなことができます。
- 社内を移動中の人を呼び出す
- 別のフロアの人を呼び出す
- 電話機から離れている人に電話を取り次ぐ
- 会議通話に参加してほしい人を呼び出す

構内放送の利用例

<放送／応答> 工事

構内放送用の外部スピーカは、最大 9 台まで接続することができます。この外部スピーカから音声で、一斉に、またはグループごとに呼び出すことができます。

外部スピーカを使って呼び出す

工事

▼ 一斉に呼び出す

<一斉放送>

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ② ⓪ を押す

820 は、放送の特番（初期値）です。

放送 No.

3. ⓪ を押す

0 は、すべての外部スピーカを呼び出すときの番号です。

放送　　一斉

4. 一斉呼出をする

外部スピーカから呼出の音声が聞こえます。

5. 受話器を持ったまま、応答を待つ

▼ グループごとに呼び出す

<グループ放送>

1. 受話器を上げる

2. ⑧ ② ⓪ を押す

820 は、放送の特番（初期値）です。

```
放送 No.
```

3. 放送グループ番号を押す

放送グループ番号は、1 から 8 のうち、いずれかを押してください。

```
放送        ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
```

放送グループ番号

4. 呼出をする

「〇〇さん、“1”に応答してください」というように、上記手順 3 で押した放送グループ番号を伝えます。
外部スピーカから呼出の音声が聞こえます。

5. 受話器を持ったまま、応答を待つ

こんなときは

よく構内放送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに一斉放送ボタンやグループ放送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

一般電話機で操作したい

次の操作で呼び出せます。

- すべての外部スピーカから呼び出す
  受話器を上げる →[820]→[0]→ 呼出 → 受話器を持ったまま応答を待つ
- 外部スピーカのグループ別に呼び出す
  受話器を上げる →[820]→[放送グループ番号]→ 呼出 → 受話器を持ったまま応答を待つ

構内放送に応答する

<一斉放送／グループ放送への応答> 工事

▼ 受けかた

1. 構内放送で呼出中

2. 受話器を上げる

3. ⑧ ② ② を押す

822 は、放送応答の特番（初期値）です。

```
放送 No.
```

4. 放送グループ番号を押す

放送グループ番号は、1 から 8 のうち、いずれかを押してください。
すべての外部スピーカの呼出に応答するときは、0 を押してください。

5. 呼び出した人と通話する

こんなときは

一般電話機で操作したい

上記と同じ操作で応答することができます。

外部スピーカで呼び出して電話を取り次ぐ

<ページング転送> 工事

▼ 取り次ぎかた

1. **外線と通話中**
2. **[保留] を押す**
3. **⑧ ② ⓪ を押す**
   820 は、放送の特番(初期値)です。

   放送 No.

4. **放送グループ番号を押す**
   放送グループ番号は、1 から 8 のうち、いずれかを押してください。

   放送　　ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
   放送グループ番号

5. **一斉呼出をする**
   外部スピーカから呼出の音声が聞こえます。
6. **相手が出たら、電話を取り次ぐことを伝える**
7. **[転送] を押す**
8. **保留にした外線と取り次いだ内線がつながる**

これで、ページング転送ができました。

こんなときは

よく構内放送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに一斉放送ボタンやグループ放送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

一般電話機で操作したい

次の操作で呼出または応答できます。

- 呼び出すとき:
  外線通話中 → フッキング →[820]→[放送グループ番号] → 呼出 → 受話器を持ったまま待つ → 内線通話 → 受話器を戻す
- 応答するとき:
  呼出中 → 受話器を上げる →[822]→[放送グループ番号]→ 内線通話 → 受話器を持ったまま待つ → 外線通話

外部スピーカで呼び出して会議通話をする

<一斉放送会議通話> 工事

▼ 呼び出しかた

1. **外線または内線と通話中**

2. ▭（会議ボタン）を押す

```
                    会議 通話
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. ⑧ ② ⓪ を押す

820 は、放送の特番（初期値）です。

```
                    会議 通話
放送 No.
```

4. ⓪ を押す

0 は、すべての外部スピーカを呼び出すときの番号です。

```
放送        一斉
```

5. 呼出をする

外部スピーカから呼出の音声が聞こえます。

6. 相手が出たら、会議通話を始めることを伝える

7. ▭（会議ボタン）を押す

8. ▭（会議ボタン）を押す

```
  LINE 001        会議 通話
      120
```

これで、会議通話になりました。

こんなときは

ほかの人も参加させたい

手順 2 からの操作をくり返すと、ほかの人も参加させることができます。

よく構内放送を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに一斉放送ボタンやグループ放送ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

一般電話機で操作したい

次の操作をすると、会議通話できます。

- 呼び出す側：
  外線通話中 → フッキング →[802]→[820]→[0]→呼出 → 受話器を持ったまま待つ → 内線通話 → フッキング → フッキング → 会議通話
- 応答する側：
  呼出中 → 受話器を上げる →[822]→[0]→ 内線通話 → 受話器を持ったまま待つ → 会議通話

ドアホン

本システムにドアホンまたは IP カメラドアホンを接続して、次のようなことができます。
- 電話機からドアホンに応答する
- ドアホンの周囲の音を電話機から聞く
- 電話機からドアのかぎを開ける
- ドアホン着信を外線に転送する

ドアホンの利用例

<ドアホン> 工事
ドアホン(IP カメラドアホンを含む)は、最大 8 台まで接続することができます。このドアホンに対し、電話機から応答できます。ドアホンの呼び出しには、多機能電話機や一般電話機からも応答できます。

ドアホンに応答する

工事
ドアホンからの呼び出しに応答することができます。

▼ 受けかた

1. **ドアホン着信中**
2. **受話器を上げる**
3. **ドアホンと通話する**

こんなときは
ドアホンの着信に、外出先から応答したい
ドアホンの着信を、外線に自動転送することができます。
『ドアホンへの着信を外線に転送する』(⇒P.3-50)を参照してください。

ドアホンの周囲の音を聞く

<ドアホンモニタ> 工事
ドアホンを呼び出し、周囲の音を聞いたり、来訪者がいるかどうかを確認することができます。

▼ 呼び出しかた

1. **受話器を上げる**

2. ⑧ ③ ⑥ **を押す**

836 は、ドアホン呼出の特番（初期値）です。

836

3. **ドアホンの番号を押す**

通話 ﾄﾞｱ-1

4. **ドアホンの周囲の音を聞く**

ドアホンに呼びかけて、来訪者がいるかどうかを確認します。

こんなときは

よくドアホン呼出を利用する方へ

電話機のファンクションボタンにドアホン呼出ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

ドアのカギを開ける

<ドアホンロック開錠> 工事

ドアホンに応答後、電話機からの操作でドアのカギを開けることができます。

▼ カギの開けかた

1. **ドアホンと通話中**

通話 ﾄﾞｱ-1

2. フック **を押す**

ﾄﾞｱﾛｯｸ 解除

3. **カギが開く**

これで、ドアのカギが開きました。

こんなときは

一般電話機で操作したい

次の操作をすると、カギを開けられます。
ドアホンと通話中 → フッキング → カギが開く

ドアホンへの着信を外線に転送する

工事

夜間や外出時、ドアホンへの着信を携帯電話などに転送し、外出先から応答します。

注意

ドアホンへの着信を外出先に転送する場合、転用の外線は、必ず ISDN 回線を使用してください。
詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**

2. ⊛ ① ⑧ を押す
   *18 は、ドアホン着信の外線転送の特番（初期値）です。
3. ドアホンの番号（1～8）を押す
4. 転送先の電話番号を登録しておいた共通短縮番号を押す
5. 受話器を戻す

▼ 解除のしかた

1. 受話器を上げる
2. ⊛ ① ⑧ を押す
   *18 は、ドアホン着信の外線転送の特番（初期値）です。
3. ⓪ を押す
4. 受話器を戻す

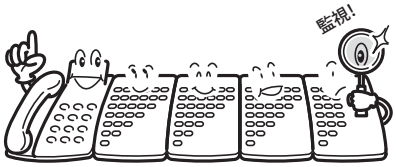
DSS コンソール

DSS コンソールは、60 個のボタンがついた集中受付装置です。
DSS コンソールで、次のようなことができます。
- 会社の受付台として使い、内線や外線の使用状況を表示する
- ACD の集中監視台として使い、受付者の稼動状況を表示する
- ホテルシステムのルーム状態監視台として使い、チェックイン・チェックアウトの状況を表示する

DSS コンソールについて

工事

DSS コンソールは、システム全体で最大 32 台まで接続できます。
DSS コンソールのボタンには、いろいろな機能を設定することができます。設定できる機能については『利用できる機能と利用中の表示』(⇒P.3-53)を参照してください。



DSS コンソールのランプ表示モード

DSS コンソールの 60 個のボタンに、DSS／ワンタッチボタン機能を設定すると、そのボタンに登録した内線電話機の状態をランプ表示することができます。
DSS コンソールのランプ表示には、用途に応じて次の 3 つのモードがあります。

▼ ビジネスモード

おもに内線への電話取り次ぎ用として使います。
ボタンに登録された各内線の使用状態が、ランプの点灯・点滅でわかります。

DSS コンソールに登録された内線の状態	DSS コンソールのランプ表示
• 電話機を使っていない状態 • 外線一般着信中(鳴動しない電話機)	消灯
• 通話中 • 内線着信中(個別着信、専用線着信、ダイヤルイン着信を含む) • 保留リコール中 • 外線一般着信中(鳴動する電話機)	赤点灯
• 着信拒否中(外線着信拒否を除く)	速い赤点滅
• 伝言が設定されている状態	緑点灯

▼ ACD 監視モード

おもに ACD の監視台用として使います。
ボタンに登録された各受付者のログインなどの状態が、ランプの点灯・点滅でわかります。

DSS コンソールに登録された受付者の状態	DSS コンソールのランプ表示
• 一般電話機	消灯

DSS コンソールに登録された受付者の状態	DSS コンソールのランプ表示
• 通話中 • 後処理中	赤点灯
• 離席中 • ログアウト中	遅い 2 点滅(間をあけて 2 回ずつ点滅)
• ログイン中	遅い点滅
• EMG コール中	速い赤点滅

▼ ホテルモード

おもにホテルのフロント用として使います。
ボタンに登録された各部屋のチェックインなどの状態が、ランプの点灯・点滅でわかります。

DSS コンソールに登録された部屋の状態	DSS コンソールのランプ表示
• チェックアウト中	消灯
• チェックイン中	赤点灯
• 伝言が設定されている状態	緑点灯

利用できる機能と利用中の表示

工事

DSS コンソールの 60 個のボタンに、次のような機能を割り付けて利用できます。割り付けた機能によって、その機能の設定状態などをランプ表示します。

注意

DSS ボタンへの機能割付は、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

番号	ボタンの種類	機能内容	ランプ表示
01	DSS／ワンタッチ	あらかじめ登録しておいた相手にかける	内線番号を登録した場合、ランプ表示モードに応じて、その内線電話機の状況を表示する • 『DSS コンソールのランプ表示モード』(⇒P.3-52)参照
02	マイク	ハンズフリー通話をするためのマイクを ON／OFF する	• ON :赤点灯 • OFF:消灯
03	着信拒否	着信拒否を設定／解除する	• 設定中:赤点灯
04	BGM	多機能電話機から流す BGM を ON／OFF する	• ON :赤点灯 • OFF:消灯
05	ヘッドセット	ヘッドセットモードを ON／OFF する	• ON :赤点灯 • OFF:消灯
06	転送	多機能電話機の転送ボタンと同じように使う	―
07	会議	会議通話に招集する	• 会議操作中:赤点灯

番号	ボタンの種類	機能内容	ランプ表示
08	着信履歴	着信履歴を表示する	• 新着信履歴あり:速い赤点滅 • 着信履歴あり:赤点灯 • 着信履歴なし:消灯
09	運用モード切替	本システムの運用モードを切り替える	運用モード番号個別ボタン • 運用モード設定中:赤点灯 • 他運用モード動作中:消灯 トグル切替ボタン • 運用モード 1、5～8 設定中:消灯 • 運用モード 2 設定中:赤点灯 • 運用モード 3 設定中:遅い赤点滅 • 運用モード 4 設定中:速い赤点滅
10	着信転送	着信転送を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 被設定中:速い赤点滅
11	話中転送	話中転送を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 被設定中:速い赤点滅
12	不応答転送	不応答転送を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 被設定中:速い赤点滅
13	話中・不応答転送	話中・不応答転送を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 被設定中:速い赤点滅
14	不在着信転送	不在着信転送を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 被設定中:速い赤点滅
15	フォローミー	フォローミーを設定／解除する	• 設定中:速い赤点滅 • 被設定中:遅い赤点滅
16	未使用	―	―
17	未使用	―	―
18	テキストメッセージ	テキストメッセージを設定／解除する	• 設定中:赤点灯
19	グループ放送	構内放送で、グループ放送を行う	• 放送中:赤点灯
20	放送	構内放送で、一斉放送を行う	• 放送中:赤点灯
21	内線グループ呼出	自分が所属する内線グループで、一斉呼出を行う	• 呼出中:赤点灯
22	内線一斉呼出	内線グループを指定して、一斉放送を行う	―
23	内線グループ呼出応答	内線グループ呼出に応答する	―
24	代理応答	ほかの内線への着信を代わりに受ける	―
25	他グループ代理応答	ほかの内線グループへの着信を代わりに受ける	―
26	グループ指定代理応答	内線グループを指定して、着信を代わりに受ける	―
27	共通／個別短縮	共通／個別短縮ダイヤルを使って電話する	―
28	グループ短縮	グループ短縮ダイヤルを使って電話する	―

番号	ボタンの種類	機能内容	ランプ表示
29	リピートダイヤル	リピートダイヤルを設定／解除する	• リピートダイヤル中：速い赤点滅
30	セーブドナンバーリダイヤル	セーブドナンバーリダイヤルを登録／利用する	―
31	メモダイヤル	メモダイヤルを登録／利用する	―
32	口頭会議招集	口頭で呼んだ人を会議通話に参加させる	―
33	話中呼出	通話中の相手に電話をかける	―
34	通話割り込み	ほかの人の通話に割り込む	―
35	予約（外線・内線共用）	外線が開くまで待つ、または内線通話中の人を待つ	• 予約中またはコールバック設定中：赤点灯
36	ステップコール	相手が出ないとき、同じ内線グループの人を呼び出し直す	―
37	バイパスコール	着信転送や着信拒否を設定中の人を呼び出す	―
38	伝言	相手のメッセージランプに、伝言表示を設定する	• 伝言の設定先：緑点滅
39	ルームモニタ	会議室などの様子を電話機で聞く／聞かせる	• モニタ中：遅い赤点滅 • 被モニタ中：速い赤点滅
40	送話カット	通話中、こちらの声だけを一時的に消す	• 送話カット中：赤点灯
41	ブザー	電話機でブザー呼出を行う	• 発信側：赤点灯 • 着信側：速い赤点滅
42	幹部着信代理応答	常に取り次ぎを介して電話を受けるように設定／解除する	• 幹部着信代理応答設定中：赤点灯
43	折り返し転送	取り次ぎ先の通話が終了後、取り次ぎ元に通話を戻す	―
44	共通保留	ほかの電話機から応答できるように保留する	―
45	個別保留	ほかの電話機から応答できないように保留する	―
46	内線グループ一時離脱	その内線が所属している内線グループから、一時的に抜ける	• 離脱中：赤点灯
47	未使用	―	―
48	未使用	―	―
49	コールリダイレクト	外線の一般着信、外線個別着信、内線着信を、あらかじめ設定された内線に転送する	―
50	アカウントコード	料金管理用のアカウントコードを入力する	―
51	汎用リレー	汎用リレーを操作する	• ON ：赤点灯 • OFF：消灯
52	着信お待たせ設定	着信お待たせメッセージの送出を開始／終了する	• 設定中：赤点灯

番号	ボタンの種類	機能内容	ランプ表示
53	着信お待たせメッセージ起動	着信中に、着信お待たせメッセージの送出を開始する	• 起動中：赤点灯
54	ドアホン着信の外線転送設定	ドアホン着信の外線転送を設定／解除する	• 設定中：赤点灯
55	内線名称編集	電話機の使用者の名前を設定する	―
56	在席表示操作	DSS コンソールの在席表示の操作を行う	• 在席中（001～100）：赤点灯 • 在席中（101～200）：緑点灯 • 在席中（201～300）：赤点灯 ⇒ 緑点灯 • 離席中：消灯
57	在席表示	DSS コンソールの在席表示を行う	
58	内線グループ毎の自動転送設定／解除	内線グループ毎の自動転送を設定／解除する	• 設定中：遅い赤点滅
59	内線グループ毎の不応答転送設定／解除	内線グループ毎の不応答転送を設定／解除する	• 設定中：遅い赤点滅
60	内線グループ毎の着信拒否設定／解除	内線グループ毎の着信拒否を設定／解除する	• 設定中：遅い赤点滅
61	ID 入力	課金 ID 機能使用時の ID を入力する	• 設定中：赤点灯
62	未使用	―	―
63	発番号通知拒否モード（I NS）	発信者番号を通知しないで発信する	• 発番号通知拒否モード中：赤点灯
64	キーパッドファシリティ	INS ボイスワープなどを利用する	• キーパッド送出中：赤点灯
65	INS 通信中転送	ISDN 回線の話中転送機能を設定する	• 網保留中：赤点灯
66	CTI 通信	CTI 機能動作表示をする	• CTI 動作中：赤点灯
67	メールボックス	メッセージの宛先としてメールボックスを指定する、またメッセージ到着通知表示をする	• 新しいメッセージあり：速い赤点滅 • ボイスメールアクセス中：赤点灯 • メッセージ聞き取り後：消灯
68	ボイスメールサービス（スキップ、バックスキップ）	録音されたメッセージを再生中に、メッセージをスキップ／バックスキップする	―
69	通話録音サービス	通話録音を開始、終了する	通話録音ボタンとして使用時 • 通話録音中：赤点灯
70	留守番電話	内線留守番サービスを設定／解除する	• 全着信転送設定中：赤点灯 • 話中／不応答転送設定中：赤点滅 • 解除中：消灯
71	留守番応答メッセージ切替	高機能ボイスメールの留守番サービス時、電話をかけてきた相手に流す応答メッセージを切り替える	• 応答メッセージ 1 設定中：消灯 • 応答メッセージ 2 設定中：赤点灯 • 応答メッセージ 3 設定中：赤点滅
72	未使用	―	―

番号	ボタンの種類	機能内容	ランプ表示
:			
80	未使用	―	―
81	外線毎の自動転送ボタン	外線毎の自動転送機能を設定する	• 設定中:遅い赤点滅 • 解除中:消灯
82	DtermIP 通話情報表示	DtermIP で、通話情報を表示する	―
83	未使用	―	―
84	切断再捕捉	通話終了後、そのまま使っていた外線で次の相手に電話をかける	―
85	未使用	―	―
86	発番号非通知拒否設定	発番号非通知の着信に対する着信拒否を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 解除中:消灯
87	発番号による着信拒否設定	発番号による着信拒否を設定／解除する	• 設定中:遅い赤点滅 • 解除中:消灯
88	ダイヤルイン呼番号毎のモード切替	ダイヤルイン呼番号毎に、モードを切り替える	• パターン 1、5～8 設定中:消灯 • パターン 2 設定中:赤点灯 • パターン 3 設定中:遅い赤点滅 • パターン 4 設定中:速い赤点滅
89	個人登録発信規制機能スイッチ	個人登録発信規制機能を設定／解除する	• 設定中:赤点灯 • 解除中:消灯
90	個人登録発信規制データ登録	再ダイヤル 01 のダイヤルデータまたは任意の電話番号を、個人登録発信規制のデータとして登録する	―
97	ドアホン呼び出し	ドアホンを呼び出す	• 通話中:赤点灯 • 呼び出し中:速い赤点滅 • 待ち受け中:消灯
#13	発信者番号通知	外線発信する際に、外線網に通知する発信者番号を設定する。	• 設定中:赤点灯 • 解除中:消灯
*01	外線	外線にかける	• 自分が通話中:緑点灯 • 自分が保留中:緑点滅 • ほかの人が通話中:赤点灯 • ほかの人が保留中:赤点滅
*04	パーク保留	パーク保留する／パーク保留に応答する	• 自分がパーク保留中:緑点滅 • ほかの人がパーク保留中:赤点滅
*07	ステーションパーク保留	ステーションパーク保留する／ステーションパーク保留に応答する	• 保留中:緑点滅

DSS コンソールの使いかた

工事

▼ 登録内容の確認のしかた

1. Help を押す

   IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
   ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

   ```
   ﾁｪｯｸ
   ```

2. 確認したいボタンを押す

   登録内容が表示されます。

   ```
   ﾁｪｯｸ          ｺﾝｿｰﾙ04 ｷｰ001
                  局線 ﾎﾟｰﾄ 001
   ```

3. Help を押すと、元の表示に戻る

▼ 運用モードの切替

1. 運用モード切替ボタンを押す
2. 運用モード切替ボタンが赤点灯する

これで、運用モードの切替ができました。

▼ 内線を呼び出す

1. 受話器を上げる
2. DSS コンソールの ▭（内線呼出ボタン）を押す

   内線番号を登録しておいた DSS／ワンタッチボタンです。
3. 相手が出たら、通話する

▼ 内線グループを呼び出す

1. DSS コンソールの ▭（内線ページング呼出ボタン）を押す
2. 受話器を上げる
3. 一斉呼出をする
4. 相手が出たら、通話する

▼ 構内放送で呼び出す

1. DSS コンソールの ▭（グループ放送ボタンまたは一斉放送ボタン）を押す
2. 受話器を上げる
3. 一斉呼出をする
4. 相手が出たら、通話する

▼ 外線通話を取り次ぐ

1. **外線と通話中**
2. **DSS コンソールの ▭（内線呼出ボタン）を押す**
   内線番号を登録しておいた DSS／ワンタッチボタンです。通話中に内線呼出ボタンを押すと、通話を保留して、内線を呼び出します。
3. **相手が出たら、用件を伝える**
4. **[転送] を押す**
5. **受話器を戻す**

これで、外線通話の取り次ぎができました。

システム着信履歴

工事

システム着信履歴を表示させるボタンは、管理者等の多機能電話機に 1 つ設定できます。

使いかた

管理者等が多機能電話機のこのボタンを使って、システム全体に対する外線からの着信の履歴を最新のものから 200 個表示できます。
複数の多機能電話機にこのボタンを設定することはできますが、同時に履歴を表示できる電話機は 1 台だけです。
また、この表示ではどの内線に着信したかは判りません。

使いかた

こんなときは

システム着信履歴のボタンが赤く光っているときは、他の管理者等の方がシステム履歴チェック中です。消灯してから使ってください。

1. 多機能電話機の待機状態で、□（システム着信履歴ボタン）を押す

システム全体の外線着信のうち最新の着信が 3 件表示されます。

```
001   9-30  16:13      山田さん
002   9-30  15:58      佐藤さん
003   9-30  15:22      高橋さん
```

（確定）ボタンを押すと履歴詳細画面が表示されます。

クリアボタンを押すと、着信履歴画面に戻ります。

履歴詳細画面

```
01 :
不在    9-30  16:02  0300003333
                登録      削除
```

2. ソフトキーの上下キー又は十字キー の上下を押して検索する

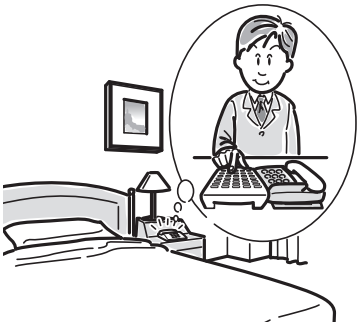
最新から 200 件まで検索可能です。

```
198   9-26   8:05      鈴木さん
199   9-25  20:46      田中さん
200   9-25  19:34      伊藤さん
```

着信の検索、ジャンプ機能及び、本機能による着信の全てを一括して削除することはできません。

ホテル機能

本システムには、ホテル向けの機能として、次のようなものがあります。
- チェックイン・チェックアウト（客室状態の変更）
- モーニングコール
- 伝言（メッセージ・ウェイティング）
- DSS コンソールによる客室状態表示
- 客室情報プリントアウト
- ホテル・ルームモニタ



チェックイン・チェックアウトについて

工事

客室に宿泊客がいるかどうかで、その客室の電話機からの発信を許可または規制する機能です。これにより、客室電話機の不正使用を防止できます。
チェックイン・チェックアウトの切り替えは、フロントの多機能電話機から行います。

注意

チェックイン・チェックアウトボタンを利用するには、工事段階の設定で、フロントの多機能電話機のファンクションボタンにチェックイン・チェックアウトボタンを割り付けておくか、または DSS コンソールに客室呼出ボタンを割り付けておく必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 客室番号を押して切り替える

1. （チェックインボタン）を押す
2. 客室番号を押す
3. DSS コンソールの （客室呼出ボタン）が赤点灯する

これで、チェックインが設定できました。
上記の操作で、チェックインボタンの代わりにチェックアウトボタンを押すと、チェックアウトできます。

▼ 客室呼出ボタンを使って切り替える

1. 特殊 を押す
2. DSS コンソールの （客室呼出ボタン）を押す
3. DSS コンソールの （客室呼出ボタン）が赤点灯する

これで、チェックインが設定できました。
上記の操作をもう一度くり返すと、チェックアウトできます。

モーニングコールについて

客室の一般電話機から、指定した時刻にアラームを鳴らす機能です。
モーニングコールの設定は、特番操作で行います。

▼ 設定のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **モーニングコール設定の特番を押す**
   特番は工事段階で設定しますので、販売店にご確認ください。
3. **モーニングコールを鳴らしたい時刻を入力する**
   24 時間制で入力します。
   例:午前 7 時 30 分の場合は 0730 と入力する
4. **“ピッ” という音が聞こえる**
5. **受話器を戻す**

これで、モーニングコールが設定できました。

こんなときは

“ピッ” という確認音の代わりにアナウンスを流したい

工事段階の設定により、次のいずれかを設定することができます。

- “ピッ”という確認音のみ
- 特定の VRS メッセージ
- モーニングコール時刻のアナウンスと特定の VRS メッセージ

詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 確認のしかた

1. **受話器を上げる**
2. **モーニングコール確認の特番を押す**
   特番は工事段階で設定しますので、販売店にご確認ください。
3. **設定した時刻のアナウンスが流れる**
   例:午前 6 時 30 分に設定した場合は“午前 6 時 30 分です”とアナウンスが聞こえます。
   設定されていない場合は“設定されていません”とアナウンスが聞こえます。
4. **受話器を戻す**

これで、モーニングコールの確認ができました。

▼ 解除のしかた

1. **モーニングコール設定中**
2. **受話器を上げる**
3. **モーニングコール解除の特番を押す**
   特番は工事段階で設定しますので、販売店にご確認ください。
4. **“ピッ” という音が聞こえる**
5. **受話器を戻す**

これで、モーニングコールが解除できました。

▼ 止めかた

モーニングコールが鳴ったときは、次のように止めます。

1. **モーニングコール鳴動中**
2. **受話器を上げる**
   アラーム音が止まり、保留音が聞こえます。
3. **受話器を戻す**

これで、モーニングコールを止めることができました。

伝言（メッセージウェイティング）について

客室電話機のメッセージウェイティングランプに伝言表示をして、フロントで伝言を預かっていることを知らせる機能です。伝言の設定は、フロントの多機能電話機から行います。

注意

伝言（メッセージウェイティング）を利用するには、工事段階の設定で、フロントの多機能電話機のファンクションボタンに「伝言設定」特番をワンタッチボタン登録しておく必要があります。詳しくは、『番号計画について』（⇒P.5-14）および『ワンタッチボタンを使ってかける』（⇒P.1-89）を参照してください。

▼ 設定のしかた

<伝言>

1. **□（伝言ボタン）を押す**
2. **客室番号を押す**
3. **DSS コンソールの □（客室呼出ボタン）が緑点灯する**
   客室電話機のメッセージウェイティングランプが伝言表示状態になります。

これで、伝言があることを知らせることができました。
911 と客室番号を押すと、伝言を解除できます。

▼ 受けかた

<伝言への応答>

1. **客室電話機の受話器を上げる**
2. **⑨ ⓪ ⑨ を押す**
   909 は、伝言の特番（初期値）です。
3. **フロントの電話機を呼び出す**
   伝言を設定した電話機を呼び出します。
4. **フロントが出たら、伝言の内容を聞く**

DSS コンソールによる客室状態表示について

DSS コンソールのランプを点灯させて、各客室の使用状態を表示する機能です。詳しくは『DSS コンソール』（⇒P.3-52）を参照してください。

客室情報出力について

工事

客室情報出力は、客室のチェックイン・チェックアウト状態をパソコン等に出力する機能です。

セキュリティ

本システムには、セキュリティ機能として、次のようなものがあります。
- 夜間などに社内に警戒中メッセージを放送する
- セキュリティセンサに連動して管理者に通報すると共に社内に威嚇メッセージを放送する
- 自動で在席確認を行い、応答が無い場合管理者に通報する

社内に警戒中メッセージを放送する

<セキュリティ放送> 工事
セキュリティ放送を設定すると、一定時間ごとに複数の多機能電話機のスピーカおよび構内放送装置からあらかじめ録音した、警戒中メッセージを送出します。

▼ 開始のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑧ ⑥ ③ **を押す**
863 は、セキュリティ放送の特番(初期値)です。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ放送設定
1:登録　0:解除
```

3. ① **を押す**
確認音(プッ)が聞こえます。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ放送設定
ｾｷｭﾘﾃｨ放送終了
```

4. スピーカ **を押す**

これで、セキュリティ放送を開始できます。

▼ 終了のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⑧ ⑥ ③ **を押す**
863 は、セキュリティ放送の特番(初期値)です。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ放送設定
1:登録　0:解除
```

3. ⓪ **を押す**
確認音(プッ)が聞こえます。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ放送設定
ｾｷｭﾘﾃｨ放送終了
```

4. スピーカ **を押す**

これで、セキュリティ放送を開始できます。

こんなときは

運用モードと連動させたい

運用モードの切替とセキュリティ放送を連動させること ができます。
さらに、自動運用モード切替と連動させてあらかじめ設定 した時間にセキュリティ放送の開始や終了を行うこと が できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

セキュリティセンサに連動して通報する

<セキュリティセンサ連動> 工事

セキュリティセンサ動作中にセンサからの接点動作を検出した場合、登録してある電話番号に自動通報すると共に、複数の多機能電話機のスピーカおよび構内放送装置からあらかじめ録音した警告メッセージを送出して不審者を威嚇します。通報先が応答した場合、あらかじめ録音したメッセージを再生／通知し、その後指定内線からのモニタ状態となり、指定内線付近の物音の確認ができます。さらに＊押下でハンズフリー状態とし、スピーカを通して威嚇することができます。警告メッセージのみ、または、自動通報のみの運用も可能です。

▼ 開始のしかた

1. スピーカ を押す
2. ⑧ ⑥ ④ を押す

   864 は、セキュリティセンサ連動の特番（初期値）です。

```
セキュリティセンサ連動設定
1:登録 0:解除
```

3. ① を押す

   確認音（プッ）が聞こえます。

```
セキュリティセンサ連動設定
XXXX秒後に検出開始
```

4. スピーカ を押す

これで、セキュリティセンサ連動を開始設定できます。
表示秒後（セキュリティセンサ連動開始待ち時間初期値：60 秒）にセキュリティセンサ連動を開始します。時間内にセキュリティセンサ検出範囲から離れてください。

こんなときは

セキュリティセンサ連動開始待ち時間を変更したい

セキュリティセンサ連動開始待ち時間は、工事段階で設定します。詳しくは販売店にお問い合わせください。

▼ 終了のしかた

1. スピーカ を押す
2. ⑧ ⑥ ④ を押す

   864 は、セキュリティセンサ連動の特番（初期値）です。

```
セキュリティセンサ連動設定
1:登録 0:解除
```

3. ⓪ **を押す**

確認音(プッ)が聞こえます。

```
セキュリティセンサ連動設定
セキュリティセンサ連動終了
```

4. スピーカ **を押す**

これで、セキュリティセンサ連動を終了できます。

こんなときは

運用モードと連動させたい

運用モードの切替とセキュリティセンサ連動を連動させることができます。
さらに、自動運用モード切替と連動させあらかじめ設定した時間にセキュリティセンサ連動の開始や終了を行うことができます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

▼ セキュリティセンサ連動通報への応答

1. **システムからのセキュリティセンサ連動通報に応答する**

2. **通報メッセージが流れます**

通報メッセージが終了するとモニタ状態となり、多機能電話機のマイクから周囲音を確認できます。

3. ⊛ **を押す**

ハンズフリー状態となり、多機能電話機のスピーカを通して音声で威嚇、マイクからのモニタができます。

自動で在席確認をする

<リモート確認> 工事

リモート確認先に設定された内線は、システムが自動で毎日決まった時刻に呼び出します。呼び出しに応答が無い場合、あらかじめ設定されている電話番号に通報し、通報メッセージを送出します。その後モニタ状態となり、内線付近の物音の確認ができます。さらに＊押下でハンズフリー状態とし、内線使用者への呼びかけができます。確認先内線が応答した場合は、確認メッセージを送出します。

▼ 確認呼出しへの応答

1. **確認鳴動中**

```
確認                    13：00
```

2. **受話器を上げる**

3. **確認メッセージが聞こえます**

4. **受話器を置きます**

これで、リモート確認へ応答ができます。

▼ リモート確認不応答通報への応答

1. **システムからのリモート確認不応答通報に応答する**

2. **通報メッセージが流れます**

通報メッセージが終了するとモニタ状態となり、多機能電話機のマイクから周囲音を確認できます。

3. ⊛ を押す

ハンズフリー状態となり、多機能電話機のスピーカを通して内線使用者への呼びかけ、マイクからのモニタができます。

こんなときは

リモート確認先内線や、確認時間を変更したい

リモート確認先内線および確認時間は、工事段階で設定します。詳しくは販売店にお問い合わせください。

ダイレクト通話料金管理

ダイレクト通話料金管理について..... 4-2
ダイレクト通話料金管理を利用する..... 4-7
困ったときは..... 4-54

ダイレクト通話料金管理について

おもな機能

ダイレクト通話料金管理では、蓄積された通話データ(通話料金や通話時間など)を用途に合わせ、専用プリンタから印刷することができます。

注意

ダイレクト通話料金管理を利用するには、工事段階での設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 通話料金集計・明細印刷機能

電話機からの特番操作で、各種通話料金の集計内容や通話内容の明細を印刷することができます。

注意

- 複数の電話機から同時に操作することはできません。1 台の電話機で操作してください。
- 外線の通話料金とは、料金管理の対象になっている外線への着信を、ほかの外線に転送したときの料金を指します。
- ID とは、内線番号とは別に、通話料金を集計することができる番号で、電話機を使用する際に設定することにより利用できます。フリーデスクのオフィスなどで利用するときに便利です。
  ID 番号を利用した電話のかけかたについては『▼ ID ごとの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-17)を参照してください。
- 外線グループとは、印刷対象として設定されている外線全体を指します。
- ID グループとは、印刷対象として設定されている ID 全体を指します。

印刷可能な項目（メニュー）			参照先
番号毎	内線毎集計	内線毎明細	『▼ 内線ごとの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-8)
	外線毎集計	外線毎明細	『▼ 外線ごとの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-13)
	ID 毎集計	ID 毎明細	『▼ ID ごとの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-17)
グループ毎	内線グループ毎集計	内線グループ毎明細	『▼ 内線グループごとの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-22)
	外線グループ集計	外線グループ明細	『▼ 外線グループの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-29)
	ID グループ集計	ID グループ明細	『▼ ID グループの通話料金集計・明細を印刷する』(⇒P.4-35)

印刷可能な項目（メニュー）			参照先
システム一括	内線毎＋グループ合計＋システム合計集計	内線毎＋グループ合計＋システム合計明細	『▼ システム一括で通話料金集計・明細を印刷する』（⇒P.4-41）
	グループ合計＋システム合計集計	グループ合計＋システム合計明細	
即時明細			『通話終了と同時に明細を印刷する』（⇒P.4-50）
印刷テスト			『印刷のテストをする』（⇒P.4-7）

▼ 通話明細即時印刷

通話が終了するとすぐに、通話内容の詳細を自動で印刷することができます。

▼ 特番による内線の簡易集計印刷機能

- 個別内線精算特番
  各内線電話機ごとの通話料金集計を簡単に印刷できます。
- 全内線一括精算特番
  全内線電話機の通話料金集計を簡単に印刷できます。
  ※ 操作のしかたについては『特番で内線の通話料金集計を簡単に印刷する』（⇒P.4-52）を参照してください。

▼ システムアラームメッセージ表示機能

通話料金データを保存するエリアが残り少なくなった場合、システムアラームメッセージを電話機の表示器に表示してお知らせします。

▼ その他の機能

- プリンタ用紙の自動カット機能
  印刷終了時、用紙を自動カットするように設定できます。
- 消費税率の変更
  消費税率が変更になった場合、税率に応じて設定を変更することができます。
- 通話料金データの全消去
  システム内に保存されているすべての通話料金データを消去することができます。

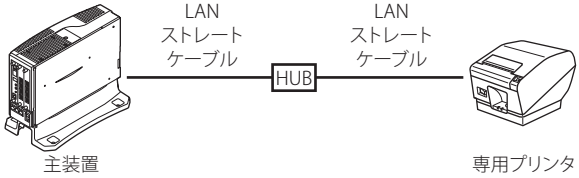
機器の構成

専用プリンタは、LAN 経由で主装置に接続することができます。

こんなときは

専用プリンタの接続について

詳しくは、販売店にご相談ください。



ご利用になる前に

- 次のような場合は、正しく印刷されません。
  - 印刷時にプリンタが正しく接続されていない場合
  - プリンタに異常が発生した場合
- データを消去する前に、印刷結果を必ず確認してください。正しく印刷されなかった場合も、表示器にはアラームが表示されず、操作を継続するための画面が表示されます。通話料金データを消去する前に、正しく印刷されたことを必ず確認してください。
  いったん消去した通話料金データは、再び印刷できませんので、ご注意ください。

- 設定できる通信事業者について
  通信事業者は、国内、国際、それぞれ最大 4 社まで設定することができます。
  設定されていない通信事業者を利用した場合は「国内その他」「国際その他」として集計されます。

〈一般回線で事業者選択した場合（マイライン含む）〉

通信事業者		印刷時の略称	事業者識別番号
国内通話	東日本電信電話（株）	NTT-E	0036
	西日本電信電話（株）	NTT-W	0039
	NTT コミュニケーションズ（株）	NTT-COM	0033
	（株）ケーディーディーアイ（旧 DDI）	KDDI0077	0077
	（株）ケーディーディーアイ（旧 KDD）	KDDI001	001
	ソフトバンクテレコム（株）	SBT0088	0088
	東京通信ネットワーク（株）	TTNet	0081
	九州通信ネットワーク（株）	QTNet	0086
	ソフトバンクテレコム（株）	SBT0061	0061
国際通話	NTT コミュニケーションズ（株）	NTT-COM	0033
	（株）ケーディーディーアイ（旧 DDI）	KDDI0077	0077
	（株）ケーディーディーアイ（旧 KDD）	KDDI001	001
	ソフトバンクテレコム（株）	SBT0041	0041
	東京通信ネットワーク（株）	TTNet	0082
	ソフトバンクテレコム（株）	SBT0061	0061

〈IP 回線（事業者固定）の場合〉

回線タイプ		印刷時の略称	事業者識別番号
国内共通／国内共通	ひかり電話（NTT 東／NTT 西）	NTT ﾋｶﾘ	―
	KDDI 光ダイレクト／KDDI 光ダイレクト over Powered Ethernet／KDDI－IP フォン／KDDI メタルプラス	KDDI IP	―
	おとくライン（ソフトバンク）	SBTｵﾄｸﾗｲﾝ	―
	OCN ドットフォンオフィス／.Phone Direct（NTT Com）	.Phone	―
	FUSION IP-Phone（楽天コミュニケーションズ）	FUSION IP	―
	FT Phone（フォーバル）	Forval FT	―

（注）国際通話料金は、消費税の対象外となっております。

- 次のような通話は課金されません。
  - 専用線
  - 航空機電話
  - 海事衛星通信
  - 電報
  - 申込電話
  - コレクトコール
- 印刷された通話料金は、各通信事業者から請求される金額とは必ずしも一致しませんので、あくまでも目安としてご利用ください。
  料金請求や支払いの対象としては、お使いにならないでください。

ダイレクト通話料金管理を利用する

印刷のテストをする

ダイレクト通話料金管理が、正しく動作することを確認するため、テスト用の印字データを印刷します。印刷テストは、何回でも行うことができます。

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ を押す

*13 は、通話料金印刷の特番（初期値）です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ⓪ を押す

```
ﾃｽﾄ印刷
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

4. ① を押す

テスト用の印字データが印刷されます。
印刷テストをキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
印刷中
```

印刷が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

5. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

6. 印刷結果を確認する

「印刷例①」を参照してください。

これで、印刷のテストができました。

こんなときは

正しく印刷されない

プリンタとのケーブル接続を確認してください。

- 印刷例① 印刷テスト

```
*****************************************
              テスト印刷
*****************************************
          2018年 3月 2日(金) 08:50:20
バージョン          :  1. 0
即時明細設定        :  有り
オートカット設定    :  有り
ダイヤルマスク設定  :  無し
プリンタ種別        :  TSP700Ⅱ
```

番号ごとの通話料金集計・明細を印刷する

番号(内線／外線／ID)ごとの通話料金の集計内容、通話内容の明細を印刷することができます。通話料金集計、通話明細の順に印刷します。

注意

- 番号(内線・外線・ID)ごとの通話料金集計や明細を印刷するには、番号を印刷対象とするかどうかをシステムに登録しておく必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 指定した番号が外線発信通話／転送中の場合、その通話にかかる料金は、集計・明細印刷結果には含まれません。このとき、集計・明細印刷結果の最終行に「外線通話中」と印刷されます。通話中の料金は、通話が終了すると通話料金データに加算されます。
- 通話料金データの蓄積件数が 20,000 件を超えると、それ以降の通話明細は保存されません。この場合、通話料金は「溢れ料金」として積算され、集計・明細印刷の最後に印刷されます。
- フリーダイヤルでの外線発信通話／転送に関わる明細も、印刷されます。

こんなときは

操作を中断したい

操作中、スピーカボタンを押すと、操作を中断して通常の表示に戻ります。この場合でも、消去の操作をしない限り、通話料金データは保持されています。

複数の通話料金集計・明細を印刷したい

メニュー画面に戻ったとき、引き続き手順 2 から操作を行います。

通話料金データのクリアについて

一度消去した期間の通話料金データは、印刷対象期間内でも、再び印刷することはできません。

期間Bのデータを消去済みの場合

※ このとき、対象期間内の合計は、400 円と印刷されます。

▼ 内線ごとの通話料金集計・明細を印刷する

各内線電話機ごとに、外線にかけた通話料金の集計や明細を印刷することができます。

《内線ごとの集計を印刷する》

<内線毎集計印刷>

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ を押す

*13 は、通話料金印刷の特番（初期値）です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ① を押す

```
番号集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ① を押す

```
内線集計
内線番号
```

5. 内線番号（最大 8 桁）を押す

```
集計期間
集計開始日
```

6. 集計開始日を入力する

例:2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

7. 集計締め日を入力する

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
内線2001              693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

8. ① を押す

指定した内線の集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《内線ごとの明細を印刷する》』（⇒P.4-11）の手順に進んでください。

```
印刷中
```

9. 印刷結果を確認する

「印刷例②-1」「印刷例②-2」「印刷例②-3」を参照してください。

これで、内線ごとの集計印刷ができました。
『《内線ごとの明細を印刷する》』（⇒P.4-11）の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 6 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

- 印刷例②-1 内線毎集計
  指定内線が外線発信通話していない場合

```
****************************************
              番号毎集計
****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
----------------------------------------
       国内小計              １，３００円
         消費税                    ６５円
----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                        ５００円
----------------------------------------
       国際小計                  ６００円
----------------------------------------
            合計              １，９６５円
```

```
****************************************
              番号毎集計
****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
            合計                      ０円
```

- 印刷例②-2 内線毎集計
  指定内線が外線発信通話中の場合

```
****************************************
              番号毎集計
****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
----------------------------------------
       国内小計              １，３００円
         消費税                    ６５円
----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                        ５００円
----------------------------------------
       国際小計                  ６００円
----------------------------------------
            合計              １，９６５円
                            外線通話中
```

```
****************************************
              番号毎集計
****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
            合計                      ０円
                            外線通話中
```

- 印刷例②-3 内線毎集計
  溢れ料金が存在する場合

```
*****************************************
              番号毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
       国内小計              １，３００円
         消費税                    ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0041    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                        ５００円
-----------------------------------------
       国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
       溢れ料金                  ５００円
-----------------------------------------
            合計              ２，４６５円
```

```
*****************************************
              番号毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
       溢れ料金                  ５００円
-----------------------------------------
            合計              ２，４６５円
```

《内線ごとの明細を印刷する》

<内線毎明細印刷>

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷  0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

指定した内線の明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話料金データを消去・保持したい場合は、0 を押します。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-12)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-13)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例③」を参照してください。

これで、内線ごとの明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-12)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-13)の手順に進んでください。

- 印刷例③ 内線毎明細

```
*****************************************
              番号毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                    ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                    １００．０円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:45:15
 通話時間                        00:14:40
 ダイヤル 0078033984323#        KDDI0078
 通話料金                    ５００．０円
-----------------------------------------
       国内小計              １，９０１円
         消費税                  ６５円
-----------------------------------------
           合計              １，９６６円
```

```
*****************************************
              番号毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
                            明細データ無し
```

注意

- 集計印刷と明細印刷で、同集計期間でも合計金額の印刷結果に数円の誤差が生じることがあります。これは、集計印刷と明細印刷の合計料金の算出方法が異なるためです。
- 明細印刷時の通話料金データは、通話を開始した順ではなく、通話が終了した順に印刷されます。

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ① を押す

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. ① を押す

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ⓪ を押す

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

▼ 外線ごとの通話料金集計・明細を印刷する

印刷対象の外線への着信が、ほかの外線に転送されたときの通話料金の集計や明細を印刷することができます。

《外線ごとの集計を印刷する》

<外線毎集計印刷>

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
      3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ を押す

*13 は、通話料金印刷の特番（初期値）です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ① を押す

```
番号集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ② を押す

```
外線集計
外線番号
```

5. 外線番号（1～400）を押す

外線番号は、必ず 3 桁で入力してください。
例：外線番号 1 のとき … 001
（1 桁の場合は、頭に「00」を付けます）
外線番号 99 のとき … 099
（2 桁の場合は、頭に「0」を付けます）

```
集計期間
集計開始日
```

6. 集計開始日を入力する

例：2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

7. 集計締め日を入力する

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
外線020                    693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

8. ① を押す

指定した外線の集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《外線ごとの明細を印刷する》』（⇒P.4-16）の手順に進んでください。

```
印刷中
```

9. 印刷結果を確認する

「印刷例④-1」「印刷例④-2」を参照してください。

これで、外線ごとの集計印刷ができました。
『《外線ごとの明細を印刷する》』(⇒P.4-16)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 6 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

- 印刷例④-1 外線毎集計
  指定外線が外線発信転送していない場合

```
*****************************************
              番号毎集計
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線：       20    名称：LINE 020
 NTT-E      料金            1，１００円
 KDDI0077   料金                  ０円
 SBT0088    料金              ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国内その他                         ０円
-----------------------------------------
       国内小計             1，３００円
         消費税                  ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金              １００円
 SBT0061    料金                  ０円
 NTT-COM    料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国際その他                    ５００円
-----------------------------------------
       国際小計                 ６００円
-----------------------------------------
           合計             1，９６５円
```

```
*****************************************
              番号毎集計
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線：       20    名称：LINE 020
           合計                      ０円
```

- 印刷例④-2 外線毎集計
  指定外線が外線発信通話中の場合

```
*****************************************
              番号毎集計
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線：       20    名称：LINE 020
 NTT-E      料金            1，１００円
 KDDI0077   料金                  ０円
 SBT0088    料金              ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国内その他                         ０円
-----------------------------------------
       国内小計             1，３００円
         消費税                  ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金              １００円
 SBT0061    料金                  ０円
 NTT-COM    料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国際その他                    ５００円
-----------------------------------------
       国際小計                 ６００円
-----------------------------------------
           合計             1，９６５円
                            外線通話中
```

```
*****************************************
              番号毎集計
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線：       20    名称：LINE 020
           合計                      ０円
                            外線通話中
```

《外線ごとの明細を印刷する》

<外線毎明細印刷>

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

指定した外線の明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話明細データを消去・保持したい場合は、0 を押します。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-16)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-17)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑤」を参照してください。

これで、外線ごとの明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-16)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-17)の手順に進んでください。

- 印刷例⑤ 外線毎明細

```
*****************************************
              番号毎明細
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線 :       20    名称 : LINE 020
 ;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 1，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                     ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                     １００．０円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:45:15
 通話時間                        00:14:40
 ダイヤル 0078033984323#        KDDI0078
 通話料金                     ５００．０円
-----------------------------------------
        国内小計              1，９０１円
          消費税                   ６５円
-----------------------------------------
            合計              1，９６６円
```

```
*****************************************
              番号毎明細
       ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    外線 :       20    名称 : LINE 020
 ;
                              明細データ無し
```

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **① を押す**

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. **① を押す**

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **⓪ を押す**

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

▼ ID ごとの通話料金集計・明細を印刷する

課金用の ID 番号ごとに、外線にかけた通話料金の集計や明細を印刷することができます。

こんなときは

ID 番号を利用した電話のかけかたについて

ID 番号を利用する場合は、次の手順で電話をかけます。
(注) あらかじめ電話機のファンクションボタンに、ID 入力ボタンを設定しておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

1. ID 入力ボタンを押す
2. ID 番号(最大 20 桁)を入力する
   工事段階で ID パスワードを設定していない場合は、手順④に進んでください。
3. ID パスワード(4 桁固定)を入力する
4. 電話番号を押す
5. 発信ボタンを押す
6. 相手が出たら、通話する

《ID ごとの集計を印刷する》

<ID 毎集計印刷>

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ を押す

*13 は、通話料金印刷の特番(初期値)です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ① を押す

```
番号集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ③ を押す

```
ID集計
ID
```

5. ID 番号 (最大 20 桁) を押す

6. 保留 を押す

```
集計期間
集計開始日
```

7. 集計開始日を入力する

例:2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

8. 集計締め日を入力する

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
ID集計                    693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

9. ① を押す

指定した ID の集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《ID ごとの明細を印刷する》』(⇒P.4-20)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

10. 印刷結果を確認する

「印刷例⑥-1」「印刷例⑥-2」を参照してください。

これで、ID ごとの集計印刷ができました。
『《ID ごとの明細を印刷する》』(⇒P.4-20)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 7 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

- 印刷例⑥-1 ID 毎集計
  指定 ID が外線発信通話していない場合

```
****************************************
              ＩＤ毎集計
****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
 NTT-E      料金            １，１００円
 KDDI0077   料金                  ０円
 SBT0088    料金              ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国内その他                       ０円
----------------------------------------
       国内小計            １，３００円
         消費税                ６５円
----------------------------------------
 KDDI001    料金              １００円
 SBT0061    料金                  ０円
 NTT-COM    料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                  ０円
 国際その他                    ５００円
----------------------------------------
       国際小計              ６００円
----------------------------------------
           合計            １，９６５円
```

```
****************************************
              ＩＤ毎集計
****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
           合計                   ０円
```

- 印刷例⑥-2 ID 毎集計
  指定 ID が外線発信通話中の場合

```
*****************************************
              ＩＤ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
 NTT-E      料金            １，１００ 円
 KDDI0077   料金                    ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                    ０円
 国内その他                         ０円
-----------------------------------------
       国内小計              １，３００円
         消費税                   ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                    ０円
 NTT-COM    料金                    ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                    ０円
 国際その他                        ５００円
-----------------------------------------
       国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
           合計              １，９６５円
                            外線通話中
```

```
*****************************************
              ＩＤ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
           合計                      ０円
                            外線通話中
```

《ID ごとの明細を印刷する》

<ID 毎明細印刷>

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

指定した ID の明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話明細データを消去・保持したい場合は、0 を押してください。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-21)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-22)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑦」を参照してください。

これで、ID ごとの明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-21)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-22)の手順に進んでください。

- 印刷例⑦ ID 毎明細

```
*****************************************
              ＩＤ毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                    ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                    １００．０円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:45:15
 通話時間                        00:14:40
 ダイヤル 0078033984323#        KDDI0078
 通話料金                    ５００．０円
-----------------------------------------
       国内小計              １，９０１円
         消費税                  ６５円
-----------------------------------------
           合計              １，９６６円
```

```
*****************************************
              ＩＤ毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
    ＩＤ：10221987654333
;
                            明細データ無し
```

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ① を押す

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. ① を押す

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. スピーカ **を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                 ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ⓪ **を押す**

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. スピーカ **を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                 ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

グループごとの通話料金集計・明細を印刷する

グループ番号(内線／外線／ID)ごとの通話料金の集計内容、通話内容の明細を印刷することができます。通話料金集計、通話明細の順に印刷します。
また、集計印刷は「内線／外線／ID 毎＋グループ合計」と「グループ合計のみ」の 2 通りがあり、どちらかを選択することができます。

こんなときは

操作を中断したい

操作中、スピーカボタンを押すと、操作を中断して通常の表示に戻ります。この場合でも、消去の操作をしない限り、通話料金データは保持されています。

「内線／外線／ID 毎＋グループ合計」と「グループ合計」の両方を印刷したい

一方の印刷を行い、通話料金データを保持したあと、もう一方の印刷を行ってください。最初の印刷時に通話料金データを消去すると、もう一方の印刷ができません。

▼ 内線グループごとの通話料金集計・明細を印刷する

各内線グループごとに、グループ全体の通話料金の集計や明細を印刷することができます。

《内線グループごとの集計を印刷する》

<内線グループ毎集計印刷>

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ を押す

*13 は、通話料金印刷の特番(初期値)です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ② を押す

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ① を押す

```
内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号
```

5. 内線グループ番号 (1～128) を押す

内線グループ番号は、必ず 2 桁で入力してください。
例:内線グループ番号 1 のとき … 01(1 桁の場合は、頭に「0」を付けます)

```
集計期間
集計開始日
```

6. 集計開始日を入力する

例:2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

7. 集計締め日を入力する

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ01                693円
1:個別+合計 2:合計
```

8. ① または ② を押す

1: 内線毎＋グループ合計
2: グループ合計のみ

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ01                693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

9. ① を押す

指定した内線グループの集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《内線グループごとの明細を印刷する》』(⇒P.4-26)の手順に進んでください。

印刷中

10. 印刷結果を確認する

「印刷例⑧-1」「印刷例⑧-2」を参照してください。

これで、内線グループごとの集計印刷ができました。
『《内線グループごとの明細を印刷する》』(⇒P.4-26)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 6 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

手順 8 で「1：内線毎＋グループ合計」を選択した場合

内線番号ごとの集計結果が 0 円のときは、内線番号と合計のみ印刷されます。

- 印刷例⑧-1 内線グループ毎集計
  内線毎＋グループ合計の場合

```
*****************************************
              グループ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
 NTT-E      料金              １，１００円
 SBT0088    料金                  ２００円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                    ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 国際その他                       ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
            合計              １，９６５円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線１２
 KDDI0077   料金                  １００円
 SBT0088    料金                    ３０円
-----------------------------------------
        国内小計                  １３０円
          消費税                      ６円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                    ５０円
 国際その他                       ９００円
-----------------------------------------
        国際小計              １，０００円
-----------------------------------------
            合計              １，１３６円
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                  １００円
 SBT0088    料金                  ２３０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計              １，４３０円
          消費税                    ７１円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １５０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                       １，４５０円
-----------------------------------------
        国際小計              １，６００円
-----------------------------------------
            総合計            ３，１０１円
```

```
*****************************************
              グループ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
            合計                      ０円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線１２
            合計                      ０円
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金                      ０円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計                      ０円
          消費税                      ０円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                      ０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                           ０円
-----------------------------------------
        国際小計                      ０円
-----------------------------------------
            総合計                    ０円
```

- 印刷例⑧-2 内線グループ毎集計
  グループ合計のみの場合

```
*****************************************
              グループ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                  １００円
 SBT0088    料金                  ２３０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計            １，４３０円
          消費税                 ７１円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １５０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                １，４５０円
-----------------------------------------
        国際小計            １，６００円
-----------------------------------------
          総合計            ３，１０１円
```

```
*****************************************
              グループ毎集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金                      ０円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計                      ０円
          消費税                      ０円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                      ０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                           ０円
-----------------------------------------
        国際小計                      ０円
-----------------------------------------
          総合計                      ０円
```

《内線グループごとの明細を印刷する》

<内線グループ毎明細印刷>

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

指定した内線グループの明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話料金データを消去・保持したい場合は、0 を押します。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-28)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-28)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑨」を参照してください。

これで、内線グループごとの明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-28)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-28)の手順に進んでください。

- 印刷例⑨ 内線グループ毎明細

```
*****************************************
              グループ毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                     ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                     ６００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，９０１円
          消費税                   ６５円
-----------------------------------------
            合計                １，９６６円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線２０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00770639847696*2122  KDDI0077
 通話料金                     １００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                       ３０．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                 １，０００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，１３１円
          消費税                     ６円
-----------------------------------------
            合計                １，１３７円
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
            小計                ３，０３２円
          消費税                     ７１円
-----------------------------------------
          総合計                ３，１０３円
```

```
*****************************************
              グループ毎明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
                              明細データ無し
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線２０
;
                              明細データ無し
.........................................
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
                              明細データ無し
```

注意

明細印刷時の通話料金データは、内線番号の最も若い順から印刷されます。また、通話を開始した順ではなく、通話が終了した順に印刷されます。

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく 印刷されていることを確認してください。一度消 去したデータは印刷できません。

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **① を押す**

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. **① を押す**

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **⓪ を押す**

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

▼ 外線グループの通話料金集計・明細を印刷する

印刷対象となっている外線全体の、集計や明細を印刷することができます。

《外線グループの集計を印刷する》

<外線グループ集計印刷>

1. スピーカ **を押す**

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ **を押す**

*13 は、通話料金印刷の特番(初期値)です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ② **を押す**

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ② **を押す**

```
集計期間
集計開始日
```

5. **集計開始日を入力する**

例:2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

6. **集計締め日を入力する**

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
外線全体              693円
1:個別+合計 2:合計
```

7. ① **または** ② **を押す**

1: 外線毎+グループ合計
2: グループ合計のみ

```
外線全体              693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

8. ① を押す

外線グループの集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《外線グループの明細を印刷する》』(⇒P.4-32)の手順に進んでください。

印刷中

9. 印刷結果を確認する

「印刷例⑩-1」「印刷例⑩-2」を参照してください。

これで、外線グループの集計印刷ができました。
『《外線グループの明細を印刷する》』(⇒P.4-32)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 5 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

手順 7 で「1：外線毎＋グループ合計」を選択した場合

外線番号ごとの集計結果が 0 円のときは、外線番号と合計のみ印刷されます。

- 印刷例⑩-1 外線グループ集計
  外線毎＋グループ合計の場合

```
****************************************
           外線グループ集計
     （ 局－局転送時の通話料金 ）
****************************************
     2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
========================================
   外線：       1   名称：LINE 001
 NTT-E     料金          １，１００円
 SBT0088   料金              ２００円
----------------------------------------
     国内小計            １，３００円
       消費税                  ６５円
----------------------------------------
 KDDI001   料金              １００円
 国際その他                  ５００円
----------------------------------------
     国際小計                ６００円
----------------------------------------
         合計            １，９６５円
........................................
   外線：       2   名称：LINE 002
 KDDI0077  料金              １００円
 SBT0088   料金                ３０円
----------------------------------------
     国内小計                １３０円
       消費税                    ６円
----------------------------------------
 KDDI001   料金                ５０円
 国際その他                  ９００円
----------------------------------------
     国際小計            １，０００円
----------------------------------------
         合計            １，１３６円
 ;
外線全体
========================================
 NTT-E     料金          １，１００円
 KDDI0077  料金              １００円
 SBT0088   料金              ２３０円
 NTT ﾋｶﾘ   料金                  ０円
 国内その他                      ０円
----------------------------------------
     国内小計            １，４３０円
       消費税                  ７１円
----------------------------------------
 KDDI001   料金              １５０円
 SBT0061   料金                  ０円
 NTT-COM   料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ   料金                  ０円
 国際その他              １，４５０円
----------------------------------------
     国際小計            １，６００円
----------------------------------------
       総合計            ３，１０１円
```

```
****************************************
           外線グループ集計
     （ 局－局転送時の通話料金 ）
****************************************
     2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
========================================
   外線：       1   名称：LINE 001
         合計                    ０円
........................................
   外線：       2   名称：LINE 002
         合計                    ０円
 ;
外線全体
========================================
 NTT-E     料金                  ０円
 KDDI0077  料金                  ０円
 SBT0088   料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ   料金                  ０円
 国内その他                      ０円
----------------------------------------
     国内小計                    ０円
       消費税                    ０円
----------------------------------------
 KDDI001   料金                  ０円
 SBT0061   料金                  ０円
 NTT-COM   料金                  ０円
 NTT ﾋｶﾘ   料金                  ０円
 国際その他                      ０円
----------------------------------------
     国際小計                    ０円
----------------------------------------
       総合計                    ０円
```

- 印刷例⑩-2 外線グループ集計
  グループ合計のみの場合

```
*****************************************
          外線グループ集計
     ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
=========================================
 NTT-E      料金          1，１００円
 KDDI0077   料金              １００円
 SBT0088    料金              ２３０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
 国内その他                     ０円
-----------------------------------------
       国内小計            1，４３０円
         消費税                ７１円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金              １５０円
 SBT0061    料金                ０円
 NTT-COM    料金                ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
 国際その他              1，４５０円
-----------------------------------------
       国際小計            1，６００円
-----------------------------------------
          総合計           3，１０１円
```

```
*****************************************
          外線グループ集計
     ( 局ー局転送時の通話料金 )
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
=========================================
 NTT-E      料金                ０円
 KDDI0077   料金                ０円
 SBT0088    料金                ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
 国内その他                     ０円
-----------------------------------------
       国内小計                ０円
         消費税                ０円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                ０円
 SBT0061    料金                ０円
 NTT-COM    料金                ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
 国際その他                     ０円
-----------------------------------------
       国際小計                ０円
-----------------------------------------
          総合計                ０円
```

《外線グループの明細を印刷する》

＜外線グループ明細印刷＞

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

外線グループの明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話料金データを消去・保持したい場合は、0 を押します。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-34)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-34)の手順 13 に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑪」を参照してください。

これで、外線グループの明細印刷ができました。

『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-34)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-34)の手順 13 に進んでください。

- 印刷例⑪ 外線グループ明細

```
*****************************************
          外線グループ明細
     ( 局－局転送時の通話料金 )
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
=========================================
    外線：        1    名称：LINE 001
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                       ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                       ６００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，９０１円
          消費税                      ６５円
-----------------------------------------
            合計                １，９６６円
.........................................
    外線：        2    名称：LINE 002
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00770639847696*2122  KDDI0077
 通話料金                       １００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                         ３０．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                 １，０００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，１３１円
          消費税                        ６円
-----------------------------------------
            合計                １，１３７円
;
外線全体
=========================================
            小計                ３，０３２円
          消費税                        ７１円
-----------------------------------------
          総合計                ３，１０３円
```

```
*****************************************
          外線グループ明細
     ( 局－局転送時の通話料金 )
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
外線全体
=========================================
    外線：        1    名称：LINE 001
;
                              明細データ無し
.........................................
    外線：        2    名称：LINE 002
;
                              明細データ無し
.........................................
;
外線全体
=========================================
                              明細データ無し
```

注意

明細印刷時の通話料金データは、外線番号の最も若い順から印刷されます。また、通話を開始した順ではなく、通話が終了した順に印刷されます。

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ① を押す

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. ① を押す

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. 明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. ⓪ を押す

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

▼ ID グループの通話料金集計・明細を印刷する

課金用の ID 番号全体の、通話料金の集計や明細を印刷することができます。

《ID グループの集計を印刷する》

<ID グループ集計印刷>

1. スピーカ **を押す**

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ **を押す**

*13 は、通話料金印刷の特番(初期値)です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ② **を押す**

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ集計
1:内線 2:外線 3:ID
```

4. ③ **を押す**

```
集計期間
集計開始日
```

5. **集計開始日を入力する**

例:2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

6. **集計締め日を入力する**

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
ID全体                693円
1:個別+合計 2:合計
```

7. ① **または** ② **を押す**

1: ID 毎+グループ合計
2: グループ合計のみ

```
ID全体                693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

8. ① を押す

ID グループの集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《ID グループの明細を印刷する》』(⇒P.4-38)の手順に進んでください。

印刷中

9. 印刷結果を確認する

「印刷例⑫-1」「印刷例⑫-2」を参照してください。

これで、ID グループの集計印刷ができました。
『《ID グループの明細を印刷する》』(⇒P.4-38)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい

手順 5 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

手順 7 で「1：ID 毎＋グループ合計」を選択した場合

ID 番号ごとの集計結果が 0 円のときは、ID 番号と合計のみ印刷されます。

- 印刷例⑫-1 ID グループ集計
  内線毎＋グループ合計の場合

```
*****************************************
          ＩＤグループ集計
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
    ＩＤ：10221987654333
NTT-E     料金            １，１００円
SBT0088   料金                ２００円
-----------------------------------------
      国内小計            １，３００円
        消費税                  ６５円
-----------------------------------------
KDDI001   料金                １００円
国際その他                    ５００円
-----------------------------------------
      国際小計                ６００円
-----------------------------------------
          合計            １，９６５円
.........................................
    ＩＤ：8987656745676543456
KDDI0077  料金                １００円
SBT0088   料金                 ３０円
-----------------------------------------
      国内小計                １３０円
        消費税                    ６円
-----------------------------------------
KDDI001   料金                 ５０円
国際その他                    ９００円
-----------------------------------------
      国際小計            １，０００円
-----------------------------------------
          合計            １，１３６円
;
ＩＤ全体
=========================================
NTT-E     料金            １，１００円
KDDI0077  料金                １００円
SBT0088   料金                ２３０円
NTT ﾋｶﾘ   料金                    ０円
国内その他                        ０円
-----------------------------------------
      国内小計            １，４３０円
        消費税                  ７１円
-----------------------------------------
KDDI001   料金                １５０円
SBT0061   料金                    ０円
NTT-COM   料金                    ０円
NTT ﾋｶﾘ   料金                    ０円
国際その他                    １，４５０円
-----------------------------------------
      国際小計            １，６００円
-----------------------------------------
        総合計            ３，１０１円
```

```
*****************************************
          ＩＤグループ集計
*****************************************
      2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
    ＩＤ：10221987654333
          合計                    ０円
.........................................
    ＩＤ：8987656745676543456
          合計                    ０円
;
ＩＤ全体
=========================================
NTT-E     料金                    ０円
KDDI0077  料金                    ０円
SBT0088   料金                    ０円
NTT ﾋｶﾘ   料金                    ０円
国内その他                        ０円
-----------------------------------------
      国内小計                    ０円
        消費税                    ０円
-----------------------------------------
KDDI001   料金                    ０円
SBT0061   料金                    ０円
NTT-COM   料金                    ０円
NTT ﾋｶﾘ   料金                    ０円
国際その他                        ０円
-----------------------------------------
      国際小計                    ０円
-----------------------------------------
        総合計                    ０円
```

- 印刷例⑫-2 ID グループ集計
  グループ合計のみの場合

```
*****************************************
          ＩＤグループ集計
*****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
NTT-E      料金          １，１００円
KDDI0077   料金              １００円
SBT0088    料金              ２３０円
NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
国内その他                     ０円
-----------------------------------------
      国内小計           １，４３０円
        消費税                ７１円
-----------------------------------------
KDDI001    料金              １５０円
SBT0061    料金                ０円
NTT-COM    料金                ０円
NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
国際その他             １，４５０円
-----------------------------------------
      国際小計           １，６００円
-----------------------------------------
        総合計           ３，１０１円
```

```
*****************************************
          ＩＤグループ集計
*****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
NTT-E      料金                ０円
KDDI0077   料金                ０円
SBT0088    料金                ０円
NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
国内その他                     ０円
-----------------------------------------
      国内小計                 ０円
        消費税                 ０円
-----------------------------------------
KDDI001    料金                ０円
SBT0061    料金                ０円
NTT-COM    料金                ０円
NTT ﾋｶﾘ    料金                ０円
国際その他                     ０円
-----------------------------------------
      国際小計                 ０円
-----------------------------------------
        総合計                 ０円
```

《ID グループの明細を印刷する》

<ID グループ明細印刷>

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

ID グループの明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話料金データを消去・保持したい場合は、0 を押します。『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-40)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-40)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑬」を参照してください。

これで、ID グループの明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』(⇒P.4-40)または『《通話料金データを保持する》』(⇒P.4-40)の手順に進んでください。

- 印刷例⑬ ID グループ明細

```
*****************************************
          ＩＤグループ明細
*****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
    ＩＤ：10221987654333
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                     ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                     ６００．０円
-----------------------------------------
       国内小計               １，９０１円
         消費税                   ６５円
-----------------------------------------
           合計               １，９６６円
.........................................
    ＩＤ：8987656745676543456
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00770639847696*2122  KDDI0077
 通話料金                     １００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323         SBT0088
 通話料金                      ３０．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231        KDDI001
 通話料金                 １，０００．０円
-----------------------------------------
       国内小計               １，１３１円
         消費税                     ６円
-----------------------------------------
           合計               １，１３７円
;
ＩＤ全体
=========================================
           小計               ３，０３２円
         消費税                   ７１円
-----------------------------------------
         総合計               ３，１０３円
```

```
*****************************************
          ＩＤグループ明細
*****************************************
       2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
ＩＤ全体
=========================================
    ＩＤ：10221987654333
;
                             明細データ無し
.........................................
    ＩＤ：8987656745676543456
;
                             明細データ無し
.........................................
;
ＩＤ全体
=========================================
                             明細データ無し
```

注意

明細印刷時の通話料金データは、ID 番号の最も若い順から印刷されます。また、通話を開始した順ではなく、通話が終了した順に印刷されます。

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **① を押す**

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. **① を押す**

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **⓪ を押す**

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

システム全体の通話料金集計・明細を印刷する

システム全体の通話料金の集計内容、通話内容の明細を印刷することができます。通話料金集計、通話明細の順に印刷します。
また、集計印刷は「内線毎＋グループ合計＋システム合計」と「グループ合計＋システム合計」の 2 通りがあり、どちらかを選択することができます。

注意

一度に印刷できる印刷対象ポート（内線／外線／ID）番号は 1,000 件までです。印刷対象ポートが 1,001 件以上ある場合は、システム一括集計印刷は行えませんので、ご注意ください（印刷例⑭-3）。この場合は、番号毎／グループ毎印刷で印刷を行うか、印刷対象ポート数を減らしてから印刷を行ってください。

こんなときは

操作を中断したい

操作中、スピーカボタンを押すと、操作を中断して通常の表示に戻ります。この場合でも、消去の操作をしない限り、通話料金データは保持されています。

▼ システム一括で通話料金集計・明細を印刷する

《システム一括で集計を印刷する》

<システム一括集計印刷>

1. スピーカ **を押す**

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ **を押す**

*13 は、通話料金印刷の特番（初期値）です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ③ **を押す**

```
ｼｽﾃﾑ一括
1:期間指定 2:全明細
```

4. ① **を押す**

```
集計期間
集計開始日
```

5. **集計開始日を入力する**

例：2018 年 3 月 1 日の場合
「180301」と入力します。

```
集計期間
集計締め日
```

6. 集計締め日を入力する

1 日分の通話料金データのみ印刷したい場合は、開始日と締め日を同じ日にしてください。
指定した期間の通話料金が、集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
ｼｽﾃﾑ全体                    693円
1:個別+合計 2:合計
```

7. ① または ② を押す

1: 内線毎＋グループ合計＋システム合計
2: グループ合計＋システム合計

```
ｼｽﾃﾑ全体                    693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

8. ① を押す

システム全体の集計が印刷されます。
集計印刷を行わずに明細を印刷したい場合は、0 を押します。
『《システム一括で明細を印刷する》』(⇒P.4-45)の手順に進んでください。

```
印刷中
```

9. 印刷結果を確認する

「印刷例⑭-1」「印刷例⑭-2」「印刷例⑭-3」を参照してください。

これで、システム全体の集計印刷ができました。
『《システム一括で明細を印刷する》』(⇒P.4-45)の手順に進んでください。

こんなときは

現在までに蓄積されている明細データをすべて集計対象にしたい
手順 5 で集計開始日を入力しないで、保留ボタンを押してください。

手順 7 で「1：内線毎＋グループ合計＋システム合計」を選択した場合
内線番号ごとの集計結果が 0 円のときは、内線番号と合計のみ印刷されます。

手順 7 で「2：グループ合計＋システム合計」を選択した場合
グループ合計の集計結果が 0 円のときは、グループ番号とグループ合計のみ印刷します。

- 印刷例⑭-1 システム一括集計
  内線毎＋グループ合計＋システム合計の場合

```
*****************************************
              システム一括集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
 NTT-E      料金              １，１００円
 SBT0088    料金                  ２００円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                   ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 国際その他                       ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
            合計              １，９６５円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線１２
            合計                      ０円
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                   ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                       ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
           総合計              １，９６５円
;
システム全体
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                   ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                       ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
           総合計              １，９６５円
```

```
*****************************************
              システム一括集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
            合計                      ０円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線１２
            合計                      ０円
-----------------------------------------
           総合計                     ０円
;
システム全体
=========================================
 NTT-E      料金                      ０円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計                      ０円
          消費税                      ０円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                      ０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                           ０円
-----------------------------------------
        国際小計                      ０円
-----------------------------------------
           総合計                     ０円
```

- 印刷例⑭-2 システム一括集計
  グループ合計＋システム合計の場合

```
*****************************************
              システム一括集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                    ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                        ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
            合計              １，９６５円
;
グループ：    2        名称：GRP-2
=========================================
          総合計                      ０円
;
システム全体
=========================================
 NTT-E      料金              １，１００円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                  ２００円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計              １，３００円
          消費税                    ６５円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                  １００円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                        ５００円
-----------------------------------------
        国際小計                  ６００円
-----------------------------------------
          総合計              １，９６５円
```

```
*****************************************
              システム一括集計
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
          総合計                      ０円
;
グループ：    2        名称：GRP-2
=========================================
          総合計                      ０円
;
システム全体
=========================================
 NTT-E      料金                      ０円
 KDDI0077   料金                      ０円
 SBT0088    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国内その他                           ０円
-----------------------------------------
        国内小計                      ０円
          消費税                      ０円
-----------------------------------------
 KDDI001    料金                      ０円
 SBT0061    料金                      ０円
 NTT-COM    料金                      ０円
 NTT ﾋｶﾘ    料金                      ０円
 国際その他                           ０円
-----------------------------------------
        国際小計                      ０円
-----------------------------------------
          総合計                      ０円
```

- 印刷例⑭-3 システム一括集計
  印刷対象ポート数が 1,001 件以上ある場合

```
【 警告 】
  システム一括集計印刷ができません。
  印刷対象ﾎﾟｰﾄ数が1001件以上あります。
```

《システム一括で明細を印刷する》

＜システム一括明細印刷＞

1. 集計印刷が終了すると、明細印刷の表示に切り替わる

```
明細印刷?
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

システム全体の明細が印刷されます。
明細印刷を行わずに通話料金データを消去・保持したい場合は、0 を押します『《通話料金データを消去する》』（⇒P.4-46）または『《通話料金データを保持する》』（⇒P.4-47）の手順に進んでください。

```
印刷中
```

3. 印刷結果を確認する

「印刷例⑮」を参照してください。

これで、システム全体の明細印刷ができました。
『《通話料金データを消去する》』（⇒P.4-46）または『《通話料金データを保持する》』（⇒P.4-47）の手順に進んでください。

- 印刷例⑮ システム一括明細

```
*****************************************
          システム一括明細
*****************************************
        2018年 3月 1日 ～ 2018年 3月31日
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 １，１００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323        SBT0088
 通話料金                       ２００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231       KDDI001
 通話料金                       ６００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，９０１円
          消費税                      ６５円
-----------------------------------------
            合計                １，９６６円
.........................................
    内線：     2002    名称：個人内線２０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00770639847696*2122  KDDI0077
 通話料金                       １００．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323        SBT0088
 通話料金                        ３０．５円
-----------------------------------------
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231       KDDI001
 通話料金                 １，０００．０円
-----------------------------------------
        国内小計                １，１３１円
          消費税                        ６円
-----------------------------------------
            合計                １，１３７円
;
グループ：    1        名称：GRP-1
=========================================
            小計                ３，０３２円
          消費税                      ７１円
-----------------------------------------
            合計                ３，１０３円
;
グループ：    2        名称：GRP-2
=========================================
    内線：     2003    名称：個人内線３０
;
                                 明細データ無し
.........................................
    内線：     2004    名称：個人内線４０
;
                                 明細データ無し
.........................................
;
グループ：    2        名称：GRP-2
=========================================
                                 明細データ無し
;
システム全体
=========================================
            小計                ３，０３２円
          消費税                      ７１円
-----------------------------------------
          総合計                ３，１０３円
```

注意

明細印刷時の通話料金データは、グループ番号および内線／外線／ID 番号の最も若い順から印刷されます。また、通話を開始した順ではなく、通話が終了した順に印刷されます。

《通話料金データを消去する》

注意

通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **① を押す**

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. **① を押す**

通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが消去されました。

《通話料金データを保持する》

1. **明細印刷が終了すると、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わる**

```
料金ﾃﾞｰﾀ
1:ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ 0:ﾃﾞｰﾀ保持
```

2. **⓪ を押す**

通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. **[スピーカ] を押す**

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、印刷を行った通話料金データが保持されました。

システム全体の通話料金データを消去する

システム内に保存されている、すべての通話料金データおよび溢れ料金データを印刷し、消去します。

注意

- この機能は、運用中のシステム設定の変更や、各印刷機能での集計期間のずれなどにより、印刷されずに残っている通話料金データおよび溢れ料金データを消去する場合にご利用ください。
- この機能を利用すると、システムに保存されているすべての通話料金データが消去されます。ご利用には、十分ご注意ください。データを消去する前に、全通話料金データ印刷を行うことをお勧めします。

こんなときは

操作を中断したい

操作中、スピーカボタンを押すと、操作を中断して通常の表示に戻ります。この場合でも、消去の操作をしない限り、通話料金データは保持されています。

▼ 通話料金データの消去のしかた

《全通話料金データを印刷する》

1. スピーカ **を押す**

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ③ **を押す**

*13 は、通話料金印刷の特番（初期値）です。
通話料金印刷モードのメニュー画面が表示されます。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. ③ **を押す**

```
ｼｽﾃﾑ一括
1:期間指定 2:全明細
```

4. ② **を押す**

システムが保存している、すべての通話料金データが集計されます。

```
集計中
```

集計が終わると、合計金額が自動で表示されます。

```
ｼｽﾃﾑ全明細          15728円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

5. ① **を押す**

すべての通話料金データの明細が印刷されます。
印刷を行わずに全通話料金データを消去したい場合は、0 を押してください。『《全通話料金データを消去する》』（⇒P.4-49）または『《全通話料金データの消去をキャンセルする》』（⇒P.4-50）の手順に進んでください。

```
印刷中
```

6. **印刷結果を確認する**

「印刷例⑯」を参照してください。

これで、全通話料金データの印刷ができました。

『《全通話料金データを消去する》』(⇒P.4-49)または『《全通話料金データの消去をキャンセルする》』(⇒P.4-50)
の手順に進んでください。

- 印刷例⑯ 全通話料金明細

```
*****************************************
              全通話明細
*****************************************
    内線：      2001
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金              1，１００．５円
-----------------------------------------
    ＩＤ：10221987654333
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:35:05
 通話時間                        00:05:02
 ダイヤル 0088033984323        SBT0088
 通話料金                  ２００．５円
-----------------------------------------
    内線：      2005
 開始時刻     2018年 3月 5日(月) 08:40:10
 通話時間                        00:03:30
 ダイヤル 00104439843231       KDDI001
 通話料金                  １００．０円
-----------------------------------------
    外線：         1
 開始時刻     2018年 3月10日(土) 08:45:15
 通話時間                        00:14:40
 ダイヤル 0078033984323#       KDDI0078
 通話料金                  ５００．０円
-----------------------------------------
          小計             １，９０１円

*****************************************
              溢れ料金
*****************************************
    内線：      2001
      溢れ料金                ５００円
-----------------------------------------
          小計                ５００円

=========================================
      明細小計             １，９０１円
      溢れ小計                 ５００円
-----------------------------------------
        総合計             ２，４０１円
```

注意

システムに保存されているすべての通話料金データが、保存された順(通話が終了した順)に印刷されます。番号毎、グループ毎に印刷することはできません。通常のご使用中に、システムに保存されているすべての通話料金データを印刷する場合は、システム一括の集計・明細印刷機能をご利用ください。

《全通話料金データを消去する》

注意

全通話料金データの消去を行う前に、必ず、正しく印刷されていることを確認してください。一度消去したデータは印刷できません。

1. 全通話料金の明細印刷が終了すると、全通話料金データ消去の表示に切り替わる

```
全明細ﾃﾞｰﾀ
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

```
全明細ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. ① を押す

全通話料金データの消去をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。メニュー画面に戻ります。

```
ｸﾘｱ中
```

全通話料金データの消去が終了すると、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

4. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、全通話料金データが消去されました。

《全通話料金データの消去をキャンセルする》

1. 全通話料金の明細印刷が終了すると、全通話料金データ消去の表示に切り替わる

```
全明細ﾃﾞｰﾀ
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ⓪ を押す

全通話料金データが保持され、メニュー画面に戻ります。

```
通話料金印刷
ﾒﾆｭｰ:0/1/2/3
```

3. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、全通話料金データが消去されずに、保持されました。

通話終了と同時に明細を印刷する

<通話明細即時印刷>

通話が終了するとすぐに、通話の明細を印刷することができます。

注意

通話明細即時印刷モード中でも、通話料金印刷モードで各種印刷を行っている間は、即時明細印刷が動作しません。その間の通話料金データは、1,000 件まで保存されます。保存された通話料金データは、通話料金印刷モードが終了した時点で、印刷されます。なお、保存されたデータが 1,000 件を超えた場合、古いものから順に消去されます。

▼ 通話明細即時印刷モードを開始・終了する

《通話明細即時印刷モードを開始する》

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ④ を押す

*14 は、通話明細即時印刷の特番（初期値）です。

```
即時明細印刷
1:開始 0:終了
```

3. ① を押す

```
即時明細印刷
開始
```

4. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
3- 7 WED 10:03AM
2018                    ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、通話明細即時印刷モードが開始できました。
通話が終了すると即時に、明細が印刷されます。「印刷例⑰」を参照してください。

- 印刷例⑰ 通話明細即時印刷

```
****************************************
                 即時明細
****************************************

    内線：     2001    名称：個人内線１０
;
 開始時刻     2018年 3月 2日(金) 08:30:00
 通話時間                        00:30:01
 ダイヤル 00360639847696*2122  NTT-E
 通話料金                 １，１００．５円
```

《通話明細即時印刷モードを終了する》

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
3- 7 WED 10:03AM
```

2. ⊛ ① ④ を押す

*14 は、通話明細即時印刷の特番（初期値）です。

```
即時明細印刷
1:開始 0:終了
```

3. ⓪ を押す

```
即時明細印刷
終了
```

4. スピーカ を押す

通話料金印刷モードが終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
      3- 7 WED 10:03AM
2018                 ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、通話明細即時印刷モードが終了できました。

特番で内線の通話料金集計を簡単に印刷する

「個別内線精算特番」や「全内線一括精算特番」を利用して、内線電話機の通話料金集計を簡単に印刷することができます。

こんなときは

操作を中断したい

操作中、スピーカボタンを押すと、操作を中断して通常の表示に戻ります。この場合でも、消去の操作をしない限り、通話料金データは保持されています。

よく「個別内線精算特番」および「全内線一括精算特番」を利用する方へ

電話機のファンクションボタンに特番を登録した DSS ／ワンタッチボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

▼ 内線ごとの通話料金集計を簡単に印刷する

<個別内線精算> 工事

「個別内線精算特番」を使用して、各内線電話機ごとに、外線にかけた通話料金の集計を簡単に印刷することができます。

注意

通話料金データは、印刷が終わると自動で消去されます。

1. スピーカ を押したあと、⊛ ② ⑧ を押す

*28 は、個別内線精算の特番(初期値)です。
個別内線精算ボタンが電話機に登録されている場合は、そのボタンを押します。

```
内線集計
内線番号
```

2. 内線番号（最大 8 桁）を押す

合計金額が表示されます。

```
内線 110                693円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. ① を押す

指定した内線の通話料金集計が印刷されます。確認だけの場合や印刷を行わない場合は、0 を押してください。

```
印刷中
```

印刷が終了、または 0 を押すと手順 2 の画面に戻ります。続けて別の内線電話機の通話料金集計を印刷したいときは、手順 2 に戻ります。

```
内線集計
内線番号
```

4. スピーカ を押す

これで、内線ごとの通話料金集計が印刷できました。

▼ 全内線の通話料金集計を簡単に印刷する

<全内線一括精算> 工事

「全内線一括精算特番」を使用して、すべての内線電話機が外線にかけた通話料金の集計を簡単に印刷することができます。

1. スピーカ を押したあと、⊛ ② ⑨ を押す

*29 は、全内線一括精算の特番（初期値）です。
全内線一括精算ボタンが電話機に登録されている場合は、そのボタンを押します。
合計金額が表示されます。

```
ｼｽﾃﾑ全体                3893円
1:印刷 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

2. ① を押す

全内線の通話料金集計が印刷されます。集計印刷をキャンセルしたい場合は、0 を押してください。

```
印刷中
```

印刷が終了、または 0 を押すと、通話料金データ消去・保持の表示に切り替わります。

```
料金ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱしますか?
1:ｸﾘｱ 0:ｷｬﾝｾﾙ
```

3. 通話料金データを消去する場合は ①、保持する場合は ⓪ を押す

これで、全内線の通話料金集計が印刷できました。

困ったときは

困ったときのチェックポイント

症状	チェックポイント
通話料金印刷のサービス特番を押しても、メニュー画面が表示されない	• サービス特番を間違えていませんか？ もう一度確認してみてください。 • 通話料金印刷ができる電話機ですか？ 通話料金印刷を行える電話機は、工事段階で設定されています。詳しくは、販売店にご相談ください。 • ほかの電話機で、すでに印刷操作を行っていませんか？ 複数で同時に操作はできません。
印刷したい内線番号、外線番号、ID 番号を押しても、印刷できない	• 印刷の対象として設定されている内線／外線／ID 番号ですか？ 印刷の対象とするには、工事段階で登録する必要があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
印刷操作をしても、プリンタから出力されない	• プリンタの電源は入っていますか？ • プリンタに用紙が正しくセットされていますか？ • プリンタの接続ケーブルが抜けていませんか（プリンタ側／システム側）？ • プリンタを接続している電話機のケーブルが抜けていませんか？ • プリンタを接続する電話機などを変更していませんか？
即時印刷ができない	• 通話明細即時印刷が開始されていますか？ • 集計・明細印刷中に、1,000 件以上の外線発信通話がありませんでしたか？ 1,000 件以上になった場合、古い通話料金データから順に消去されます。 そのため、出力されない通話料金データもあります。
右側の文字が不ぞろいになって印刷される	• システムの設定とプリンタの種類が正しく設定されていますか？ 詳しくは、販売店にご相談ください。

システムアラームメッセージについて

システムが次の状態になった場合、電話機の表示器にアラームメッセージが表示されます。

▼ システムアラームメッセージの表示

1. 「溢れ警告」
   保存されている通話料金データ件数が、システムデータで設定した警告表示件数を超えた場合に表示されます。
   ※ 通話料金データは最大 20,000 件まで保存が可能です。

```
 3- 7 WED 10:03AM
29:通話明細保存件数 残り1000
```

2. 「溢れ発生」
   保存されている通話料金データ件数が、20,000 件に達した場合に表示されます。

```
 3- 7 WED 10:03AM
29:通話明細ﾃﾞｰﾀ保存不可
```

こんなときは

システムアラームメッセージを消去したい

表示されたメッセージは、通話料金データを消去するか、電話機からの特番操作により消去できます。
特番操作での消去のしかたについては『▼ システムアラームメッセージを消去する』(⇒P.4-55)を参照してください。

▼ システムアラームメッセージを消去する

1. スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯し、内線発信音が聞こえます。

```
     3- 7 WED 10:03AM
29:通話明細ﾃﾞｰﾀ保存不可
```

2. ⊛ ① ⑨ を押す

*19 は、システムアラームメッセージ消去の特番(初期値)です。
システムアラームメッセージが消去されます。

```
    10- 2 WED 10:03AM
ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ ｸﾘｱ
```

3. スピーカ を押す

システムアラームメッセージ消去が終了し、スピーカボタンが消灯します。

```
     3- 7 WED 10:03AM
2018                ﾀﾅｶ ｸﾐｺ
```

これで、システムアラームメッセージが消去できました。

システム管理者の方へ

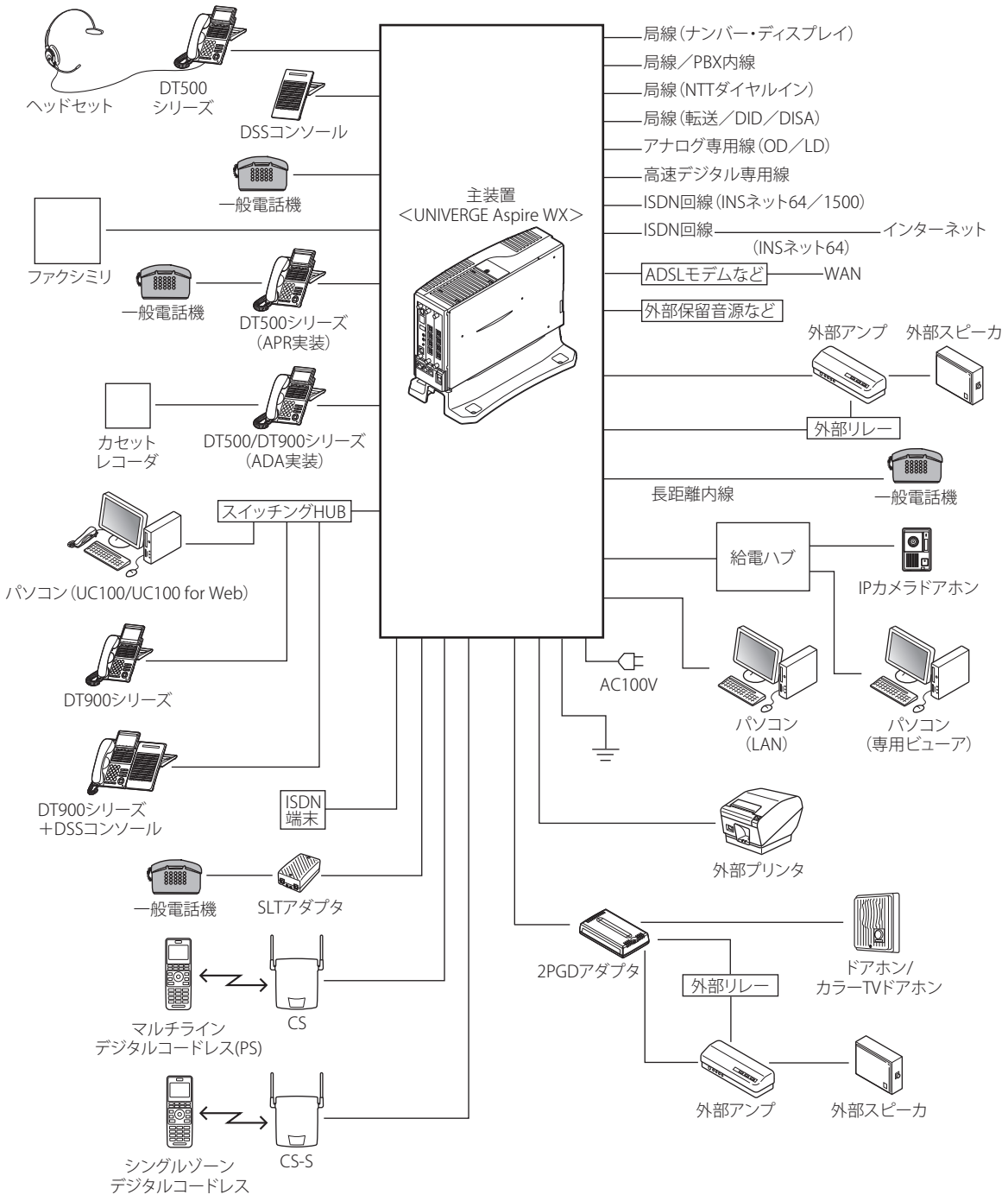
システムについて..... 5-2
電話機のラインナップ..... 5-21
各種設定について..... 5-28
停電したときは..... 5-42
消耗品について（電池等）..... 5-44
困ったときは..... 5-47
保証とアフターサービスについて..... 5-50
おもな仕様..... 5-51

システムについて

本システムには、いろいろな周辺機器を接続することができます。
また、工事段階での設定によって、用途に応じたいろいろな機能を利用することができます。

利用できる周辺機器

<システム構成>



外線の発着信の方法について

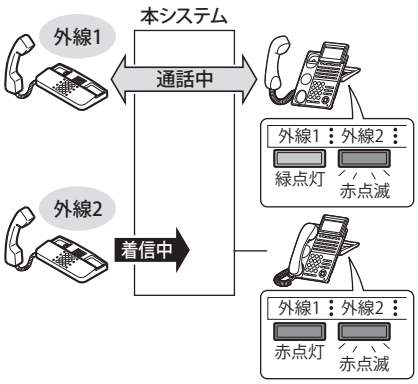
<発着信方式>
外線の利用のしかたは、オフィスの環境に合わせて発着信の方法を選ぶことができます。また、いくつかの発着信方式を組み合わせて利用することもできます。
各発着信方式を利用するには、工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

- ダイレクトライン方式：
  外線と外線ボタンを 1 対 1 で対応させることができます。
- 索線形発着信方式：
  部署ごとなどに、複数の外線をグループ分けして使うことができます。
- 個別着信（DIL）方式：
  外線から着信する電話機を、あらかじめ決めておくことができます。
- ダイヤルイン方式：
  NTT のダイヤルインサービス（有料）を利用し、特定の電話機に直接着信させることができます。
- 追加ダイヤルイン方式：
  電話をかけてきた相手が、続けて内線番号をダイヤルすると、その内線電話機に直接着信させることができます。
- 仮想内線方式：
  個別着信方式やダイヤルイン着信方式で電話がかかってきたとき、部署ごとなどの内線グループに着信させることができます。

▼ 外線と外線ボタンを 1 対 1 で対応させる

<ダイレクトライン方式>
外線と外線ボタンを 1 対 1 で対応させ、特定の外線を利用して電話をかけたり、受けたりすることができます。
すべての外線の使用状況は、電話機の外線ボタンのランプ表示で、次のようにわかります。

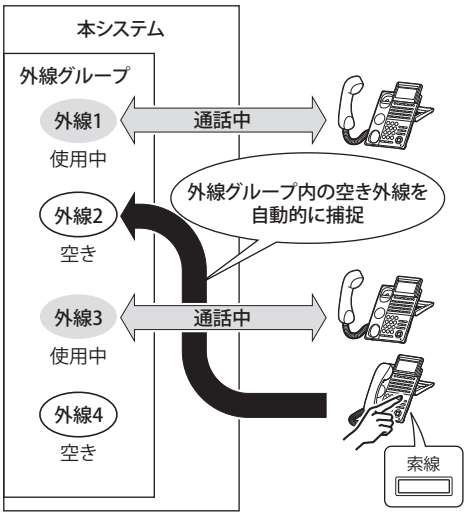
ランプの色	状態	外線の使用状況
緑	点灯	自分が通話中
	点滅	自分が保留中
赤	点灯	ほかの人が通話中
	遅い点滅	ほかの人が保留中
	速い点滅	着信中
消灯	―	空き状態



▼ 外線をグループ分けして使う

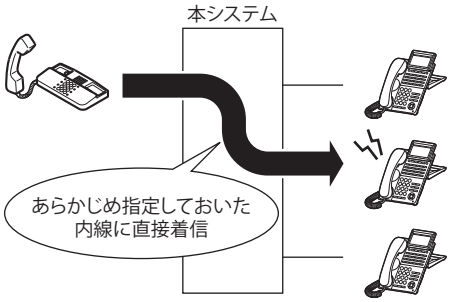
<索線形発着信方式>

使用する外線を、部署ごとに分けることができます。電話をかけるときは、発信ボタンまたは索線ボタンを押すと、グループ分けした外線の中から、空いている外線を自動的に選んで発信できます。一般電話機からかけるときは、受話器を上げて特番を押します。



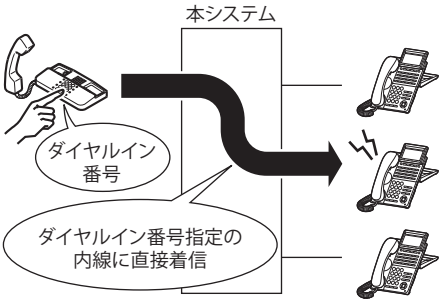
▼ 電話がかかってくる電話機を決めておく

<個別着信(DIL)方式>
外線から電話がかかってきたとき、あらかじめ決めておいた電話機に直接着信させることができます。着信した電話機の応答ボタンを押して受けることができます。一般電話機の場合は、受話器を上げるだけで受けることができます。システムに FAX を収容している場合などに最適です。



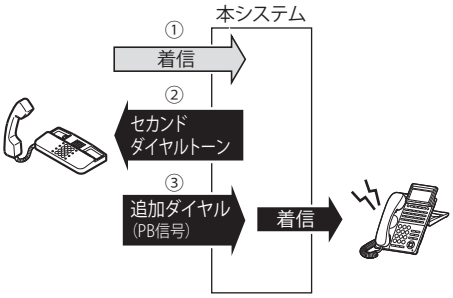
▼ NTT ダイヤルインを利用する

<ダイヤルイン方式>
NTT のダイヤルインサービス(有料)を利用できます。相手先にダイヤルイン番号を教えておくと、その番号に電話がかかってきたとき、特定の電話機に直接着信させることができます。



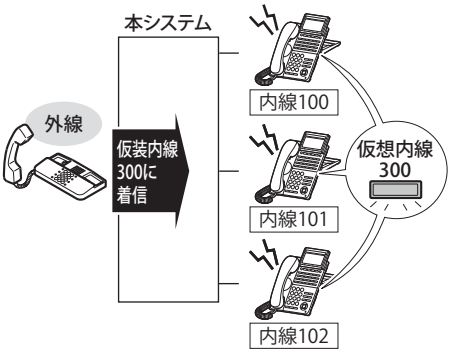
▼ 社外から内線番号を指定できるようにする

<追加ダイヤルイン方式>
電話をかけてきた相手に、本システムに着信したあと内線番号を続けてダイヤルしてもらうと、その内線電話機に直接着信させることができます。個別着信や NTT ダイヤルインと違い、システムの電話番号が 1 つで済みます。



▼ 電話がかかってくる内線グループを決めておく

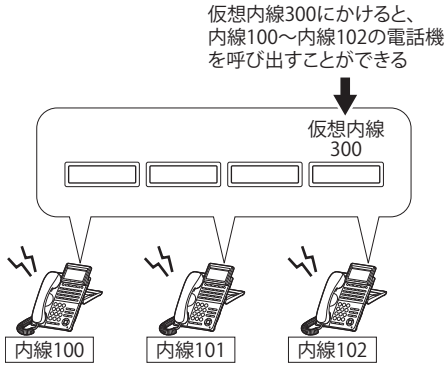
<仮想内線方式>
個別着信方式やダイヤルイン方式で着信する複数の電話機を、自分の内線番号とは別に内線グループとしての、仮想内線番号を部署ごとに指定できます。電話がかかってくると、複数の電話機の着信音が鳴り、どの電話機からでも受けることができます。



内線グループについて

▼ 仮想内線を利用したグループ分け

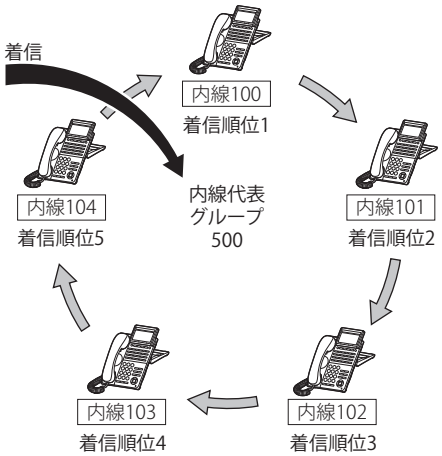
<仮想内線方式>
各電話機の内線番号とは別に、部署全体の共通の内線番号(仮想内線番号)を使い、グループ分けすることができます。
各電話機のファンクションボタンに仮想内線ボタンを割り付けると、その仮想内線ボタンを押して電話をかけたり、かかってきた電話を受けたりできます。



▼ 内線代表番号を利用したグループ分け

<内線代表方式>
各電話機の内線番号とは別に、部署の内線代表番号を作り、グループ分けすることができます。内線代表番号で呼ばれるグループを作る場合、電話機の着信順位は、そのグループに登録した順番になります。
内線代表番号に電話がかかってきたときの着信方法は、次のいずれかを選択することができます。

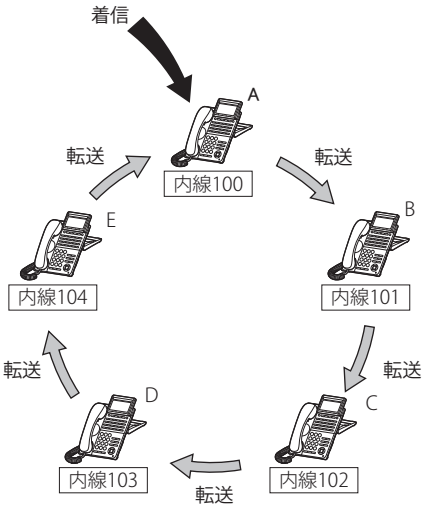
- パイロット方式
  内線代表グループ内の着信順位の 1 番目から必ず着信する
- 簡易 UCD 方式
  前回着信した電話機の、次の着信順位の電話機に着信する



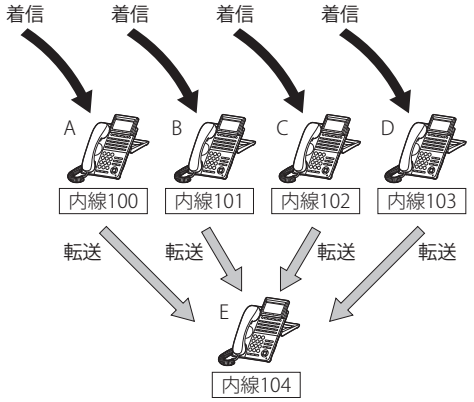
▼ 内線代理着信を利用したグループ分け

<内線代理着信方式>
部署全体で共通の内線番号や代表番号を持たずに、グループ分けすることができます。この場合、通話中の電話機に着信すると、部署内のほかの電話機へ自動で転送します。着信先の電話機が通話中の場合、次のいずれかの方式で転送させることができます。

- 円を描くように転送する
  例えば、電話機が A から E の 5 台ある場合、次のように通話中の電話機への着信が次々に転送されます。
  グループ内の電話機がすべて通話中の場合は、電話をかけてきた相手に話中音を返します。



- 転送先が 1 台の電話機に集中する
  例えば、電話機が A から E の 5 台ある場合、次のように通話中の電話機への着信が 1 台の電話機に集中して転送されます。
  転送先は、電話機の代わりにボイスメールユニットを指定することもできます。



発信規制について

工事

電話機ごと、または外線ごとに、発信できる相手先を限定することができます。例えば、次のような使い分けができます。

- 受付に設置した電話機は、外線への発信を規制する
- 営業部の電話は、全国どこでも発信を許可する
- 海外担当の電話は、アメリカへの発信を許可する

▼ 発信規制を行う時間帯について

昼間と夜間など、時間帯に応じて発信規制の内容を切り替えることができます。
例えば、昼間はすべての発信を許可し、夜間や深夜の時間帯はすべての発信を規制することができます。
規制する時間帯は、システムの運用モードに従って切り替わります。詳しくは、『運用モードについて』(⇒P.5-36)を参照してください。

▼ 発信規制クラスについて

発信規制クラスとは、発信する相手先に応じて次の内容を設定したものです。

- 発信規制を行うかどうか
- 特定の番号への発信を許可するかどうか
- 特定の番号への発信を規制するかどうか

発信規制の項目	設定内容
国際発信規制	指定以外の発信を規制する
国際発信許可	指定した番号のみ許可する
市外発信規制	市外への発信を規制しない／する
最大ダイヤル桁数	指定桁数を超えたら規制する
共通許可	指定した番号のみ許可する
共通規制	指定した番号のみ規制する
許可	指定した番号のみ許可する
規制	指定した番号のみ規制する
共通短縮ダイヤル	共通短縮ダイヤルに登録した相手も規制チェックをかける
グループ短縮ダイヤ ル	グループ短縮ダイヤルに登録した相手も規制チェックをかける
内線相互接続	内線への発信を規制しない／する

発信規制の項目	設定内容
PBX 内線発信規制	PBX 内線への発信を規制しない／する
専用線発信規制	専用線への発信を規制しない／する

▼ 発信規制を一時的に解除するには

工事

発信を規制されている相手に電話をかけたいとき、その通話に限って発信規制を解除することができます。

1. **受話器を上げる**
2. **⑨ ③ ④ を押す**
   934 は、発信規制一時解除の特番（初期値）です。
3. **4 桁のパスワードを押す**
   パスワードは、工事段階で電話機ごとに設定します。
4. **消灯している外線ボタンを押す**
5. **電話番号を押す**
6. **相手が出たら、通話する**

受話器を戻すと、発信規制の状態に戻ります。

個人登録発信規制について

工事

再ダイヤルとして記憶されている電話番号を、発信規制に登録することができます。例えば、電話セールスなどを行った際、顧客から以降の電話を断られた場合など、発信を規制したい場合に、発信した電話機からの操作で登録できます。複数の担当者が電話セールスを行っている場合など、別の担当者が断られた顧客に重複して発信することを防止できます。

▼ 個人登録発信規制を開始／終了する

個人登録発信規制は、利用の開始と終了を任意に切り替えることができます。切り替えは、電話機ごとに行うか、または機能管理者が一斉に行うこともできます。

注意

「ファンクションボタンの設定」により個人登録発信規制機能スイッチボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

《個人登録発信規制の利用を開始する》

1. **□（個人登録発信規制機能スイッチボタン）を押す**

   切り替えますか? (1:Yes, 0:No)

2. **① を押す**
   個人登録発信規制機能スイッチボタンが赤点灯します。

これで、個人登録発信規制の利用を開始できました。

《個人登録発信規制の利用を終了する》

1. □（個人登録発信規制機能スイッチボタン）を押す

```
切り替えますか? (1:Yes,0:No)
```

2. ① を押す

個人登録発信規制機能スイッチボタンが消灯します。

これで、個人登録発信規制の利用を終了できました。

▼ 個人登録発信規制の番号を登録する

注意

「ファンクションボタンの設定」により個人登録発信規制データ登録ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

《ファンクションボタンを使って、再ダイヤル 01 の番号を登録するとき》

次の操作をすると、再ダイヤル 01 に記憶されている電話番号が発信規制に登録されます。

1. 通話終了後

別の電話番号に電話をかける前の状態です。

2. □（個人登録発信規制データ登録ボタン）を押す

```
登録しますか?    (1:Yes,0:No)
                 03XXXXXXXX
```

3. ① を押す

これで、個人登録発信規制に電話番号が登録できました。

《ファンクションボタンを使って、任意の番号を登録するとき》

次の操作をすると、発信する前の電話番号を、発信規制に登録することができます。

1. 受話器を置いたまま、登録する電話番号をダイヤルする

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾀﾞｲﾔﾙ
          ﾀﾞｲﾔﾙ 03XXXXXXXX
```

2. □（個人登録発信規制データ登録ボタン）を押す

```
1:登録 0:削除
03XXXXXXXX
```

3. ① を押す

これで、個人登録発信規制に電話番号が登録できました。

《特番を使って、再ダイヤル 01 の番号を登録するとき》

次の操作をすると、再ダイヤル 01 に記憶されている電話番号が発信規制に登録されます。

1. 通話終了後

2. いったん受話器を戻す

3. **受話器を上げる**

4. **⑨ ⑤ ⑦ を押す**

957 は、個人登録発信規制データ登録の特番（初期値）です。

```
登録しますか?    (1:Yes,0:No)
                 03XXXXXXXX
```

5. **① を押す**

6. **受話器を戻す**

これで、個人登録発信規制に電話番号が登録できました。

▼ 個人登録発信規制の登録番号を削除する

個人登録発信規制に登録されている電話番号を、規制の対象から外すことができます。

注意

「ファンクションボタンの設定」により個人登録発信規制データ登録ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

1. **受話器を置いたまま、削除する電話番号をダイヤルする**

```
ﾌﾟﾘｾｯﾄ ﾀﾞｲﾔﾙ
          ﾀﾞｲﾔﾙ 03XXXXXXXX
```

2. **（個人登録発信規制データ登録ボタン）を押す**

```
          1:登録 0:削除
          03XXXXXXXX
```

3. **⓪ を押す**

これで、個人登録発信規制から電話番号が削除できました。

料金管理について

<料金表示／通話警告／予算管理> 工事

本システムでは、次のような方法で通話料金を管理できます。
管理の方法には、大きく分けると「注意を促す」ものと「通話を規制する」ものとがあります。

▼ 注意を促す場合

- 通話中の電話機に通話時間と料金を表示させて注意を促す
  <通話料金表示>
- 一定時間以上、通話が続いたときに、多機能電話機のスピーカまたは一般電話機の受話器から警告音を出して注意を促す
  <長時間通話警告>
- 一定金額以上、通話が続いたときに、多機能電話機のスピーカから警告音を出して注意を促す
  <大度数通話警告>
- 一定期間の通話料金を積算で表示する
  <積算料金表示>

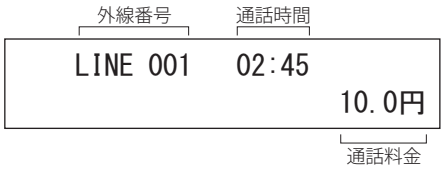
▼ 通話を規制する場合

- 内線ごとに、通話料金の予算を設定しておき、この金額を超えたときは外線への発信を規制する
- 一定時間以上、通話が続いたときに、警告音を出してから通話を強制切断する

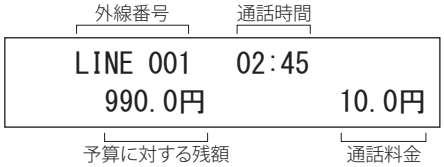
▼ 通話料金の表示について

外線に電話をかけて相手と通話しているときには、次のように通話料金が表示されます。

- 通話時間と通話料金を表示する場合



- 通話時間と通話料金および予算に対する残額を表示する場合



▼ 積算料金を表示する

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ⓪ ⑨ を押す

*09 は、積算料金表示の特番（初期値）です。

```
積算料金 表示
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. 内線番号を押す

- 定額発信規制が設定されていない場合

```
120                    積算
                   9900.0円
```

- 定額発信規制が設定されている場合

```
120      残金        積算
      100.0円    9900.0円
```

4. スピーカ を押す

▼ 内線ごとに積算料金を消去する

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ① ⓪ を押す

*10 は、積算料金消去の特番（初期値）です。

```
積算ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ
0:ｵｰﾙ 1:個別
```

3. ① を押す

1 は、内線番号ごとの積算料金消去の番号です。

```
積算ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ          (個別)
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

4. 内線番号を押す

```
積算ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ          (個別)
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ              ｸﾘｱ
```

5. スピーカ を押す

これで、積算料金が消去できました。

▼ 全内線の積算料金を消去する

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ① ⓪ を押す

*10 は、積算料金消去の特番（初期値）です。

```
積算ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ
0:ｵｰﾙ 1:個別
```

3. ⓪ を押す

0 は、全内線の積算料金消去の番号です。

```
積算ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ
                ｸﾘｱ(ｵｰﾙ)
```

4. スピーカ を押す

これで、積算料金が消去できました。

▼ 定額料金を設定する

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ① ① を押す

*11 は、定額料金設定の特番（初期値）です。

```
定額料金 設定
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

3. 定額料金を設定する

内線番号を押す

```
120                 0.0円
料金設定
```

4. 金額を入力する

```
120                 0.0円
料金設定            10000
```

5. 保留 **を押す**

```
120                    10000.0円
内線 ﾀﾞｲﾔﾙ
```

6. スピーカ **を押す**

これで、定額料金が設定できました。

こんなときは

複数の内線に定額料金を設定したい

手順 5 のあと、手順 3 に戻ってくり返してください。

番号計画について

<サービス特番一覧>

番号計画とは、電話をかける、受ける、またはいろいろな機能を利用するときに押す番号(特番)を決めることです。よく使う機能の特番は、お買い上げいただいたときに、あらかじめ初期値が設定されています。この初期値は、それぞれの操作手順に記載されていますので、参照してください。

注意

特番は、システムの利用状況などにより、別の番号に変更されることがあります。詳しくは、販売店にご確認ください。

▼ 特番の初期値一覧表

特番の初期値一覧です。初期値を変更または設定した場合は、次の表に新しい特番を記入してご利用ください。
「利用できる電話機」欄は、この機能を利用できる電話機を略号で表しています。

- 多:多機能電話機
- 一般:一般電話機
- K :カールコードレス電話機(子機)/マルチラインデジタルコードレス電話機
- ST :汎用デジタルコードレス電話機

《管理者用サービス特番》

システム管理者用のサービス特番です。ダイヤル番号は初期値です。

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
運用モード切替(自グループ)	*01		多 一般 K ST
時刻データ設定	*03		多
共通・個別短縮ダイヤル設定	*04		多 K
グループ短縮ダイヤル設定	*05		多 K
外線毎の自動転送設定	*06		多
外線毎の自動転送解除	*07		多
外線毎の自動転送先登録	*08		多
積算料金表示	*09		多
積算料金消去	*10		多

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
定額料金設定	*11		多
運用モード切替（他グループ）	*12		多 一般
料金集計／明細プリントアウト	*13		多
即時明細プリントアウト	*14		多
ID 登録	*15		多
伝言設定	*16		多
ダイヤルブロック（システム管理者による）	*17		多
ドアホン着信の外線転送	*18		多
システムアラームメッセージ消去	*19		多 K
VRS メッセージ編集	*20		多
VRS 同報メッセージの再生	*21		多 一般 K
VRS 同報メッセージの録音・消去	*22		多 一般 K
内線番号毎の SMDR 集計出力	*23		多
内線グループ毎の SMDR 集計出力	*24		多
アカウントコード毎の SMDR 集計出力	*25		多
強制外線切断	*26		多 一般
外線閉塞	*27		多 一般
個別内線精算（ダイレクト印刷）	*28		多
全内線一括精算（ダイレクト印刷）	*29		多
発番号非通知拒否設定	*32		多 一般 K ST
発番号による着信拒否登録	*33		多
発番号による着信拒否設定	*34		多 一般 K ST
ダイヤルイン呼番号毎のモード切替	*35		多 一般 K ST
外線留守番サービスの送出ガイダンス番号設定	*36		多 一般 K ST
ガイドホン通報パターン切替	*38		多
ID グループ集計	*39		多
ID 登録	*40		多
日付データ設定	*41		多
メンテナンス特番	*42		多
警戒中メッセージ動作設定	*46		多 一般
警告メッセージ動作設定	*47		多 一般
センサ自動通報先動作設定	*48		多
リモート確認動作設定	*49		多

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
パワーセーブ	*51		多 一般
システムアラームレポート消去	*53		多 一般
RTP 統計情報ファイル保存	*54		多 一般
保留音 1 曲目変更	*55		多 一般
保留音 2 曲目変更	*56		多 一般
VRS 曲目変更	*57		多
発信者番号選択発信許可ダイヤル設定	*58		多

《設定・登録用サービス特番》

一般ユーザーが、設定や登録をするときに使用するサービス特番です。ダイヤル番号は初期値です。

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
着信転送	901		多 一般 K ST
話中転送	902		多 一般 K ST
不応答転送（応答遅延転送）	903		多 一般 K ST
話中・不応答転送	904		多 一般 K ST
不在着信転送設定	905		多 一般 K ST
フォローミー設定／解除	907		多 一般 K ST
着信拒否設定	908		多 一般 K ST
伝言設定／応答	909		多 一般 K ST
伝言全解除	910		多 一般 K ST
伝言解除	911		多 一般 K ST
アラーム（指定時間呼出）	912		多 一般
LCD 表示言語選択	913		多
テキストメッセージ設定	914		多
内線着信音設定（音声）	915		多
内線着信音設定（信号）	916		多
機能ボタン設定（一般機能レベル）	917		多 K
BGM オン／オフ	未設定		多
キータッチトーン オン／オフ	919		多
着信音色切替	920		多
着信音確認	921		多
内線名称入力	922		多

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
被話中呼出(個別着信の通話中表示)	923		多
内線グループ毎の自動転送設定	925		多 一般 K ST
内線グループ毎の自動転送解除	926		多 一般 K ST
内線グループ毎の自動／不応答転送先登録	927		多
内線グループ毎の不応答転送設定	928		多 一般 K ST
内線グループ毎の不応答転送解除	929		多 一般 K ST
内線グループ毎の着信拒否設定	930		多 一般 K ST
内線グループ毎の着信拒否解除	931		多 一般 K ST
PHS 子機位置登録情報	932		多 K
ダイヤルブロック	未設定		多 一般 K ST
発信規制一時解除	934		多 一般 K ST
内線グループ一時離脱	935		多 一般 K ST
発信規制クラス変更	936		多 一般 K ST
着信音量設定	937		多
機能ボタン設定(アピアランス機能レベル)	938		多 K
センター電話帳ロック特番	956		多
個人登録発信規制データ登録	957		多 一般 K ST
ヘッドセット着信の音量設定	962		多
LCD 縦倍角表示設定	963		多
LCD 白黒反転表示設定	964		多
ヘッドセットモード切替	未設定		多
KDDI 光ダイレクト着信転送	未設定		多 一般 K ST
BCA 関連ボタンの登録解除	974		多 一般 K ST

《サービスアクセス用サービス特番》

一般ユーザーが、外線や内線での発着信時に利用する、様々な機能のサービス特番です。ダイヤル番号は初期値です。

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
バイパスコール	801		多 一般 K ST
会議通話	802		多 一般 K ST
話中呼出(待機中通知)	803		多 一般 K ST
外線・内線予約設定	804		多 一般 K ST

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
外線・内線予約解除	805		多 一般 K ST
信号／音声呼出切替	806		多 一般 K ST
ステップコール	807		多 一般 K ST
通話割り込み	808		多 一般 K ST
グループ内全内線着信切替	809		多 一般 K ST
共通・個別短縮ダイヤル発信	810		多 一般 K ST
グループ短縮ダイヤル発信	811		多 一般 K ST
再ダイヤル発信	812		多 一般 K ST
セーブドナンバーリダイヤル	813		多 一般 K ST
外線グループ捕捉	814		多 一般 K ST
指定外線捕捉	815		多 一般 K ST
ネットワークシステムの外線捕捉	816		多 一般 K ST
再ダイヤル消去	817		多 一般 K ST
セーブドナンバーリダイヤル消去	818		多 一般 K ST
内線グループ呼出	819		多 一般 K ST
放送	820		多 一般 K ST
内線グループ指定応答	821		多 一般
放送応答	822		多 一般 K ST
内線グループ呼出応答	823		多 一般
同時放送・内線グループ呼出	824		多 一般 K ST
内線指定呼代理応答（自代理応答グループのみ有効）	825		多 一般 K ST
グループ指定代理応答	826		多 一般 K ST
グループ代理応答	827		多 一般 K ST
他グループ代理応答	828		多 一般 K ST
指定内線代理応答	829		多 一般 K ST
指定外線応答	830		多 一般 K ST
パーク保留登録	831		多 一般 K ST
パーク保留応答	832		多 一般 K ST
内線グループ保留登録	833		多 一般 K ST
内線グループ保留応答	834		多 一般 K ST
ステーションパーク保留	835		多 一般 K ST
ドアホン呼出	836		多 一般 K ST
共通サービス設定解除	837		多 一般 K ST

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
ボイスメールセンター呼出	839		多 一般 K ST
ボイスオーバー	841		多
フッキング	842		一般 ST
分散応答	843		一般 ST
一般電話機呼び返し	844		一般
個別保留維持（一般電話機）	845		一般 ST
個別保留維持応答（一般電話機）	846		一般 ST
話中呼出応答（一般電話機）	847		一般 ST
PHS データ通信	849		K ST
汎用リレー	850		多 一般 K ST
自ボックスアクセス	851		多 一般 K ST
緊急通報終了	861		多 一般
セキュリティセンサリセット	862		多 一般
セキュリティ放送	863		多 一般
セキュリティセンサ連動	864		多 一般
発信者番号選択発信	865		多 一般 K ST

《ホテル用サービス特番》

ホテルのフロントなどで使用するサービス特番です。ダイヤル番号は未設定です。

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
着信拒否設定	未設定		多 一般
着信拒否解除	未設定		多 一般
着信拒否の代行設定	未設定		多 一般
着信拒否の代行解除	未設定		多 一般
モーニングコール設定	未設定		多 一般
モーニングコール解除	未設定		多 一般
モーニングコールの代行設定	未設定		多 一般
モーニングコールの代行解除	未設定		多 一般
客室間コール制限設定	未設定		多 一般
客室間コール制限解除	未設定		多 一般
発信規制クラスの代行設定変更	未設定		多 一般
チェックイン	未設定		多 一般

機能名称	特番		利用できる電話機
	初期値	設定値	
チェックアウト	未設定		多 一般
客室情報プリントアウト	未設定		多
ホテル ルームモニタ	未設定		一般
モーニングコール確認	未設定		多 一般
モーニングコール代行確認	未設定		多 一般

こんなときは

特番を押しても操作できない

特番によっては、利用できる電話機が限定されています。
詳しくは、販売店にご相談ください。

電話機のラインナップ

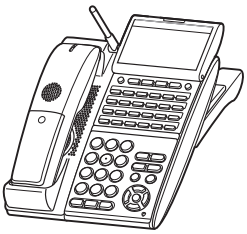
本システムでは、次の電話機を使うことができます。
電話機ごとの機能の詳細は、『多機能電話機の品名および機能一覧』(⇒P.5-24)を参照してください。

デジタル多機能電話機

12 ボタンタイプ

24 ボタンタイプ

32 ボタンタイプ



24 ボタンタイプ、カールコードレス

24 ボタンタイプ、一般回線 停電対応用

24 ボタンタイプ、ISDN 回線 停電対応用

IP 多機能電話機

12 ボタンタイプ

24 ボタンタイプ

32 ボタンタイプ

24 ボタンタイプ、一般回線 停電対応用

24 ボタンタイプ、ISDN 回線 停電対応用

シングルゾーンデジタルコードレス電話機

マルチラインデジタルコードレス電話機（PHS）

UC100

その他の電話機

一般電話機や ISDN 電話機、など

多機能電話機の品名および機能一覧

▼ DT500 シリーズデジタル多機能電話機

項目	DTK-12D-2D	DTK-24D-2D	DTK-32D-2D
ファンクションボタン	12 （2 色 L ED）	24 （2 色 LED）	24 ＋ 8 （2 色 LED）
固定機能ボタン	10 （フック、特殊、転送、スピーカ、クリア、メニュー、確定、保留、応答、発信）		
十字キー	1 （上下キー：ボリューム、左キー：再/短、右キー：電話帳検索）		
ソフトキー	4		
HELP、EXIT	2		
大型ランプ	あり（7 色 LED）		
LCD 表示器	全角：14 桁 × 4 行 半角：28 桁 × 4 行		
バックライト機能	あり		
付加機能	―		
筐体色	白／黒	白／黒	白
ハンズフリー機能	あり（半二重）		
オプション同時装着数	サイドユニット：1（8LK または 16LK） ※ DTK-32D-2D は 8LK ボタンを接続済み ボトムユニット：1		
ヘッドセット接続	可		

▼ DT900 シリーズ IP 多機能電話機

項目	ITK-12CG-1D	ITK-24CG-1D	ITK-32CG-1D	ITZ-24PA-2D	ITZ-24PD-2D
ファンクションボタン	12 （2 色 L ED）	24 （2 色 LED）	24 ＋ 8 （2 色 LED）	24 （ 2 色 LED）	
固定機能ボタン	10 （フック、特殊、転送、スピーカ、クリア、メニュー、確定、保留、応答、発信）				
十字キー	1 （上下キー：ボリューム、左キー：再/短、右キー：電話帳検索）				
ソフトキー	4				
HELP、EXIT	2				
大型ランプ	あり（7 色 LED）				
LCD 表示器	全角：14 桁 × 5 行 半角：28 桁 × 5 行 ※ ITK-12CG/24CG/32CG-1D は 4.3 インチ TFT カラー LCD です。				

項目	ITK-12CG-1D	ITK-24CG-1D	ITK-32CG-1D	ITZ-24PA-2D	ITZ-24PD-2D
バックライト機能	あり			あり （ダイヤルボタン部：なし）	
付加機能	―			アナログ停電機能	ISDN 停電機能
筐体色	白／黒	白／黒	白	白	白
ハンズフリー機能	あり（全二重）				
オプション同時装着数	サイドユニット：2 （8/16LK ボタンおよび DSS コンソール） ※ ITK-32CG-1D は 8LK ボタンを接続済み ボトムユニット：1			サイドユニット：2 （8/16LK ボタンおよび DSS コンソール） ボトムユニット：1	
ヘッドセット接続	可				

多機能電話機のオプション品一覧

種別	品名	名称	用途	備考
ボトムユニット	ADA-L UNIT	通話録音用ユニット	多機能電話機にカセットレコーダを接続する	
	APR-LD UNIT	アナログポートユニット	デジタル多機能電話機に一般電話機を接続する	デジタル多機能電話機専用
	BCA-ZD UNIT	Bluetooth コミュニケーションアダプタ	Bluetooth 機能を内蔵したスマートフォンと多機能電話機を接続し連動することができるユニット	DT500/DT900 シリーズ電話機使用不可
	WFA-KD UNIT	ワイヤレスアダプタ	IP 多機能電話機をワイヤレス接続します。	DT900 シリーズ IP 多機能電話機専用
サイドユニット	DCK-60-1D(WH) CONSOLE	60 ボタン DSS コンソール	多機能電話機のファンクションボタンを拡張する	
	8LK-K UNIT	8 ボタン増設アダプタ		
	16LK-K(WH)UNIT	16 ボタン増設アダプタ		
オプションボタンセット	BS(E)-KD(WH/BK)KIT	英語表示テンキーキット（白／黒）	電話機のテンキーを英語表示に変更する	
	Sticker-Brille-KD KIT	点字対応シール（白）	電話機のテンキーを点字対応にする	
オプション用品	WM-L UNIT	壁掛け用品	多機能電話機を壁に掛ける	
	DSS WM-K UNIT	DSS コンソール壁掛け用品	DSS コンソールを壁に掛ける	
	AC-ZD UNIT	AC アダプタ	IP 多機能電話機にローカル給電するときに利用する	

種別	品名	名称	用途	備考
	VAL DIRECTORY CARD UNIT(L)	短縮ダイヤル早見表	短縮ダイヤルの早見表を多機能電話機背面に取り付ける	DT500 シリーズデジタル多機能電話機専用
	CG DIRECTORY CARD UNIT(L)	短縮ダイヤル早見表	短縮ダイヤルの早見表を多機能電話機背面に取り付ける	DT900 シリーズ IP 多機能電話機専用
	WATER PROOF COVER(K)	防塵防水カバー	DTK/ITK-TEL 用(8/16LK およびクレードル部分はカバーしない)	DT500 シリーズデジタル多機能電話機専用
	WATER PROOF COVER(KC)	防塵防水カバー	DTK/ITK-TEL 用(8/16LK およびクレードル部分はカバーしない)	DT900 シリーズ IP 多機能電話機専用

カールコードレス電話機の仕様

▼おもな仕様

項目	諸元	備考
Bluetooth®バージョン	Bluetooth® version 2.0	
無線インタフェース	Bluetooth® Class1(1mW～100mW)	
搭載プロファイル	子機 • GAP:Generic Access Profile • SPP:Serial Port Profile	
	親機 • GAP:Generic Access Profile • SPP:Serial Port Profile • HSP:Headset Profile • HFP:Hands Free Profile	※ Bluetooth®ヘッドセットの推奨品については、お買い求めの販売店にご相談ください。 ※ 推奨品以外の Bluetooth®ヘッドセットを使用すると、接続できないことや接続できても音量が合わないことがあります。必ず、推奨品をご使用ください。
使用可能範囲	約 100m(見通し距離)	環境によって異なる
消費電力	子機:約 0.5W	
	親機:約 3.7W	子機への充電含む
給電方式	多機能電話機からの給電	
オプション	AC-LE UNIT	システムから DTZ-24BT-2D 間の距離が 400m を超える場合にのみ使用
寸法(W×L×H)	子機:53mm × 184mm × 47mm	
	親機:196mm × 258mm × 109mm	アンテナを含まず
質量	子機:約 0.18kg	電池を含む
	親機:約 1.0kg	
使用環境	温度:0～40℃　湿度:10～90%	結露しないこと

項目	諸元	備考
制限事項	他のコードレスターミナルからは 1m 以上、他の無線機器からは 3m 以上離して設置	

注意

- コードレスターミナルはデジタル無線方式を採用しており、第三者に傍受されにくくなっています。ただし、電波を使用しているため、故意に傍受されるケースがあるかもしれません。第三者に傍受されると問題がある場合は、有線電話機をご使用ください。
- 電池の保護のため、3℃以下および 43℃以上では子機への充電を停止する場合があります。

※Bluetooth®は、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標であり、使用許諾契約の下で弊社にライセンスされています。

電話機と利用できる機能について

本システムの専用多機能電話機や一般電話機では、それぞれ利用できる機能と利用できない機能があります。利用できる機能については『番号計画について』(⇒P.5-14)を参照してください。

各種設定について

本システムを活用していただくために、次の設定ができます。
- 時計の設定
- ファンクションボタンへの登録
- 運用モードの切替
- 保留音の変更

時計を設定する

多機能電話機に表示する時刻を設定します。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ⓪ ③ **を押す**

*03 は、時刻データ設定の特番（初期値）です。

```
*03
```

3. **時間を入力する**

24 時間制で入力してください。
例：午前 9 時の場合は 09 と入力

```
*03 09
```

4. **分を入力する**

例：5 分の場合は 05 と入力

```
*03 09 05
```

5. スピーカ **を押す**

これで、時刻の設定ができました。

こんなときは

時刻がスタートするタイミング

上記手順 4 の分を入力した時点で、秒が 0 になり、時計がスタートします。

日付を設定する

システムの日付設定を変更します。

▼ 設定のしかた

1. スピーカ **を押す**

2. ⊛ ④ ① **を押す**

```
YY/MM/DD/曜日(1 : Sun)
*41
```

3. 西暦を入力する

下 2 桁を入力してください。
例:2018 年の場合は 18 と入力

```
YY/MM/DD/曜日(1 : Sun)
                    *41 18
```

4. 月を入力する

2 桁で入力してください。
例:8 月の場合は 08 と入力

```
YY/MM/DD/曜日(1 : Sun)
                 *41 18 08
```

5. 日付を入力する

2 桁で入力してください。
例:9 日の場合は 09 と入力

```
YY/MM/DD/曜日(1 : Sun)
              *41 18 08 09
```

6. 曜日を入力する

日曜日:1、月曜日:2、火曜日:3、水曜日:4、木曜日:5、金曜日:6、土曜日:7

```
YY/MM/DD/曜日(1 : Sun)
           *41 18 08 09 5
```

7. [スピーカ] を押す

これで、日付の入力ができました。

ファンクションボタンへの機能登録について

多機能電話機のファンクションボタンに、いろいろな機能を割り付けると、このボタンを押すだけで利用できるようになります。
ファンクションボタンへの機能割り付けは、工事段階で設定するものと、特番を使って行えるものがあります。
また、アピアランス機能レベルのファンクションボタン設定は、ボタン設定のほかにも工事段階の設定が必要な場合があります。
ここでは、特番を使って割り付けられるボタンだけを説明しています。

▼ 一般機能レベルのファンクションボタンを設定する

1. [スピーカ] を押す

2. ⑨ ① ⑦ を押す

917 は、機能ボタン設定(一般機能レベル)の特番(初期値)です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. 割り付けたい [ ] (ファンクションボタン) を押す

ファンクションボタンの番号

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ              ｷｰ 16
                 NOT DEFINE
```

現在の設定内容が表示される

4. 機能番号を押す

機能番号は、『▼ ファンクションボタンの機能番号一覧』(⇒P.5-32)を参照してください。
例:14(不在着信転送ボタンの機能番号)を押した場合

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 16
              不在着信転送
```

5. スピーカ を押す

付加番号を入力する機能の場合は、保留ボタンを押してからスピーカボタンを押してください。

これで、ファンクションボタンへの割り付けができました。

こんなときは

複数のファンクションボタンに登録したい

手順 3 と手順 4 をくり返します。

▼ アピアランス機能レベルのファンクションボタンを設定する

注意

- アピアランス機能レベルのファンクションボタン設定は、システム管理者用として設定された電話機のみ行えます。
- すでにアピアランス機能レベルのファンクションボタンが設定してある場合は、設定内容をいったん解除してから、改めてほかの機能を設定してください。
  詳しくは『▼ 解除のしかた』(⇒P.5-32)を参照してください。

ここでは例として、多機能電話機のファンクションボタンに、仮想内線ボタンを割り付けます。

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ③ ⑧ を押す

938 は、機能ボタン設定(アピアランス機能レベル)の特番(初期値)です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. 割り付けたい ▭(ファンクションボタン)を押す

ファンクションボタンの番号

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 16
             NOT DEFINE
```

現在の設定内容が表示される

4. ⊛ ⓪ ③ を押す

*03 は、仮想内線ボタンの機能番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 16
                   内線
```

5. 割り付けたい内線番号(仮想内線番号)を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 16
             内線 600
```

仮想内線番号

6. 保留 を押す

```
内線 600        鳴動 設定
ﾓｰﾄﾞ: / / / / / / /
```

現在の設定内容が表示される

7. 着信音を鳴らしたい時間帯の番号を押す

時間帯は、1～8 の中から選ぶことができます。

```
内線 600        鳴動 設定
ﾓｰﾄﾞ:1/ / / / / / /
```

押した番号に応じて表示される

8. 保留 を押す

```
内線 600        遅延鳴動 設定
ﾓｰﾄﾞ: / / / / / / /
```

現在の設定内容が表示される

9. 着信音を遅らせて鳴らしたい時間帯の番号を押す

時間帯は、1～8 の中から選ぶことができます。

注意

「鳴動 設定」と「遅延鳴動 設定」の時間帯を、同じ時間帯に設定することはできません。

```
内線 600        遅延鳴動 設定
ﾓｰﾄﾞ: /2/ / / / / /
```

10. 保留 を押す

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          ｷｰ 16
                 内線 600
```

11. スピーカ を押す

これで、仮想内線ボタンの割り付けができました。

こんなときは

複数の仮想内線ボタンを割り付けたい

手順 3～手順 10 をくり返します。

▼ 確認のしかた

1. Help を押す

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。

ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

```
ﾁｪｯｸ
```

2. ▭（ファンクションボタン）を押す

押したファンクションボタンの登録内容が表示されます。

```
ﾁｪｯｸ                LINEｷｰ 16
                      内線 600
```

3. 待ち受け画面に戻るときは Exit を押す

▼ 解除のしかた

1. スピーカ を押す

2. ⑨ ① ⑦ または ⑨ ③ ⑧ を押す

917 は、機能ボタン設定（一般機能レベル）の特番（初期値）です。938 は、機能ボタン設定（アピアランス機能レベル）の特番（初期値）です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
```

3. 解除したい ▭（ファンクションボタン）を押す

押したファンクションボタンの登録内容が表示されます。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ            ｷｰ 16
                 不在着信転送
```

4. ⓪ ⓪ ⓪ を押す

000 は、ファンクションボタンの解除番号です。

```
ｷｰ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ            ｷｰ 16
                 NOT DEFINE
```

5. スピーカ を押す

これで、ファンクションボタンを解除できました。

注意

BCA-ZD 収容状態では、#08：Bluetooth Connect ボタンおよび#09：Bluetooth Path ボタンの登録解除はできません。
DT500/DT900 シリーズ電話機では BCA-ZD を使用できません。

▼ ファンクションボタンの機能番号一覧

※1 欄は、カールコードレス電話機（子機）のファンクションボタンでも割付できる機能に「○」を記載しています。
※ 2 欄は、マルチラインデジタルコードレス電話機のファンクションボタンでも割付できる機能に「○」を記載しています。
また、割付できない機能には「×」を記載しています。

注意

- 機能番号が“＊”で始まる機能は、アピアランス機能レベルの操作で割り付けてください。
- ファンクションボタンを登録直後にシステムの電源を切る場合、登録したファンクションボタンの内容がシステムに書き込まれたことを確認してください。詳しくは『《電源の切りかた》』（⇒P.xxx）を参照してください。

ボタン名	機能番号	※1	※2
ワンタッチ	01 ＋相手番号（最大 24 桁）	○	○
DSS（内線呼出、状態表示）	01 ＋内線番号	○	○

ボタン名	機能番号	※1	※2
マイク	02	×	×
着信拒否	03	○	○
BGM ＜ ON/OFF ＞	04	×	×
ヘッドセット	05	×	×
転送	06	○	○
会議	07	○	○
着信履歴	08	×	×
運用モード切替	09 ＋運用モード番号 1～8、トグル切替 0	○	○
着信転送	10	○	○
話中転送	11	○	○
不応答転送	12	○	○
話中・不応答転送	13	○	○
不在着信転送	14	○	○
フォローミー	15	○	○
テキストメッセージ	18	×	×
グループ放送	19 ＋放送グループ番号 1～8	○	○
放送	20	○	○
内線グループ呼出	21 ＋内線ページンググループ番号 1～128(8)	○	○
内線一斉呼出	22	○	○
内線グループ呼出応答	23	×	×
代理応答	24	○	○
他グループ代理応答	25	○	○
グループ指定代理応答	26 ＋代理応答グループ番号 1～64(8)	○	○
共通・個別短縮	27	○	○
共通短縮ワンタッチ	27 ＋共通短縮番号	○	○
個別短縮ワンタッチ	27 ＋個別短縮番号	○	○
グループ短縮	28	○	○
グループ短縮ワンタッチ	28 ＋グループ短縮番号	○	○
リピートダイヤル	29	×	×
セーブドナンバーリダイヤル	30	○	○
メモダイヤル	31	×	×
口頭会議招集	32	○	○
話中呼出	33	○	○

ボタン名	機能番号	※1	※2
通話割り込み	34+内線番号または＊	○	○
予約（外線・内線共用）	35	○	○
ステップコール	36	○	○
バイパスコール	37	○	○
伝言	38	×	○
ルームモニタ	39	○	×
送話カット	40	○	○
ブザー	41 ＋内線番号	×	×
幹部着信代理応答	42 ＋内線番号	×	×
折り返し転送	43	○	○
共通保留	44	○	○
個別保留	45	○	○
内線グループ一時離脱	46	○	○
リバース・ボイスオーバー	47 ＋内線番号	×	○
ボイスオーバー	48	×	○
コールリダイレクト	49 ＋内線番号またはボイスメール番号	○	○
アカウントコード	50	×	○
汎用リレー	51 ＋リレー番号（0、1～8）	○	○
着信お待たせ設定	52 ＋着信グループ番号 001～100（1～8）	○	○
着信お待たせメッセージ起動	53	○	○
ドアホン着信の外線転送設定	54	×	○
内線名称編集	55	×	○
在席表示操作	56 ＋在席表示盤のランプ番号 1～300	○	○
在席表示	57 ＋在席表示盤のランプ番号 1～300	○	○
内線グループ毎の自動転送設定／解除	58 ＋内線グループ番号 1～128（8）	○	○
内線グループ毎の自動転送設定／解除	59 ＋内線グループ番号 1～128（8）	○	○
内線グループ毎の自動転送設定／解除	60 ＋内線グループ番号 1～128（8）	○	○
ID 入力	61	○	○
発番号通知拒否モード（INS）	63	○	×
キーパッドファシリティ	64	○	○
INS 通信中転送	65	○	○
アプリケーションボタン	76+任意のダイヤル（最大 8 桁）	○	○
外線毎の自動転送ボタン	81 ＋転送用の外線番号	○	○

ボタン名	機能番号	※1	※2
切断再捕捉	84	○	○
発番号非通知拒否設定	86	○	○
発番号による着信拒否設定	87	○	○
ダイヤルイン呼番号毎のモード切替	88	○	○
個人登録発信規制機能スイッチ	89	○	○
個人登録発信規制データ登録	90	○	○
ドアホン呼び出し	97	○	○
KDDI 光ダイレクト着信転送	#01 ＋内線番号	○	○
パワーセーブ	#06 ＋パワーセーブグループ番号(00、01～32)	○	○
Bluetooth Connect	#08	×	×
Bluetooth Path	#09	×	×
メジャーアラーム	#11	○	○
マイナーアラーム	#12	○	○
発信者番号通知	#13	○	○
ワンナンバーフォーキング機能	#14	○	○
内線	*00	×	×
外線	*01 ＋外線番号	○	○
索線	*02 ＋外線グループ番号 001～100(1～8)	○	○
仮想内線	*03	○	○
パーク保留	*04 ＋パーク番号 1～64	○	○
ステーションパーク保留	*07	○	○
セキュリティ放送	*32	○	○
セキュリティセンサ連動	*33	○	○
システム着信履歴	*35	○	×
ボイスメール操作			
メールボックス	67 ＋メールボックス番号	○	○
スキップ	68 ＋ 0	○	○
バックスキップ	68 ＋ 1	○	○
通話録音	69 ＋ 0	○	○
消去・再録音	69 ＋ 1	○	○
消去	69 ＋ 2	○	○
通話録音-呼出	69 ＋ 3	○	○
留守番電話	70 ＋メールボックス番号	○	○

ボタン名	機能番号	※1	※2
留守番応答メッセージ切替	71 ＋メールボックス番号	○	○
リモート・カンファレンス通話録音	#10	○	○

運用モードについて

システム全体、または運用モードグループごとに、8 種類の運用モードを設定できます。

- モード 1（昼間 1）
- モード 2（夜間 1）
- モード 3（深夜 1）
- モード 4（休憩 1）
- モード 5（昼間 2）
- モード 6（夜間 2）
- モード 7（深夜 2）
- モード 8（休憩 2）

8 種類のモードを、次のように 1 日に割り当てて利用します。また、曜日ごとに割り当てを変えて、スケジュールを組むこともできます。

運用モードを設定すると、モードごとに電話がかかってきたときに鳴らす電話機や、外線発信ができる電話機などを切り替えることができます。

こんなときは

運用モードを定刻に切り替えたい

運用モードは、時間帯、曜日および長期休暇などに合わせて自動的に切り替えることもできます。運用モードの自動切替は、工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 運用モードの手動切替

注意

「ファンクションボタンの設定」により運用モード切替ボタンを電話機に割り付けておく必要があります。運用モード切替ボタンの割り付けかたには、次の 2 種類があります。

- 複数のファンクションボタンに、各運用の切替用ボタンを割り付ける
- 1 つのファンクションボタンに、運用モードのトグル切替用ボタンを割り付ける

詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』（⇒P.5-29）を参照してください。

《特番を使うとき》

1. 受話器を上げる

2. ⊛ ⓪ ①

*01 は、運用モード切替の特番（初期値）です。

```
運用ﾓｰﾄﾞ 状態
```

3. モードの番号を押す

モードの番号は、1～8 のいずれかを押します。

```
運用ﾓｰﾄﾞ 切替
<ﾖﾙ>                ｸﾞﾙｰﾌﾟ 01
```

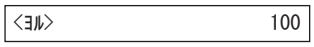
4. 受話器を戻す

これで、運用モードの切替ができました。

《運用モードごとの運用モード切替ボタンを使うとき》

1. 設定したい運用モードが割り付けられている ▭（運用モード切替ボタン）を押す

運用モード切替ボタンが赤点灯します。

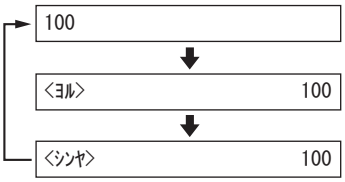


これで、運用モードの切替ができました。
ほかの運用モード切替ボタンを押すと、運用モードが切り替わります（設定されていた運用モード切替ボタンが消灯します）。

《トグル切替の運用モード切替ボタンを使うとき》

1. ▭（運用モード切替ボタン）を押す

運用モード切替ボタンを押すたびに、運用モードが切り替わります。



これで、運用モードの切替ができました。

注意

トグル切替が割り付けられている運用モード切替ボタンのランプ表示は以下の通りです。
- 運用モード 1、5～8 設定中：消灯
- 運用モード 2 設定中：赤点灯
- 運用モード 3 設定中：遅い赤点滅
- 運用モード 4 設定中：速い赤点滅

保留音について

内線通話を保留したとき、相手に流す保留音は、次のいずれかを設定できます。
00：無音
01：春(四季より)（初期値）
02：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
03：春風
04：エリーゼのために
05：ジムノペディ
06：メヌエット
07：ダウンロード曲 1
08：ダウンロード曲 2

こんなときは

ほかの曲を使いたい
ユーザープログラミングまたは工事段階で設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

VRS メッセージを保留音として使用したい
工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

注意

外部保留音を使用している場合は、保留音の曲目変更はできません。工事段階の設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

▼ 保留音の曲目を変更する

1. スピーカ を押す

2. ⊛ ⑤ ⑤ を押す

*55 は、保留音曲目変更の特番(初期値)です。

```
                    *55
```

3. 保留音の番号を押す

上記の曲名の番号(00～08)を押します。

```
トーン 001 設定
```

4. スピーカ を押す

これで、保留音の曲目が変更できました。

こんなときは

保留音として設定してある VRS メッセージを変更したい

保留音として VRS メッセージを設定している場合は、スピーカーを押したあとに*57 を押し、VRS メッセージ番号(001～100)を押します。(*57 は VRS 変更の特番です。)

外部機器の制御について

<汎用リレー> 工事

このシステムのリレーを使用し、外部機器の制御ができます。

▼ 汎用リレーのオン／オフを切り替える

《特番を使うとき》

1. スピーカ を押す

2. ⑧ ⑤ ⓪ を押す

850 は、汎用リレーのオン／オフの特番(初期値)です。

```
汎用 リレー 制御
1-8:PGDADP, 0:CCPU
```

3. リレー番号を押す

例:リレー番号 1 を押したとき

```
汎用 リレー 01 オン
```

4. スピーカ を押す

これで、汎用リレーのオン／オフが切り替わりました。

こんなときは

汎用リレーは、オンのときに操作するとオフになり、オフのときに操作するとオンになります。

《特殊ボタンを使うとき》

1. 特殊 **を押す**

IP 多機能電話機をポータルモードで使用している場合は、あらかじめポップアップ画面を表示させる必要があります。
ポップアップ画面の表示方法は『▼ ポータルモードでポップアップ画面を表示するとき』(⇒P.1-6)を参照してください。

2. ⓪ **を押す**

```
汎用 ﾘﾚｰ 制御
1-8:PGDADP, 0:CCPU
```

3. **リレー番号を押す**

現在のリレーの状態が表示されます。
例:リレー番号 1 を押したとき

```
状態表示
汎用 ﾘﾚｰ 01 ｵﾌ
```

4. 特殊 **を押す**

約 5 秒後に時計表示に戻ります。

```
汎用 ﾘﾚｰ 01 ｵﾝ
```

リレー番号　オン／オフ

これで、リレーのオン／オフが切り替わりました。

こんなときは

よく汎用リレーを利用する方へ

電話機のファンクションボタンにリレー制御ボタンを割り付けておくと、このボタンを押すだけで利用できます。
詳しくは『ファンクションボタンへの機能登録について』(⇒P.5-29)を参照してください。

リレー制御ボタンを使用すると

ボタンのランプ表示で、リレーの状態がわかります。

- リレーがオンのとき:赤点灯
- リレーがオフのとき:消灯

一般電話機で操作したい

次の操作で、オン／オフを切り替えることができます。
受話器を上げる →[850]→[リレー番号]→ 受話器を戻す一般電話機の場合、特殊ボタンでの操作およびリレー制御ボタンでの操作はできません。
また、操作時の表示を行うことはできません。

多機能電話機を交換する

<端末リロケーション> 工事

席替えなどの際、それまで使用していた電話機を、移動先でも変わらず使用するための機能です。交換する 2 台の電話機を指定すると、電話機に設定されていた内線番号などの設定も、移動先でそのまま使用できます。

▼ 交換のしかた

1. 2 台の電話機を交換する

それぞれの内線番号を控えておいてください。

2. どちらかの電話機で、スピーカ を押す

3. 端末リロケーションの特番を押す

特番は工事段階で設定しますので、販売店にご確認ください。

```
電話機 ﾃﾞｰﾀ 交換
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 入力-
```

4. 工事段階で設定された暗証番号を押す

```
電話機 ﾃﾞｰﾀ 交換
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 入力-          ****
```

5. 交換する相手の内線番号を押す

セット音が聞こえます。

```
電話機 ﾃﾞｰﾀ 交換
Completed
```

6. スピーカ を押す

これで、電話機の交換ができました。

夜間などの消費電力をおさえる

<パワーセーブ>
電話機を使用しない夜間などの時間帯にデジタル多機能電話機など（ESIU 収容端末）への給電を停止することで、消費電力をおさえることができます。

▼ 設定のしかた

1. （パワーセーブボタン）を押す

```
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ  ｸﾞﾙｰﾌﾟ  給電設定
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ?
```

2. パスワード（0000）を押す

パワーセーブボタンが赤点灯します。

3. スピーカ を押す

これで、パワーセーブが設定できました。

▼ 解除のしかた

1. 赤点灯中の （パワーセーブボタン）を押す

パワーセーブボタンが消灯します。

2. スピーカ を押す

これで、パワーセーブが解除できました。

注意

- パワーセーブ設定時は、対象の電話機は使用できません。パワーセーブを設定/解除する電話機および緊急時に使用する可能性のある電話機は、パワーセーブの対象としないでください。
- 全パワーセーブグループ対応のパワーセーブボタンのランプ表示は、全グループ(1～32)がパワーセーブ状態となった場合に消灯から赤点灯に、全グループ(1～32)がパワーセーブ解除となった場合に赤点灯から消灯に変化します。パワーセーブ設定と解除のグループが混在の場合、消灯または赤点灯の状態を保持します。
- 【パスワードについて】
  「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
  パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
  パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
  容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

こんなときは

一般電話機から設定／解除したい

一般電話機および多機能電話機から ＊51 ＋ 給電停止(1) / 給電開始 (0) ＋ パワーセーブグループ番号 (00～32) ＋ パスワード で設定／解除できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

運用モードと連動させたい

運用モードの切替とパワーセーブ設定を連動させることができます。
さらに、自動運用モード切替と連動させ、あらかじめ設定した時間にパワーセーブとすることができます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

停電したときは

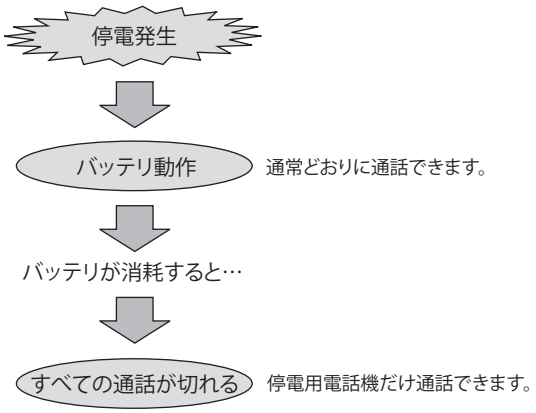
停電すると、本システムのバッテリから電気が供給され、一定時間は電話を使用できます。ただし、バッテリが消耗すると、すべての電話が切れます。
なお、バッテリが消耗しても、停電用電話機であれば、電話をかけたり受けたりすることができます。システムに少なくとも 1 台は、停電用電話機を設置することをおすすめします。

システムの動作

<停電時／停電復旧時動作>

▼ 停電したとき

停電したときの動作は、次のようになります。



▼ 動作保持時間について

<バックアップ時間>
停電したときに、主装置のバッテリで動作できる時間は、次のとおりです。

バッテリ	動作保持時間
短時間バッテリ	最大約 10 分
長時間バッテリ／長寿命バッテリ	デジタル多機能電話機 80 台以内のとき：最大約 3 時間

注意
動作保持時間は目安です
電話機の台数や使用状況、バッテリの使用年数などにより、上記の時間より短くなることがあります。

停電したときのカールコードレス電話機のコードレス子機の動作について

コードレス子機が、次のような動作に切り替わりますのでご注意ください。
- システムのバッテリを節電するために、お使いのシステムによっては充電機能が停止します。
- システムのバッテリ電圧によっては、使用できなくなることがあります。
- システムのバッテリがなくなったときは使用できません。

- 通話中にシステムのバッテリがなくなると通話が切れます。
- オプションの AC アダプタ(AC-ZD UNIT)を使用している場合は、停電中にコードレス子機を充電することはできません。

停電中の電話の使いかた

<停電時発着信>
停電中、バッテリが消耗すると、主装置が停止します。このとき、停電用電話機があると、一般家庭用の電話と同じように、局からの給電で電話をかけたり受けたりすることができます。ただし、本システムの短縮ダイヤルなどの利用や、内線通話はできません。

注意

停電中に使えるのは、停電対応用のハンドセットが接続されている多機能電話機と一般電話機だけです。なお、デジタルコードレス電話機で公衆網での契約をしてある場合は、公衆モードに切り替えると使用できます。

▼ 停電中のかけかた

1. **受話器を上げる**
2. **電話番号を押す**
3. **相手が出たら、通話する**

▼ 停電中の受けかた

1. **外線から着信中**
2. **受話器を上げる**
3. **相手と通話する**

停電が復旧したとき

停電が復旧し、電気が供給されるようになると、主装置が自動的に起動します。このとき、停電用電話機で通話していた場合は、電話を切った時点で通常の状態に戻ります。
以降は、通常どおりの方法で通話することができます。

消耗品について（電池等）

本システムには、リサイクル可能な電池がいくつか使用されています。
- システムの内蔵バッテリ：小形シール鉛蓄電池
- システム内 CPU のメモリバックアップ電池：ボタン型リチウム電池
- コードレス多機能電話機のコードレス子機内蔵のリチウムイオン電池パック

システムの内蔵バッテリについて

<小形シール鉛蓄電池>
本システムの主装置には、小形シール鉛蓄電池を使用しています。

小形シール鉛蓄電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。交換後、不要になった小形シール鉛蓄電池および使用済み製品から取り外した小形シール鉛蓄電池のリサイクルに際しては、次の注意を守ってください。注意を守らないと、ショートによる発煙・発火の原因となります。

▼ リサイクル時のご注意

- ショートを防ぐために、端子にテープを貼るか、個別に袋に入れるなどして絶縁してください。
- 小形シール鉛蓄電池を分解しないでください。

▼ 小形シール鉛蓄電池のお持ち込み先

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで下記の受付窓口への回収依頼もしくは、下記の回収拠点へお持ちください。
※ NEC 法人向け使用済み IT 機器 回収受付窓口及び回収拠点
NEC 環境ホームページ
http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html
をご覧ください。

▼ お問い合わせについて

- 製品、小形シール鉛蓄電池をご購入いただいた当社販売店
- NEC 法人向け使用済み IT 機器回収受付窓口および回収拠点

▼ 電池交換について

小形シール鉛蓄電池の寿命は、使用状況によっても異なります。下表を目安に定期的に交換を行ってください。

システム環境温度	25℃	25～30℃	30～40℃
蓄電池交換時期	3 年後	2 年後	1 年後

注意
小形シール鉛蓄電池の取り出しは、製品をご購入いただいた販売店にご依頼ください。

システム内 CPU のメモリバックアップ電池について

<ボタン型リチウム電池>
本システムの CPU には、ボタン型リチウム電池を使用しています。
- リチウム電池：3V　220mAh

▼ 廃棄時のご注意

- すべての⊕極と⊖極をセロハンテープなどで絶縁するか、個別の袋に入れるなどして絶縁してください。
- 廃棄するときには地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。
- ボタン型リチウム電池を分解しないでください。

▼ 電池交換について

システム内 CPU のメモリバックアップに使用されているリチウム電池の寿命は、使用状況によっても異なりますが、約 3 年程度です。定期的に交換を行ってください。

注意

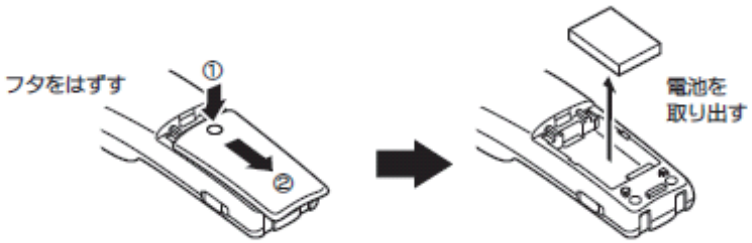
システム内 CPU のメモリバックアップ電池の取り出しは、製品をご購入いただいた販売店にご依頼ください。

カールコードレス電話機のコードレス子機内蔵のリチウムイオン電池パックについて

カールコードレス電話機のコードレス子機にはリチウムイオン電池パックが内蔵されています。

▼ コードレス子機の電池の交換について

子機に内蔵されている電池の寿命は、使用状況によっても異なりますが、2 年程度です。
長時間充電しても、すぐに電池の残容量が少なくなる場合には、新しい電池パック（Li-on BATTERY-オプション）に交換して下さい。詳しくは、販売店にご連絡下さい。



▼ リサイクルについて

リチウムイオン電池：3.7V、1100mAh
リチウム電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

こんなときは

交換後、不用になった電池及び使用済みのコードレス子機から取り出した電池のリサイクルに際しては、以下のことにご注意ください。発煙、発火の原因になります。

- 電池はショートしないように、接点部分にテープをはるか、個別にポリ袋に入れて、下記回収拠点にお持込みください。
  ※ NEC 二次電池法人向け回収リスト
  NEC 環境ホームページ
  http://jpn.nec.com/eco/ja/product/recycle/battery/index.html
  をご覧ください。

冷却ファンボックスについて

<19 インチモジュール用冷却ファンボックス>

▼ 冷却ファンボックスの交換について

19 インチモジュールではシステム内の冷却のため、冷却ファンボックスが取り付けられています。この冷却ファンボックスの寿命は、使用状況によっても異なりますが、約 4 年程度です。定期的に交換を行ってください。

▼ 廃棄時のご注意

- 廃棄するときには地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

注意

冷却ファンボックスの交換については、製品をご購入いただいた販売店にご依頼ください。

困ったときは

本システムをご使用中に、いつもと違うことが起こったときは、次のことを確認してみてください。それでも原因がわからないときは、販売店にご連絡ください。

電話機が使えない

チェックポイント	対処
主装置の電源ランプは青点灯になっていますか？	ランプが消灯しているときは、主装置の電源が切れています。このときは、電源スイッチを押してすぐ放してください。
主装置の電源コードはコンセントにしっかり差し込まれていますか？	確実に差し込んでください。
表示器に待ち受け画面が出ていますか？ 電話機コードが確実に差し込まれていますか？	電話機コードのコネクタを押し込んでみてください。 それでも表示が出ないときは、断線や電話機の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
ボタンの上に、何かが載っているときに操作しませんでしたか？	ボタンが押された状態になっていると、正常に動作しません。電話機の上には何も載せないでください。
受話器が浮いているときに操作しませんでしたか？	受話器が浮いていると、正常に動作しません。受話器をしっかり戻し、しばらく待ってから操作し直してください。

受話器やスピーカから音が聞こえない

チェックポイント	対処
受話器コードが抜けていませんか？	確実に差し込んでください。
受話器が浮いているときに操作しませんでしたか？	受話器が浮いていると、正常に動作しません。受話器をしっかり戻し、しばらく待ってから操作し直してください。

着信音が鳴らない

チェックポイント	対処
システムが夜間モードになっていませんか？	昼間モードのみ着信音が鳴るように設定されている電話機では、夜間モード中は着信音が鳴りません。
着信音が鳴るように設定された電話機ですか？	着信音を鳴らすかどうかは、工事段階で設定します。
着信音量は正しく設定されていますか？	着信音量を「最小」にしていると、音が聞こえません。
着信拒否を設定していませんか？	着信拒否を設定していると、着信音は鳴りません。

カールコードレス電話機のコードレス子機がおかしい

故障と思われる症状	確認事項	処置
まったく動作しない	• 親機のコードが抜けていませんか？ • 電池は正しくセットされていますか？ • 電池は充電されていますか？ • 親機から離れすぎていませんか？（子機の LCD 表示器のアンテナマークアイコンが、「弱」表示、または消 えていませんか？）	• 親機のコードをしっかり接続してください。 • 電池を正しくセットしてください。 • 充電しても動作しなければ電池の寿命が考えられます。電池を交換してください。 • 親機の近くに行って操作してみてください。
呼出音が鳴らない	• 子機の着信音量が「オフ」になっていませんか？（子機の LCD 表示器に、着信音 OFF アイコンが表示されていませんか？） • 電池が正しくセットされていますか？	• 着信音量を調整してください。 • 電池を正しくセットしてください。
通話中に音声が途切れる	• LCD 表示器のアンテナマークアイコンが「弱」表示、または消えていませんか？ • 親機と子機の間にコンクリート壁などの障害物はありませんか？	• 親機の近くに行って操作してみてください。 • 親機との間に障害物がないところへ移動してください。
通話中に雑音が入る	• 近くに家電製品や OA 機器などがありませんか？	• 電気機器などは雑音の発生源となります。離れてみてください。
8 時間以上充電しても、10 分程度使用すると通話ができなくなる	• 子機が親機に正しくセットされていますか？ • 充電端子が汚れていませんか？ • 約 2 年近く使用していませんか？	• 使用時以外は、常に親機に正しくセットしておいてください。 • 親機と子機の充電端子の汚れを、乾いた布で拭きとってください。 • ご購入後、約 2 年が経過している場合は、電池の寿命がなくなっていることが考えられます。電池を交換してください。
相手の声が聞きにくい	• 子機の受話音量が小さくなっていませんか？	• 通話中に十字キーの上を押して、音量を調整してください。

故障と思われる症状	確認事項	処置
通話ボタンまたは内線ボタンを押したとき、それぞれのランプが点滅したあと、点灯せずに子機からエラー音「ピピピピ」が鳴り、つながらないことがある	• 電波干渉／電波障害の可能性があります。 • 近くに電波干渉を起こすような製品はありませんか？ • 『親機の設置場所について』(⇒P.1-12)に記載されている機器との距離は、3m 以上離れていますか? • 子機の近くに、『親機の設置場所について』(⇒P.1-12)に記載されているような機器はありませんか？	• 再度、通話ボタンまたは内線ボタンを押してください。 • 電波干渉を起こしそうな機器から、親機と子機を 3m 以上遠ざけてください。

ドアホンの着信音が鳴らない

チェックポイント	対処
着信音量は正しく設定されていますか？	着信音量を「最小」にしていると、音が聞こえません。
ドアホンの着信音が鳴るように設定された電話機ですか？	着信音を鳴らすかどうかは、工事段階で設定します。

短縮ダイヤルやファンクションボタンの登録ができない

チェックポイント	対　処
登録できる桁数ですか？	登録できるのは、最大 24 桁までです。
登録ができるように設定された電話機ですか？	短縮ダイヤルやファンクションボタンの登録ができるかどうかは、工事段階で設定します。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

本製品には保証書を別途添付してあります。保証書はご購入いただいた販売店でお渡しいたしますので、所定事項記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、ご購入日より 1 年間です。

アフターサービスについて

- 万一、故障の際は弊社の保証規定にもとづき修理させていただきます。
- 使用上の不明な点やプログラムの変更、あるいは故障が発生した場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
  ※お買い求めの販売店にご依頼になれない場合には、下記にお問合せください。
  NEC キーテレフォンインフォメーションセンター TEL:042-716-9793 E-mail:info@kts.jp.nec.com
- 部品保有期間について
  弊社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、本製品の製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
  原則として、この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。
- 補修用性能部品について
  弊社では修理サービスにおいて、補修用性能部品の長期確保ならびに環境保護などのため、弊社の判断によって再生部品または代替品を使用させていただく場合があります。

修理を依頼されるときは

本システムの動作がおかしいときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも動作が直らないときには、ご購入いただいた販売店にご相談ください。

注意

お問い合わせいただく前に、下記の情報を準備してください。
- 機種名:Aspire WX
- 故障の状態をできるだけ詳しく
- ご購入年月日
- ご住所、ご氏名、電話番号

消耗品について

消耗品は、保証期間内でも有償とさせていただきます。お買い求めの際は、ご購入いただいた販売店にご相談ください。

商品廃棄について

本製品を廃棄するときには地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

おもな仕様

2018 年 7 月現在の最新仕様を記載しています。

項 目		仕様	備 考
通話路		PCM 時分割一段スイッチ	
プロセッサ		32bit RISC	
中継方式		1. 中継台方式(DSS コンソール) 2. 分散応答方式 3. 追加ダイヤルイン方式 4. 直結式応答方式 5. NTT ダイヤルイン方式 6. 個別着信方式	
配線方式		DT500 シリーズ:2 芯 スター接続 DT900 シリーズ:LAN 接続	
使用電源		AC100±10V(50/60Hz)	
選択信号種別		DP(10pps、20pps)、PB	
消費電力	待機時	3KSU:98W/架 6KSU:125W/架	
	最大	3KSU:130W/架 6KSU:170W/架	
DP 信号	インパルス速度	10±0.8pps/20±1.6pps	
	メーク率	33±3%	
	ミニマムポーズ	600ms 以上(10pps)/450ms 以上(20pps)	
PB 信号	信号周波数	低群:697Hz、770Hz、852Hz、941Hz 高群:1209Hz、1336Hz、1477Hz	
	周波数偏差	±1.5%以内	
	送出レベル	低群:－16.5～－6.5dBm 高群:－16.0～－6.0dBm	20mA のとき
	送出時間	50ms 以上	
	ミニマムポーズ	30ms 以上	
	周期	120ms 以上	
直流回路の抵抗		50～300Ω	回路が閉
PB 信号送出中の静電容量		3μF 以下	
直流回路の絶縁抵抗		1MΩ 以上(直流回路の両線間) 1MΩ 以上(直流回路と大地間) 1MΩ 以上(直流回路と他の電気通信回線間)	回路が閉 DC250V
呼出信号受信中のインピーダンス		2KΩ 以上	75V 16Hz
呼出信号受信中の静電容量		3μF 以下	
特性インピーダンス		600Ω	

項 目	仕様	備 考
漏話減衰量	70dB 以上	1.5kHz
使用周囲温度／湿度	0～40℃/10～90%RH（結露のないこと）	

※1:アナログ停電電話機収容時は、直流抵抗が 414Ω になります。電話機を含めた直流抵抗が 1700Ω 以上となる場所ではご使用になれません。

基本モジュール/拡張モジュールの場合

項目	システム構成			備考
	基本モジュール	基本＋拡張モジュール	最大構成時	
スロット数（ユニバーサルスロット）	3	6	24	
使用電源数	1	1	4	基本モジュール 1 台につき 1 電源
外形寸法(主装置) W×D×H[mm]	369×116×215	369×116×430	―	
質量(主装置)[kg]	約 2.3	約 3.7	約 13	
主装置外装色	ライト・ミスト・ホワイト			

19 インチモジュールの場合

項目	システム構成	
	1 架	最大構成
スロット数（ユニバーサルスロット）	6	24
使用電源数	1	4
外形寸法(主装置) W×D×H[mm]	430×409×88	430×409×361
質量(主装置)[kg]	約 6.6	約 27.6
主装置外装色	ライト・ミスト・ホワイト	

ユーザープログラミング

ユーザープログラミングについて..... 6-2
ユーザープログラミングの操作..... 6-9
設定メニュー一覧..... 6-14

ユーザープログラミングについて

ユーザープログラミングの概要

ユーザープログラミングでは、システムを運用するための基本設定や電話機ごとの各種設定、着信転送の設定／解除などを、パソコンのインターネットブラウザ（Internet Explorer 等）を利用して行うことができます。
ユーザープログラミングのログインレベルは、次の 2 つのレベルがあります。

- UA（ユーザープログラミング 1）：管理者レベル
  システム管理者専用のログインレベルです。UA レベル用のユーザー名（初期値：USER1）とパスワード（初期値：1111）を使ってログインし、システムの各種設定を行うことができます。
- UB（ユーザープログラミング 2）：電話機使用者レベル
  電話機ごとのログインレベルです。内線番号とパスワード（初期値：1111）を使ってログインし、電話機ごとの設定を行うことができます。

注意

【ユーザー名、パスワードについて】
「ユーザー名」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
ユーザー名、パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。
3 回（初期値）ログインに失敗した場合、60 秒間（初期値）アクセスが制限されます。

ご使用上の注意

ユーザープログラミングは、システムの運用形態を含めて設定することができます。設定方法および設定可能な範囲は、ご利用中のシステムの構成や設定内容によって異なります。ユーザープログラミングを使用する際は、販売店の指導のもとでご利用ください。詳しくは、販売店にご相談ください。

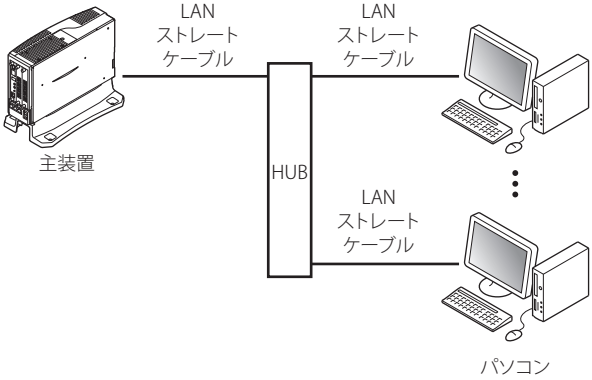
パソコンの動作環境

ユーザープログラミングにアクセスできるパソコンの動作条件は、次のとおりです。必ず動作条件にあったパソコンをご使用ください。

項 目	動 作 条 件
OS	Microsoft® Windows 7 / 8.1 / 10 搭載（32bit 版、64bit 版の双方に対応）
CPU	Windows または Internet Explorer の使用条件 に従ってください。
メモリ	
ブラウザ	Internet Explorer 7 / 8 / 9 / 10 / 11 Google Chrome v57 以降 Microsoft Edge
モニタ	SVGA（最低：800×600 ピクセル、推奨：1024×768 ピクセル以上）
その他	マウス、LAN 接続ポート（RJ-45）

機器の構成

CCPU ユニットの ETHERNET コネクタ（RJ-45）およびパソコンの LAN 接続ポート（RJ-45）に、HUB（ハブ）からの LAN ストレートケーブルを接続します。HUB に接続されている最大 4 台のパソコンを使って、ユーザープログラミングにログインすることができます。



注意

ケーブルを接続するとき、主装置には触れないでください。主装置内部に触れると、感電・けがの原因となることがあります。主装置を HUB に接続する場合は、販売店にご相談ください。

LAN とインターネットブラウザの設定

ユーザープログラミングにアクセスする前に、LAN ネットワークの接続設定とインターネットブラウザの設定を行います。

▼ LAN の設定

1. Windows のタスクバーで［スタート］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［ネットワーク と共有センター］アイコンをダブルクリックする

【ネットワークと共有センター】画面が表示されます。

2. **“ローカルエリア接続”欄の“状態の表示”をクリックする**

【ローカル エリア接続の状態】画面が表示されます。

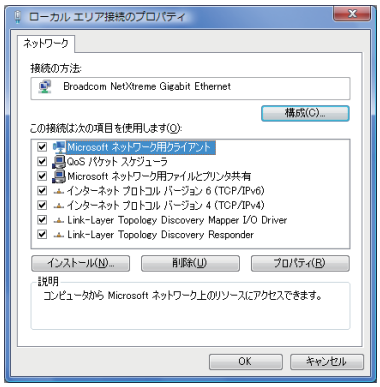
3. **[プロパティ(P)]ボタンをクリックする**

【ユーザー アカウント制御】画面が表示されます。

4. **[続行(C)]ボタンをクリックする**

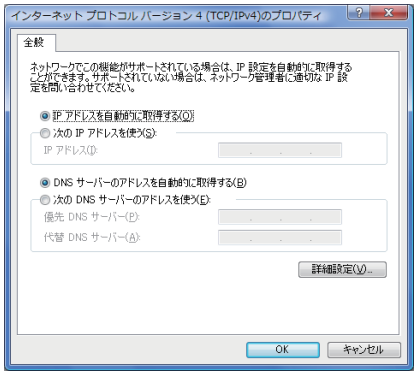
【ローカル エリア接続のプロパティ】画面が表示されます。

※“接続の方法”欄に表示される内容は、パソコンによって異なります。



5. **“この接続は次の項目を使用します(O)”欄の“インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)” をクリックし、[プロパティ(R)]ボタンをクリック する**

【インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ】画面が表示されます。



6. **ネットワークに DHCP サーバがあるかどうかによって、次のことを確認する**

- ネットワークに DHCP サーバがある場合
  “IP アドレスを自動的に取得する”が選択されていることを確認してください。
- ネットワークに DHCP サーバがない場合
  “次の IP アドレスを使う”を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力する。
  入力する IP アドレス、サブネットマスクは、システム管理者に確認してください。

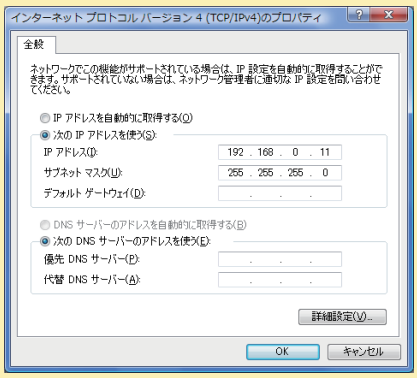
こんなときは

設定例

システムを導入時の IP アドレスで運用する場合は、次のように設定します。

- IP アドレス :192.168.0.11
- サブネットマスク:255.255.255.0

IP アドレスを決めるときは、システム内の機器と IP アドレスと重複しないように注意してください。



7. **[OK] ボタンを 2 回クリックする**

これで、LAN の設定ができました。

▼ インターネットブラウザの設定

アクティブスクリプトおよび Cookie の使用許可を設定します。ここでは、Internet Explorer 7.x の場合を例に説明しています。ほかのインターネットブラウザを使用しているときは設定方法が異なりますので、ご使用のインターネットブラウザのマニュアルなどを参照してください。

1. **Internet Explorer で [ツール] → [インターネット オプション] を順にクリックする**

【インターネット オプション】画面が表示されます。

2. **「セキュリティ」タブをクリックする**

3. **[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする**

【セキュリティ設定】画面が表示されます。

4. **スクリプト部にある「アクティブスクリプト」を「有効にする」に設定して [OK]ボタンをクリックする**

【インターネット オプション】画面に戻ります。

5. **「プライバシー」タブをクリックする**

6. **[詳細設定] ボタンをクリックする**

【プライバシー設定の詳細】画面が表示されます。

7. **「自動 Cookie 処理を上書きする」欄 →「常にセッション Cookie を許可する」欄を順にチェックして [OK] ボタンをクリックする**

【インターネット オプション】画面に戻ります。

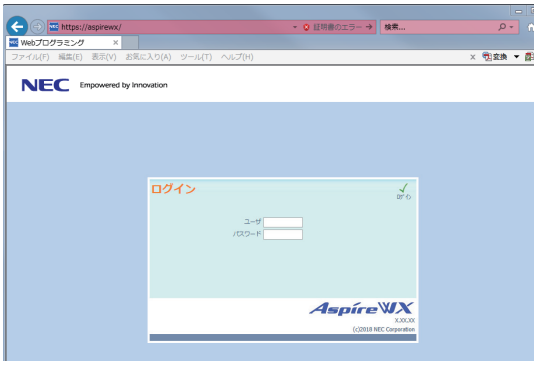
8. **[OK] ボタンをクリックして【インターネット オプション】画面を閉じる**

これで、インターネットブラウザの設定ができました。

HTTPS での接続

▼ 接続のしかた

HTTPS でユーザープログラミングへ接続できます。
HTTPS を使用することで、PC と Aspire WX 間で通信するデータは暗号化されるようになり、回線上を 流れるデータを盗聴される可能性は極めて低くなり、セキュリティを向上させることが可能となります。
HTTPS でのアクセスは、アドレス欄に「https://192.168.0.10」を入力して[Enter]キーを押すことで可能となります。



▼ インターネットブラウザの設定

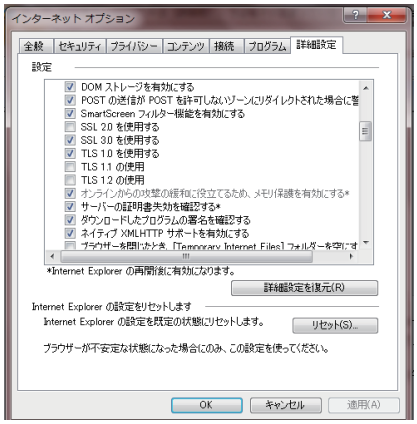
暗号化は、TLS1.0 をサポートします。HTTPS を使用する場合、インターネットブラウザの設定で TLS1.0 を使用可能にしてください。(初期設定では、TLS1.0 は ON になっています。)
ここでは、Internet Explorer 8.x の場合を例に説明しています。ほかのインターネットブラウザを使用しているときは設定方法が異なりますので、ご使用のインターネットブラウザのマニュアルなどを参照してください。

1. **Internet Explorer で [ツール] → [インターネット オプション] を順にクリックする**

【インターネット オプション】画面が表示されます。

2. **「詳細設定」タブをクリックする**

3. **セキュリティ部にある「TLS 1.0 を使用する」のチェックボックスにチェックを付ける**

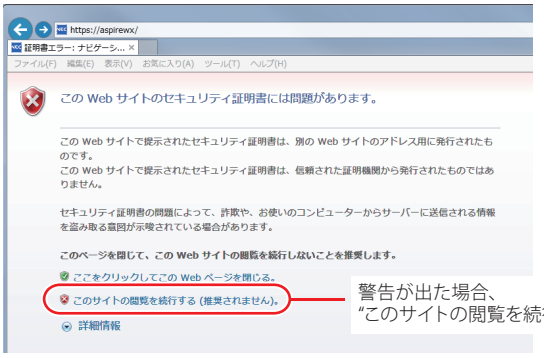


4. **[OK] ボタンをクリックして【インターネット オプション】画面を閉じる**

これで、インターネットブラウザの設定ができました。

▼ HTTPS でアクセス時の証明書エラー画面について

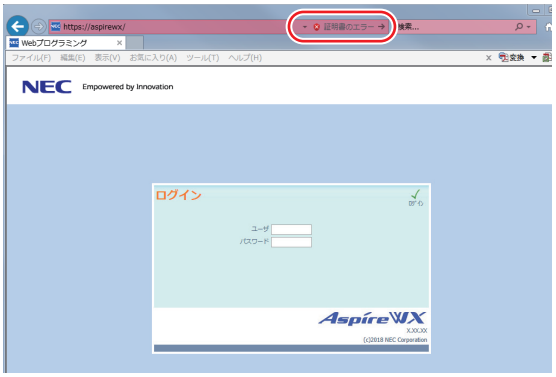
HTTPS 通信に使用する Web サーバ電子証明書は、証明書内に記述されたドメイン名に対応したものとなります。そのため、証明書内に記述されたドメイン名以外で Aspire WX へアクセスした場合(IP アドレス指定によるアクセス)、ブラウザ上に警告が表示されます。
また、当該証明書を PC にインストールしていない場合も、同様に証明書エラー画面が表示されます。
証明書エラーが表示された場合は、“このサイトの閲覧を続行する”を選択して操作を続けてください。
証明書エラー画面が表示された状態で運用しても問題ありません。



ブラウザ上に“証明書のエラー”が表示された場合、証明書を PC にインストールすることで、警告画面を消すことができます。インストール方法は以下のとおりです。

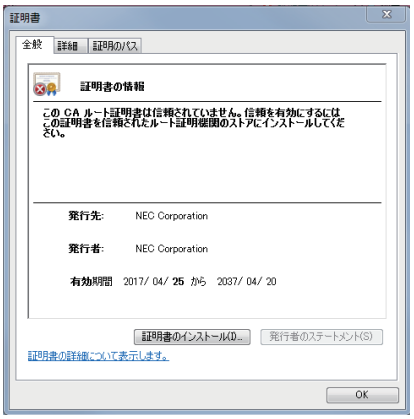
1. “証明書のエラー” をクリックして[証明書の表示]を選択する

【証明書】画面が表示されます。



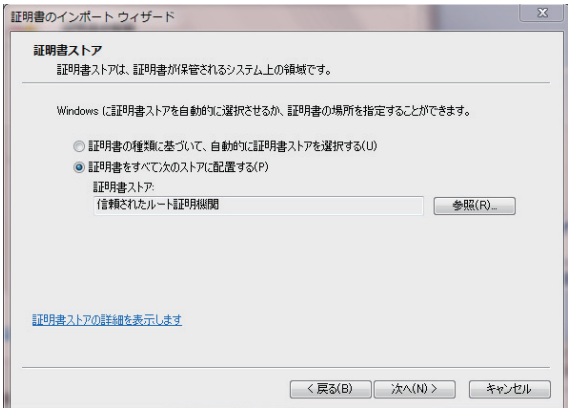
2. [証明書のインストール(I)]ボタンを押下する

【証明書のインポートウィザード】が起動します。



3. **“証明書をすべて次のストアに配置する(P)”を選択して[参照(R)]ボタンを押下し、証明書ストアに“信頼されたルート証明機関”を選択して、[次へ(N)]ボタンをクリックする**

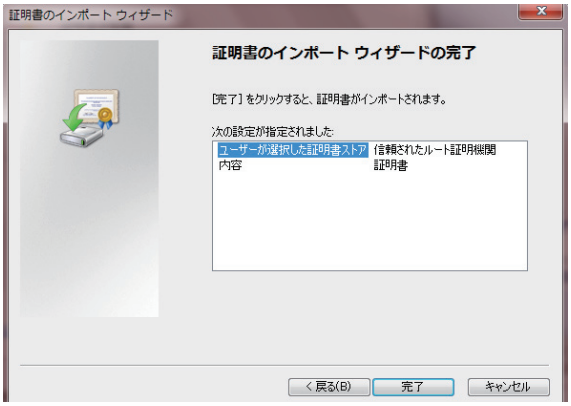
【証明書のインポートウィザードの完了】画面が表示されます。



4. **選択項目が以下の内容となっていることを確認後、[完了]ボタンを押下する**

- ユーザが選択した証明書ストア:信頼されたルート証明機関
- 内容:証明書

【セキュリティ警告】画面が表示された場合は、[はい(Y)]を押下してください。



注意

本 Web サーバ電子証明書は自己認証で作成しているため、【セキュリティ警告】画面が表示されます。

5. **ブラウザを再起動する**

6. **アドレス欄に「https://ASPIREWX」を入力して[Enter]キーを押す**

これで、証明書エラーは表示されなくなります。

注意

「https://ASPIREWX」にアクセスした場合のみ証明書エラーは表示されなくなります。「192.168.0.10」等の IP アドレス指定でアクセスした場合は、エラー画面が表示されます。

ユーザープログラミングの操作

操作上の注意点

- インターネットブラウザのツールバーまたはステータスバー操作
  ユーザープログラミングのすべての操作は、画面上に表示されるアイコンを使用してください。インターネットブラウザ のツールバーやステータスバーを使用すると、ユーザープログラミングが正しく動作しなくなります。正しく動作しなくなった場合は、いったんログアウトしたあと、ログインし直してください。
- ログアウト操作
  ユーザープログラミングを終了する場合は、必ずログアウト操作を行ってください。ログアウト操作を行わずにインターネットブラウザを閉じると、設定データの一部またはすべてが消えてしまうことがあります。ログアウト操作については、『▼ ログアウト』(⇒P.6-13)を参照してください。
- 強制ログアウト動作
  ログイン中に操作しない状態が 15 分経過すると、強制的にログアウトされます。なお、ログアウト前のデータはシステムに保存されます。強制ログアウト後も最後に表示していた画面が保持されますが、画面を操作すると【ログイン】画面に戻ります。
- 電話機設定制限
  - UB レベルでのログイン、または UA レベルでの電話機詳細設定による電話機の個別設定は、電話機ごとに 1 台のパソコンからのみ操作できます。
  - 同じ電話機の設定を同時に 2 台以上のパソコンから行うことはできません。
  - 該当電話機が使用中の場合は、設定画面を表示することができません。
  - “他のユーザがログインしているか電話機が使用中であるため、内線'XXX'はデータを変更することができません”と表示された場合は、該当電話機が待ち受け状態になるか、ほかのパソコンからのプログラミングが終了するまでお待ちください。
  - ユーザープログラミングで各電話機の詳細設定中は、該当電話機の表示器に“ユーザプログラミングモード”と表示され、電話機が使用できない状態になります。

おもなアイコン

ユーザープログラミングの画面上には、下記のようなアイコンやボタンが表示されます。

▼ 共通アイコン

アイコン	機　能	用　　途
登録	登録	設定中のデータを登録するときにクリックします。画面は、現在のページが保持されます。
更新	更新	画面を更新します。作業中で未登録のデータは取り消されます。
ホーム	【ホーム】画面に戻る	【ホーム】画面に戻るときにクリックします。登録中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。

▼ 個別アイコン

個別アイコンをクリックすると、画面が切り替わります。画面が切り替わるとき、その時点の設定内容は自動的に登録されます。

アイコン	機能	用途
	ジャンプ	左側の枠内で指定した範囲の設定画面を表示するときにクリックします。
	ページアップ	表示されている設定範囲の前の設定範囲を表示するときにクリックします。
	ページダウン	表示されている設定範囲の前の設定範囲を表示するときにクリックします。
	【電話機詳細設定】画面または【共通短縮詳細設定】画面を表示	左側の枠内に表示されている内線番号または共通短縮番号の詳細設定画面を表示するときにクリックします。

▼ 特殊アイコン

ユーザープログラミングの【ホーム】画面上に表示されるアイコンです。

アイコン	機能	用途
ログアウト	ログアウト	ユーザープログラミングを終了するときにクリックします。【ログイン】画面に戻ります。
コピー	【コピー】画面を表示	電話機データの【コピー】画面を表示するときにクリックします。
ヘルプ	【ヘルプ】画面を表示	ユーザープログラミングの【ヘルプ】画面を表示するときにクリックします。
保留音設定(ダウンロード曲)	リンク	【保留音(ダウンロード曲)】画面にリンクします。
VRSファイル	リンク	【VRS ファイルのアップロード／ダウンロード】画面にリンクします。
VMファイル(内線)	リンク	【VM ファイルのアップロード／ダウンロード(内線)】画面にリンクします。
VMファイル(メールボックス)	リンク	【VM ファイルのアップロード／ダウンロード(メールボックス)】画面にリンクします。
VM構成設定	リンク	【VM 構成設定】画面にリンクします。
ホテル客室情報	リンク	【ホテル客室情報】画面にリンクします。
In-UC Apps アップデート	リンク	【In-UC Apps アップデート】画面にリンクします。
証明書登録	リンク	【証明書登録】画面にリンクします。

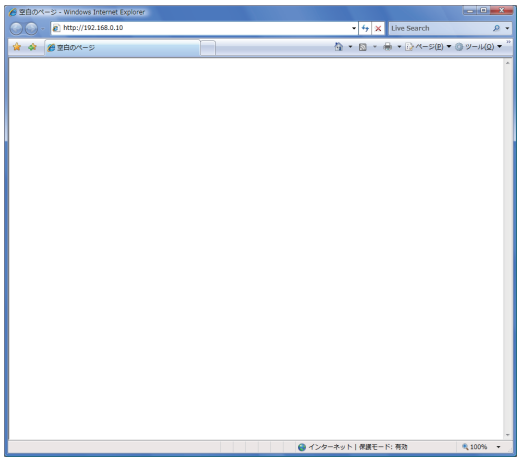
ログイン／ログアウト

ユーザープログラミングへのログイン方法、およびユーザープログラミングからのログアウト方法は、下記のとおりです。

▼ ログイン

Aspire WX 内部のリモートメンテナンスサーバに、インターネットブラウザを使用してアクセスします。

1. インターネットブラウザを起動する



2. アドレス欄に「http://192.168.0.10」を入力し［Enter］キーを押す

しばらくすると、リモートメンテナンスサーバに接続されます。【ネットワークと共有センター】画面が表示されます。接続が完了すると、ユーザープログラミングの【ログイン】画面が表示されます。
※「http://192.168.0.10」は、接続されているネットワークの状況によって異なる場合があります。詳しくは、販売店にご確認 ください。

こんなときは

【ログイン】画面が表示されない場合は

LAN の接続状態、入力した IP アドレスを確認してください。確認しても表示されない場合は、システム管理者に確認してください。

3. ユーザー名、パスワードを入力する

ユーザー名は、半角大文字で入力してください。ユーザー名とパスワードの初期値は、次のとおりです。詳しくは、販売店にご確認ください。

ユーザーレベル	ユーザー名	パスワード
UA（ユーザープログラミング 1）	USER1	1111
UB（ユーザープログラミング 2）	“内線番号”	1111

例 1: UA レベルでログインする場合
- 「ユーザ」欄 :USER1（UA レベルのユーザ名を入力）
- 「パスワード」欄:1111（UA レベルのパスワードを入力）

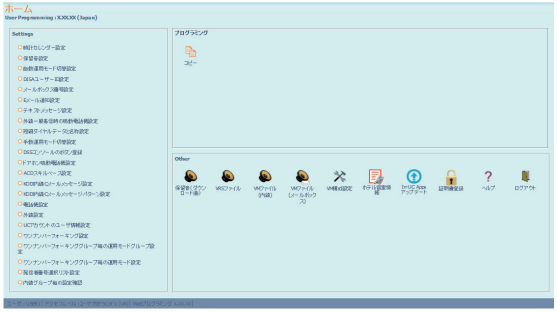
例 2: UB レベルでログインする場合（内線 101 の電話機）
- 「ユーザ」欄 :101（内線番号を入力）
- 「パスワード」欄:1111（内線番号のパスワードを入力）

注意

【ユーザー名、パスワードについて】
「ユーザー名」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
ユーザー名、パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。
3 回（初期値）ログインに失敗した場合、60 秒間（初期値）アクセスが制限されます。

4. （ログイン）をクリック、または [Enter] キー を押す

ログインが完了すると、ユーザーレベルに応じて、次のいずれかの画面が表示されます。
- UA レベルでログインした場合



- UB レベルでログインした場合

注意

アイコンをクリックしても動作しない場合は、アクティブスクリプトの設定が正しく行われていない可能性があります。『▼インターネットブラウザの設定』（⇒P.6-5）を参照してアクティブスクリプトの設定を確認してください。

▼ ログアウト

ユーザープログラミングからは、次の手順でログアウトすることができます。

1.

（ログアウト）をクリックする

- UA レベルでログインしている場合：【ホーム】画面右下
- UB レベルでログインしている場合：画面右上

【ログイン】画面に戻ります。

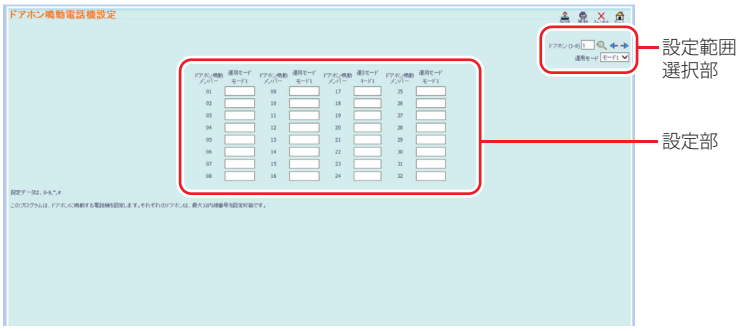
2. **【ログイン】画面に戻ったことを確認したあと、インターネットブラウザを閉じる**

注意

- データ設定後は、必ずログアウト操作を行ってください。ログアウト操作を行わずにインターネットブラウザを終了すると、設定データの一部または全てが消えてしまう場合があります。
- ログイン中に操作しない状態が 15 分経過すると、強制的にログアウトされます。なお、ログアウト前のデータはシステムに保存されます。強制ログアウト後も最後に表示していた画面が保持されますが、画面を操作すると【ログイン】画面に戻ります。

設定範囲の選択

各種設定画面は、設定範囲選択部や設定部などで構成されています。ここでは【ドアホン鳴動電話機設定】画面を例に、設定範囲選択部の操作方法について説明します。



- ドアホン番号選択部 ドアホン (1-8) 1
  設定範囲選択部の上側にあります。
  – ドアホン番号を指定して設定画面を表示する場合
    入力欄に設定したいドアホン番号を入力して （ジャンプ）をクリックすると、画面が切り替わります。
  – ドアホン番号順に設定画面を表示する場合
    （ページ アップ）または （ページ ダウン）をクリックすると、設定画面が順番に切り替わります。入力欄の番号も、表示されている画面に合わせて自動的に切り替わります。
- 運用モード選択部 運用モード モード1
  設定範囲選択部の下側にあります。
  [▼]をクリックしてプルダウンメニューを開き、設定する運用モード（1～8）を選択します。

設定メニュー一覧

各ユーザーレベルの画面に表示されるメニューについて説明しています。

UA レベルの設定メニュー

▼ 【ホーム】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
時計カレンダー 設定	リンク	【時計カレンダー設定】画面へ
保留音設定	リンク	【保留音設定】画面へ
自動運用モード切替設定	リンク	【自動運用モード切替設定】画面へ
DISA ユーザー ID 設定	リンク	【DISA ユーザー ID 設定】画面へ
メールボックス番号設定	リンク	【メールボックス番号設定】画面へ
E メール通知設定	リンク	【E メール通知設定】画面へ
テキストメッセージ設定	リンク	【テキストメッセージ設定】画面へ
外線一般着信時の鳴動電話機設定	リンク	【外線一般着信時の鳴動電話機設定】画面へ
短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	【短縮ダイヤルデータと名称設定】画面へ
手動運用モード切替設定	リンク	【手動運用モード切替設定】画面へ
DSS コンソールのボタン登録	リンク	【DSS コンソールのボタン登録】画面へ
ドアホン鳴動電話機設定	リンク	【ドアホン鳴動電話機設定】画面へ
ACD スキルベース設定	リンク	【ACD ログイン ID コード設定】画面へ
KDDI 内線 C メールメッセージ設定	リンク	【KDDI 内線 C メールメッセージ設定】画面へ
KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定	リンク	【KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定】画面へ
電話機設定	リンク	【電話機設定】画面へ
外線設定	リンク	【外線設定】画面へ
UC アカウントのユーザ情報設定	リンク	【UC アカウントのユーザ情報設定】画面へ
ワンナンバーフォーキング設定	リンク	【ワンナンバーフォーキング設定】画面へ
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定	リンク	【ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定】画面へ
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定	リンク	【ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定】画面へ
発信者番号選択リスト設定	リンク	【発信者番号選択リスト設定】画面へ

項目名	動作	設定概要／リンク先
内線グループ毎の設定確認	リンク	【内線グループ毎の設定確認】画面へ
[コピー]ボタン	リンク	【コピー】画面へ
[VRS ファイル]ボタン	リンク	【VRS ファイルのアップロード／ダウンロード】画面へ
[VM ファイル(内線)]ボタン	リンク	【VM ファイルのアップロード／ダウンロード(内線)】画面へ
[VM ファイル(メールボックス)]ボタン	リンク	【VM ファイルのアップロード／ダウンロード(メールボックス)】画面へ
[VM 構成設定]ボタン	リンク	【VM 構成設定】画面へ
[In-UC Apps アップデート]ボタン	リンク	【In-UC Apps アップデート】画面へ
[ホテル客室情報]ボタン	リンク	【ホテル客室情報】画面へ
[ヘルプ]ボタン	リンク	工事者用(Web プログラミング)の【ヘルプ】画面を開きます。
[ログアウト]ボタン	ログアウト	ユーザープログラミングからログアウトします。

▼ 【時計カレンダー設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
時計カレンダー設定	設定	現在の年月日および時刻を設定します。

▼ 【保留音設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
保留音設定	設定	保留音を設定します。

▼ 【自動運用モード切替設定】画面

相互リンクです。画面上部のリンクをクリックすると、各項目の画面に切り替わります。

項目名	動作	概要／リンク先
自動運用モード切替の時間割設定	設定	運用モードグループ番号(1～32)ごと、時間割パターン(1～10)ごとに、時間割を設定します。開始時間、終了時間、設定した時間帯に適用する運用モード<時間帯モード>番号(1～8)を設定します。
運用モードの週間スケジュール設定	設定	運用モードグループ番号(1～32)ごとに、各曜日に適用する時間割パターン(1～10)を設定します。併せて運用モードグループ番号(1～32)ごとに、各運用モード番号の状態時にディスプレイ上に表示する文字<テキストデータ>を設定します。
運用モードの特定日スケジュール設定	設定	運用モードグループ番号(1～32)ごとに、祝祭日などの特定日に適用する時間割パターン(1～10)を設定します。設定がない(0)場合、運用モードの週間スケジュール設定に従います。

▼ 【DISA ユーザー ID 設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
DISA ユーザー ID 設定	設定	DISA ユーザー ID <パスワード>(15 種)を設定します。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

▼ 【メールボックス番号設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
メールボックス番号設定	設定	ボイスメールのメッセージボックス番号(ボイスメール:1～960)を指定し、メールボックス番号とパスワードを設定します。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

▼ 【E メール通知設定】画面

メッセージボックス番号(001～960)ごとに次の設定を行います。

項目名設定	動作	概要／リンク先
E メール通知設定	設定	E メール通知の有無を設定します。
E メールアドレス	設定	E メールの通知先を設定します。
音声ファイル添付	設定	音声ファイル添付の有無を設定します。

▼ 【テキストメッセージ設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
テキストメッセージ設定	設定	テキストメッセージを設定したときに表示するメッセージ(1～20)を設定します。

▼【外線一般着信時の鳴動電話機設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
外線一般着信時の鳴動電話機設定	設定	着信グループ番号(1～100)を指定し、外線から電話がかかってきたときに着信音を鳴らす電話機の内線番号(最大 48 内線)を設定します。

▼【短縮ダイヤルデータと名称設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
短縮ダイヤルデータと名称設定	設定	短縮ダイヤルエリア(0～9999)を指定し、ダイヤルデータおよび漢字名称(全角 12 文字)、カナ名称(半角 12 文字)、発信者番号識別着信、共通短縮付加情報表示、ボイスメールアクセスの発信者認証を設定します。

▼【手動運用モード切替設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
手動運用モード切替設定	設定	各運用モードグループ(1～32)の、運用モード状態を切り替えます。

▼【DSS コンソールのボタン登録】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
DSS コンソールのボタン登録	設定	DSS コンソール番号(1～32)ごとに、DSS コンソールボタン(1～60)の機能を登録します。

▼【ドアホン鳴動電話機設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
ドアホン鳴動電話機設定	設定	各ドアホン番号(1～8)の運用モード(1～8)ごとに、ドアホンからの呼び出しに応答させるメンバーの内線番号(最大 32 内線)を設定します。

▼【ACD ログイン ID コード設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
ACD ログイン ID コード設定	設定	ログイン ID テーブル番号(1～960)毎にログイン ID コードとスキルテーブル番号(1～960)を設定します。
テーブル設定	リンク	【ACD スキルテーブル設定】へ

◆ 【ACD スキルテーブル設定】

項目名	動作	設定概要／リンク先
ACD スキルテーブル設定	設定	スキルテーブル番号(1～960)毎、ACD グループ番号(1～64)毎にスキルレベル(1～7)を設定します。 ※スキルレベル 1 が最上位

▼ 【KDDI 内線 C メールメッセージ設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
メッセージ設定	設定	内線 C メール本文のメッセージ内容を全角 50 文字または半角 100 文字以内で設定します。

▼ 【KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定】画面

メッセージパターン番号(1～100)ごとに次の設定を行います。

項目名	動作	設定概要／リンク先
メッセージ番号	設定	携帯電話に送信する内線 C メールのメッセージ番号(1～10)を設定します。
送信先	設定	内線 C メールを送信する宛先(最大 11 桁のダイヤル)を設定します。宛先は、KDDI ビジネスコールダイレクトのアクセス番号(事業所番号＋内線番号)です。

▼ 【電話機設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
内線番号	設定	内線ポート番号(1～960)に対して内線番号を設定します。
詳細設定	リンク	『《【電話機設定】画面(詳細設定)》』(⇒P.6-18)へ

注意

- 「詳細設定」のアイコンをクリックすると、該当電話機の表示器に“ユーザプログラミングモード”と表示され、電話機が使用できない状態に なります。
- 該当電話機が使用中、またはほかのパソコンでプログラミング中は、「詳細設定」のアイコンをクリックすると、“他のユーザがログインしているか電話機が使用中であるため、内線'XXX'はデータを変更することができません”と表示され、ログインすることができません。該当電話機が待ち受け状態になるか、プログラミングが終了するまでお待ちください。

《 【電話機設定】画面（詳細設定）》

項目名	動作	設定概要／リンク先
機能設定	リンク	『【機能設定】画面』(⇒P.6-19)へ

項目名	動作	設定概要／リンク先
個別短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	『【個別短縮ダイヤルデータと名称設定】』(⇒P.6-20)へ
機能ボタン割付	リンク	『【機能ボタン割付】』(⇒P.6-20)へ
多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定	リンク	『【多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定】』(⇒P.6-20)へ
VM ファイル	リンク	『【VM ファイル】画面』(⇒P.6-20)へ
E メール通知設定	リンク	『【E メール通知】』(⇒P.6-21)へ
カールコードレス子機の機能ボタン設定	リンク	『【カールコードレス子機の機能ボタン設定】』(⇒P.6-21)へ
ワンナンバーフォーキング設定	リンク	『【ワンナンバーフォーキング設定】』(⇒P.6-21)へ
UC アカウントのユーザ情報設定	リンク	『▼【UC アカウントのユーザ情報設定】画面』(⇒P.6-22)

◆ 【機能設定】画面

項目名		動作	設定概要／リンク先
カナ名称		設定	該当内線のカナ名称(半角 12 文字)を設定します。
漢字名称		設定	該当内線の漢字名称(全角 6 文字)を設定します。
着信転送／不応答転送／不在転送		設定	着信転送のタイプ(着信転送、不応答転送、不在着信転送)を選択し、転送先を登録します。
話中転送		設定	話中転送を設定し、右側の入力欄に転送先を登録します。
LCD 表示言語		設定	表示器に表示される言語(日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語)を選択します。
着信音色切替	内線着信タイプ(周波数)	設定	内線および外線着信時の着信音を選択します。
	外線着信タイプ(周波数)		
発信規制一時解除パスワード設定		設定	発信規制を一時的に解除するためのパスワードを登録します。
手動運用モード切替(所属グループ)		設定	所属する運用モードグループの運用モード状態を切り替えます。
ユーザープログラミング・プログラム用パスワード設定		設定	ユーザープログラミング(UB)のログインパスワードを設定します。
テンキーバックライト点灯制御		設定	テンキーバックライト点灯制御について設定します。
履歴表示モード		設定	履歴 3 行表示モードを使用するか選択します。選択した場合履歴表示で、画面に 3 件分の履歴を表示できます。
3 行表示名称優先度		設定	履歴 3 行表示が有効な場合に、設定している短縮名称などの名称表示を行うか、電話番号表示を優先するかを設定します。

項目名	動作	設定概要／リンク先
3 行表示インデックス設定	設定	履歴 3 行表示が有効な場合に、着信履歴およびシステム着信履歴画面にて、インデックス番号を表示するか、着信種別（不在着信など）をアイコン表示するかを選択します。
VM 新着時の大型ランプ表示	設定	ボイスメールに新着メッセージが発生した際に、内線電話機の大型ランプ表示を行うかを設定します。
VM 新着時のアイコン表示	設定	ボイスメールに新着メッセージが発生した際に、内線電話機のアイコン表示を行うかを設定します。
画像登録	設定	ユーザーの情報として画像を登録します。
待ち受けモード	設定	待ち受けモードをポータルモードにするか、クラシックモードにするかを設定します。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

◆ 【個別短縮ダイヤルデータと名称設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
個別短縮ダイヤルデータと名称設定	設定	内線番号ごとに個別短縮ダイヤル（1～20）を登録します。また、各個別短縮ダイヤルの漢字名称（全角 12 文字）、カナ名称（半角 12 文字）も設定します。

◆ 【機能ボタン割付】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
機能ボタン割付	設定	各内線番号のファンクションボタン<キー>番号（1～48）に対して、利用する機能とその機能に関連する付加データを設定します。

◆ 【多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定	設定	各内線番号のファンクションボタン<キー>番号（1～48）に対して、仮想内線への着信音を鳴らすかどうかを、運用モード（1～8）ごとに設定します。

◆ 【VM ファイル】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
VM ファイル	設定	各内線番号と同一のメールボックスの応答メッセージ（1～3）のアップロード／ダウンロード／消去および伝言メッセージ（1～500）のダウンロード／消去を行います。

◆ 【E メール通知】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
E メール通知設定	設定	E メール通知の有無を設定します。
E メールアドレス	設定	E メール通知の有無を設定します。
音声ファイル添付	設定	音声ファイル添付の有無を設定します。

◆ 【カールコードレス子機の機能ボタン設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
カールコードレス子機の機能ボタン設定	設定	カールコードレス子機のファンクションボタン(1～8)に連動させたい親機のファンクションボタン番号を設定します。

◆ 【ワンナンバーフォーキング設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
メンバー内線番号 1	設定	メンバー内線番号 1 を登録します。
メンバー内線番号 2	設定	メンバー内線番号 2 を登録します。
メンバー内線番号 3	設定	メンバー内線番号 3 を登録します。
メンバー内線番号 4	設定	メンバー内線番号 4 を登録します。
メンバー内線番号 5	設定	メンバー内線番号 5 を登録します。
メンバー内線番号 6	設定	メンバー内線番号 6 を登録します。
メンバー内線番号 7	設定	メンバー内線番号 7 を登録します。

注意

該当電話機がワンナンバーフォーキング機能のメイン内線番号に設定されている場合のみ画面が表示されます。

▼ 【外線設定】画面

相互リンクです。画面上部のリンクをクリックすると、各項目の画面に切り替わります。

項目名	動作	設定概要／リンク先
外線設定	リンク	『《【外線設定】画面 》』(⇒P.6-21)へ
短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	『▼【短縮ダイヤルデータと名称設定】画面』(⇒P.6-17)へ

《 【外線設定】画面 》

外線ポート番号(1～400)ごとに、次の設定を行います。

項目名		動作	設定概要／リンク先
外線の名称設定		設定	外線名称(半角 12 文字または全角 6 文字)を設定します。
外線毎の自動転送設定		設定	外線ごとに自動転送を行うかどうかを設定します。
外線毎の自動転送設定	運用モード	設定	運用モード(1～8)を選択し、各外線の自動転送先を短縮番号で指定します。すべての運用モードに対して設定してください。
	短縮エリア番号	設定	
	共通短縮編集	リンク	アイコンの左側に表示されている短縮エリア番号の編集画面を表示します。

▼ 【UC アカウントのユーザ情報設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
ユーザ ID	設定	UC サーバにログインするための認証 ID を登録します。 ※UB レベルでログインした場合は編集できません。
パスワード	設定	UC サーバにログインするための認証パスワードを登録します。 ※UB レベルでログインした場合は表示されません。
姓	設定	ユーザの姓(全角 10 文字)を登録します。
名	設定	ユーザの名(全角 10 文字)を登録します。
フリガナ(姓)	設定	ユーザの姓のフリガナ(半角 20 文字)を登録します。
フリガナ(名)	設定	ユーザの名のフリガナ(半角 20 文字)を登録します。
電話番号 1	設定	ユーザの電話番号 1 を登録します。
電話番号 2	設定	ユーザの電話番号 2 を登録します。
電話番号 3	設定	ユーザの電話番号 3 を登録します。
携帯電話 1	設定	ユーザの携帯電話 1 を登録します。
携帯電話 2	設定	ユーザの携帯電話 2 を登録します。
E メール 1	設定	ユーザの E メールアドレス 1(半角 128 文字)を登録します。
E メール 2	設定	ユーザの E メールアドレス 2(半角 128 文字)を登録します。
グループ名	設定	ユーザのグループ名(全角 64 文字)を登録します。
表示言語	設定	ユーザーに表示する言語を設定します。
ブラウザフォン内線番号	設定	アカウントに関連付けるブラウザフォンの内線番号を登録します。※UC アカウントがオンライン中は設定を変更しても適用されません。
画像登録	設定	ユーザーの情報として画像を登録します。
待ち受けモード	設定	待ち受けモードをポータルモードにするか、クラシックモードにするかを設定します。

▼ 【ワンナンバーフォーキング設定】画面

項目名	動作	設定概要／リンク先
メイン内線番号	設定	メイン内線番号を登録します。 ※UB レベルでログインした場合は表示されません。
メンバー内線番号 1	設定	メンバー内線番号 1 を登録します。
メンバー内線番号 2	設定	メンバー内線番号 2 を登録します。
メンバー内線番号 3	設定	メンバー内線番号 3 を登録します。
メンバー内線番号 4	設定	メンバー内線番号 4 を登録します。
メンバー内線番号 5	設定	メンバー内線番号 5 を登録します。
メンバー内線番号 6	設定	メンバー内線番号 6 を登録します。
メンバー内線番号 7	設定	メンバー内線番号 7 を登録します。
運用モード切替連動	設定	運用モード切替に連動してワンナンバーフォーキング機能状態を切り替えるかどうかを設定します。 ※UB レベルでログインした場合は表示されません。

▼ 【ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定】画面

フォーキンググループ番号(1～256)ごとに次の設定を行います。

項目名	動作	設定概要／リンク先
ワンナンバーフォーキング機能対応運用モードグループ	設定	フォーキンググループ毎に対応する運用モードグループ番号(1～32)を設定します。

▼ 【ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定】画面

フォーキンググループ番号(1～256)および運用モード(1～8)ごとに次の設定を行います。

項目名	動作	設定概要／リンク先
ワンナンバーフォーキング動作	設定	ワンナンバーフォーキング機能を有効状態とするか、解除状態とするかを設定します。

▼ 【コピー】画面

項目名	設定概要／リンク先
電話機の運用モードグループ設定	所属する運用モードグループ番号の設定をコピーします。
電話機の発信規制一時解除パスワード設定	発信規制を一時的に解除するためのパスワードをコピーします。
電話機の代理応答グループ設定	所属する代理応答グループ番号をコピーします。
オフフック自動応答グループ設定	外線からの電話に、受話器を上げるだけで応答できるようにするためのルートテーブル設定をコピーします。

項目名	設定概要／リンク先
電話機の内線ページンググループ設定	所属する内線ページンググループ番号（内線一斉呼出用のグループ番号）をコピーします。
多機能電話機の機能ボタン設定	ファンクションボタンの登録内容をコピーします。
カールコードレス子機の機能ボタン設定	カールコードレス子機のファンクションボタン（1～8）の登録内容をコピーします。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

《操作手順》

1. **画面左上の「コピー元 内線番号」欄で、コピー元の内線番号をプルダウンリストから選択する**
2. **「コピー先 内線番号」欄に表示されている一覧で、コピー先の内線番号をクリックして選択する**
   複数の内線番号を選択する場合は、[Ctrl]キーを押しながら選択します。
3. **コピーを実行する項目名の左側にあるチェックボックスにチェックを付ける**
4. **画面右上の 登録 （登録）をクリックする**

▼ 【VRS ファイルのアップロード／ダウンロード】画面

項目名	設定概要／リンク先
VRS ファイルのアップロード/ダウンロード	VRS メッセージ番号（1～200）を指定して、アップロード／ダウンロード／消去を行います。

▼ 【VM ファイルのアップロード／ダウンロード（内線）】画面

項目名	設定概要／リンク先
VM ファイルのアップロード/ダウンロード（内線）	内線番号を指定（同一番号のメールボックス）して、応答メッセージ（1～3）のアップロード／ダウンロード／消去および伝言メッセージ（1～500）のダウンロード／消去を行います。

▼ 【VM ファイルのアップロード／ダウンロード（メールボックス）】画面

項目名	設定概要／リンク先
VM ファイルのアップロード／ダウンロード（メールボックス）	メールボックス番号を指定して、応答メッセージ（1～3）のアップロード／ダウンロード／消去および伝言メッセージ（1～500）のダウンロード／消去を行います。

▼ 【VM 構成設定】画面

項目名	設定概要／リンク先
メールボックス一括パスワード	ユーザーマネジメントツールを使用して、録音ファイルリストをダウンロードする際に求められる認証パスワードを設定します。
ユーザーマネジメントツールログアウトタイマー	ユーザーマネジメントツールを使用してメールボックスへログイン中に、何も操作しない状態が続いたときに自動的にログアウトするまでの時間を設定します。

注意

【パスワードについて】
「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。
パスワードは初期値のまま使用せず、必ず変更して運用してください。
パスワードは安全性を高めるために定期的に変更していただくことを奨励します。
容易に推測できないような複雑な設定を奨励します。

▼ 【ホテル客室情報】画面

項目名	設定概要／リンク先
ホテル客室情報	客室電話機の情報を一覧で確認します。

▼ 【In-UC Apps アップデート】画面

項目名	設定概要／リンク先
In-UC Apps アップデート	In-UC Web アプリケーション（UC100 for Web、クイックビデオリンク）のアップデートを行います。

▼ 【証明書登録】画面

項目名	設定概要／リンク先
証明書登録	SSL/TLS サーバ証明書の登録を行います。

UB レベルの設定メニュー

▼ 【電話機設定メニュー】画面

【電話機設定メニュー】画面は、UA レベルの『▼【電話機設定】画面』（⇒P.6-18）で「詳細設定」アイコンをクリックしたときに表示される画面と同じメニューが表示されます。

項目名	動作	設定概要／リンク先
機能設定	リンク	『【機能設定】画面』（⇒P.6-19）へ
個別短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	『【個別短縮ダイヤルデータと名称設定】画面』（⇒P.6-20）へ
機能ボタン割付	リンク	『【機能ボタン割付】画面』（⇒P.6-20）へ
多機能電話機の仮想内線鳴動	リンク	『【多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定】画面』（⇒P.6-20）へ

項目名	動作	設定概要／リンク先
VM ファイル	リンク	『【VM ファイル】画面』(⇒P.6-20)へ
E メール通知設定	リンク	『【E メール通知】画面』(⇒P.6-21)へ
カールコードレス子機の機能ボタン設定	リンク	『【カールコードレス子機の機能ボタン設定】』(⇒P.6-21)へ
ワンナンバーフォーキング設定	リンク	『【ワンナンバーフォーキング設定】画面』(⇒P.6-21)へ
UC アカウントのユーザ情報設定	リンク	『▼【UC アカウントのユーザ情報設定】画面』(⇒P.6-22)

注意

- 【電話機設定メニュー】画面を表示すると、該当電話機の表示器に“ユーザプログラミングモード”と表示され、電話機が使用できない状態になります。
- 該当電話機が使用中、またはほかのパソコンでプログラミング中は、【電話機設定メニュー】画面を表示すると、“他のユーザがログインしているか電話機が使用中であるため、内線'XXX'はデータを変更することができません”と表示され、ログインすることができません。該当電話機が待ち受け状態になるか、プログラミングが終了するまでお待ちください。

索引

記号・数字

2 外線会議通話.....1-98, 2-30

アルファベット

BGM.....1-114
DID.....3-41
DISA.....3-41
DSS コンソール.....3-52
ランプ表示モード.....3-52
利用できる機能と利用中の表示.....3-53
INS ナンバー・ディスプレイ.....3-4
INS ネット 1500.....3-2
INS ネット 64.....3-2
ISDN 回線.....3-2
ISDN 付加サービス.....3-3, 3-4
かけかた.....3-2
サブアドレス指定発信.....3-2
発信規制／料金管理.....3-3
ISDN 付加サービス.....3-4
INS ナンバーリクエスト.....3-5
INS フレックスホン　通信中転送.....3-4
INS ボイスワープ.....3-5
INS ボイスワープセレクト.....3-8
LCD 縦倍角表示設定.....1-35
NTT ダイヤルイン.....3-19
仮想内線着信方式.....3-20
個別着信方式.....3-19
着信拒否.....3-23
着信転送.....3-20
着信方式.....3-19
内線グループ毎の自動転送.....3-21
内線グループ毎の自動／不応答転送先登録...3-22
内線グループ毎の不応答転送.....3-21
内線グループ着信拒否.....3-23
VRS メッセージ編集.....3-37

あ

アイコン表示の意味
センター電話帳.....1-142
多機能電話機.....1-8
空外線自動選択.....1-38, 2-3
アフターサービス.....5-50
溢れ料金.....4-8
アラーム.....1-111, 2-35
安全上のご注意.....vi
一斉放送.....3-45
一斉放送会議通話.....3-47
一斉放送／グループ放送への応答.....3-46
一般電話機を使う.....2-1
ご使用の前に.....2-2
注意.....2-2
印刷
ID グループ集計.....4-35
ID グループ明細.....4-38
ID 毎集計.....4-18
ID 毎明細.....4-20
外線グループ集計.....4-29
外線グループ明細.....4-32
外線毎集計.....4-13
外線毎明細.....4-16
個別内線精算.....4-52
システム一括集計.....4-41
システム一括明細.....4-45
全通話料金データ.....4-48
全内線一括精算.....4-53
通話終了と同時に印刷.....4-51
内線グループ毎集計.....4-22
内線グループ毎明細.....4-26
内線毎集計.....4-8
内線毎明細.....4-11
印刷可能な項目（メニュー）.....4-2
印刷テスト.....4-7
運用モード.....5-36
応答プリセット.....1-59
オートアテンダント（DID／DISA）.....3-34
オートアテンダント（DISA）.....3-35
受けかた.....3-36
ユーザー ID の入力を間違えたとき.....3-36, 3-40
オートアテンダント（VRS）.....3-34
オートアテンダントメッセージの録音・再生・消去...3-37
音や表示器を調整する.....1-32
折り返し転送.....1-72

か

会議通話.....1-97, 2-29
会議通話転送.....3-27
外出先に転送したい
.....1-78, 1-80, 1-81, 1-82, 2-22, 2-23, 2-24
外線応答.....1-58, 1-175
外線グループ 1-38, 2-3
外線グループ捕捉.....1-41, 2-4
外線コールバック.....1-94, 2-27
外線毎の自動転送先登録.....3-29
外線自動選択.....1-39, 2-3
外線自動転送.....3-26, 3-28
外線自動転送解除.....3-28
外線自動転送設定.....3-28
外線手動転送.....3-27
外線フッキング.....1-106, 2-33
外線予約.....1-94, 2-27
各種規制について.....xxviii
各種設定.....5-28

角度を調整.....1-36
仮想内線.....3-31
仮想内線方式.....5-5
仮想内線ボタン.....3-32
幹部着信転送.....1-122
キータッチトーン.....1-34
客室状態表示.....3-63
共通短縮ダイヤル.....1-45
共通保留.....1-65
グループ指定代理応答.....1-63, 2-14
グループ代理応答.....1-62, 2-13
グループ短縮ダイヤル.....1-45
グループ放送.....3-45
グループリスニング.....1-115
検索機能.....1-47, 1-49, 1-149
口頭会議招集.....1-99
口頭転送.....1-67
構内放送.....3-45
コールウェイティング.....2-26
小形シール鉛蓄電池.....5-44
個人登録発信規制.....5-9
　開始.....5-9
　削除.....5-11
　終了.....5-10
　登録.....5-10
個別短縮ダイヤル.....1-45
個別保留.....1-66
困ったときは.....4-54, 5-47

さ

再ダイヤル.....1-42, 2-5
索線形外線発信.....1-40
索線形発着信方式.....5-3
索線ボタン.....1-38
識別着信.....3-14
識別着信拒否.....3-15
事業者識別番号.....4-5
システム管理者の方へ.....5-1
システム構成.....5-2
システム全体の通話料金データの消去.....4-47
システムの運用例.....3-1
指定外線捕捉.....1-41, 2-4
指定内線代理応答.....1-61, 2-12
自動保留.....1-71
自動保留転送.....1-69, 2-16
示名条片.....1-3
十字キー.....1-29
周辺機器.....5-2
受話音量を変える.....1-32
仕様.....5-51
使用上のご注意.....xxii
消費電力をおさえる.....5-40
消耗品について.....5-44
ステップコール.....1-55, 2-7
スピーカ音量を変える.....1-32
セーブドナンバーリダイヤル.....1-104, 2-32
セキュリティ機能.....3-65
セキュリティセンサ連動.....3-66
セキュリティ放送.....3-65
切断再捕捉.....1-122
設定
　アピアランス機能レベル.....5-30
　一般機能レベル.....5-29
　時計.....5-28
　パワーセーブ.....5-40
　日付.....5-28
　ファンクションボタン.....5-29
設定できる通信事業者.....4-5
設定メニュー
　UA レベル.....6-14
　UB レベル.....6-25
　ホテル客室情報.....6-25
設定メニュー一覧.....6-14
センター電話帳.....1-141
　アイコン.....1-142
　暗証番号.....1-158
　グループ名の変更.....1-156
　検索.....1-149
　検索画面.....1-143
　削除.....1-155
　新規登録.....1-145
　着信履歴.....1-149
　発信履歴.....1-148
　変更.....1-153
　ボタンの使いかた.....1-141
　メニュー画面.....1-143
　ロック.....1-158
専用線.....3-25
　かけかた.....3-25
専用プリンタ.....4-3
送話カット.....1-106
ソフトウェア使用許諾契約書.....iv
　ソフトウェアのご使用条件.....iv
ソフトキー.....1-9

た

ダイヤルイン方式.....5-4
ダイレクトインワードシステムアクセス.....3-41
ダイレクトインワードダイヤル.....3-41
ダイレクト通話料金管理.....4-1
　おもな機能.....4-2
　機器の構成.....4-3
　ご利用になる前に.....4-4
ダイレクト通話料金管理の機能
　システムアラームメッセージ表示機能.....4-3
　その他の機能.....4-3
　通話明細即時印刷.....4-3
　通話料金集計・明細印刷機能.....4-2

特番による内線の簡易集計印刷機能.....4-3
ダイレクトライン方式.....5-3
ダウンロード曲.....5-37
多機能電話機.....1-1
クラシックモード.....1-4
ポータルモード.....1-4
ボタンと表示器の見かた.....1-2, 1-4
多機能電話機を使う.....1-1
他グループ代理応答.....1-63, 2-14
短縮ダイヤル発信.....1-45, 2-5
短縮ダイヤル早見表.....1-4
端末リロケーション.....5-39
チェックイン・チェックアウト.....3-61
着信お待たせメッセージ.....3-43
着信音量を変える.....1-32
着信拒否.....1-84
着信自動応答.....1-59, 2-10
着信転送.....1-77, 2-21
着信音色切替.....1-33
着信履歴.....1-116, 1-149, 3-13
チルトレグ.....1-36
追加ダイヤル.....1-107, 2-33
追加ダイヤルイン方式.....5-5
通話警告.....5-11
通話中 PB 信号送出.....1-107
通話料金集計・明細印刷
ID ごと.....4-17
外線ごと.....4-13
機能.....4-2
グループごと.....4-22
システム全体.....4-41
内線ごと.....4-8
番号ごと.....4-8
通話料金データの全消去.....4-49
通話料金の表示.....5-12
通話割り込み.....1-101, 2-30
定額料金を設定する.....5-13
停電したときは.....5-42
テキストメッセージ.....1-110
デジタル多機能電話機.....5-21
電源の入れかた.....xxx
電源の切りかた.....xxx
伝言.....1-107, 2-34, 3-63
電池について
CPU.....5-45
システム.....5-44
電話機のオプション品一覧.....5-25
電話機の交換.....5-39
電話機の調整.....1-32
受話音量.....1-32
使用者の名前を登録.....1-35
スピーカ音量.....1-32
ダイヤルボタンを押したときの音.....1-34
着信音量.....1-32
着信音色.....1-33
電話機の角度.....1-36
内線からの着信のしかたを選ぶ.....1-34
話中時の着信音量.....1-33
電話機の品名および機能一覧.....5-24
電話機のポート番号.....1-6
電話機のラインナップ.....5-21
ドアホン.....3-49
周囲の音を聞く.....3-49
ドアのカギを開ける.....3-50
ドアホンに応答する.....3-49
ドアホンへの着信を外線に転送する.....3-50
ドアホンモニタ.....3-49
ドアホンロック開錠.....3-50
動作保持時間.....5-42
特番による内線通話料金集計印刷.....4-52
特番の初期値一覧.....5-14
時計の設定.....5-28

な

内線応答.....1-60, 2-10
内線グループ.....1-52
内線グループ毎の自動転送.....3-21
内線グループ毎の自動／不応答転送先登録.....3-22
内線グループ毎の不応答転送.....3-21
内線グループ着信拒否.....3-23
内線グループ保留.....1-69, 2-17
内線グループ呼出.....1-95, 2-28
内線グループ呼出転送.....1-96, 2-29
内線検索.....1-52
内線コールバック.....1-53, 2-6
内線指定呼代理応答.....1-62, 2-13
内線相互接続.....1-52, 2-6
内線代表呼出.....1-56, 2-8
内線代理着信.....1-56, 2-9
内線代理着信方式.....5-6
内線の自動保留転送.....1-74, 2-19
内線ホットライン.....1-57, 2-9
内線保留.....1-74, 2-18
内線名称入力.....1-35
内線呼出招集.....1-97, 2-29
内線呼出の音声／信号の呼出指定.....1-34
内線予約.....1-53, 2-6
内蔵バッテリ.....5-44
任意外線応答.....1-58

は

パーク保留.....1-70, 2-17
バイパスコール.....1-85, 2-25
発信規制.....5-7
発信規制クラス.....5-8
発信規制を一時的に解除する.....5-9
発信者番号選択.....1-126, 2-36
発信者番号通知.....3-3, 3-12
発信履歴.....1-148

発着信の方法.....5-3
仮想内線方式.....5-5
索線形発着信方式.....5-3
ダイヤルイン方式.....5-4
ダイレクトライン方式.....5-3
追加ダイヤルイン方式.....5-5
発着信方式.....5-3
パネル.....1-3
パワーセーブ.....5-16, 5-35, 5-40
番号計画.....5-14
ハンズフリー通話.....1-92
汎用リレー.....5-38
非通知着信拒否.....3-17
日付の設定.....5-28
被保留転送.....1-73
表示器内の文字を縦倍角表示にする.....1-35
表示の見かた
ソフトキーのメニュー.....1-9
多機能電話機.....1-4
ファンクションボタンの機能番号一覧.....5-32
ファンクションボタンへの機能登録.....5-29
不応答転送.....1-80, 2-22
フォローミー.....1-82
不在着信転送.....1-76, 2-20
ブザー.....1-113
プリセットダイヤル.....1-39, 1-175
分散応答.....2-10
ページング転送.....3-47
ヘッドセット接続.....1-123
ボイスオーバー.....1-102, 2-31
保証.....5-50
ボタン型リチウム電池.....5-45
ボタンと表示器の見かた.....1-2, 1-4
ボタンの使いかた
多機能電話機.....1-2
ホテル機能.....3-61
客室状態表示.....3-63
客室情報出力.....3-64
チェックイン・チェックアウト.....3-61
伝言（メッセージウェイティング）.....3-63
モーニングコール.....3-62
保留.....2-15
保留維持.....2-15
保留音.....5-37
保留転送.....1-68
ボリュームコントロール.....1-32

ま

マイライン.....3-18
マルチラインデジタルコードレス電話機（PHS）....5-23
ミュージックリング.....1-33
メッセージ一覧表.....1-110
メッセージウェイティング.....1-107, 2-34
メニュー.....1-27
メニューボタンのメニュー
デジタル多機能電話機.....1-17
メモダイヤル.....1-105
モーニングコール.....3-62
文字入力一覧表.....1-161
文字入力のしかた.....1-160

や

ユーザープログラミング.....6-1
LAN とインターネットブラウザの設定.....6-3
アイコン.....6-9
概要.....6-2
機器の構成.....6-2
ご使用上の注意.....6-2
設定範囲の選択.....6-13
ログイン／ログアウト.....6-11
予算管理.....5-11
呼出状態転送.....1-72, 2-18

ら

リセットコール.....1-54, 2-7
リピートダイヤル.....1-44
リピートダイヤルの回数.....1-44
リモート確認.....3-67
リモート・カンファレンス.....1-99
リモート設定.....3-40
料金管理.....5-11
積算料金消去.....5-12
積算料金表示.....5-12
通話料金表示.....5-12
定額料金設定.....5-13
料金表示.....5-11
ルームモニタ.....1-114

わ

話中時の着信音量を変える.....1-33
話中転送.....1-79, 2-22
話中／不応答転送.....1-81, 2-23
話中呼出.....1-85, 2-26
ワンタッチオンフックダイヤル（ダイレクトライン方式の場合）.....1-39, 1-174
ワンタッチダイヤル.....1-89

Aspire WX
取扱説明書

GVT-063286-002-00

2019 年 3 月 2 版

日本電気株式会社

©2018-2019 NEC Corporation